

第334図 第204号住居跡出土遺物実測図

所見 本跡は、出土土器から10世紀と考えられるが、規模と形状など不明な点が多く、住居施設と異なる可能性も考えられる。

第204号住居跡出土遺物観察表（第334図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
1404	土師器	坏	[14.2]	(3.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	体部両面ロクロナデ。	焼土集中部	20% 二次焼成。
1405	須恵器	坏	[13.4]	(3.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	体部両面ロクロナデ。	焼土集中部	20% 二次焼成。

第205号住居跡（第294・295図）

位置 調査区南部のH 2 a7 区に位置し、北から南への斜面部に立地している。西部は調査区域外へ伸びる。

重複関係 東部が第201号住居跡に掘り込まれている。

規模と形状 西部は調査区域外の伸びており、東部は第201号住居跡、南東部を第202号住居跡、第334号土坑に掘り込まれているため、確認できたのは長軸2.20m、短軸1.60mで、形状は方形または長方形と推測され、主軸はN-0°であり、壁高は20cmで外傾して立ち上がる。

床 ほぼ平坦で、全体的に踏み固められている。

炉 中央部に位置し、長径72cm、短径52cmの楕円形で、床面を12cmほど掘り窪められた地床炉であり、炉床面は火熱を受けて赤変硬化し、中央に雲母片岩（上底7.4cm、下底13.7cm、高さ21.0cmの台形で、厚さ4.5cm）が立位で出土し、炉石として使用されたと考えられる。

炉土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 黒褐色 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 極暗赤褐色 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 4 極暗赤褐色 焼土ブロック少量、炭化粒子微量
- 5 極暗赤褐色 焼土ブロック微量
- 6 黒褐色 焼土ブロック少量、炭化粒子微量

覆土 斜面部に立地しているため、南部で床面の一部が露呈しさらに攪乱を受けているため、堆積の状況について確認することができなかった。

遺物出土状況 縄文土器片2点、土師器片14点（甕）、礫1点が出土している。これらの遺物は中央部の覆土下層から出土している。出土土器はすべてが細片のため、図示できない。

所見 本跡の出土土器が細片のため、出土土器からの時期判断は困難であるが、9世紀中葉から後葉の第201号住居跡が掘り込んでいるので9世紀中葉以前と考えられる。

(2) 掘立柱建物跡

第2号掘立柱建物跡 (第335図)

位置 調査区東部のG3 a6～G3 b7区に位置し、北西から南東への緩斜面部に立地している。

規模と構造 西桁行の柱穴1か所が未検出であるが、西桁行3間、東桁行2間、梁行1間の側柱建物跡で、桁行方向はN-3°-Wの南北棟である。規模は桁行4.90m、梁行3.24mで、面積は約15.88㎡である。柱間寸法は西桁行1.5m前後、東桁行2.4m前後、梁行3.3m前後である。柱筋は揃っているが、東西桁行の柱間の寸法が異なる。

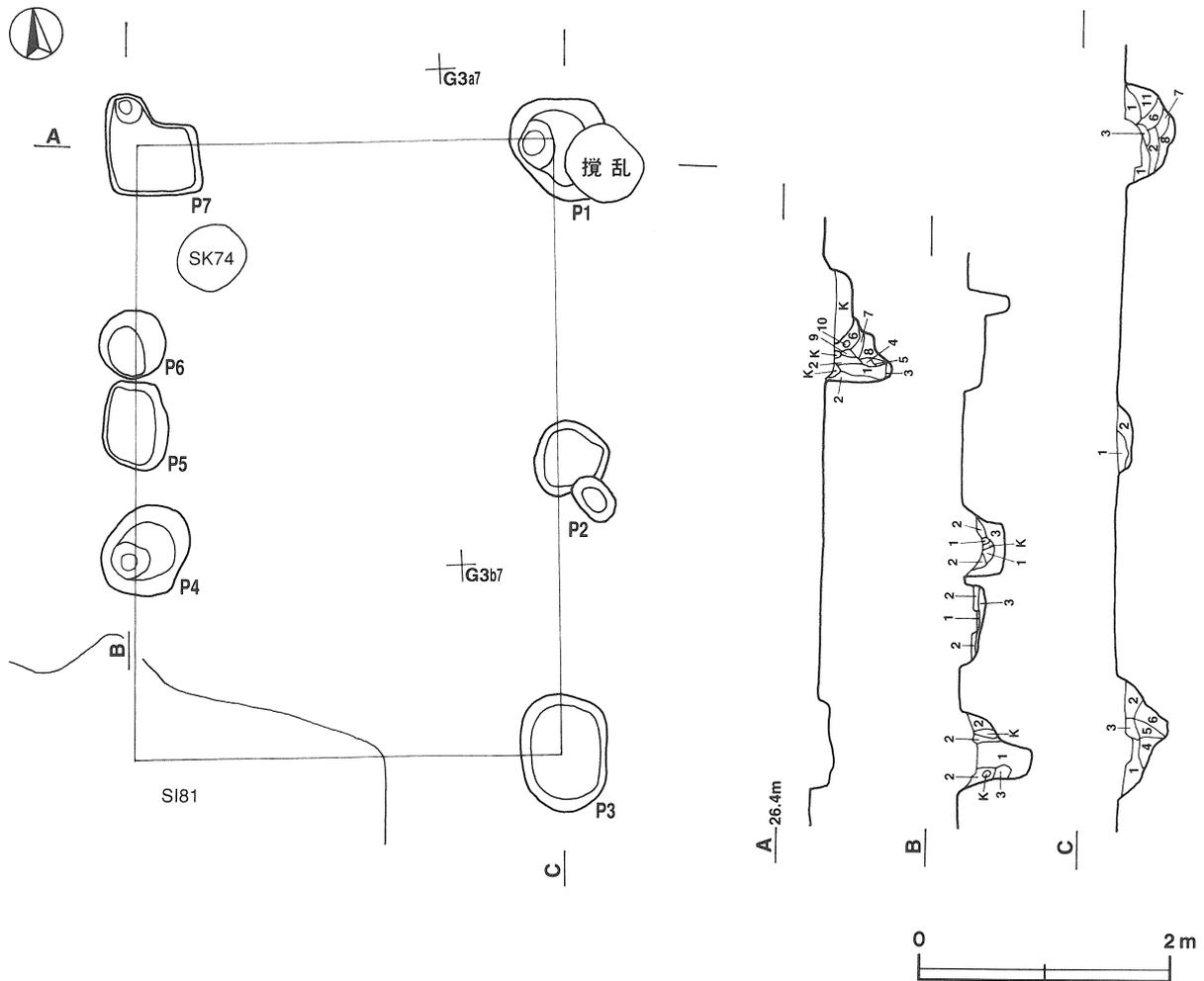
柱穴 掘り方の平面形は円形、不整楕円形、隅丸長方形及び不定形で、深さ14～60cmある。柱の抜き取り痕はP1で確認され、埋め戻された土はロームを主とした焼土粒子・炭化粒子を含む黒褐色土・暗褐色土・褐色土である。

P1 土層解説

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 黒褐色 炭化粒子少量, 炭化物微量 | 7 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量 | 8 暗褐色 ローム粒子少量 |
| 3 褐色 ロームブロック少量 | 9 褐色 ロームブロック少量 |
| 4 褐色 ロームブロック少量 | 10 褐色 ロームブロック少量 |
| 5 褐色 ロームブロック少量 | 11 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量 |
| 6 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量 | |

P2 土層解説

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 黒褐色 炭化粒子少量 | 2 褐色 ロームブロック少量 |
|--------------|----------------|



第335図 第2号掘立柱建物跡実測図

P3 土層解説

- | | | | |
|-------|-----------------|-------|-------------------|
| 1 黒褐色 | 炭化粒子少量, ローム粒子微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 2 褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量 | 5 暗褐色 | 焼土粒子・炭化粒子少量 |
| 3 暗褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子微量 | 6 暗褐色 | 炭化粒子少量, 焼土粒子微量 |

P4 土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------|-------|-------------------|
| 1 黒褐色 | 炭化粒子少量, ローム粒子微量 | 3 暗褐色 | 炭化粒子少量, ロームブロック微量 |
| 2 褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | | |

P5 土層解説

- | | | | |
|-------|---------------------|------|-------------------|
| 1 暗褐色 | 炭化粒子少量, 焼土粒子微量 | 3 褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量 | | |

P6 土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------|------|-------------------|
| 1 暗褐色 | 炭化粒子少量, ロームブロック微量 | 3 褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 P1～3・6から土師器片, 須恵器片, 縄文土器片, 土製品1点(不明), 礫1点などが出土しているが, いずれも細片のため, 図示できるようなものはなく, 時期判定は困難である。

所見 出土遺物がいずれも細片であるため, 時期判断が困難である。また, 柱穴の規模や形状から堅固な上屋構造は推測できず, 軽量なものの保管倉庫の可能性がある。

第3号掘立柱建物跡 (第336図)

位置 調査区東部のF3i6～F3j7区に位置し, 北西から南西への緩斜面部に立地している。

重複関係 第6号溝に北東部が掘り込まれている。

規模と構造 P1が第6号溝に掘り込まれているが, 壁面でわずかに確認できた。確認できたのは桁行2間, 梁行2間であるが, 北へ伸びる可能性も考えられる。桁行方向はN-87°-Wの南北棟である。規模は桁行4.12m, 梁行4.10mで, 面積は約16.89㎡である。柱間寸法は, 一部未検出のものもあるが, 桁行2.10m前後, 梁行1.96～2.16mで, P1・7の間で柱穴が確認できなかった。

柱穴 掘り方の平面形は円形・楕円形または不定形で, 深さ21～56cmである。柱の抜き取り痕はP3・5～7で確認され, しまりが弱い。その他は埋土でローム土を主とした暗褐色土や黒褐色土で互層をなしているが, 強く突き固められていない。

P1 土層解説

- | | |
|-------|----------------------|
| 1 暗褐色 | 炭化粒子少量, ローム粒子・焼土粒子微量 |
|-------|----------------------|

P2 土層解説

- | | | | |
|-------|----------------|-------|----------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量 | 2 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量 |
|-------|----------------|-------|----------------|

P3 土層解説

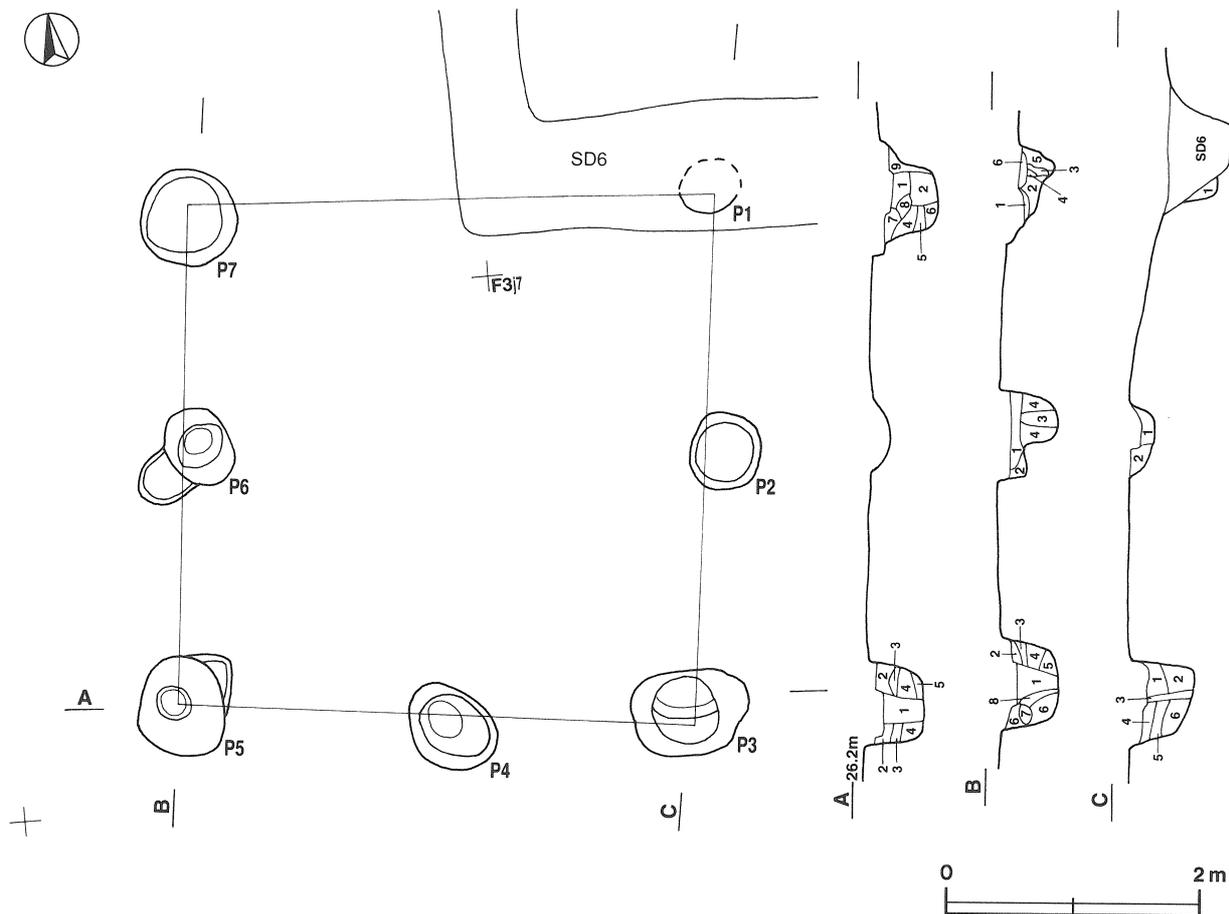
- | | | | |
|-------|-----------------------|-------|------------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック微量 |
| 2 黒褐色 | 炭化粒子微量 | 7 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量 | 8 褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量, 焼土粒子微量 |
| 4 暗褐色 | 焼土粒子・粘土ブロック微量 | 9 褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 5 暗褐色 | 炭化粒子少量, 焼土粒子・粘土ブロック微量 | | |

P5 土層解説

- | | | | |
|-------|----------------------|-------|-------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子・炭化粒子少量, 焼土粒子微量 | 5 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 6 黒褐色 | 炭化粒子少量, ローム粒子微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量 | 7 褐色 | ロームブロック少量 |
| 4 黒褐色 | 炭化粒子少量, ロームブロック微量 | 8 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |

P6 土層解説

- | | | | |
|-------|-----------|-------|-------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量 | 3 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 褐色 | ロームブロック少量 | 4 褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |



第336図 第3号掘立柱建物跡実測図

P7 土層解説

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1 暗褐色 炭化粒子微量 | 4 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量 | 5 暗褐色 ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色 炭化粒子少量, ロームブロック・焼土粒子微量 | 6 暗褐色 ロームブロック微量 |

遺物出土状況 P2～5・7から土師器片, 須恵器片のほか縄文土器や弥生土器などが出土しているが, いずれも細片のため, 図示できるものはなく, 時期判定は困難である。

所見 出土遺物がいずれも細片のため, 時期判断は困難であるが, 時期不明の第6号溝よりも古い時期である。掘り方の規模や形状から堅固な上屋構造は推測できず, 軽量なものの保管倉庫の可能性はある。

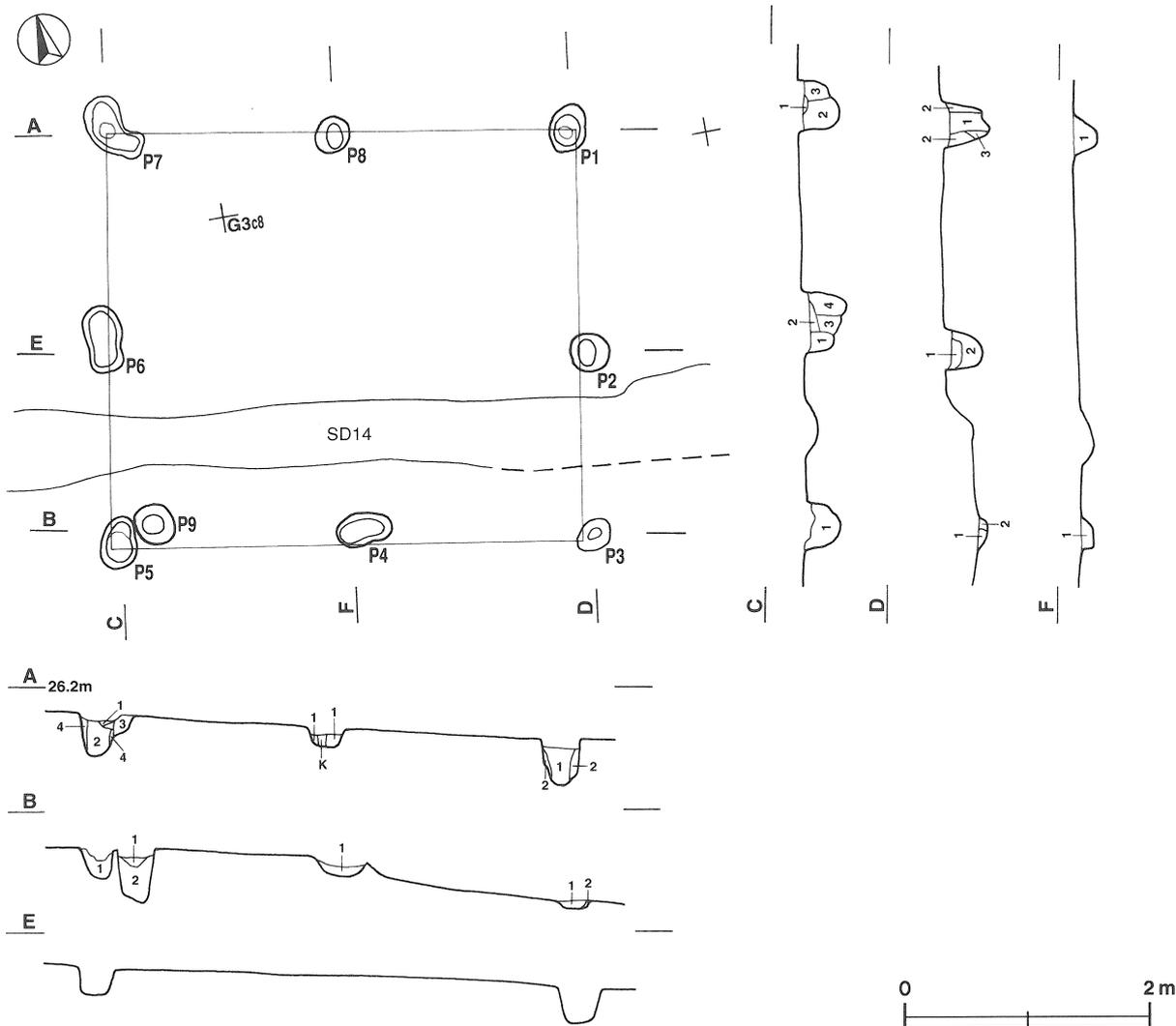
第4号掘立柱建物跡 (第337図)

位置 調査区東部のG3 b7～G3 c8区に位置し, 西から東への緩斜面部に立地している。

重複関係 第14号溝に掘り込まれている。

規模と構造 桁行2間, 梁行2間の側柱建物跡で, 桁行方向はN-82°-Wの東西棟である。規模は桁行3.92m, 梁行3.38mで, 面積は約13.25㎡である。柱間寸法は桁行1.86～2.02m, 梁行1.52～1.90mで梁行き柱間が狭く, 柱間の寸法が異なるが, 柱筋は揃っている。

柱穴 掘り方の平面形は円形, 楕円形または不定形で, 深さ13～30cmである。柱の抜き取り痕はP1・2・6・7で確認され, しまりの弱いロームを主とした暗褐色土で第1層が相当し, その他は埋土でロームを主とした暗褐色土や褐色土で, 突き固められていない。



第337図 第4号掘立柱建物跡実測図

P1 土層解説

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1 暗褐色 炭化粒子少量, ロームブロック微量 | 3 暗褐色 ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | |

P2 土層解説

- | | |
|---------------|------------------|
| 1 暗褐色 ローム粒子少量 | 2 褐色 ロームブロック粒子少量 |
|---------------|------------------|

P3 土層解説

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック微量 | 2 暗褐色 ローム粒子微量 |
|-----------------|---------------|

P4 土層解説

- | |
|-----------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック微量 |
|-----------------|

P5 土層解説

- | |
|----------------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量 |
|----------------------|

P6 土層解説

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 暗褐色 炭化粒子少量, ローム粒子微量 | 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量 | 4 褐色 ロームブロック少量 |

P7 土層解説

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 暗褐色 炭化粒子少量 | 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量 | 4 褐色 ロームブロック少量 |

P8 土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

P9 土層解説

1 暗褐色 炭化粒子少量、ローム粒子微量

2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

遺物出土状況 P1・2・6・7から土師器片、須恵器片、縄文土器片、陶器片、瓦片、礫などが出土しているが、いずれも細片のため、図示できるものはなく、時期判定は困難である。

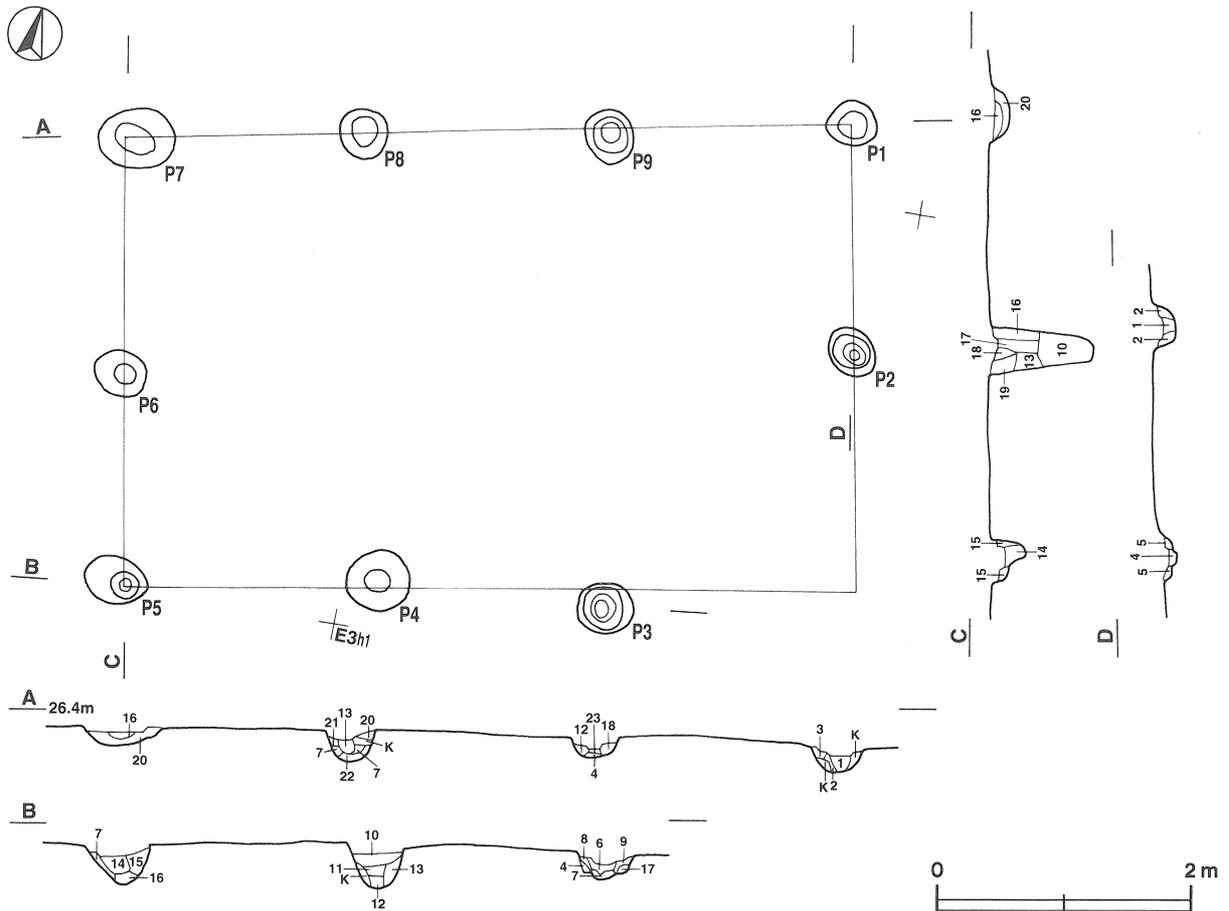
所見 出土遺物がいずれも細片のため、時期判断は困難であるが、掘り方の規模や形状から堅固な上屋構造ではないと推測される。

第5号掘立柱建物跡（第338図）

位置 調査区中央部北寄りのE 2 g0～E 3 g1 区に位置し、平坦部に立地している。

規模と構造 桁行3間、梁行2間の側柱建物跡で、桁行方向はN-79°-Eの東西棟であり、南桁行の東側は未検出である。規模は桁行5.47m、梁行3.64mで、面積は約20.89㎡である。柱間寸法は桁行1.78～2.04m、梁行2.65～1.88mで寸法が異なるが、ほぼ1.80mで統一できる。

柱穴 掘り方は円形、楕円形で、深さ12～82cmである。柱の抜き取り痕はすべての柱穴で確認され、埋め戻された土はしまりが弱く、ロームを主とした焼土ブロック・炭化粒子を含む黒褐色土・暗褐色土・褐色土である。P2～5の底部でわずかに掘り窪んで硬化した部分を確認した。



第338図 第5号掘立柱建物跡実測図

土層解説 (各柱穴共通)

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量
- 5 褐色 ロームブロック中量, 赤色粒子微量
- 6 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量
- 7 褐色 ローム粒子中量, ロームブロック少量
- 8 黒褐色 ロームブロック微量
- 9 褐色 ロームブロック中量
- 10 黒褐色 ロームブロック少量
- 11 黒褐色 ロームブロック少量
- 12 暗褐色 ロームブロック少量
- 13 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 14 黒褐色 ロームブロック少量
- 15 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 16 暗褐色 ロームブロック少量
- 17 黒褐色 ロームブロック少量
- 18 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 19 暗褐色 ロームブロック少量
- 20 褐色 ロームブロック中量
- 21 褐色 ローム粒子多量, ロームブロック中量
- 22 褐色 ロームブロック中量
- 23 黒褐色 赤色粒子少量, ロームブロック・炭化物微量

遺物出土状況 P1・2・4～9から土師器片, 土製品(不明), 礫などが出土しているが, いずれも細片のため, 図示できるものはなく, 時期判定は困難である。

所見 出土遺物がいずれも細片のため, 時期判断は困難である。また, 掘り方の規模や形状から堅固な上屋構造ではないと推測される。

第12号掘立柱建物跡 (第339図)

位置 調査区中央部やや西寄りのF2h6～F2i7区に位置し, 平坦部に立地している。

重複関係 第125号住居跡を掘り込んでいる。

規模と構造 桁行2間, 梁行2間の総柱建物跡で, 桁行方向はN-9°-Wの南北棟である。規模は桁行4.45m, 梁行3.75mで, 面積は約16.69㎡である。柱間寸法は桁行はほぼ2.10m, 梁行はほぼ1.80mで, 梁行きの柱間が狭く, 寸法が異なる。

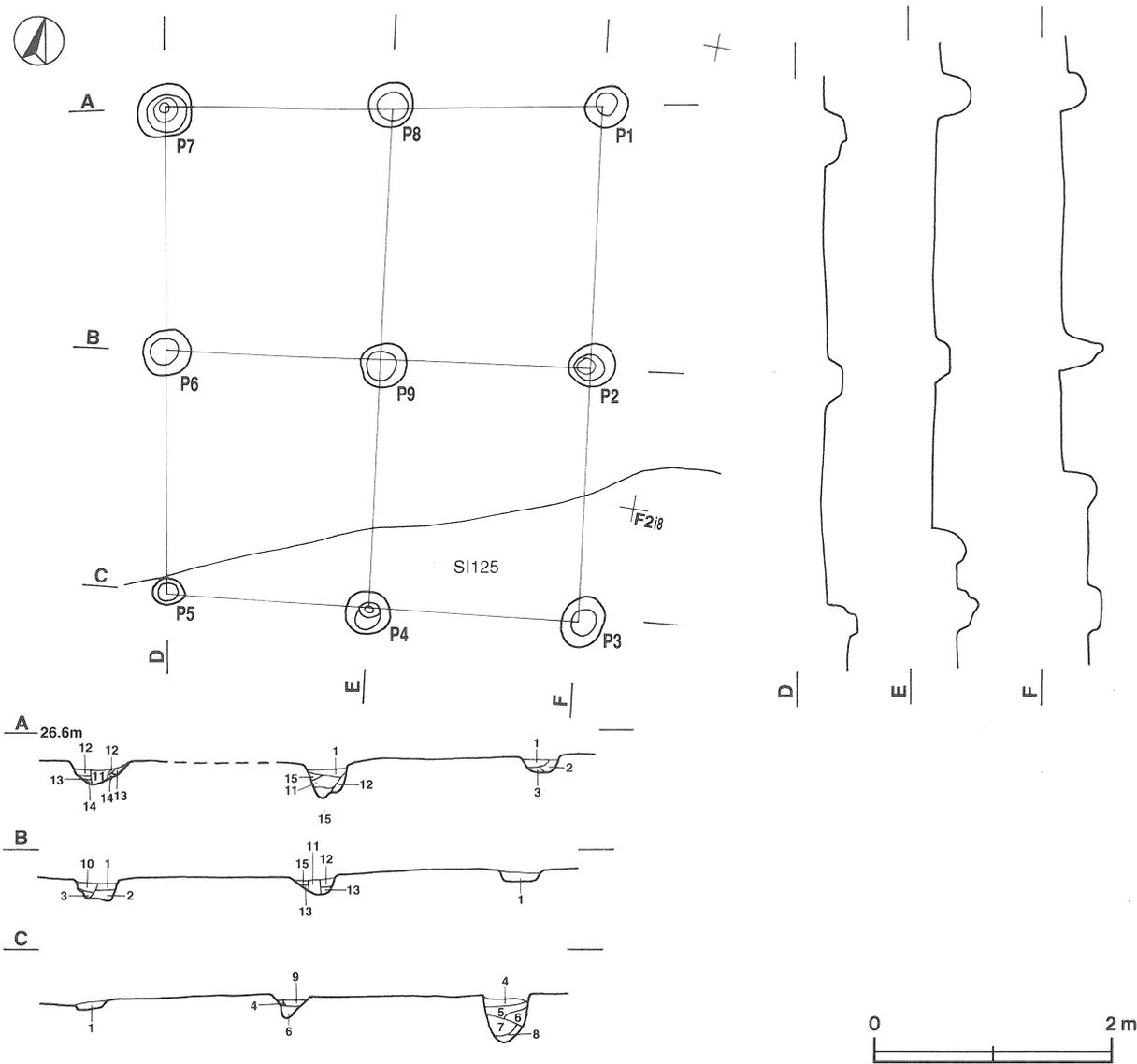
柱穴 掘り方の平面形は円形または楕円形で, 深さ10～43cmである。柱抜き取り痕はP7～9で確認され, しまりの弱いロームブロックを含む黒褐色土の第10・11層が相当し, その他の埋土はロームを主とした暗褐色土または褐色土で, 強く突き固められていない。P3は柱が抜き取られた後に埋め戻された土である。

土層解説 (各柱穴共通)

- | | | | |
|--------|------------------------|--------|--------------------|
| 1 極暗褐色 | ロームブロック少量 | 9 黒褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量 | 10 黒褐色 | ローム粒子少量, ロームブロック微量 |
| 3 褐色 | ロームブロック少量 | 11 黒褐色 | ロームブロック少量 |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・粘土粒子微量 | 12 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 5 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック微量 | 13 暗褐色 | ローム粒子中量, ロームブロック少量 |
| 6 黒褐色 | ロームブロック少量 | 14 褐色 | ローム粒子多量 |
| 7 黒褐色 | ロームブロック少量 | 15 黒褐色 | ロームブロック中量 |
| 8 褐色 | ローム粒子中量 | | |

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 本跡は出土遺物がなく, 時期判断が難しいが, 重複関係のある4世紀後葉の第125号住居跡を掘り込んでいるので, 4世紀後葉以後の時期である。また, 掘り方の規模や形状から堅固な上屋構造は推測できず, 軽量の保管倉庫の可能性がある。



第339図 第12号掘立柱建物跡実測図

第17号掘立柱建物跡（第340図）

位置 調査区南部西寄りのG 2 b1 ~ G 2 c2 区に位置し、台地縁辺部の北から南への斜面地に立地している。

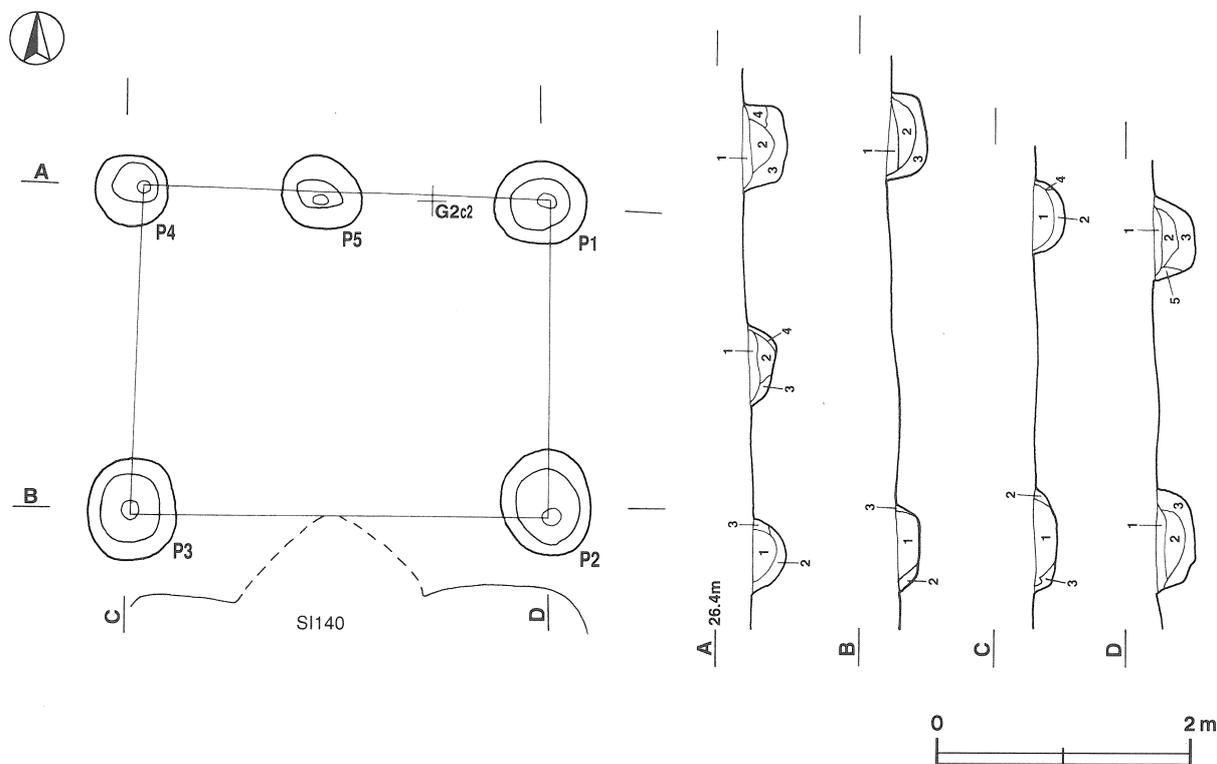
重複関係 第140号住居跡に掘り込まれている。

規模と構造 南桁行の中央部が竈のため未検出であるが、北桁行2間、梁行1間の側柱建物跡で、桁行方向はN-88°-Wの東西棟である。規模は桁行3.31m、梁行2.57mで、面積は約8.51㎡である。柱間寸法は桁行1.40~1.80mで桁行の柱間の寸法が異なり、梁行2.60m前後で、桁行と梁行の寸法も異なる。

柱穴 掘り方の平面形は円形または楕円形で、深さ18~34cmである。柱痕及び柱抜き取り痕は確認されなかったが、柱の底面が当たっていた部分と思われる窪みが確認されている。柱穴の覆土は柱が抜き取られた後に埋め戻されたものである。

P1 土層解説

- | | | | |
|-------|-----------------------|--------|-----------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | 3 極暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック・焼土粒子少量 |



第340図 第17号掘立柱建物跡実測図

P2 土層解説

- | | | | |
|--------|---------------------|--------|---------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 | 3 極暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 極暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | | |

P3 土層解説

- | | | | |
|--------|--------------------|-------|-----------------|
| 1 極暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量 | 3 暗褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量 | | |

P4 土層解説

- | | | | |
|--------|---------------------|------|-----------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | 3 褐色 | ロームブロック多量 |
| 2 極暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量 | 4 褐色 | ローム粒子中量, 炭化粒子微量 |

P5 土層解説

- | | | | |
|--------|-----------------------|--------|----------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | 3 極暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量 |
| 2 極暗褐色 | ロームブロック・炭化物少量, 焼土粒子微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック少量 |

遺物出土状況 P1～3から土師器片, 須恵器片, 縄文土器片, 陶器片などが出土しているが, いずれも細片のため図示できるものはなく, 時期判定は困難である。

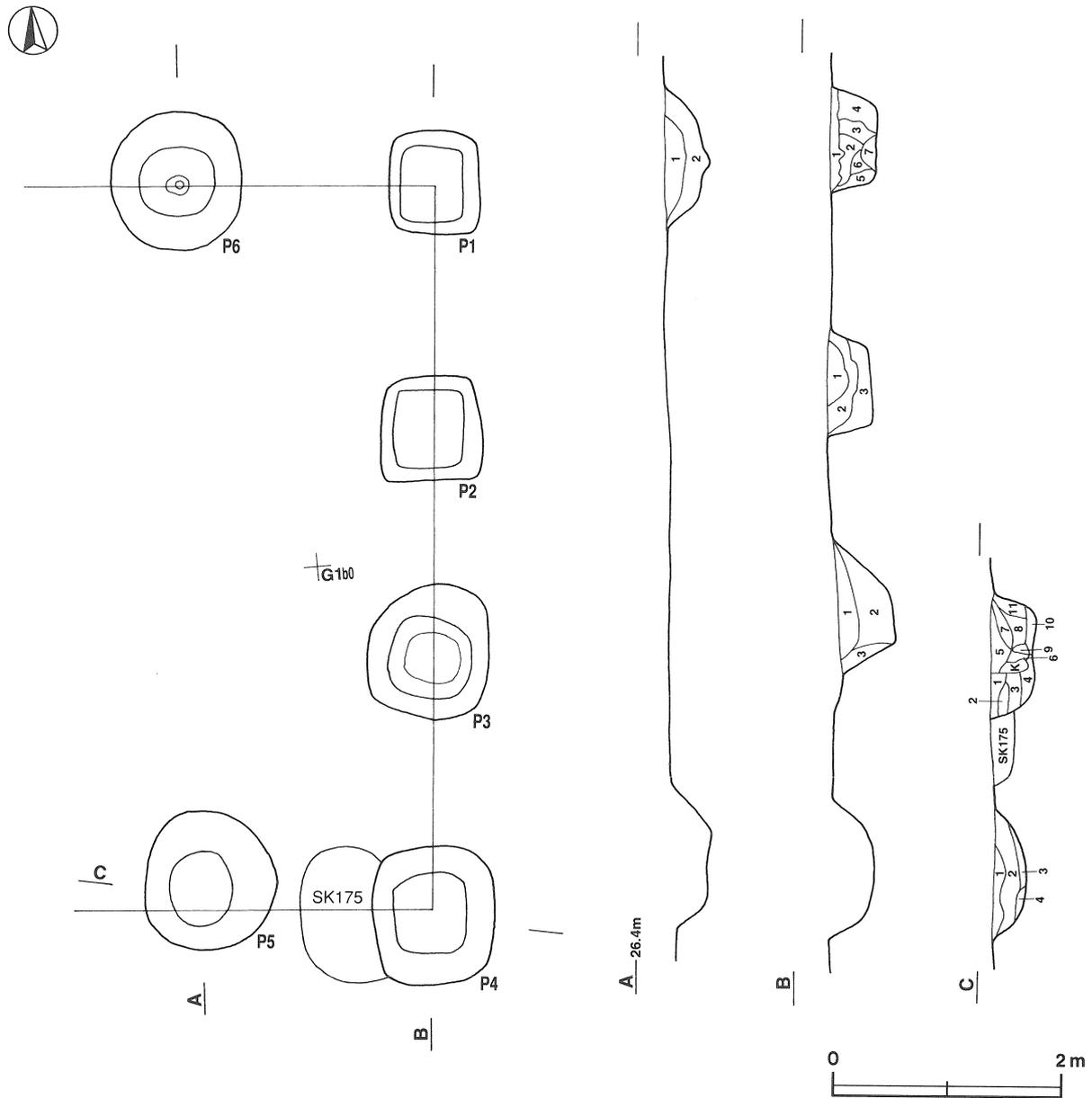
所見 出土遺物はいずれも細片のため, 時期判断は困難であるが, 9世紀末葉から10世紀前葉の第140号住居跡に掘り込まれているので, 9世紀後葉よりも古い時期である。また, 掘り方の規模や形状から堅固な上屋構造は推測できず, 軽量の保管倉庫の可能性はある。

第22号掘立柱建物跡 (第341図)

位置 調査区西部中央のG 1 a9～G 1 b0区に位置し, 平坦部に立地し, 西部が調査区域外へ延びている。

重複関係 第175号土坑を掘り込んでいる。

規模と構造 西部が調査区域外へ延びるため, 確認できたのは桁行3間, 梁行1間であるが西へ延びる。桁行方向はN-7°-Eの南北棟であり, 規模は桁行6.44m, 梁行3.60m以上で, 面積は約23.20㎡である。柱間寸法桁行2.12～2.40m, 梁行2.08～2.20mで寸法が異なる。



第341図 第22号掘立柱建物跡実測図

柱穴 掘り方の平面形は楕円形または円形または方形で、深さ30~54cmである。柱抜き取り痕はすべての柱穴で確認されなかったが、柱の底面が当って窪みが確認され、覆土は柱が抜き取られた後に埋め戻されたものである。

P1 土層解説

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|----------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | 5 褐色 | ロームブロック・焼土粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ローム粒子少量、焼土粒子微量 | 6 暗褐色 | ローム粒子少量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量 | 7 褐色 | ロームブロック・焼土粒子微量 |
| 4 暗褐色 | ロームブロック少量・炭化粒子微量 | | |

P2 土層解説

- | | | | |
|-------|------------------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック微量 | 3 黒褐色 | ロームブロック微量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック微量 | | |

P3 土層解説

- | | | | |
|-------|-----------------------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量 | 3 黒褐色 | ロームブロック微量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子・焼土粒子微量 | | |

P4 土層解説

1 暗褐色	ロームブロック微量	7 極暗褐色	ロームブロック・焼土粒子微量
2 暗褐色	ローム粒子・焼土ブロック微量	8 極暗褐色	ローム粒子・焼土ブロック微量
3 極暗褐色	ロームブロック・焼土ブロック微量	9 極暗褐色	ロームブロック微量
4 極暗褐色	ロームブロック微量	10 極暗褐色	ローム粒子少量
5 暗褐色	ロームブロック・焼土ブロック微量	11 極暗褐色	ローム粒子・焼土ブロック微量
6 極暗褐色	ロームブロック・焼土ブロック微量		

P5 土層解説

1 暗褐色	ロームブロック少量	3 暗褐色	ロームブロック微量
2 黒褐色	ロームブロック・焼土ブロック微量	4 暗褐色	ローム粒子中量

P6 土層解説

1 黒褐色	ロームブロック・炭化粒子微量	2 黒褐色	ローム粒子微量
-------	----------------	-------	---------

遺物出土状況 P1～5から土師器片，須恵器片，縄文土器片が出土している。いずれも細片のため図示できるものはない。

所見 本跡の時期は出土土器が少なく，判断が困難であるが，柱穴の規模や柱間寸法から第18号掘立柱建物跡と同時期の平安時代と考えられ，また，南部中央に位置する第7～9・19～21号掘立柱建物跡よりは堅固な上屋構造とは推測できず，軽量なものの保管倉庫の可能性はある。

(3) 溝

今回の調査で，溝22条が確認された。覆土のしまりが弱く，中・近世の遺構である可能性も考えられるが，いずれも伴う出土遺物がなく，時期は不明である。

第1号溝（第343図・付図）

位置 調査区南部のH3c5～H3e6区に位置し，台地縁辺部に立地している。南部は調査区域外へ延びる。

重複関係 第2・3・5号溝に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ11.10m，規模は上幅103～125cm，下幅16～22cm，深さ20cmである。断面形は浅いU字形を呈し，南方向（N-9°-W）へ直線的に延びている。

覆土 単一層である。覆土が浅く，斜面部に位置しているため，判断が困難である。

土層解説

1 極暗褐色	ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
--------	---------------------

遺物出土状況 土師器片58点（坏32・甕26），須恵器片9点（坏7・甕2），土製品1点（不明），鉄滓1点が出土している。

所見 出土遺物は，いずれも流れ込みによって混入したものである。時期及び性格は不明である。斜面に平行に位置し，台地から低地へ向かっているため，雨水によって自然にでき，排水の役割を持つようになった可能性がある。

第2号溝（第343図・付図）

位置 調査区南部のH3b6～H3b7区に位置し，台地縁辺部に立地している。東部は調査区域外へ延びる。

重複関係 第1号溝を掘り込み，第3・5号溝に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ6.98m，規模は上幅33～60cm，下幅10～27cm，深さ21cmである。断面形は浅いU字形を呈し，南方向（N-88°-E）へ直線的に延びている。

覆土 4層からなる。覆土が浅く判断が困難であるが，ローム粒子のみが含まれることから，自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色	ローム粒子少量	3 黒褐色	ローム粒子少量
2 暗褐色	ローム粒子微量	4 黒褐色	ローム粒子微量

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 出土遺物がなく、時期及び性格は不明である。斜面に直角に位置しているが、台地から低地へ向かっているため、雨水によって自然にでき、排水の役割を持つようになった可能性がある。

第3号溝（第343図・付図）

位置 調査区南部のH3 a8～H3 b6区に位置し、台地縁辺部に立地している。北東部は調査区域外へ延びる。

重複関係 第1・2・4号溝を掘り込み、第5号溝に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ11.42m、規模は上幅25～68cm、下幅5～35cm、深さ11cmであり、断面形は浅いU字形を呈し、H3 c5区からわずかに北東方向（N-53°-E）へ弧を描いて延びている。

覆土 単一層である。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片2点（深鉢）、土師器片30点（坏18・甕12）、須恵器片2点（坏1・甕1）、鉄製品1点（不明）、礫2点が出土している。

所見 出土遺物は、いずれも流れ込みによって混入したものと思われる。時期及び性格は不明である。台地から低地へ向かっているため、雨水によって自然にでき、排水の役割を持つようになった可能性がある。

第4号溝（第343図・付図）

位置 調査区南部のH3 a7～H3 b6区に位置し、台地縁辺部に立地している。

重複関係 第3号溝に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ9.22m、規模は上幅16～47cm、下幅5～30cm、深さ10cmである。断面形は浅いU字形を呈し、H3 b6区から北東方向（N-53°-E）へ直線的に延びている。

覆土 単一層である。ロームブロックを含むが、レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 出土遺物がないため、時期及び性格は不明である。台地から低地へ向かっているため、雨水によって自然にでき、排水の役割を持つようになった可能性がある。

第5号溝（第343図・付図）

位置 調査区南部のH3 b2～H3 b7区に位置し、台地縁辺部に立地している。西部は調査区域外へ延びる。

重複関係 第102・185号住居跡、第1～3・12号溝を掘り込んでいる。

規模と形状 確認できた長さ10.6m、規模は上幅36～144cm、下幅10～39cm、深さ22cmである。断面形はU字形を呈し、H2 b2区から東方向（N-92°-E）へ直線的に延びている。

覆土 2層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量

2 暗褐色 ロームブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片13点（深鉢）、土師器片128点（坏77・甕51）、須恵器片8点（坏3・甕5）、灰釉陶器片1点（不明）、陶器片2点（碗）、土製品1点（不明）、鉄製品1点（不明）、礫2点が出土している。

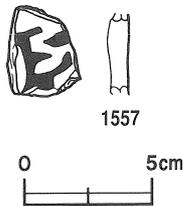
所見 出土遺物は、流れ込みや住居跡を掘り込んだ際に混入したものである。時期及び性格は不明である。斜面に直交し、ほぼ直線的であることから、根切り溝の可能性はある。

第6号溝（第342・343図・付図）

位置 調査区東部のF 3 b7～G 3 i8区に位置し、台地縁辺部に立地している。南部は調査区域外へ延びる。

重複関係 第57・59・75・76・78・87・184号住居跡，第3号掘立柱建物跡，第7・14・23号溝をそれぞれ掘り込んでいる。

規模と形状 確認できた長さ83.55m，規模は上幅47～120cm，下幅14～43cm，深さ50cmであり，断面形はU字形で，方向はG 3 i8区から北方向（N-10°-E）に直線的に延び，F 3 j9区で西方向（N-88°-E）に屈曲して，さらに，F 3 i7区で北方向（N-0°）に屈曲し，わずかに東方向（N-10°-E）に緩やかに曲がりながらF 3 b7区にいたる。



第342図 第6号溝出土遺物実測図

覆土 4層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子・白色粒子微量
- 2 暗褐色 炭化粒子・白色粒子・黒色粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ローム粒子中量，黒色粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片5点（深鉢），土師器片14点（坏8・甕6），須恵器片8点（坏2・高台付坏1・甕5），灰釉陶器片1点（不明），磁器片1点（碗），瓦片1点，礫2点が出土している。

所見 出土遺物は、流れ込みや住居跡・掘立柱建物跡を掘り込んだ際に混入したものと思われる。時期及び性格は不明である。

第6号溝出土遺物観察表（第342図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
1557	土師器	坏	-	(3.6)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部両面ナデ。	覆土中	5%、墨書「□」

第7号溝（第343図・付図）

位置 調査区の東部のF 4 b1～F 3 i9区に位置し、台地縁辺部に立地している。

重複関係 第53・54・74・75・78号住居跡を掘り込み，第6号溝に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ30.0m，規模は上幅51～97cm，下幅13～45cm，深さ23～45cmであり，断面形はU字形で，方向はF 3 i9区から北東方向（N-4°-E）に直線的に延びている。

覆土 3層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 3 暗褐色 炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片13点（深鉢），土師器片29点（坏22・甕7），須恵器片1点（坏），灰釉陶器片1点（不明），瓦片2点，鉄製品1点（不明），礫1点が出土している。

所見 出土遺物は、流れ込みや住居跡を掘り込んだ際に混入したものと思われる。時期及び性格は不明である。

第8号溝（第343図・付図）

位置 調査区の北東部のE 4 i1～F 3 b7区に位置し、台地縁辺部に立地している。

重複関係 第51～53号住居跡を掘り込んでいます。

規模と形状 確認できた長さ27.6m、規模は上幅55～78cm、下幅15～36cm、深さ33cmであり、断面形はU字形で、方向はF 3 b7区からやや南東方向（N-103°-E）に直線的に伸び、F 3 b0区で北東方向（N-11°-E）に屈曲し、E 4 i1区にいたる。

覆土 3層からなる。ブロック状の人為堆積の状況を示している。

土層解説

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1 暗 褐 色 炭化粒子微量 | 3 黒 褐 色 炭化粒子少量 |
| 2 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子少量 | |

遺物出土状況 縄文土器片1点（深鉢）、土師器片4点（坏1・甕3）、須恵器片1点（坏）が出土している。

所見 出土遺物は、流れ込みや住居跡を掘り込んだ際に混入したものと思われる。時期及び性格は不明である。

第9号溝（第343図・付図）

位置 調査区の北部のD 3 d4～D 3 f7区に位置し、台地縁辺部に立地している。北西部と南東部は調査区域外へ延びる。

重複関係 第10号溝を掘り込んでいます。

規模と形状 確認できた長さ12.60m、規模は上幅25～58cm、下幅12～27cm、深さ25cmであり、断面形は浅いU字形で、方向はD 3 f7区から北西方向（N-63°-W）に直線的に伸びている。

覆土 3層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 黒 褐 色 炭化粒子・粘土ブロック微量 | 3 暗 褐 色 粘土ブロック微量 |
| 2 暗 褐 色 粘土ブロック少量 | |

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 出土遺物がないため、時期及び性格は不明である。

第10号溝（第343図・付図）

位置 調査区の北部のD 3 d4～D 3 f3区に位置し、台地縁辺部に立地している。北東部・南西部は調査区域外へ延びる。

重複関係 第9号溝に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ6.88m、規模は上幅37～54cm、下幅24～38cm、深さ25cmであり、断面形は浅いU字形で、方向はD 3 f3区から北東方向（N-35°-E）に直線的に伸びている。

覆土 3層からなる。東からの流れ込みによる自然堆積の状況を示している。

土層解説

- | | |
|------------------------------------|----------------------------------|
| 1 黒 褐 色 焼土粒子・炭化材・炭化物・礫少量、ロームブロック微量 | 3 褐 色 砂粒中量、ロームブロック・炭化粒子・粘土ブロック少量 |
| 2 暗 褐 色 ロームブロック・炭化物・粘土ブロック・砂粒少量 | |

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 出土遺物がなく、時期及び性格は不明である。

第11号溝（第343図・付図）

位置 調査区の南部のH 3 a2区に位置し、台地縁辺部に立地している。西部は調査区域外へ延びる。

重複関係 第12号溝に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ0.48m、規模は上幅142cm、下幅35cm、深さ10cmであり、断面形は浅いU字形で、方向

はH 3 a2区で確認され、東方向(N-84°-E)に直線的に延び、H 3 a3区で第12号溝に掘り込まれている。

覆土 3層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------|-------|---------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 | 3 黒褐色 | ローム粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 出土遺物がなく、時期及び性格は不明である。

第12号溝 (第343図・付図)

位置 調査区の中央部の北から南にかけてのE 2 b0～H 3 e3区に位置し、平坦部から縁辺部にかけて立地している。北・南部は調査区域外へ延びる。

重複関係 第4・39・40・111・122・123・124・133・142・185・193・194号住居跡、第312・468号土坑、第5・11・13号溝を掘り込み、第17～19号溝に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ135.45m、規模は上幅50～135cm、下幅15～89cm、深さ17～22cmであり、断面形はU字形で、方向はH 3 e3区からわずかに西方向に(N-4°-W)に直線的に延びている。

覆土 3層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示しているが、焼土ブロック・ロームブロックなどを含む人為堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|-----------|-------|-----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック微量 | 3 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 | 焼土ブロック少量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片182点(深鉢)、土師器片222点(坏116・高台付坏1・高坏1・甕104)、須恵器片18点(坏11・高坏1・甕6)、灰釉陶器片1点(不明)、土製品2点(支脚)、礫11点が出土している。

所見 出土遺物は、流れ込みや住居跡・掘立柱建物跡・土坑などを掘り込んだ際に混入したものと思われる。また、9世紀後葉の第122号住居跡を掘り込んでいるので、それ以降と考えられるが、詳細な時期は不明である。

第13号溝 (第343図・付図)

位置 調査区の南部のG 3 j2～H 3 a2区に位置し、台地の縁辺部に立地している。西部は調査区域外へ延びる。

重複関係 第12号溝に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ1.70m、規模は上幅40cm、下幅30cm、深さ10cmであり、断面形は浅いU字形で、方向はG 3 j2区で確認され、南東方向(N-130°-E)に直線的に延び、H 3 a2区で第12号溝に掘り込まれている。

覆土 単一層からなる。覆土が薄く、判断が困難である。

土層解説

- | | |
|-------|---------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 |
|-------|---------------------|

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 出土遺物がなく、時期及び性格は不明である。

第14号溝 (第343図・付図)

位置 調査区の中央部東寄りのG 3 c4～G 3 c9区に位置し、台地縁辺部に立地している。西部は調査区域外へ延びる。

重複関係 第81～83・88号住居跡、第4号掘立柱建物跡、第23号溝を掘り込み、第6号溝に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ18.75m, 規模は上幅37~67cm, 下幅13~22cm, 深さ18cmであり, 断面形はU字形で, 方向はG 3 c4 区から東方向 (N-96°-E) に直線的に延びている。

覆土 2層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 出土遺物がないが, 9世紀後葉の第88号住居を掘り込んでいることから, それ以降と考えられる。

第15号溝 (第343図・付図)

位置 調査区の南部のG 3 e6 ~G 3 e8 区に位置し, 台地縁辺部に立地している。

重複関係 第87号住居跡を掘り込み, 第23号溝に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ7.99m, 規模は上幅31~50cm, 下幅10~25cm, 深さ10cmであり, 断面形は浅いU字形で, 方向はG 3 e6 区から東方向 (N-92°-E) に直線的に延び, G 3 e8 区でわずかに南方向に曲がる。

覆土 5層からなる。レンズ状の自然堆積状況を示している。

土層解説

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子微量 | 4 極暗褐色 焼土ブロック・炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 焼土ブロック微量 | 5 暗褐色 ロームブロック少量 |
| 3 黒褐色 ロームブロック微量 | |

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 出土遺物がなく, 7世紀後葉の第87号住居跡を掘り込んでいるので, それ以降と考えられるが, 詳細な時期は不明である。

第17号溝 (第343図・付図)

位置 調査区の北部中央寄りのE 2 g9 区に位置し, 平坦部に立地している。

重複関係 第12号溝を掘り込み, 第19号溝に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ3.80m, 規模は上幅95cm, 下幅50cm, 深さ10cmであり, 断面形は浅いU字形で, 方向は東方向 (N-52°-E) に直線的に延びている。

覆土 5層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック中量 | 4 暗褐色 ロームブロック中量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック少量 | 5 褐色 ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色 ロームブロック中量 | |

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 出土遺物がなく, 時期及び性格は不明である。

第18号溝 (第343図・付図)

位置 調査区の北部中央寄りのE 2 f0 ~E 3 f2 区に位置し, 平坦部に立地している。

重複関係 第12号溝を掘り込み, 第106号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ9.05m, 規模は上幅86cm, 下幅43cm, 深さ10~18cmであり, 断面形は浅いU字形で, 方向はE 2 f0 から東方向 (N-75°-E) に直線的に延びている。

覆土 2層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 出土遺物がなく, 時期及び性格は不明である。

第19号溝 (第343図・付図)

位置 調査区の北部中央寄りのE 2 g8 ~ E 2 h9 区に位置し, 平坦部に立地している。

重複関係 第37号住居跡・第12・17号溝を掘り込んでいる。

規模と形状 確認できた長さ6.10m, 規模は上幅45~110cm, 下幅21~48cm, 深さ14cmであり, 断面形は浅いU字形で, 方向はE 2 h9 区から西方向 (N-85°-W) に直線的に延びている。

覆土 2層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片9点 (深鉢), 土師器片3点 (坏), 須恵器片1点 (甕) が出土している。

所見 出土遺物は, 流れ込みや住居跡を掘り込んだ際に混入したものと思われる。6世紀後半の第37号住居跡を掘り込んでいるので, それ以降と考えられるが, 詳細な時期は不明である。

第20号溝 (第343図・付図)

位置 調査区の北部のD 3 i2 ~ E 3 a5 区に位置し, 台地縁辺部に立地している。

重複関係 第3号住居跡を掘り込んでいる。

規模と形状 確認できた長さ15.07m, 規模は上幅46~96cm, 下幅16~61cm, 深さ19cmであり, 断面形はU字形で, 方向はE 3 a5 区から西方向 (N-66°-W) にわずかに弧を描くように延びている。

覆土 4層からなる。ブロック状の人為堆積の状況を示している。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 出土遺物は, 流れ込みや住居跡を掘り込んだ際に混入したものと思われ, 7世紀前葉の第3号住居跡を掘り込んでいるので, それ以降と考えられるが, 詳細な時期は不明である。

第21号溝 (第343図・付図)

位置 調査区の北部のD 3 j3 ~ E 3 a5 区に位置し, 台地縁辺部に立地している。

重複関係 第3号住居跡, 第368号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 確認できた長さ9.00m, 規模は上幅42~81cm, 下幅24~39cm, 深さ10~15cmであり, 断面形はU字形で, 方向はE 3 a5 区から北西方向 (N-40°-W) にわずかに弧を描くように延びる。

覆土 3層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック・粘土ブロック少量

遺物出土状況 土師器片11点(坏4・甕7), 陶器片2点(不明), 鉄製品4点(不明)が出土している。

所見 出土遺物は, 流れ込みや住居跡を掘り込んだ際に混入したものと思われ, 7世紀前葉の第3号住居跡を掘り込んでいるので, それ以降と考えられるが, 詳細な時期は不明である。

第22号溝 (第343図・付図)

位置 調査区の中央部のE3h4～E3i3区に位置し, 南西から北東への斜面部に立地している。西部は調査区域外で, 北東部は攪乱を受けている。

重複関係 第47号住居跡, 第472号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 確認できた長さ6.5m, 規模は上幅292cm, 下幅272cm, 深さ16cmであり, 断面形はU字形で, 方向はE3i3区から北東方向(N-46°-E)に直線的に延びている。

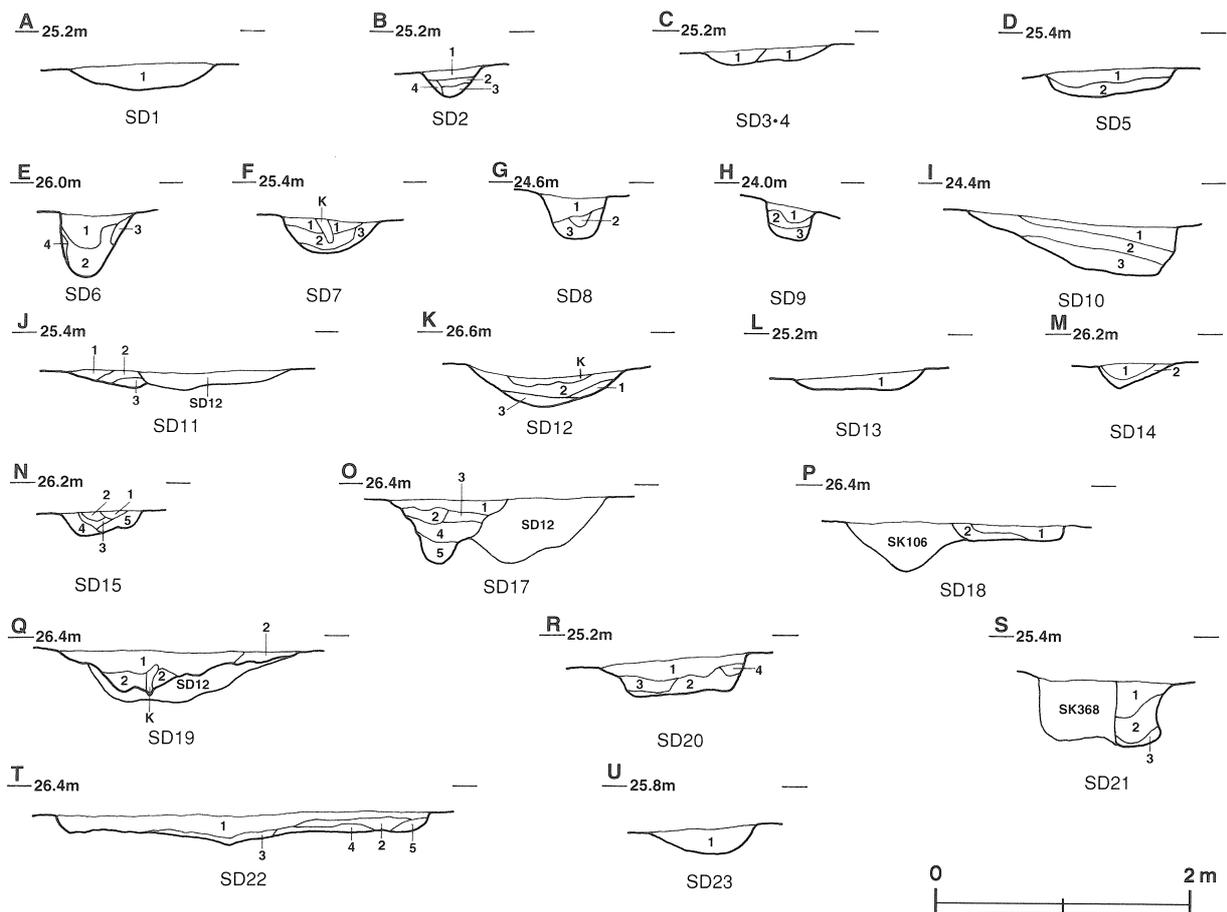
覆土 5層からなる。西から流れ込んだ自然堆積の状況を示している。

土層解説

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1 黒褐色 焼土ブロック少量, ロームブロック微量 | 4 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量 | 5 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量 |
| 3 褐色 ロームブロック中量 | |

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 出土遺物は, 流れ込みや住居跡を掘り込んだ際に混入したものと思われ, 6世紀後半と考えられる第47号住居跡を掘り込んでいるので, それ以降と考えられるが, 詳細な時期は不明である。



第343図 第1～15・17～23号溝実測図

第23号溝（第343図・付図）

位置 調査区の南部のG 3 c8～G 3 g8区に位置し、台地縁辺部に立地している。

重複関係 第87・89号住居跡，第15号溝を掘り込み，第6・14号溝に掘り込まれている。

規模と形状 確認できた長さ17.40m，規模は上幅43～92cm，下幅22～50cm，深さ8～12cmで，断面形は浅いU字形で，方向はG 3 g8区から北東方向（N-9°-E）に直線的に延びている。

覆土 単一層である。覆土も薄く，判断が困難である。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 出土遺物はない。

所見 出土遺物は，流れ込みや住居跡を掘り込んだ際に混入したものと思われ，7世紀後葉の第87号住居跡を掘り込んでいるので，それ以降と考えられるが，詳細な時期は不明である。

(4) 土坑

第130号土坑（第344図）

位置 調査区北西部のE 2 a3区に位置し，平坦部に立地している。

規模と形状 長径1.26m，短径1.11mの楕円形であり，深さ29cmで底面はほぼ平坦である。主軸はN-66°-Wで，壁は外傾して立ち上がる。

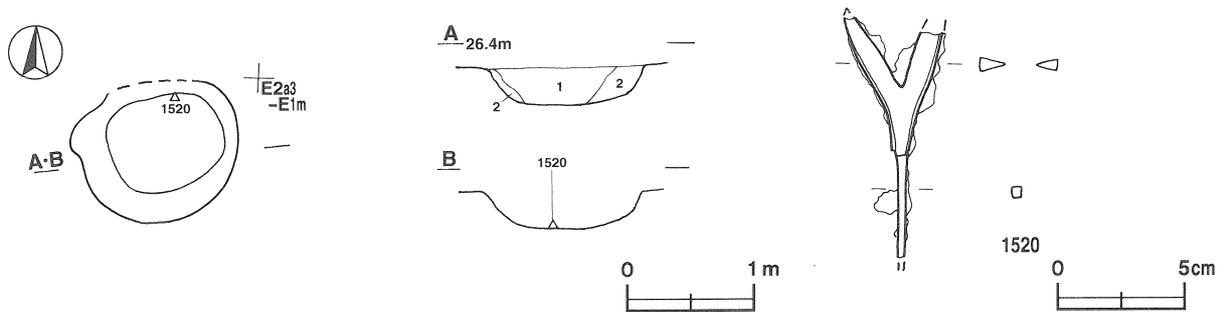
覆土 2層からなる。ブロック状の人為堆積の状況を示している。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 鉄製品1点（鏃）が北部の底面から出土している。混入した縄文土器片2点が出土している。

所見 本跡の性格及び時期は不明であるが，出土した鉄鏃は雁股式で，奈良時代以降の出土例が多く，周辺には平安時代の第12・14号住居跡が位置しているので，関係があると考えられる。



第344図 第130号土坑・出土遺物実測図

第130号土坑出土遺物観察表（第344図）

番号	器種	計測値				材質	特徴	出土位置	備考
		長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)				
1520	鏃	9.6	(4.1)	0.5	(17.2)	鉄	切先一部欠損。鏃身部雁股。	北部下層	

第132号土坑（第345図）

位置 調査区北西部のF1c0区に位置し、平坦部に立地している。

重複関係 第246号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径4.95m、短径2.77mの長楕円形であり、深さ116cmで、底面は皿状である。主軸はN-0°で、壁面は外傾して立ち上がる。

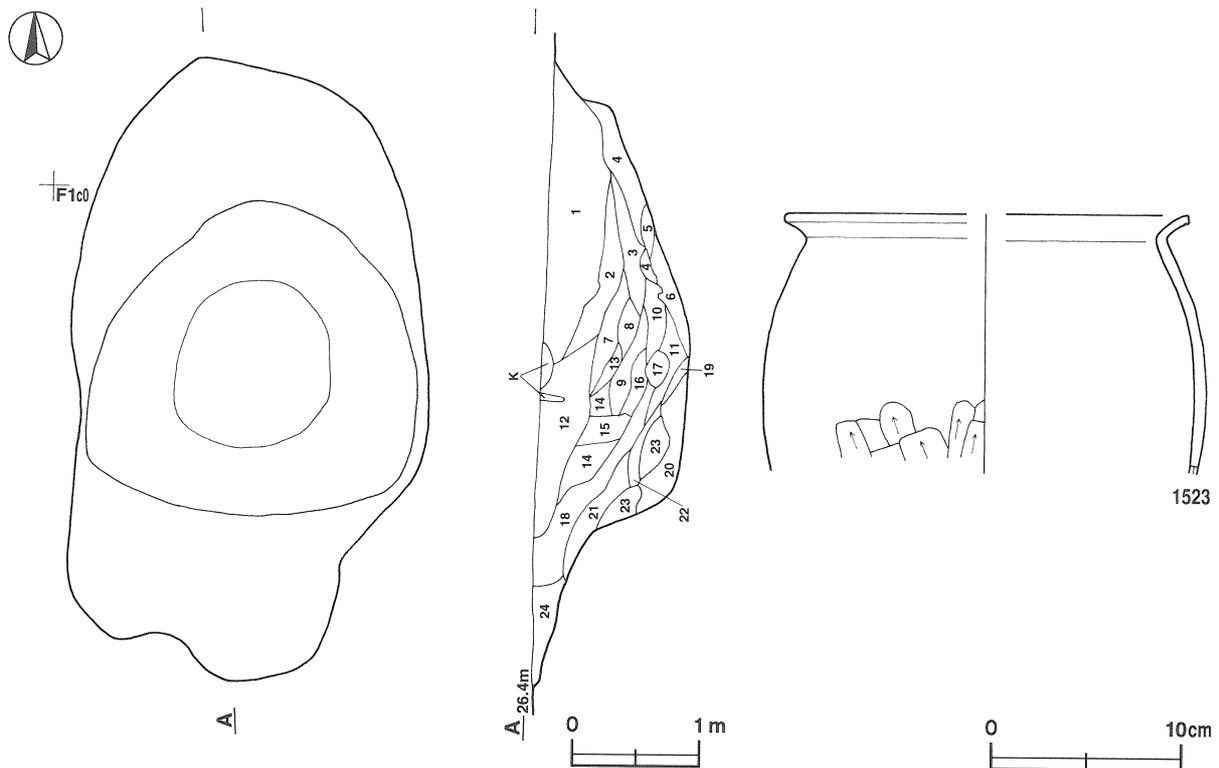
覆土 24層からなる。レンズ状の堆積状況を示しているが、ロームブロックを含んだ人為堆積と考えられる。

土層解説

1	暗褐色	ローム粒子・炭化粒子少量、焼土ブロック微量	13	暗褐色	ロームブロック少量、炭化粒子微量
2	褐色	ロームブロック少量、炭化粒子微量	14	褐色	ロームブロック少量
3	暗褐色	ロームブロック・焼土粒子微量	15	褐色	ロームブロック少量
4	褐色	ロームブロック少量	16	褐色	炭化物微量
5	褐色	ロームブロック少量	17	褐色	ロームブロック少量
6	褐色	ロームブロック少量	18	暗褐色	ロームブロック少量、炭化粒子微量
7	暗褐色	ロームブロック少量、炭化粒子・白色粒子微量	19	褐色	ロームブロック少量、炭化粒子微量
8	暗褐色	ロームブロック・炭化粒子少量	20	褐色	ロームブロック少量
9	暗褐色	ロームブロック・炭化粒子微量	21	褐色	ローム粒子中量、ロームブロック・炭化粒子微量
10	黒褐色	ロームブロック・炭化物・礫微量	22	暗褐色	ローム粒子少量、ロームブロック・炭化粒子微量
11	暗褐色	ロームブロック・炭化物微量	23	褐色	ロームブロック中量、炭化粒子微量
12	暗褐色	ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量	24	暗褐色	ロームブロック少量、焼土粒子・黒色粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片19点（深鉢），土師器片6点（高台付坏1・甕5）が出土している。これらの遺物は覆土中から出土している。

所見 本跡の性格及び時期は不明である。



第345図 第132号土坑・出土遺物実測図

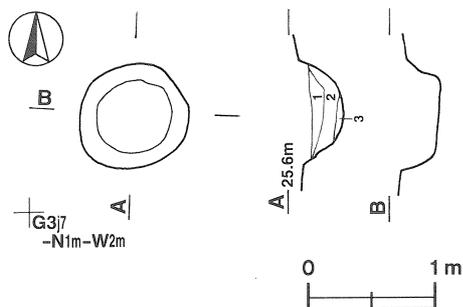
第132号土坑出土遺物観察表（第345図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
1523	土師器	甕	[21.0]	(13.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部両面横ナデ。	覆土中	10%

第146号土坑（第346図）

位置 調査区南部のG 3 i 6 区に位置し、平坦部に立地している。

規模と形状 長径0.90m、短径0.84mの円形で、深さ30cmで、底面はほぼ平坦である。主軸はN-46°-Eであり、壁面は外傾して立ち上がる。



覆土 3層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子多量

遺物出土状況 鉄製品2点（釘）が覆土中から出土している。

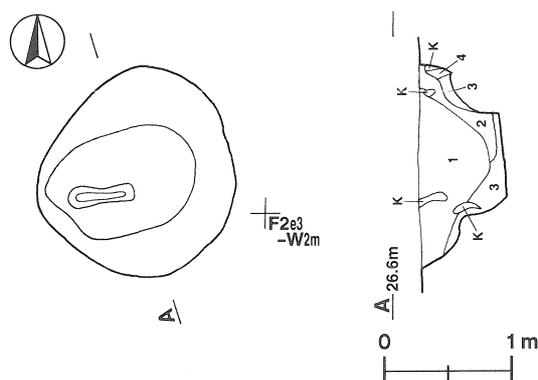
所見 本跡の性格は不明で、出土遺物から時期判断は困難である。

第346図 第146号土坑実測図

第215号土坑（第347図）

位置 調査区中央部のF 2 d 2 区に位置し、平坦部に立地している。

規模と形状 長径1.67m、短径1.57mの楕円形で、深さ76cmで、底面はほぼ平坦で、底面に長径56cm、短径16cmの長楕円形で、深さ68cmの窪みがある。主軸はN-0°で、壁面は垂直で立ち上がり、確認面から深さ40cmで外傾して、確認面にいたる。



覆土 4層からなる。ブロック状の堆積状況を示した人為堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 炭化粒子少量、ローム粒子微量

遺物出土状況 石片1点が中央部の底面から出土している。

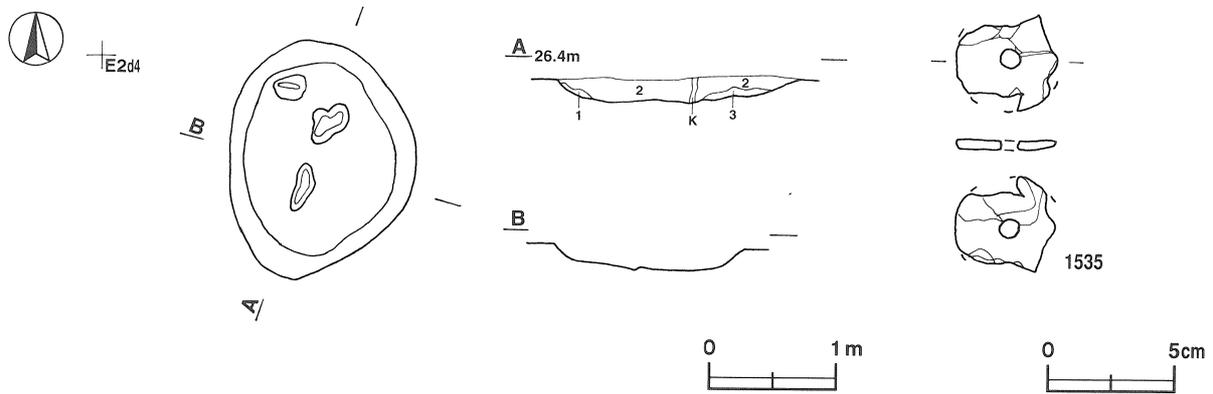
所見 本跡の時期及び性格は不明であるが、底面には長楕円形の窪みがあり、長軸方向に雲母片岩の切石（長さ12cm、幅8cm）が出土している。

第347図 第215号土坑実測図

第234号土坑（第348図）

位置 調査区北西部中央寄りのE 2 d 4 区に位置し、平坦部に立地している。

規模と形状 長径1.85m、短径1.50mの楕円形であり、深さ18cmで、底面はほぼ平坦であるが、深さ5～8cmの不定形の窪みがある。主軸はN-20°-Eで、壁は外傾して立ち上がる。



第348図 第234号土坑・出土遺物実測図

覆土 3層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量，炭化粒子微量
 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片21点（深鉢），土師器片100点（坏47・甕53），須恵器片4点（坏3・甕1），石製品1点（紡錘車），礫2点が出土している。これらは覆土中から出土している。

所見 本跡の性格は不明で，時期は土師器片や石製紡錘車などが出土しているが，埋没過程で混入したものと考えられるので判断が困難である。

第234号土坑出土遺物観察表（第348図）

番号	器種	計測値				材質	特徴	出土位置	備考
		径(cm)	厚さ(cm)	孔径(cm)	重量(g)				
1535	紡錘車	(3.9)	(0.4)	0.7	(6.8)	粘板岩	無文。	覆土中	30%

第297号土坑（第349図）

位置 調査区中央部のF2i9区に位置し，平坦部に立地している。

重複関係 第121号住居跡の南西コーナー部を掘り込んでいる。

規模と形状 径0.72mの円形で，深さ46cmで，底面はほぼ平坦である。主軸はN-0°であり，壁面は直立する。

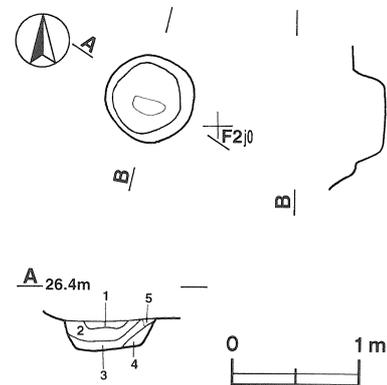
覆土 5層からなる。レンズ状の堆積状況を示しているが，ロームブロックを含む人為堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
 2 黒褐色 ロームブロック少量，炭化物微量
 3 黒褐色 ローム粒子少量，炭化物微量
 4 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
 5 暗褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 土師器片13点（坏7・甕6），須恵器片2点（坏・甕），礫1点，炭化材，骨粉が出土している。これらの土器はほとんどが覆土中で，骨粉が焼土や炭化材とともに出土しているが，底面は焼けた痕跡がない。このほかには，混入した縄文土器片6点が出土している。

所見 本跡の性格は焼土や炭化材と骨粉と思われるものが出土している



第349図 第297号土坑実測図

ので墓壙と考えられる。底面が焼けた痕跡がないので他の場所で火葬し、その後、この場所に埋めたと考えられる。時期は9世紀後葉の第121号住居跡を掘り込んでいるので、それ以後と考えられる。

第444号土坑（第350図）

位置 調査区南部中央のG 2 j0 区に位置し、北から南への斜面部に立地している。

規模と形状 長径0.97m、短径0.64mの楕円形で、深さ53cmで、底面は皿状である。主軸はN-83°-Wで、壁面は外傾して立ち上がる。

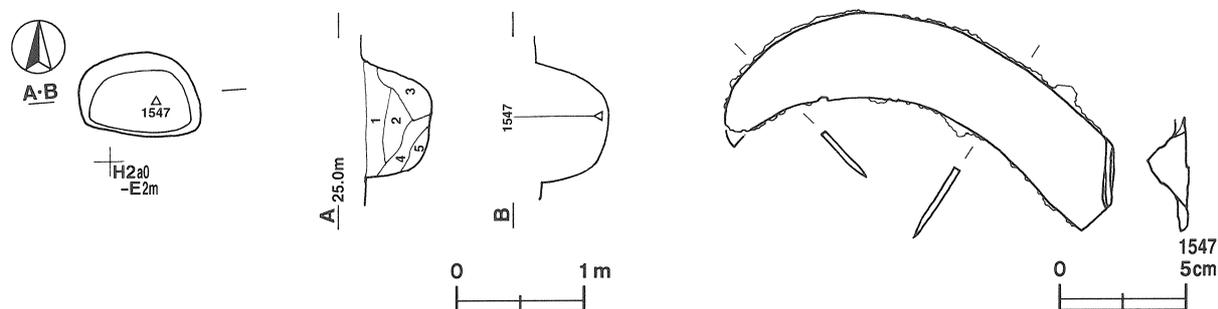
覆土 5層からなる。レンズ状の自然堆積の状況を示している。

土層解説

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック微量 | 5 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量 |
| 3 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量 | |

遺物出土状況 縄文土器片24点（深鉢），土師器片25点（坏13・甕12），須恵器片12点（坏5・甕7），鉄製品2点（鎌）が出土している。これらはほとんどが中央部の覆土上層から中層にかけて出土している。

所見 本跡の時期は斜面上に立地するため、多く遺物が混入したと考えられ、時期判断は困難である。

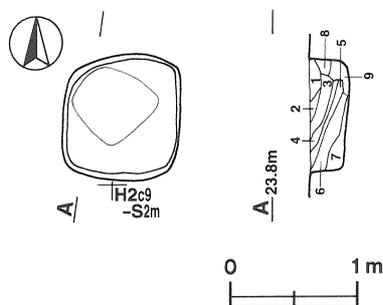


第350図 第444号土坑・出土遺物実測図

第444号土坑出土遺物観察表（第350図）

番号	器種	計測値				材質	特徴	出土位置	備考
		長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)				
1547	鎌	15.4	3.3	1.25	60.8	鉄	曲刃鎌。柄付部三角形。	中央部下層	PL118

第462号土坑（第351図）



位置 調査区南部東寄りのH 2 c9 区に位置し、平坦部に立地している。

重複関係 第198号住居跡の中央部を掘り込んでいる。

規模と形状 第198号住居跡の調査途中で確認し、大部分を掘り込んでしまい、確認できた長径1.01m、短径0.92mの方形で、深さ30cmで、底面はほぼ平坦で、主軸はN-0°であり、壁面は垂直で立ち上がる。

第351図 第462号土坑実測図

覆土 9層からなる。ブロック状の堆積状況を示した人為堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|--------|---------------------|---------|-----------------------|
| 1 黒褐色 | 焼土粒子・炭化粒子・粘土粒子微量 | 6 極暗赤褐色 | 粘土粒子少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量 |
| 2 暗赤褐色 | 焼土ブロック・炭化粒子・粘土粒子微量 | 7 黒褐色 | 粘土粒子少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量 |
| 3 黒褐色 | 焼土ブロック・炭化粒子・粘土粒子微量 | 8 黒褐色 | 粘土粒子少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量 |
| 4 黒褐色 | 焼土粒子少量, 炭化粒子・粘土粒子微量 | 9 灰黄褐色 | 粘土粒子多量, 焼土粒子・炭化物微量 |
| 5 黒褐色 | 焼土ブロック・炭化粒子・粘土粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片39点, 土師器片9点(坏4・甕5), 須恵器片2点(坏・高台付坏), 土製品2点(不明)が覆土中から出土している。

所見 本跡の時期及び性格は不明であるが, 焼土や粘土が多く, 壁面に貼りつけたような状況で確認できた。

(5) その他の土坑 (第352~369図)

今回の調査で時期不明の土坑406基が検出された。出土遺物はほとんどなく, 時期及び性格が不明な土坑である。位置や規模については一括して一覧表に記述する。

第1号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量

第2号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量

第3号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

第6号土坑土層解説

- 1 暗褐色 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 炭化粒子少量, ローム粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 褐色 ロームブロック少量

第7号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子・粘土ブロック少量

第8号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 6 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 7 褐色 ロームブロック中量

第9号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 4 黒褐色 ロームブロック微量
- 5 褐色 ロームブロック少量
- 6 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量

第10号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第11号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化物微量
- 2 暗褐色 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量

第22号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第24号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 焼土ブロック微量
- 3 暗褐色 ローム粒子・焼土ブロック微量

第25号土坑土層解説

- 1 黒褐色 粘土ブロック少量, ローム粒子微量
- 2 黒褐色 粘土ブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 3 にぶい黄褐色 粘土ブロック中量

第26号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土粒子・炭化粒子少量, ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量

第27号土坑土層解説

- 1 褐色 炭化物中量, ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・粘土ブロック少量, 焼土粒子・炭化物微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化材・炭化粒子・礫微量

第29号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 炭化粒子・粘土ブロック少量
- 3 暗褐色 炭化粒子少量, 粘土ブロック微量
- 4 黒褐色 炭化粒子少量

第30号土坑土層解説

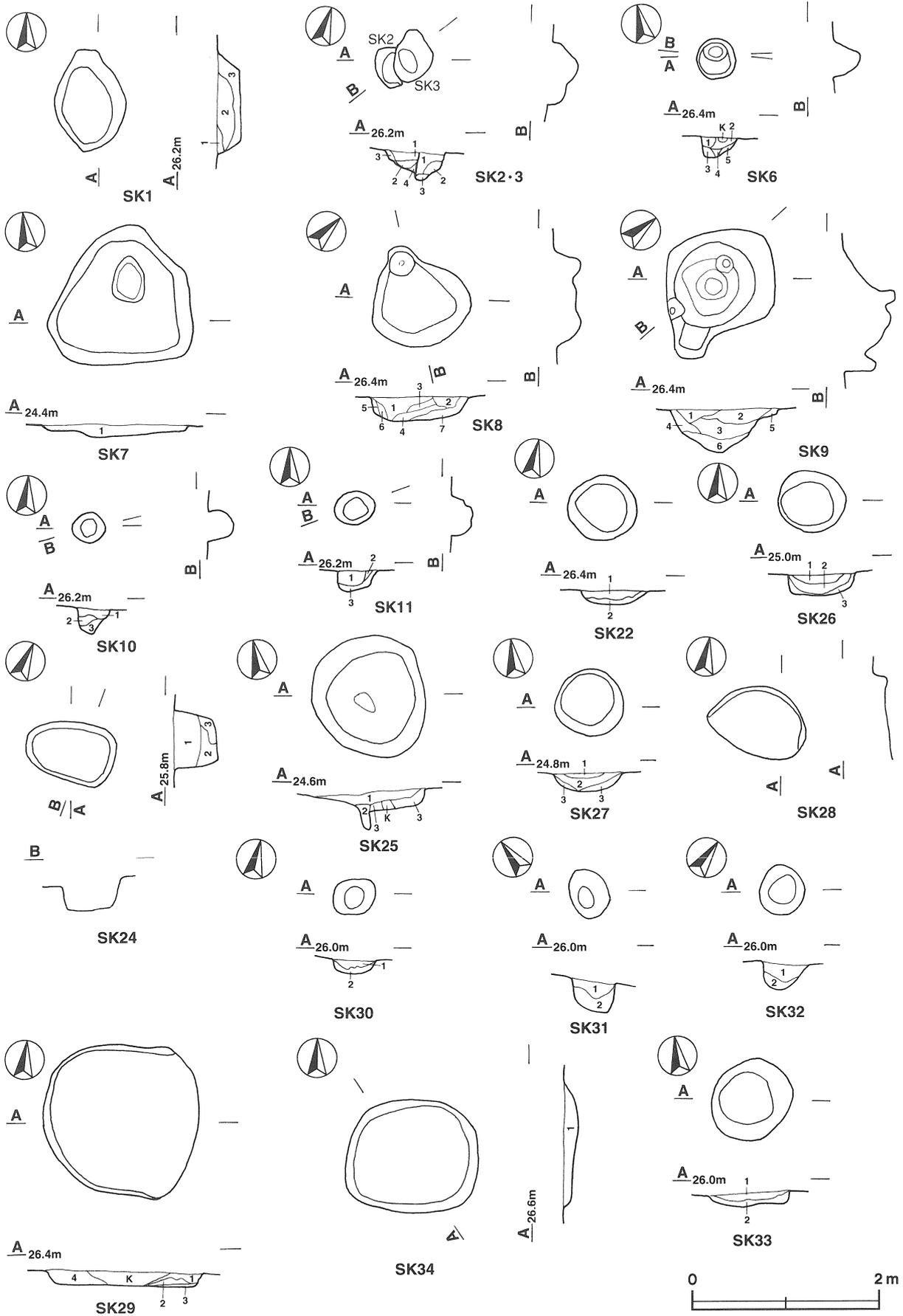
- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子
- 2 褐色 ロームブロック中量

第31号土坑土層解説

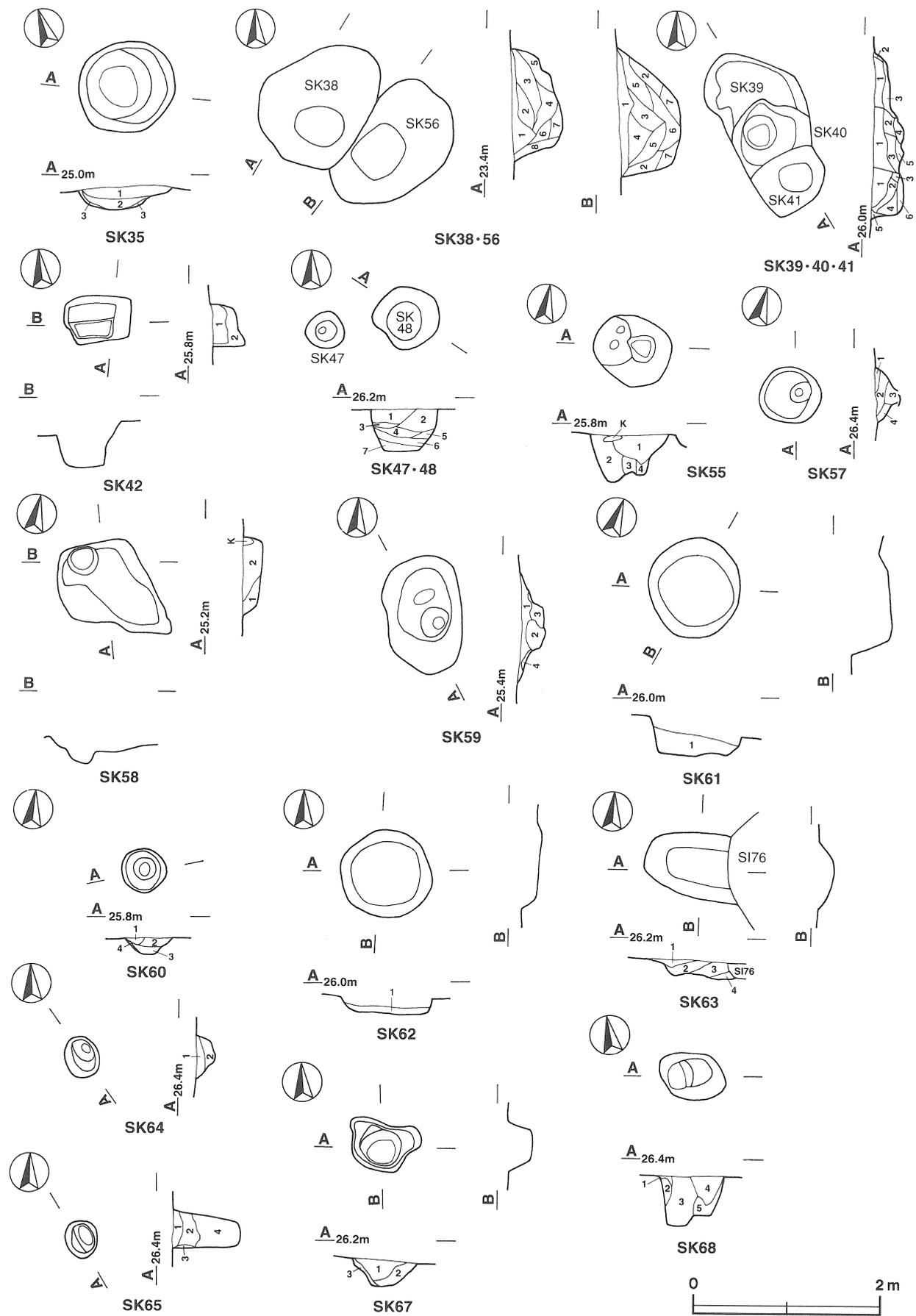
- 1 暗褐色 ロームブロック・粘土ブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第32号土坑土層解説

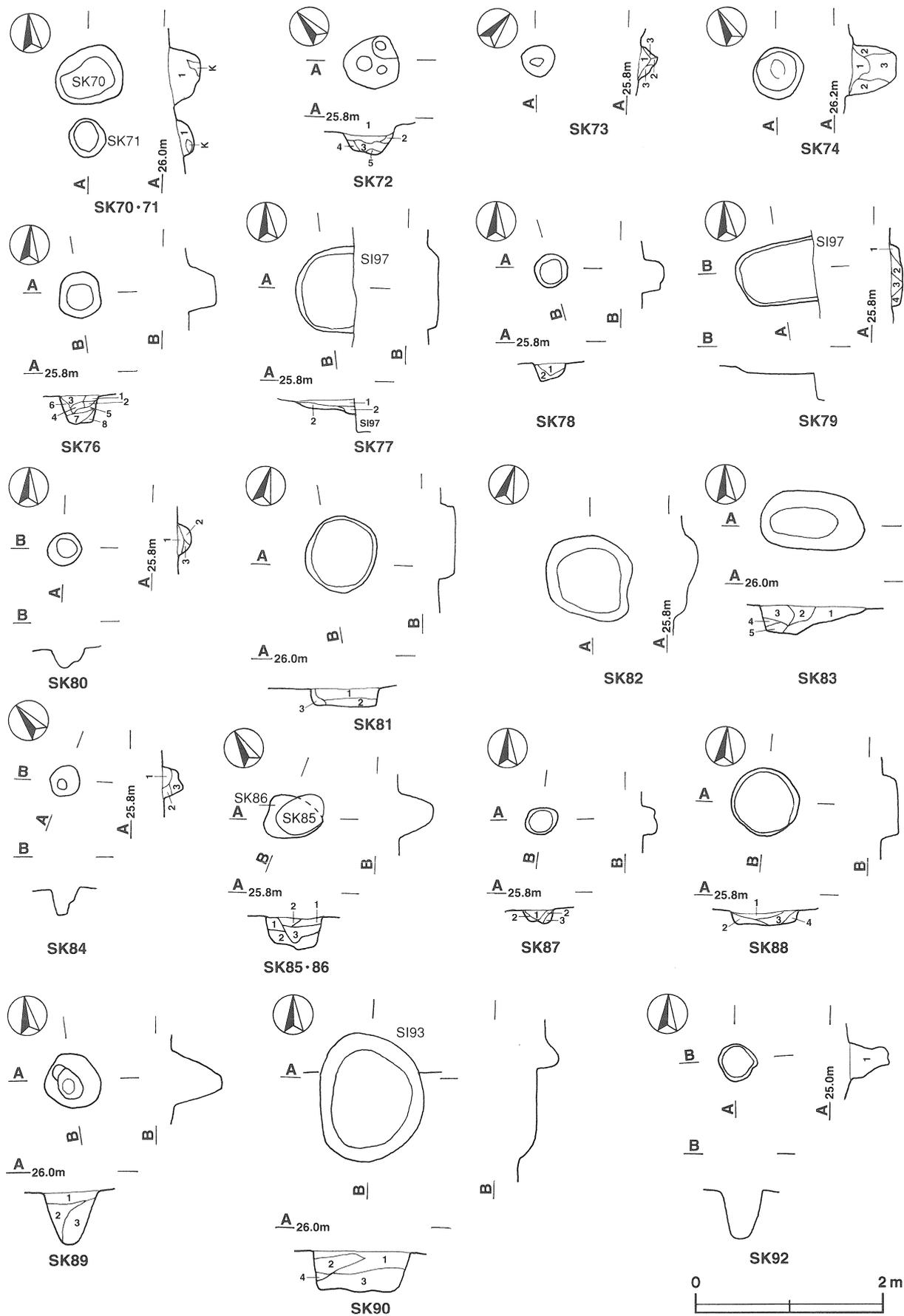
- 1 暗褐色 ロームブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック中量



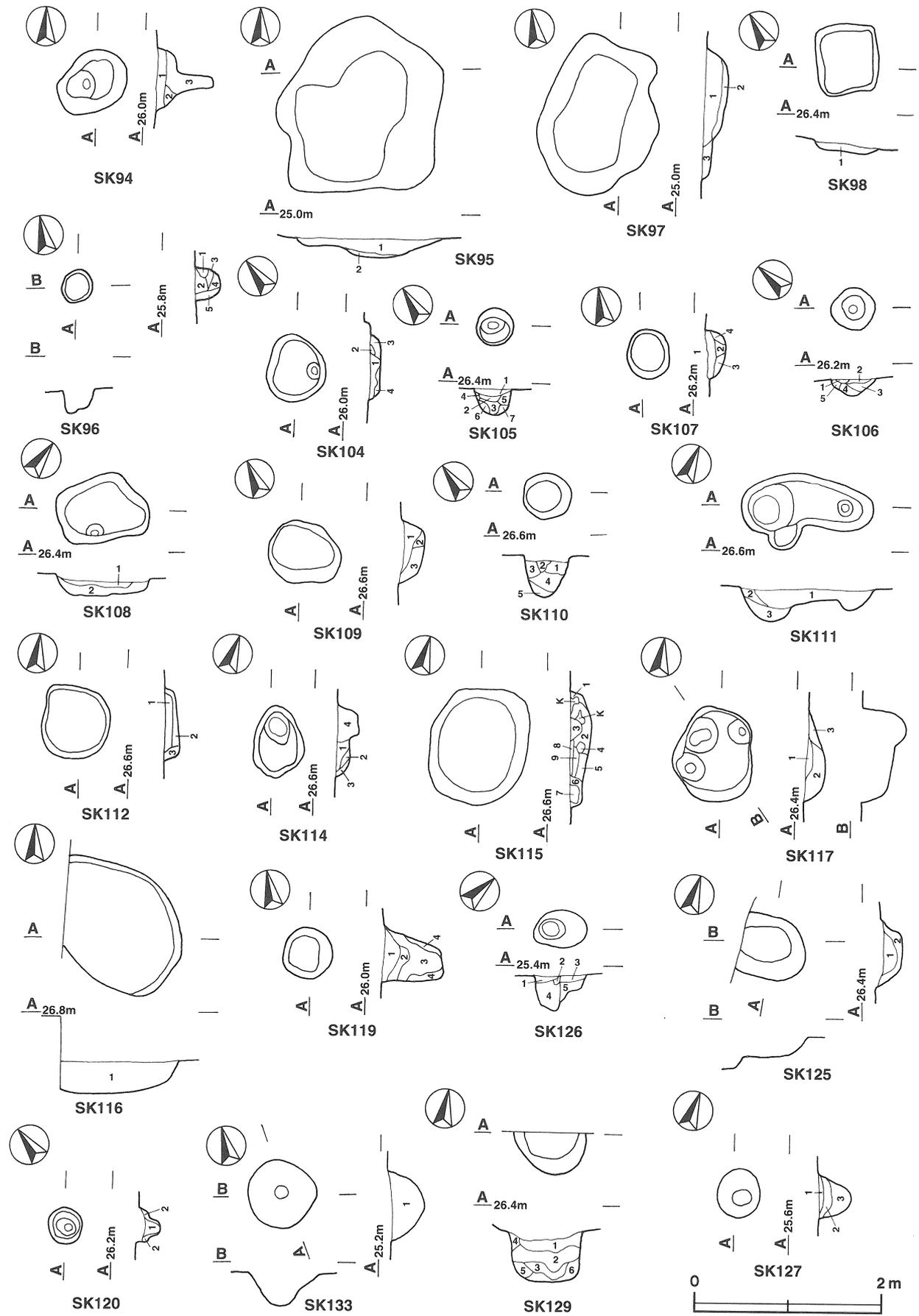
第352図 その他の土坑実測図(1)



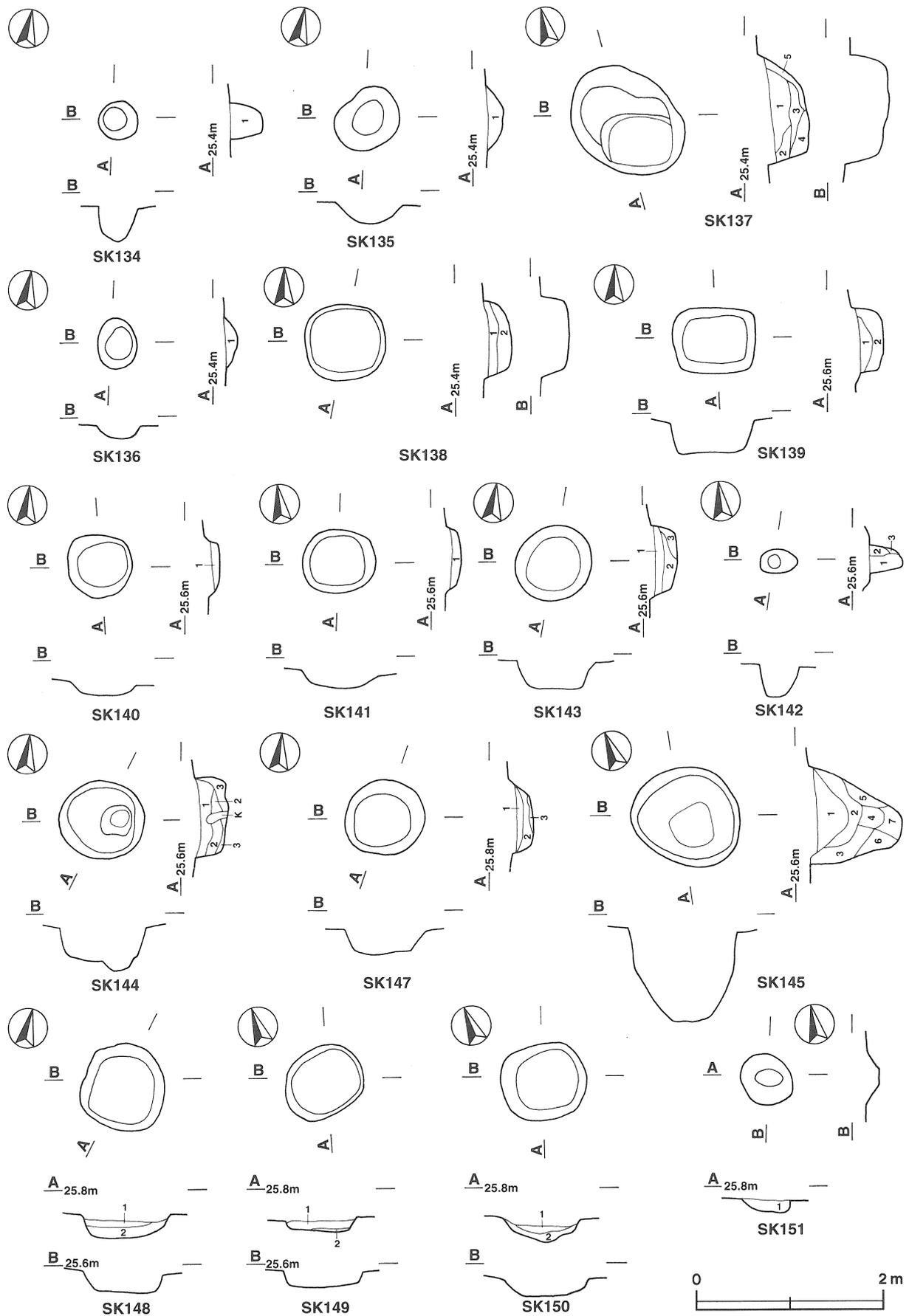
第353図 その他の土坑実測図(2)



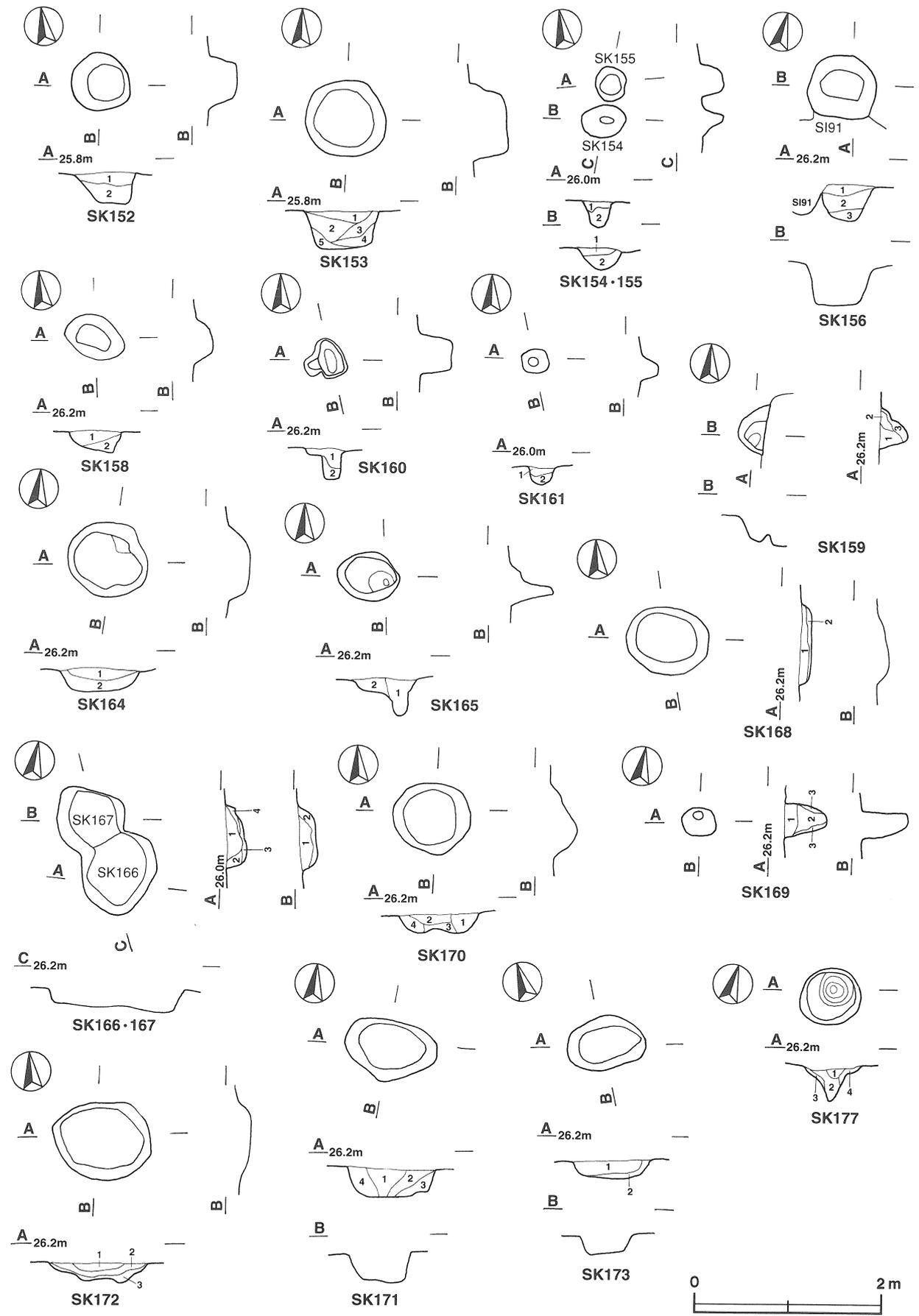
第354図 その他の土坑実測図(3)



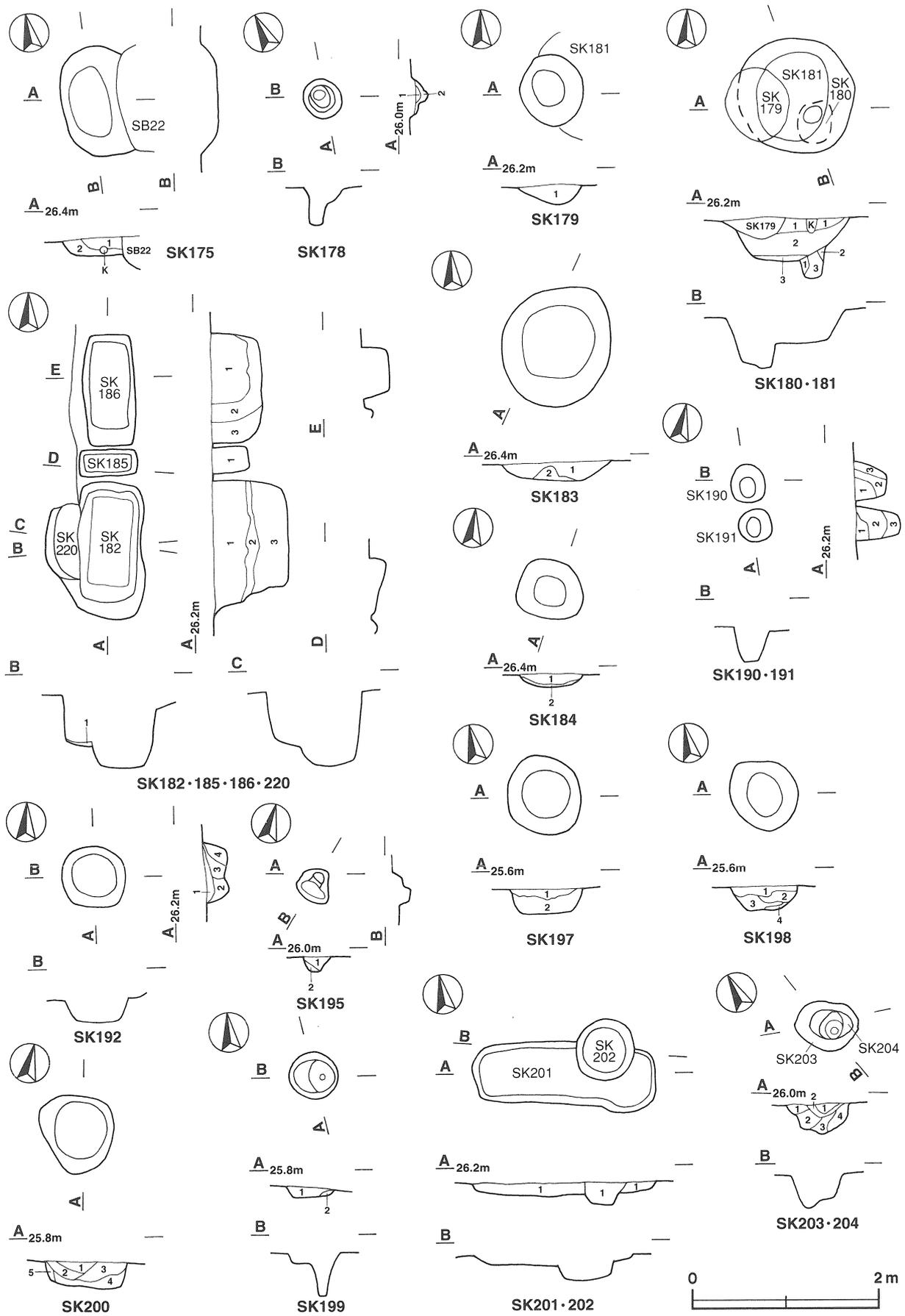
第355図 その他の土坑実測図(4)



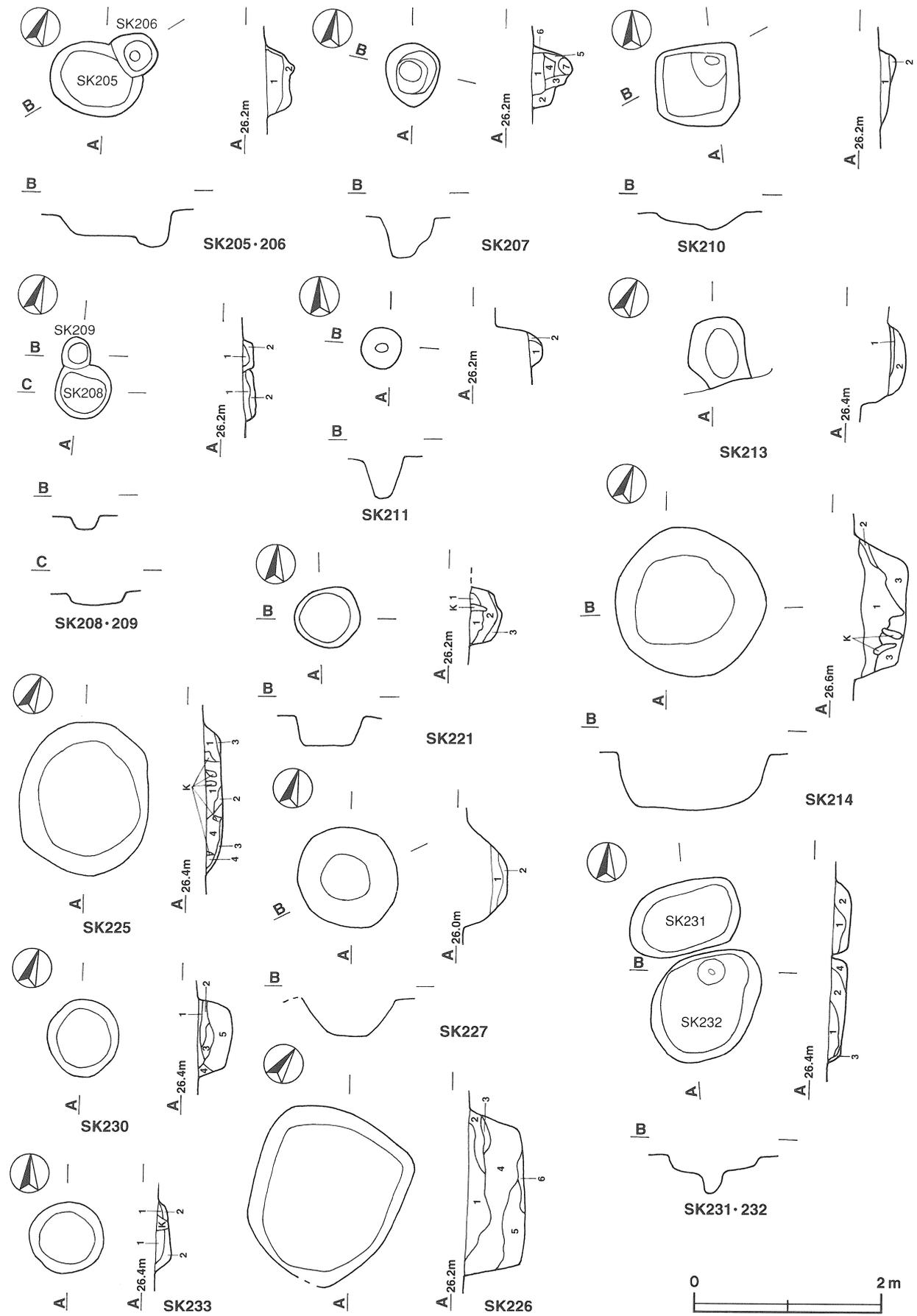
第356図 その他の土坑実測図(5)



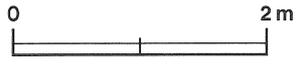
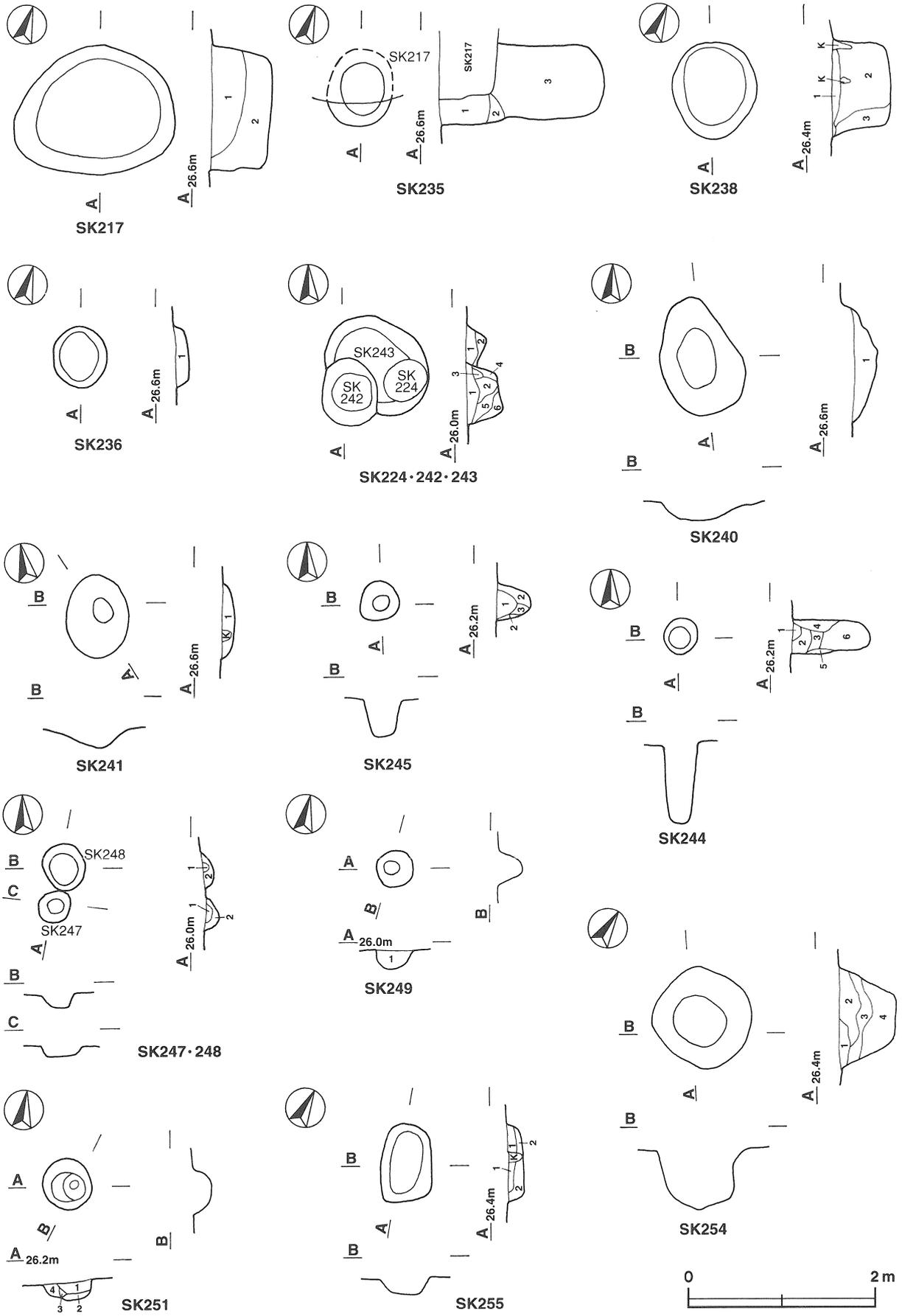
第357図 その他の土坑実測図(6)



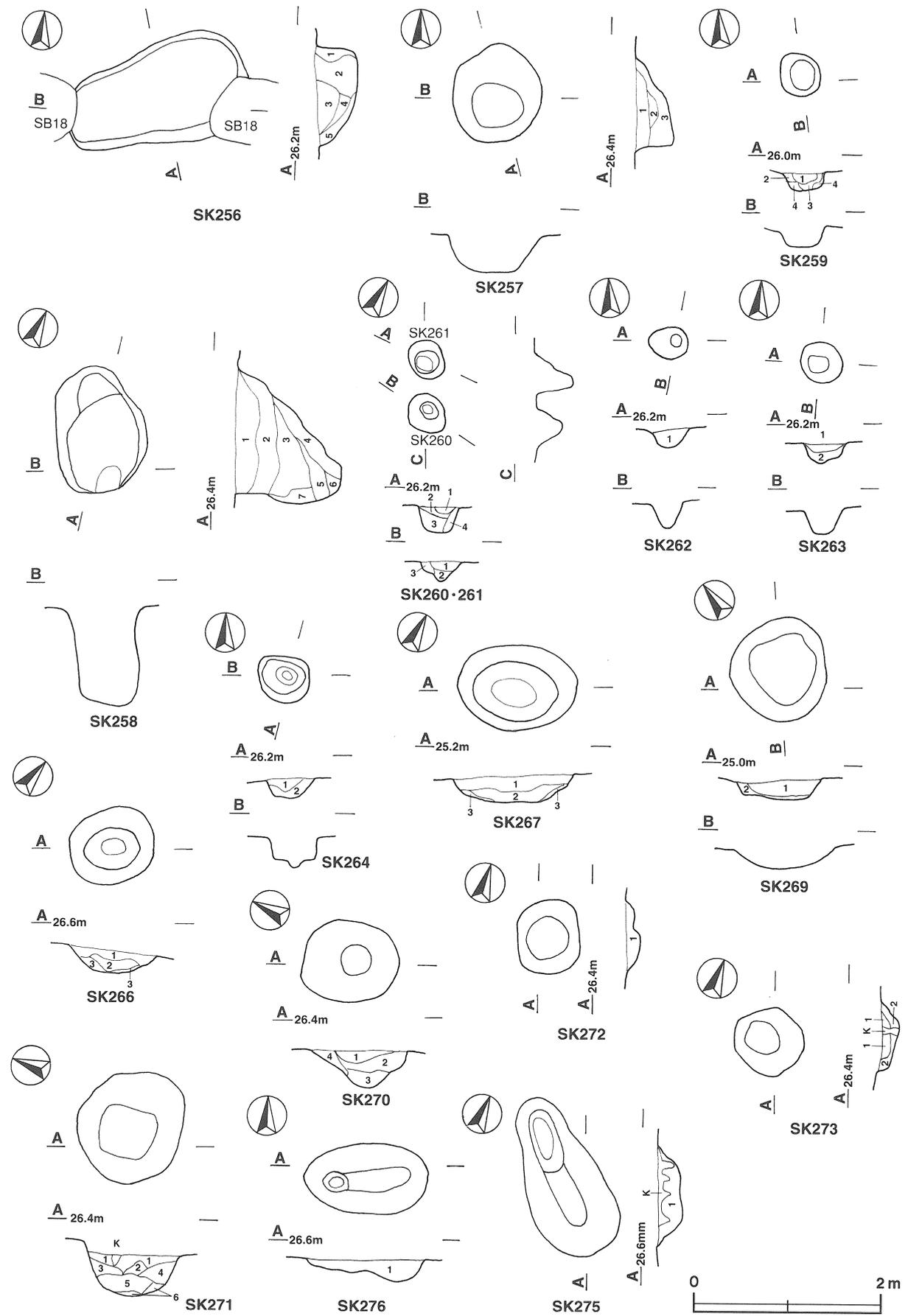
第358図 その他の土坑実測図(7)



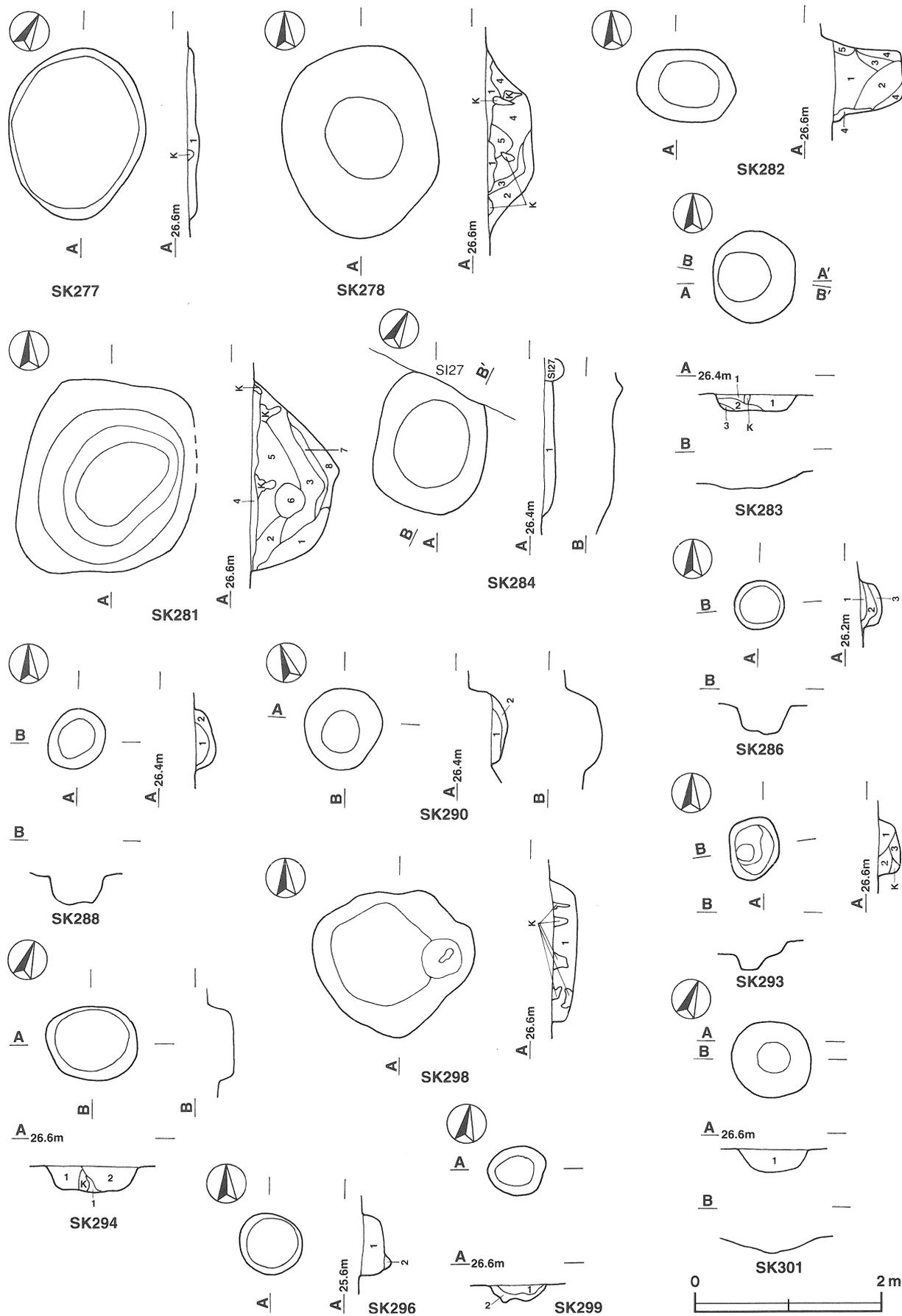
第359図 その他の土坑実測図(8)



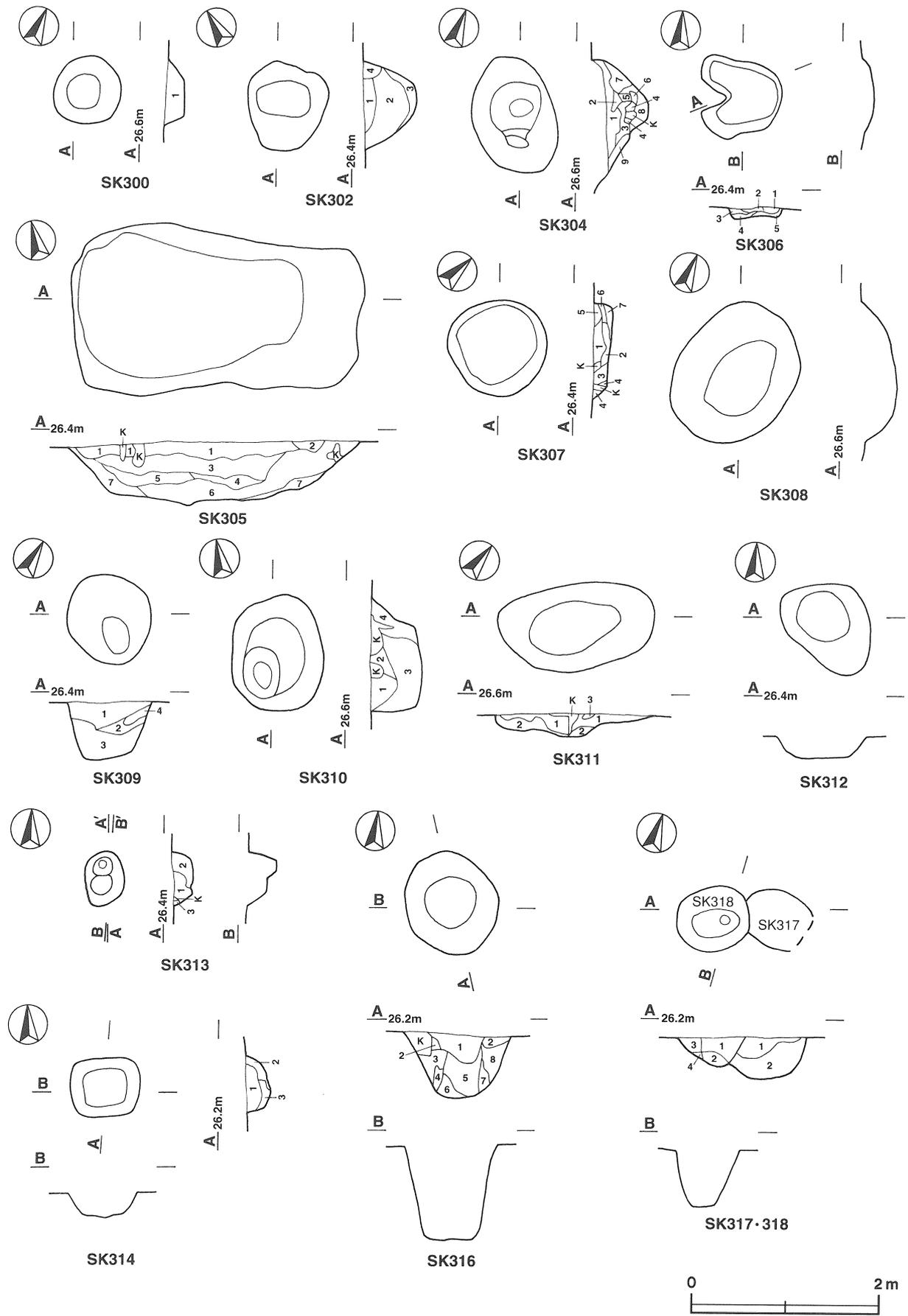
第360図 その他の土坑実測図(9)



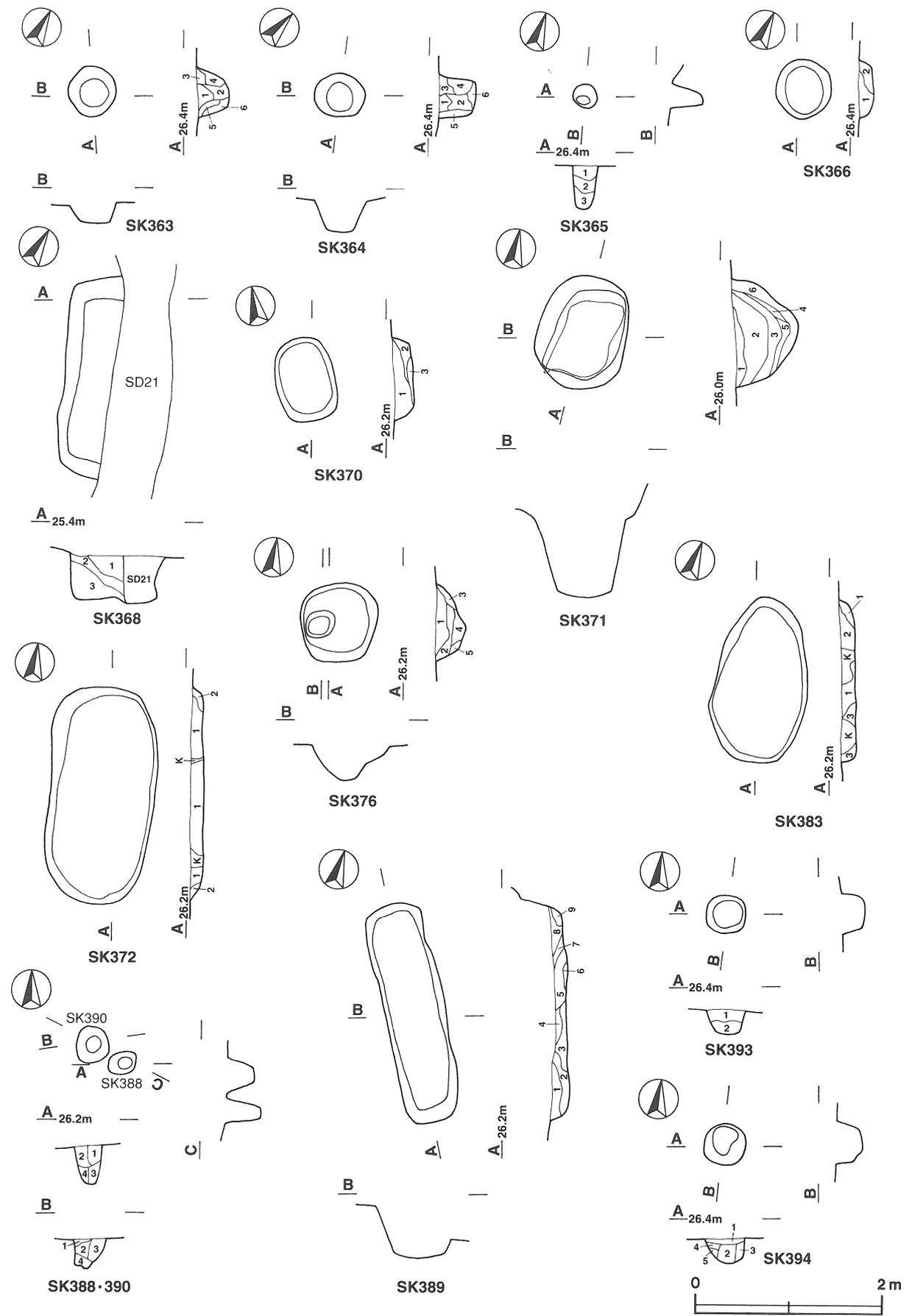
第361図 その他の土坑実測図(10)



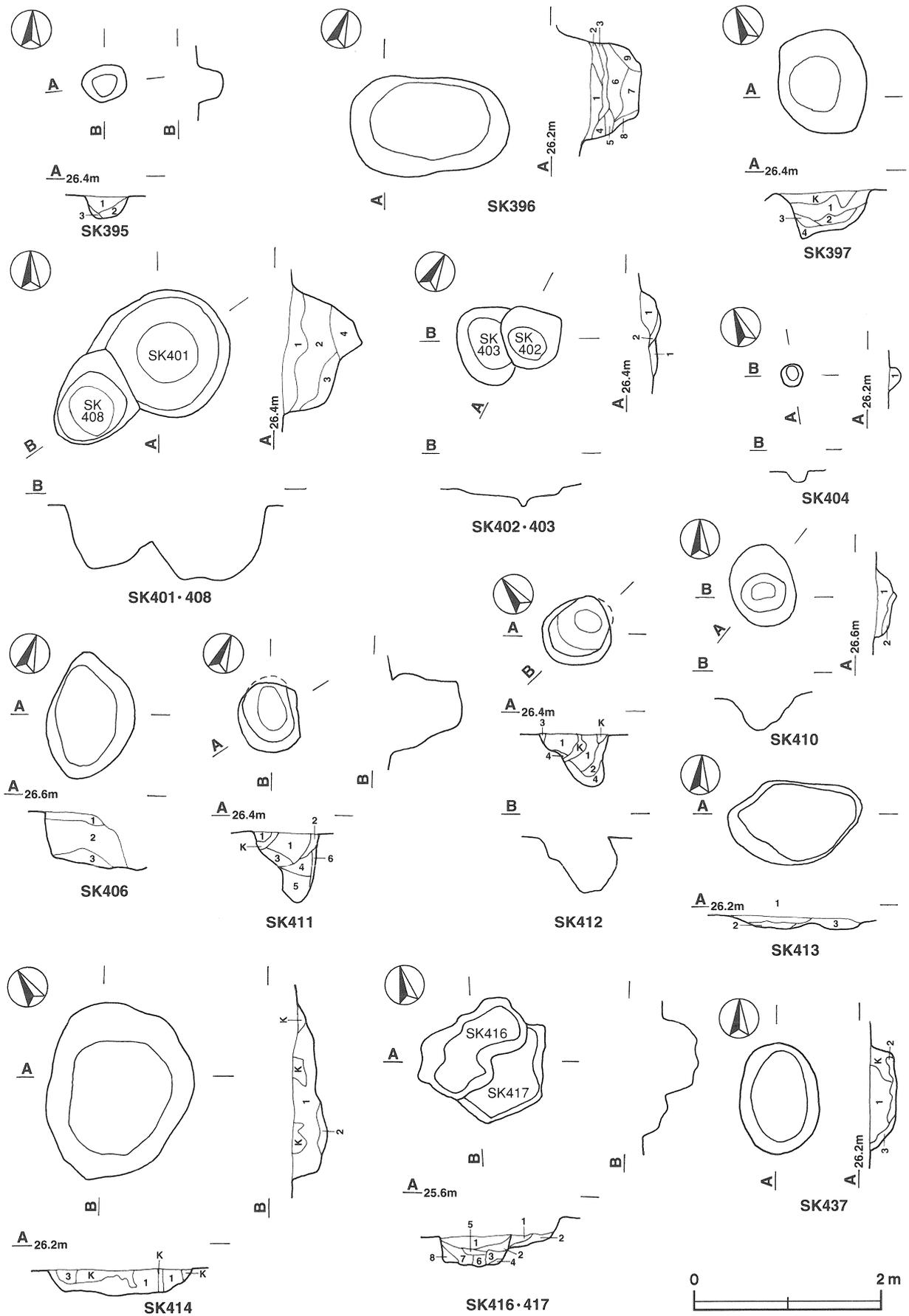
第362図 その他の土坑実測図(11)



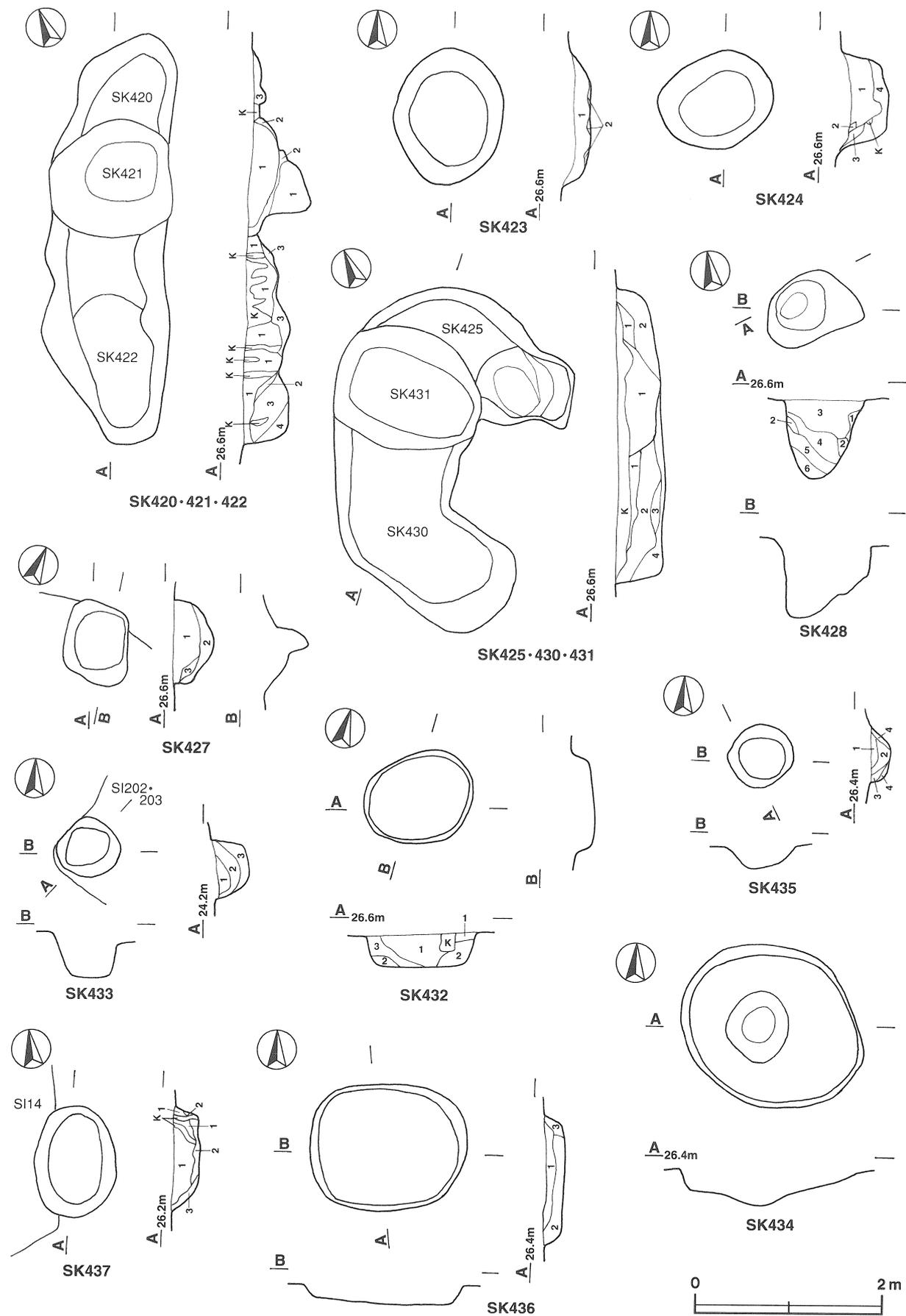
第363図 その他の土坑実測図(12)



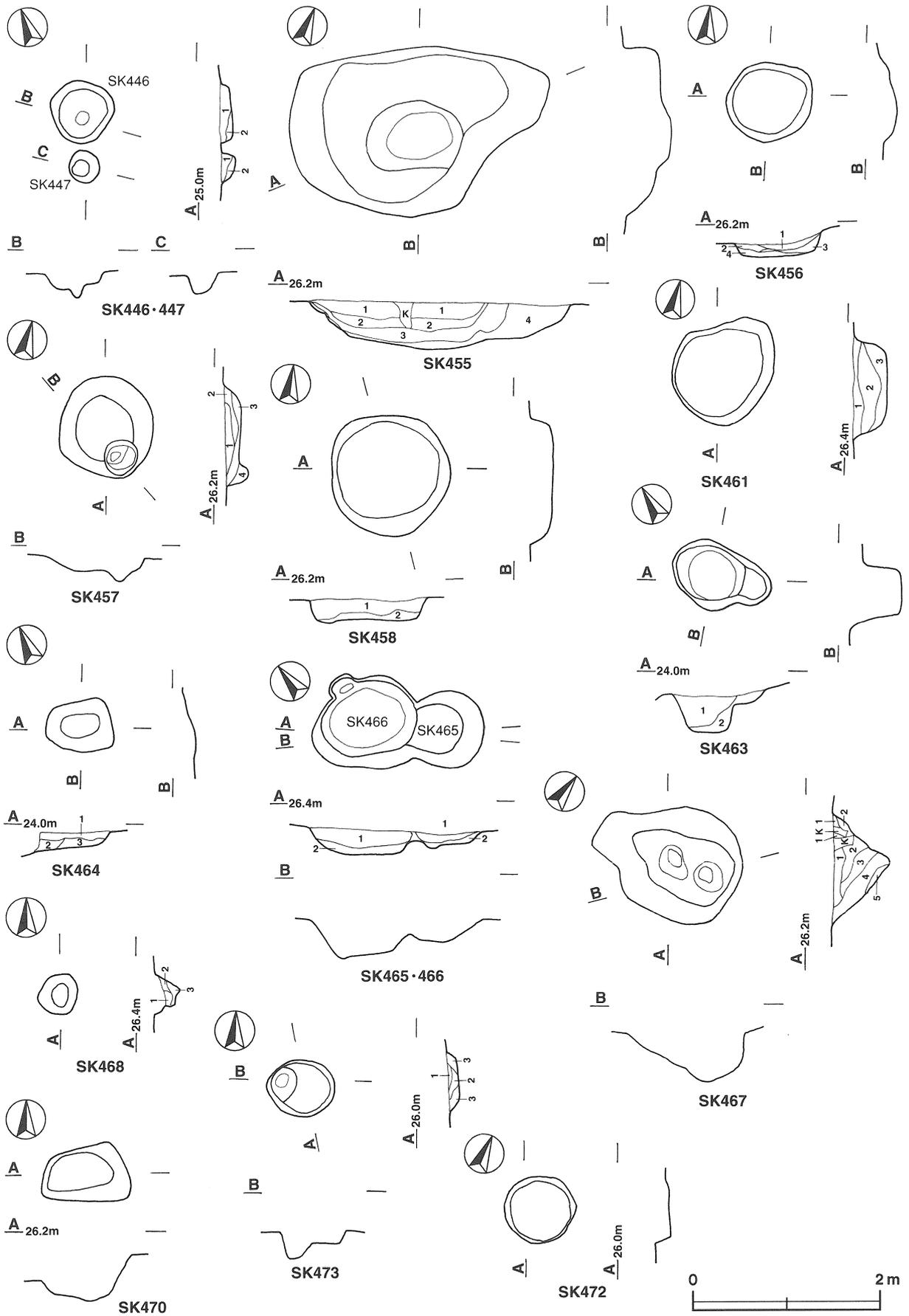
第365図 その他の土坑実測図(14)



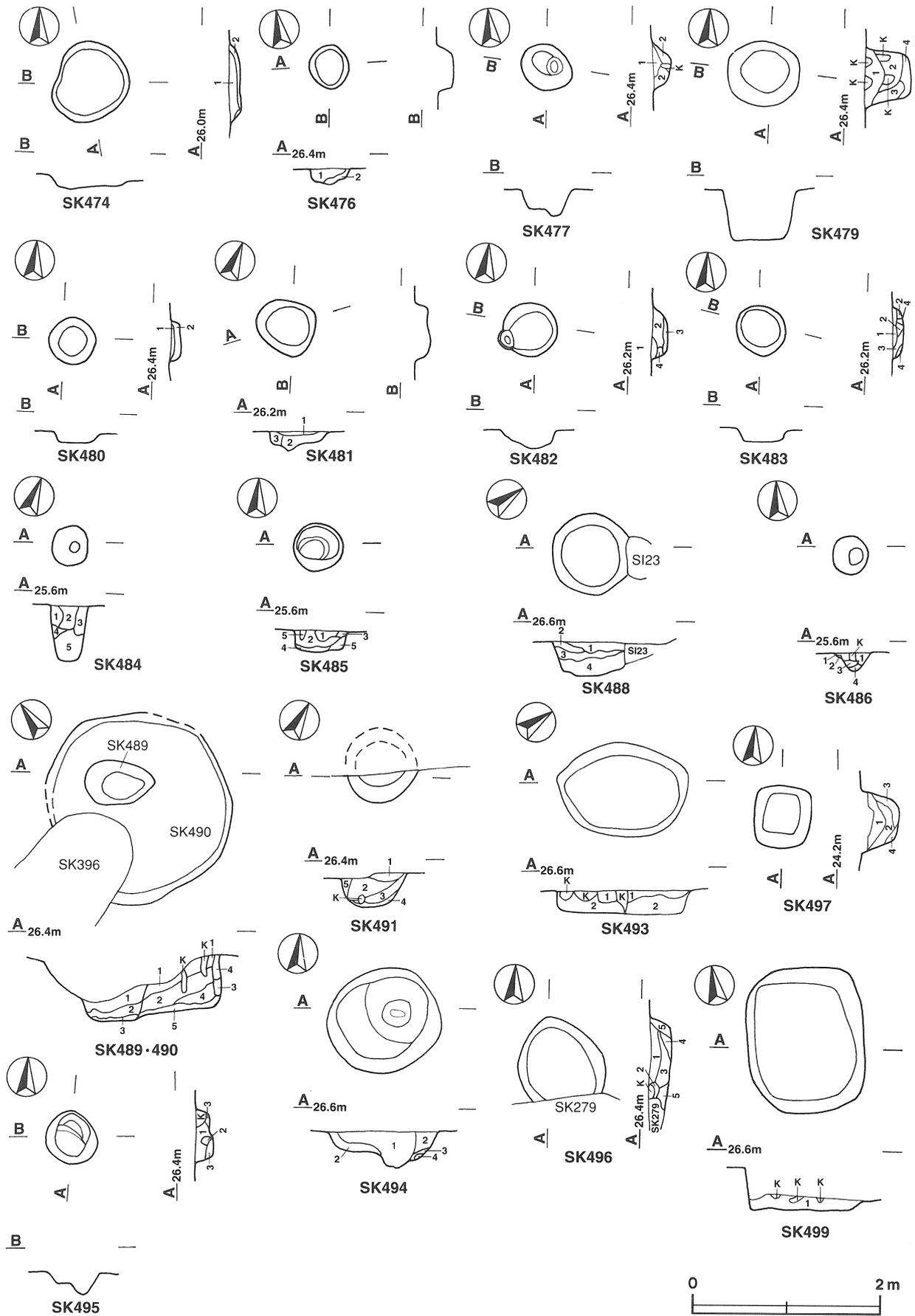
第366図 その他の土坑実測図(15)



第367図 その他の土坑実測図(16)



第368図 その他の土坑実測図(17)



第369図 その他の土坑実測図(18)

第33号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第34号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量

第35号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土粒子・炭化物少量, ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子少量
- 3 褐色 ローム粒子少量

第38号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物・粘土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック微量
- 5 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 6 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 7 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 8 暗褐色 ロームブロック微量

第39号土坑土層解説

- 1 暗赤褐色 焼土ブロック・炭化粒子少量, ロームブロック微量
- 2 にぶい赤褐色 ロームブロック多量, 焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子・焼土ブロック・炭化粒子微量

第40号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化物微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 5 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第41号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 極暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック・炭化物微量
- 6 褐色 ロームブロック少量

第42号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第48号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック少量
- 6 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 7 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第55号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 4 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第56号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 3 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 6 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 7 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量

第57号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第58号土坑土層解説

- 1 暗褐色 炭化粒子少量, ロームブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

第59号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第60号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第61号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第62号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第63号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

第64号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第65号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第67号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第68号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 4 黒褐色 ロームブロック微量
- 5 黒褐色 ロームブロック微量

第70号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

第71号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第72号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・粘土ブロック微量
- 2 暗赤褐色 焼土ブロック・粘土ブロック少量, ローム粒子・炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 粘土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化材微量
- 5 暗褐色 ローム粒子・焼土ブロック・粘土ブロック微量

第73号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

第74号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

第76号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック微量
- 6 暗褐色 ロームブロック少量
- 7 暗褐色 ロームブロック微量
- 8 黒褐色 ロームブロック少量

第77号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量

第78号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第79号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量
- 2 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第80号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック微量
- 3 黒褐色 ローム粒子微量

第81号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量

第83号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック微量

第84号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量

第85号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック・炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量

第86号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック少量

第87号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量

第88号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第89号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量

第90号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量

第92号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土粒子・炭化物微量

第94号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第95号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 2 褐色 ローム粒子中量, ロームブロック少量, 焼土粒子・礫微量

第96号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック微量
- 4 極暗褐色 ローム粒子少量
- 5 黒褐色 ロームブロック微量

第97号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土ブロック・炭化物・粘土ブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量

第98号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

第104号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量
- 2 暗褐色 粘土ブロック中量, ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子・焼土ブロック・粘土ブロック微量

第105号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 焼土ブロック微量
- 3 黒褐色 ローム粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 5 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 6 暗褐色 ロームブロック微量
- 7 暗褐色 ロームブロック少量

第106号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量, 赤色粒子微量

第107号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子少量, ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 炭化粒子少量, ローム粒子・焼土粒子・砂粒微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック微量

第108号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

第109号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第110号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック微量

第111号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量

第112号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 極暗褐色 ロームブロック微量

第114号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 炭化粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

第115号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 炭化粒子少量, ロームブロック微量
- 4 褐色 ローム粒子中量
- 5 暗褐色 焼土粒子少量, 炭化粒子微量
- 6 暗褐色 ローム粒子・炭化物・白色粒子微量
- 7 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 8 暗褐色 ローム粒子微量
- 9 暗褐色 ローム粒子少量

第116号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第117号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

第119号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子少量, ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第120号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第125号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量

第126号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子少量
- 4 極暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック少量

第127号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第129号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ローム粒子多量, ロームブロック中量
- 5 褐色 ローム粒子多量, ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 6 褐色 ローム粒子多量, ロームブロック中量

第133号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量

第134号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量

第135号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量

第136号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土ブロック微量

第137号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 極暗褐色 ローム粒子少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック微量

第138号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

第139号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

第140号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量

第141号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量

第142号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量

第143号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量

第144号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

第145号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物・礫微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック微量
- 5 褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 6 褐色 ロームブロック微量
- 7 褐色 ロームブロック微量

第147号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ローム粒子微量

第148号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量

第149号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

第150号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第151号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第152号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

第153号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化物微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 4 極暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック微量

第154号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

第155号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

第156号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック微量

第158号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック微量

第159号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック微量
- 3 黒褐色 ローム粒子微量

第160号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 褐色 ローム粒子少量

第161号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

第164号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第165号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土粒子少量, ロームブロック・炭化物微量
- 2 褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第166号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック微量

第167号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量

第168号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 極暗褐色 ローム粒子少量

第169号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第170号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック微量
- 4 極暗褐色 ロームブロック微量

第171号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第172号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量

第173号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

第175号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

第177号土坑土層解説

- 1 暗赤褐色 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量

第178号土坑土層解説

- 1 暗赤褐色 炭化物少量, ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第179号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量

第180号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第181号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第182号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第183号土坑土層解説

- 1 暗褐色 炭化粒子少量, ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第184号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子少量, ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第185号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第186号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第190号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化物微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化物微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・炭化物少量

第191号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第192号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量

第195号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック微量

第197号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化物少量, ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物微量

第198号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化材・炭化物微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子少量

第199号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量

第200号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量
- 5 褐色 ロームブロック少量

第201号土坑土層解説

- 1 暗褐色 炭化粒子少量, ロームブロック微量

第202号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量, 焼土ブロック微量

第203号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量

- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 極暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第204号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第205号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第207号土坑土層解説

- 1 黒色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック微量
- 6 極暗褐色 ロームブロック微量
- 7 極暗褐色 ロームブロック微量

第208号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

第209号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

第210号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子・砂粒少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

第211号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

第213号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

第214号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第217号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第220号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第221号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化物微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第225号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 焼土ブロック微量

第226号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・白色粒子少量, 炭化物・粘土ブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物・白色粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子・粘土ブロック・白色粒子微量

- 4 黒 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化粒子・粘土ブロック・白色粒子微量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物・粘土ブロック・白色粒子微量
- 6 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物微量

第227号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量

第230号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・粘土ブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物・粘土ブロック微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック中量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量

第231号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量

第232号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物微量
- 3 褐 色 ロームブロック中量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第233号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 2 褐 色 ロームブロック少量

第235号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 3 暗 褐 色 ローム粒子少量

第236号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量

第238号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第240号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量

第241号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物微量

第242号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 2 黒 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量
- 6 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第243号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第244号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 4 黒 褐 色 ローム粒子・炭化物微量
- 5 暗 褐 色 ローム粒子少量
- 6 黒 褐 色 ロームブロック・炭化物微量

第245号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量

第247号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック微量

第248号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック微量

第249号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量

第251号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・鹿沼パミス微量
- 3 黒 褐 色 ローム粒子微量
- 4 黒 褐 色 ローム粒子微量

第254号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 4 黒 褐 色 ローム粒子・焼土ブロック・炭化粒子微量

第255号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 暗 褐 色 焼土ブロック中量

第256号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック微量

第257号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック微量

第258号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・粘土粒子・礫微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子・礫微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 5 暗 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 6 暗 褐 色 ロームブロック・黒色粒子微量
- 7 褐 色 ロームブロック微量

第259号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 黒 褐 色 ローム粒子微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 4 極暗褐色 ロームブロック少量

第260号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第261号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 極暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第262号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量

第263号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量

第264号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・焼土ブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量

第266号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量
- 2 黒 褐 色 ローム小ブロック少量, 炭化物微量
- 3 暗 褐 色 ローム小ブロック少量, 炭化物微量

第267号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 3 褐 色 ローム粒子中量, ロームブロック少量

第269号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 褐 色 ローム粒子多量

第270号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック中量

第271号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・粘土ブロック微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 6 褐 色 ロームブロック中量

第272号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量

第273号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量

第275号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第276号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量

第277号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第278号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック少量
- 3 褐 色 ロームブロック少量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 5 褐 色 ロームブロック少量

第281号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック少量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 暗 褐 色 焼土粒子少量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 6 暗 褐 色 ロームブロック少量, 白色粒子微量
- 7 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 8 褐 色 ロームブロック少量

第282号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化物微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 4 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 5 褐 色 ロームブロック少量

第283号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 褐 色 ローム粒子多量, ロームブロック中量, 焼土粒子微量

第284号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第286号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 極暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第288号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量

第290号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・礫微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量

第293号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック少量
- 3 褐 色 ロームブロック微量

第294号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック少量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第296号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第298号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第299号土坑土層解説

- 1 暗赤褐色 焼土ブロック少量, 炭化物微量
- 2 暗赤褐色 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量

第300号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量

第301号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・白色粒子微量

第302号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック微量

第304号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 3 褐 色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 4 褐 色 ローム粒子多量
- 5 褐 色 ロームブロック少量
- 6 褐 色 ロームブロック少量
- 7 褐 色 ロームブロック中量
- 8 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 9 褐 色 ロームブロック少量

第305号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 粘土ブロック少量, ロームブロック微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量
- 6 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 7 暗褐色 ロームブロック少量

第306号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・粘土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗赤褐色 焼土ブロック少量, ロームブロック・粘土粒子微量
- 3 暗赤褐色 焼土ブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第307号土坑土層解説

- 1 暗赤褐色 焼土ブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 4 褐色 ロームブロック中量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 6 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 7 褐色 ロームブロック中量

第309号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ローム粒子少量

第310号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・粘土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック少量

第311号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第313号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量

第314号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量

第316号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化物微量
- 5 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 6 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 7 極暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 8 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

第317号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第318号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

- 3 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第323号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 ローム粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 極暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第338号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 黒褐色 ロームブロック微量

第339号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子・焼土ブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック微量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量
- 6 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 7 極暗褐色 ロームブロック少量

第340号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック微量

第341号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子・粘土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック微量
- 5 黒褐色 ロームブロック微量

第343号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 炭化粒子少量, ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 黒褐色 炭化粒子少量, ロームブロック微量
- 4 黒褐色 炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック微量
- 6 暗褐色 ロームブロック微量

第344号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子・粘土ブロック微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土ブロック・炭化粒子・粘土ブロック微量
- 3 黒褐色 粘土ブロック中量, 焼土粒子・炭化物微量
- 4 極暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物・粘土粒子微量
- 5 黒褐色 粘土ブロック少量, ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 6 極暗褐色 粘土ブロック少量, ロームブロック・炭化物微量
- 7 黒褐色 粘土ブロック少量, ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量

第345号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 黒色粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第346号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第347号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック微量

第348号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量

第349号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量

第351号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 3 褐 色 ロームブロック少量

第352号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子少量

第354号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・粘土ブロック微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子少量

第355号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック微量

第356号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック微量

第359号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量

第360号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック微量

第361号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量

第363号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・粘土ブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物・粘土ブロック微量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 6 暗 褐 色 ロームブロック少量

第364号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・粘土ブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・粘土粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック中量
- 6 暗 褐 色 ロームブロック少量

第365号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 3 褐 色 ロームブロック少量

第366号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第368号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック中量, 炭化物微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量

第370号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 3 褐 色 ロームブロック中量

第371号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 焼土ブロック微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 4 暗 褐 色 ローム粒子中量
- 5 暗 褐 色 ローム粒子少量
- 6 褐 色 ローム粒子多量, ロームブロック少量

第372号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量

第376号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 5 褐 色 ロームブロック多量

第383号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 3 褐 色 ロームブロック中量

第388号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・炭化物微量
- 2 黒 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 4 黒 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量

第389号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 4 黒 褐 色 ローム粒子微量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 6 極暗褐色 ロームブロック微量
- 7 極暗褐色 ロームブロック少量
- 8 黒 褐 色 ローム粒子微量
- 9 黒 褐 色 ロームブロック微量

第390号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量

第393号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量

第394号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 黒褐色 ロームブロック少量

第395号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第396号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック中量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 6 暗褐色 ロームブロック中量
- 7 褐色 ロームブロック中量
- 8 暗褐色 ロームブロック中量
- 9 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量

第397号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量

第401号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子中量, ロームブロック・焼土粒子少量
- 2 褐色 ローム粒子中量, ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量

第402号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量

第403号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量

第404号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第406号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第410号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック微量

第411号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量・炭化物微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 黒褐色 ロームブロック少量
- 6 褐色 ロームブロック中量

第412号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第413号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土ブロック少量, ロームブロック微量
- 2 暗褐色 焼土ブロック少量, ロームブロック・炭化物微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量

第414号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 暗赤褐色 焼土ブロック中量, ロームブロック・炭化粒子微量

第416号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 焼土ブロック少量, ロームブロック・炭化物微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 6 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 7 極暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 8 黒褐色 ロームブロック微量

第417号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第420号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子少量, ロームブロック・焼土粒子・炭化物微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量

第421号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量・炭化粒子微量

第422号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子多量, ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第423号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第424号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量, ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ローム粒子中量, ロームブロック少量

第425号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

第427号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量

第428号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 黒褐色 ロームブロック微量
- 5 極暗褐色 ロームブロック微量
- 6 極暗褐色 ローム粒子少量, ロームブロック微量

第430号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 4 褐 色 ローム粒子少量, ロームブロック微量

第431号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量

第432号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ローム粒子・焼土ブロック・炭化物微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量

第433号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化物・粘土粒子微量
- 2 暗 褐 色 粘土ブロック少量, ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 暗 褐 色 粘土ブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量

第435号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 黒 褐 色 ローム粒子少量
- 4 灰 褐 色 ローム粒子中量, ロームブロック少量

第436号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 2 褐 色 ローム粒子中量, ロームブロック少量
- 3 暗 褐 色 ローム粒子中量

第437号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 2 褐 色 ローム粒子中量, ロームブロック微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第446号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 黒 褐 色 ローム粒子・焼土粒子微量

第447号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第455号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック・炭化粒子微量

第456号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子中量, 炭化粒子少量
- 3 暗 褐 色 ローム粒子中量, ロームブロック・炭化物少量
- 4 褐 色 ローム粒子多量, ロームブロック中量

第457号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子・焼土ブロック少量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子少量
- 3 暗 褐 色 ローム粒子中量, 焼土粒子少量
- 4 褐 色 ロームブロック中量

第458号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量

第461号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック少量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 3 褐 色 ロームブロック少量

第463号土坑土層解説

- 1 黒 色 ロームブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック微量

第464号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 焼土ブロック・炭化物微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子微量

第465号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 2 褐 色 ローム粒子中量, ロームブロック少量

第466号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量
- 2 褐 色 ローム粒子少量, ロームブロック少量

第467号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・粘土粒子少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子少量, ロームブロック微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物微量
- 5 暗 褐 色 ローム粒子少量, ロームブロック・焼土粒子・白色粒子微量

第468号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第473号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化物微量
- 2 褐 色 ローム粒子多量, ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 3 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量

第474号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 2 褐 色 ロームブロック中量

第476号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 褐 色 ローム粒子多量, ロームブロック中量

第477号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化物微量

第479号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子・白色粒子微量

第480号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・白色粒子微量

第481号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子少量, ロームブロック・炭化物微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量

第482号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子中量, ロームブロック微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量
- 3 暗 褐 色 ローム粒子・焼土ブロック微量
- 4 褐 色 ロームブロック少量

第483号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量, ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, ロームブロック微量
- 3 極暗褐色 炭化粒子少量, ロームブロック微量
- 4 極暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

第484号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 黒褐色 ロームブロック微量
- 5 黒褐色 ロームブロック微量

第485号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量

第486号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック微量

第488号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量, ローム粒子多量

第489号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第490号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

(6) ピット列

今回の調査で、南部からピット列を3か所確認した。掘立柱建物跡の可能性があるが、西部が調査区域外で、様相が不明であるので、ピット列として表記した。以下、その特長について記述する。

第1号ピット列 (第370図)

位置 調査区南部のH2 a8～H2 a9区に位置し、台地縁辺部の北から南への斜面地に立地している。

重複関係 第202・203号住居跡に掘り込まれている。

規模 直線上に、3か所の柱穴(P1～3)が検出され、P1～3間の長さは4.2m、柱間の寸法は1.4～2.0mで、柱穴の掘り方の平面形は深さ28cmである。方向はN-82°-Wである。

覆土 2層からなる。焼土粒子・黒色粒子混じりの黒褐色土・褐色土である。

土層解説

- 1 黒褐色 焼土粒子少量
- 2 褐色 黒色ブロック微量

遺物出土状況 P1から縄文土器片6点、P2から土師器片1点(甕)、縄文土器片1点が出土している。

所見 本跡の時期は10世紀中葉以前と考えられる。性格は掘立柱建物跡の様相を示しているが不明である。

第2号ピット列 (第370図)

位置 調査区南部のH2 b8～H2 b9区に位置し、台地縁辺部の北から南への斜面地に立地している。

4 暗褐色 ローム粒子少量

5 褐色 ロームブロック中量, 礫微量

第491号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・粘土ブロック微量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量

第493号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ロームブロック多量

第494号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量
- 4 褐色 ロームブロック少量

第495号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量

第496号土坑土層解説

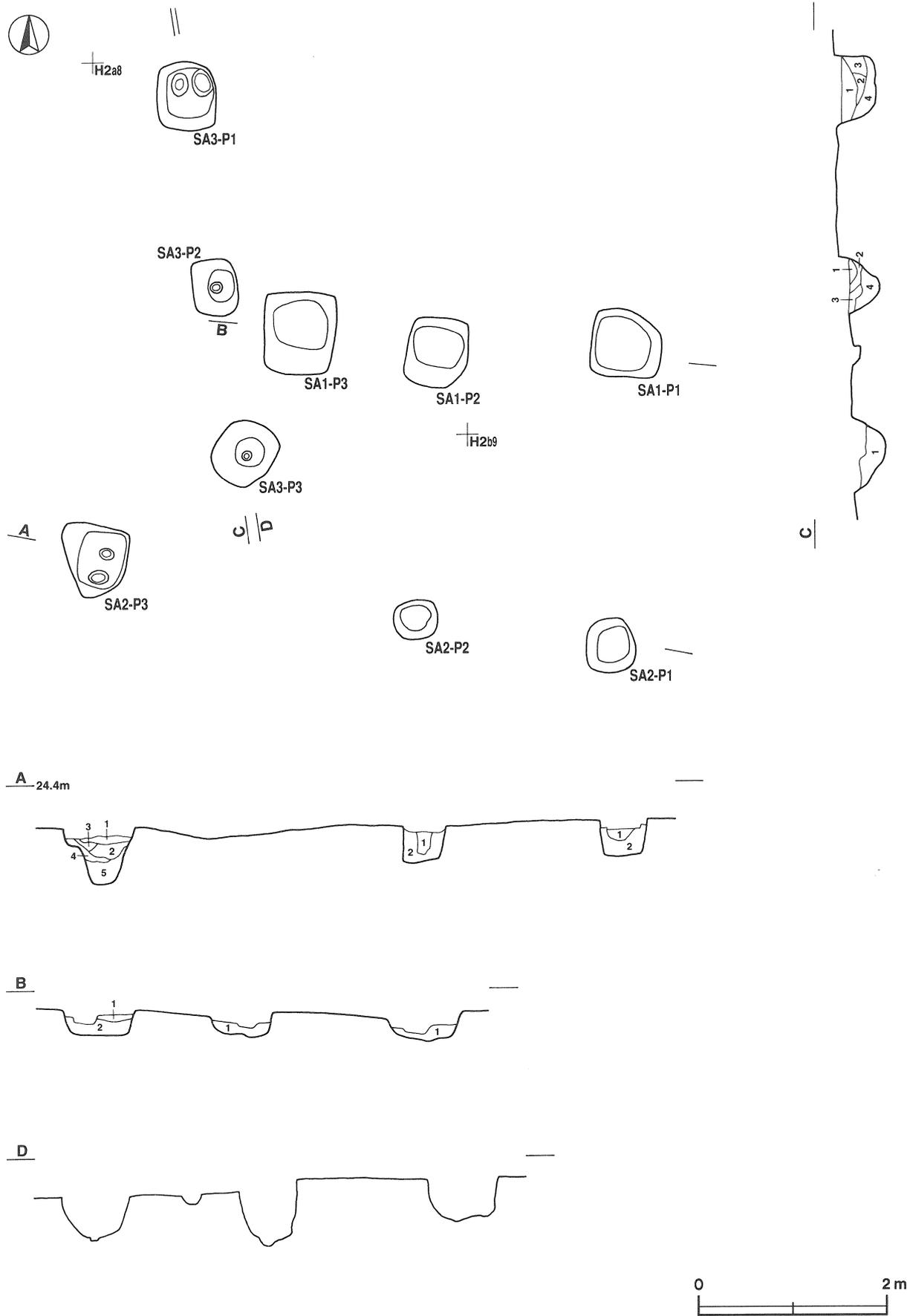
- 1 暗褐色 焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量

第497号土坑土層解説

- 1 黒褐色 焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量
- 4 褐色 ロームブロック少量

第499号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量



第370図 第1・2・3号ピット列実測図

重複関係 第201・203号住居跡を掘り込んでいる。

規模 直線上に、3か所の柱穴（P1～3）が検出され、P1～3間の長さは6.2m、柱間の寸法は2.2～3.4mで、柱穴の掘り方の平面形は円形及び隅丸方形で、深さ40～60cmである。方向はN-85°-Wである。

覆土 7層からなる。ロームブロック・ローム粒子・焼土粒子混じりの黒褐色土・暗褐色土・褐色土である。

P1・2土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量

P3土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ロームブロック多量
- 3 暗褐色 粘土ブロック中量
- 4 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 5 暗褐色 粘土粒子中量

遺物出土状況 P1から縄文土器片5点、土師器片2点（坏・甕）、P2から縄文土器片1点、土師器片3点（坏・甕）が出土している。

所見 本跡の時期は不明であり、性格は掘立柱建物跡の様相を示しているが、詳細は不明である。

第3号ピット列（第370図）

位置 調査区南部のH2 a8～H2 b8区に位置し、台地縁辺部の北から南への斜面地に立地している。

重複関係 第201・202号住居跡に掘り込まれている。

規模 直線上に、3か所の柱穴（P1～3）が検出され、P1～3間の長さは4.7m、柱間の寸法は1.9～2.2mで、柱穴の掘り方の平面形は円形・方形・隅丸方形で、深さ44～72cmである。方向はN-8°-Wである。

覆土 9層からなる。ロームブロック・焼土粒子・炭化物混じりの黒褐色土・暗褐色土である。

P1土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 黒褐色 炭化物少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

P2土層解説

- 1 黒褐色 焼土粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 焼土粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

P3土層解説

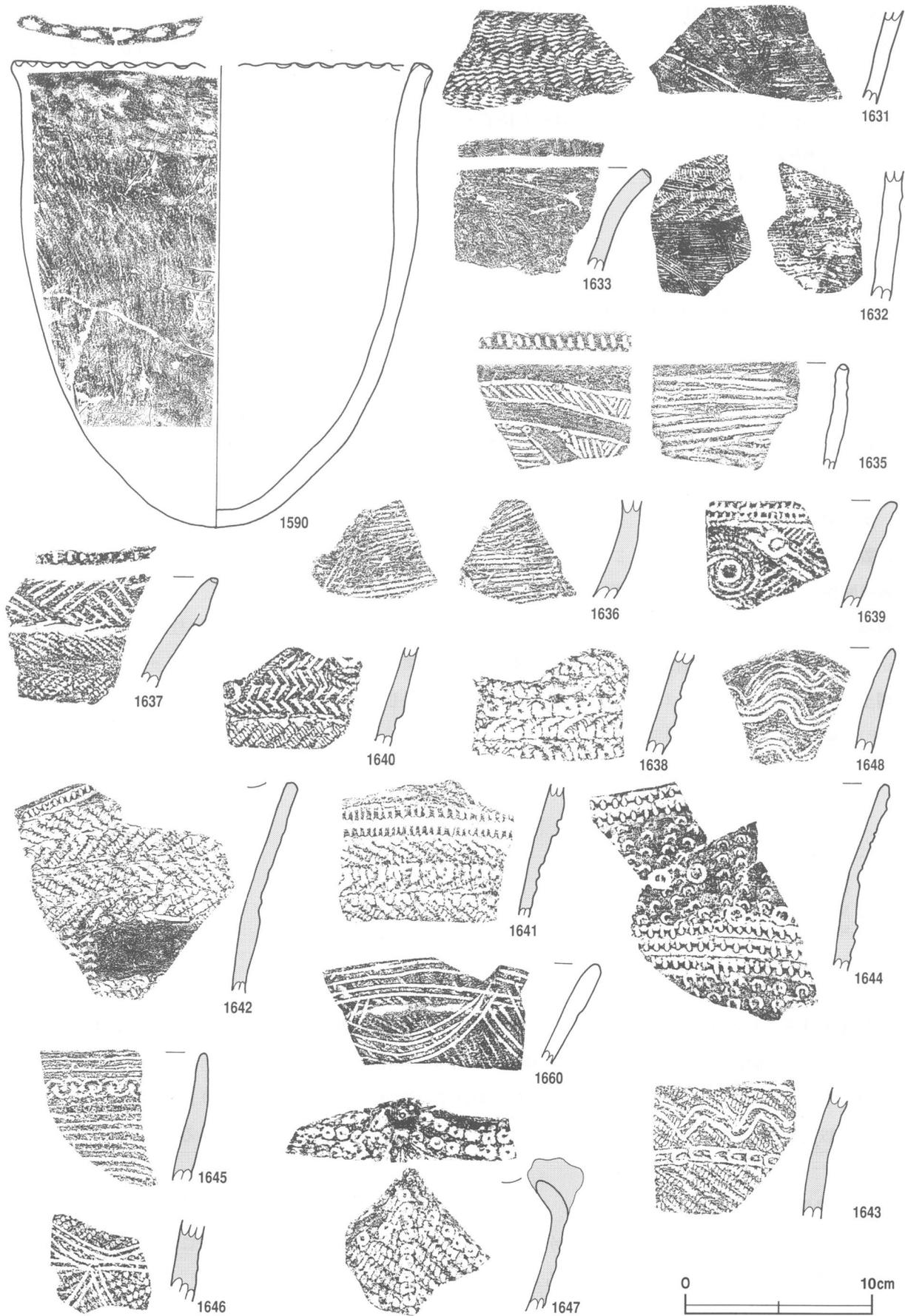
- 1 黒褐色 焼土粒子微量

遺物出土状況 P1から縄文土器片4点、土師器片2点（坏）、須恵器片1点（甕）、剥片1点、P2から縄文土器片6点、土師器片4点（甕）、P3から縄文土器片3点が出土している。

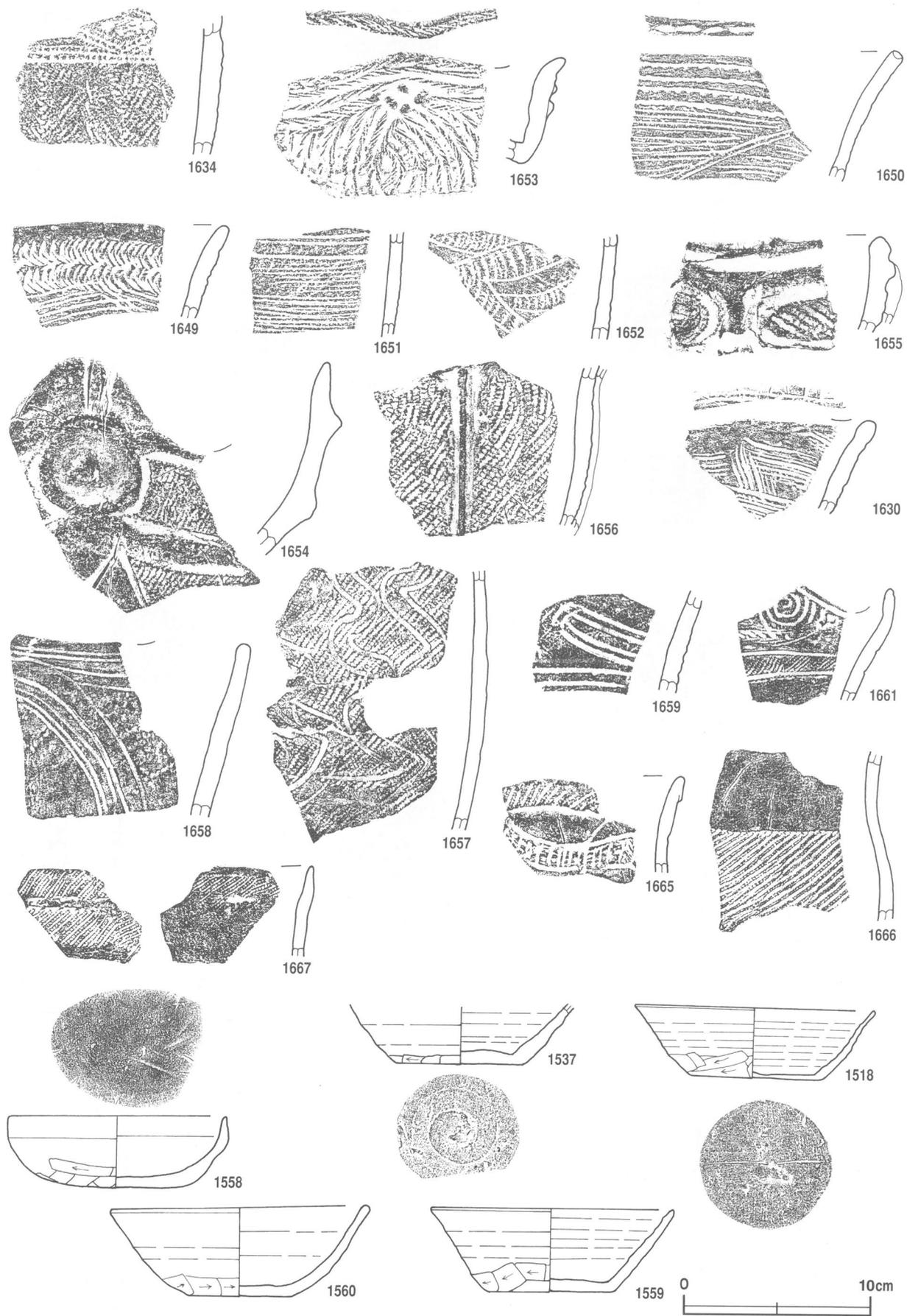
所見 本跡の時期は9世紀後葉から10世紀後葉にかけての第201・202号住居跡に掘り込まれているので、9世紀後葉以前と考えられ、性格は掘立柱建物跡の様相を示しているが、詳細は不明である。

(7) 遺構外出土遺物

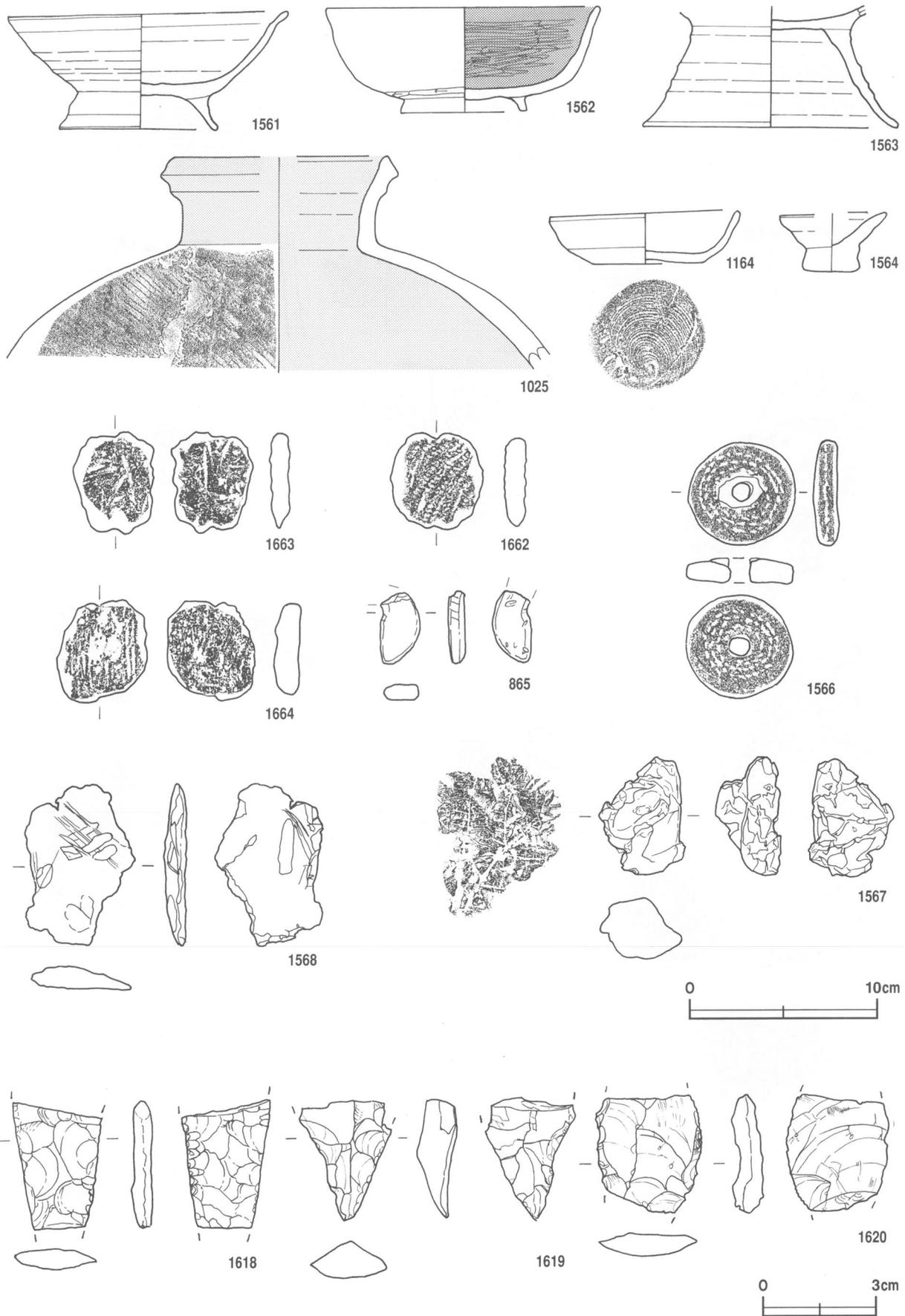
今回の調査で、遺構に伴わない旧石器から近代にかけての遺物が出土している。ここでは、これらの出土遺物の内で、特徴的なものについて掲載する。



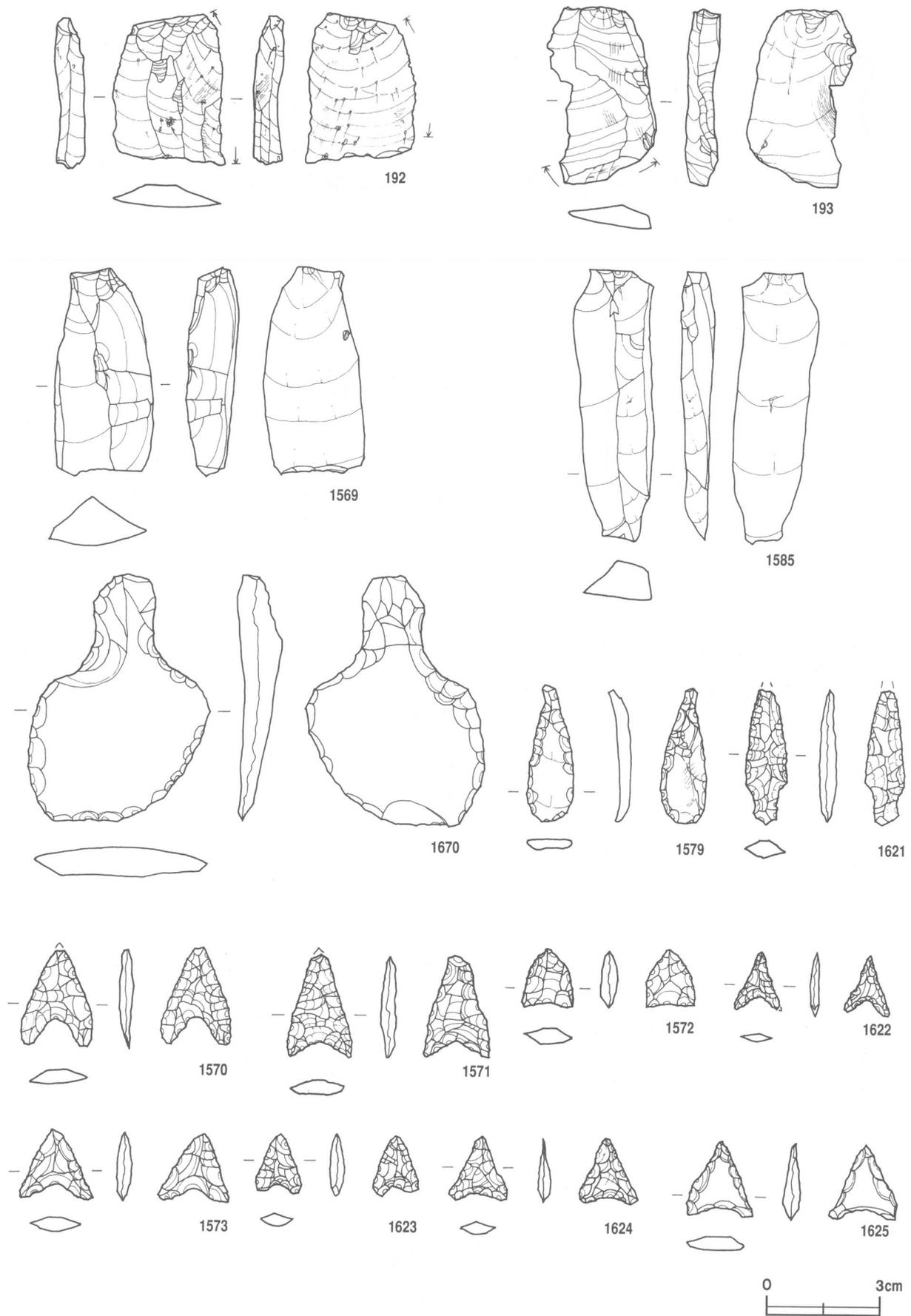
第371图 遺構外出土遺物実測図(1)



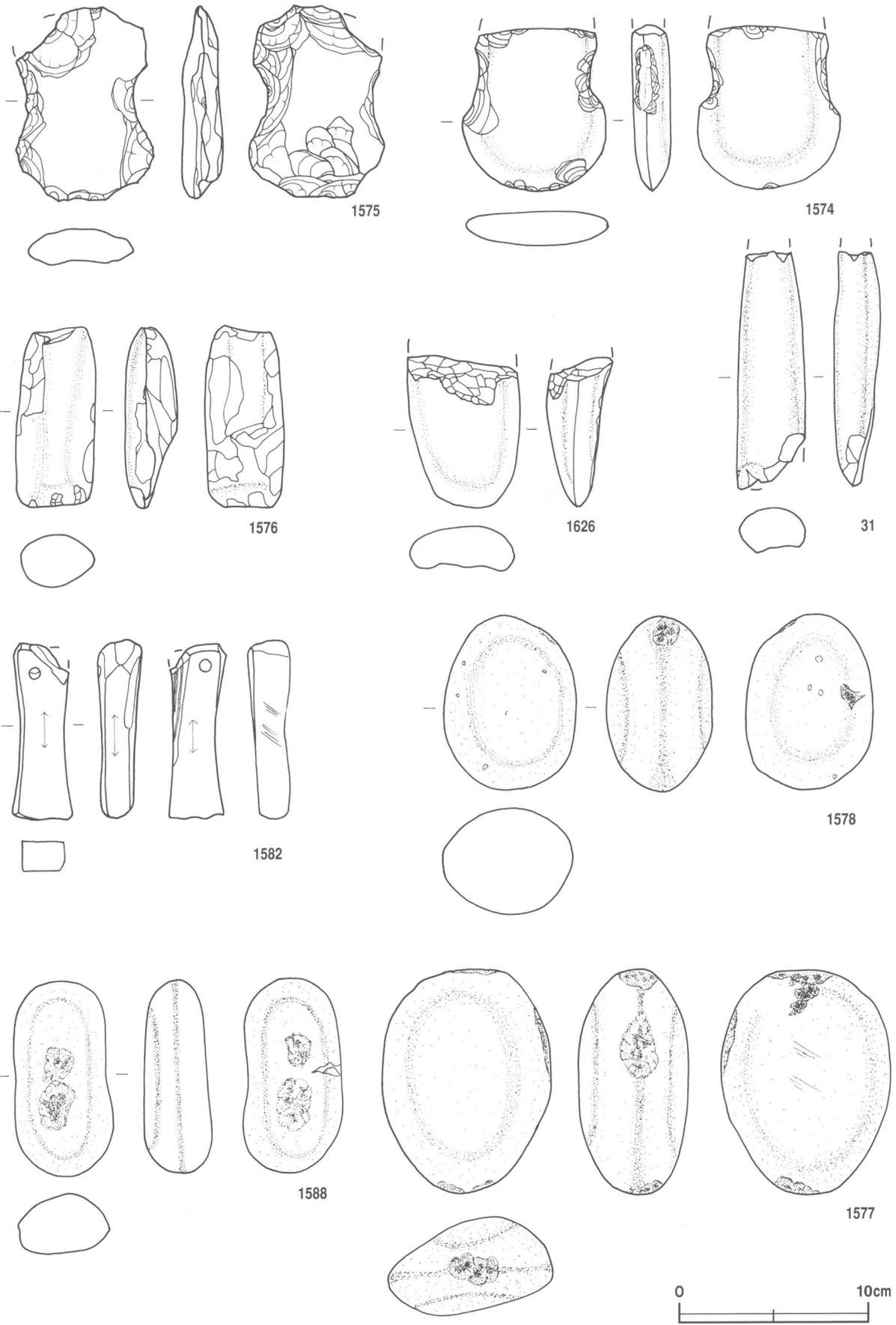
第372図 遺構外出土遺物実測図(2)



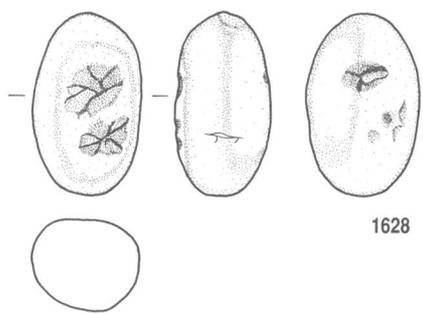
第373図 遺構外出土遺物実測図(3)



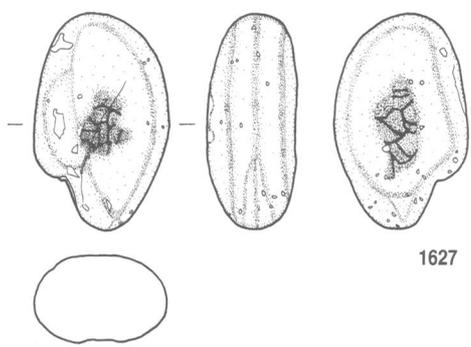
第374図 遺構外出土遺物実測図(4)



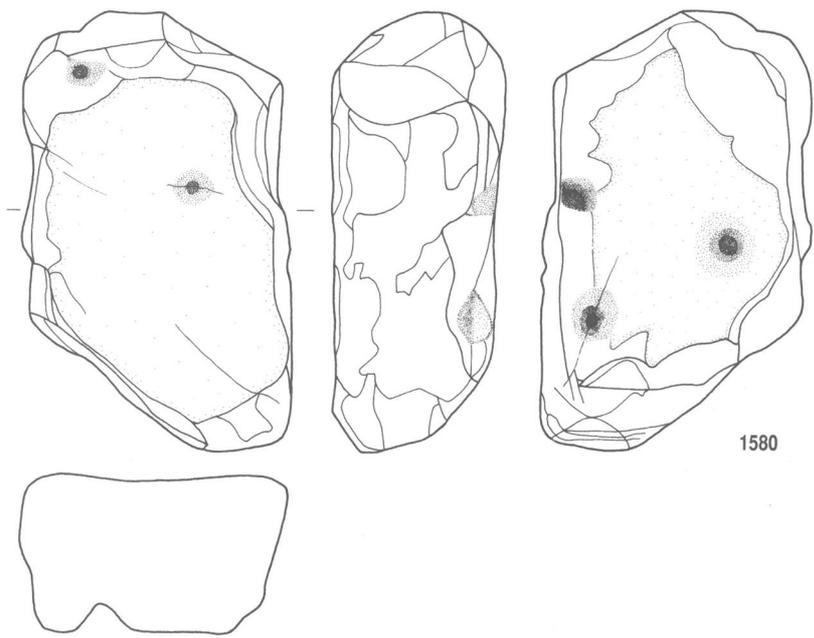
第375図 遺構外出土遺物実測図(5)



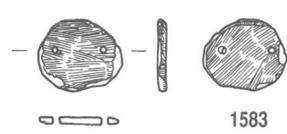
1628



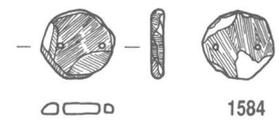
1627



1580



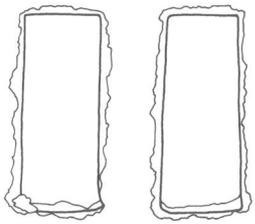
1583



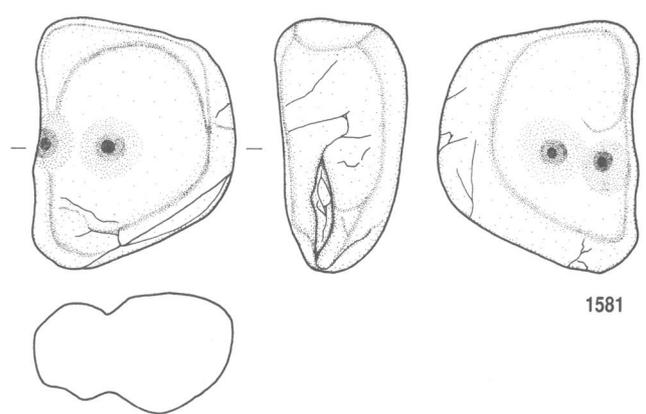
1584



1586



1587



1581



第376図 遺構外出土遺物実測図(6)

遺構外出土遺物観察表（第371～376図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
1590	縄文土器	深鉢	[21.8]	25.0	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口唇部に貝殻背圧痕。胴部中位は縦方向のヘラ削り。	H 2 a9 区	60% PL119

番号	時期	器形および文様の特徵	出土位置	備考
1631～1633, 1635, 1636	縄文時代早期	1631, 1633, 1635は口縁部片で、1631の口辺部、1633の口唇部には貝殻腹縁による押圧文が施されている。1635の口唇部には刻みが施され、口辺部には沈線による区画内に短沈線が施されている。1632は絡条体圧痕文が施されている。1636は内・外面ともに貝殻条痕文が施文されている。	1631-H 1 j0 区 1633-H 2 b9 区 1635-H 2 a8 区 1636-H 2 b9 区	PL119
1637～1642, 1644, 1648	縄文時代前期	1637, 1639, 1642, 1644, 1648は口縁部片で、1637の口唇部には刻みが施され、口辺部には短沈線と羽状縄文が施文されている。1639は上端に刻みのある2条の隆帯が巡り、縄文原体押圧文と短沈線が施文されている。1642は上端に刻みのある隆帯が巡り、羽状縄文及び半截竹管による刺突文が施文されている。1644は口辺部上端と下部に刻みのある隆帯が巡り、半截竹管の刺突文と円形刺突文が配される。1648には櫛歯状工具による波状沈線文が施文されている。1638, 1641は胴部片で、ループ文が施文され、1641には刻みのある隆帯が2条巡る。	1637-E 2 e3 区 1642-表土中 1644-F 2 i0 区 1648-E 1 c0 区	PL119
1643, 1644～1647, 1660	縄文時代前期	1660, 1645, 1647は口縁部片で、1660には撚糸文の地文に半截竹管による沈線、1645には横位の平行沈線とコンパス文が施されている。1647は波状口縁の頂頭部で、口唇部及び口辺部に円形刺突文が施され、地文はRLの単節縄文である。1643, 1646は胴部片で、1643はRL, 1646はLRの地文に半截竹管による沈線文及び引引文が施文されている。	1643-F 2 e4 区 1645-H 2 b9 区 1647-F 2 c3 区 1660-E 2 c0 区	PL119
1634, 1649～1653	縄文時代前期	1649, 1650, 1653は口縁部片で、1649には爪形文と平行沈線が施されている。1650の口辺部には貝殻腹縁文、その下には半截竹管による横位の沈線が施されている。1653の口唇部には短沈線が、口辺部には浮線文が施文されている。1634, 1651, 1652は胴上部片で、1634にはLRの地文に半截竹管による押し引き文が施文されている。1651には横位の半截竹管文が施されている。1652には磨消貝殻文が施文されている。	1634-F 3 e5 区 1649-G 2 g8 区 1653-G 2 c6 区	PL119
1654, 1655, 1656	縄文時代中期	1655, 1654は口縁部片で、隆帯と沈線による口辺部文様帯がみられる。1656は胴部片で、RLの地文に縦位の隆帯が施されている。	1654-E 1 a0 区 1655-F 3 e1 区 1656-表土中	PL119
1630, 1658, 1659, 1661	縄文時代後期	1630, 1658, 1659には、櫛歯状文や半截竹管による沈線文が施文されている。1661の口縁部上部には同心円状の沈線文が施され、下には横位の沈線区画内に縄文が施文されている。	1630-F 2 j3 区 1658-G 2 b2 区 1659-F 3 b9 区 1661-G 2 a3 区	PL119
1665～1667	弥生時代後期	1665は複合口縁で口辺部に附加条一種附加2条の縄文が施文され、頸部には沈線区画内に沈線による格子状文が充填している。1666, 1667は口縁部片で、口辺部内外に附加条一種附加2条の縄文が施文されている。	1665-F 3 c3 区 1666-E 2 a9 区 1667-F 2 f2 区	PL119

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
1164	土師器	坏	9.9	2.8	5.6	長石・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部両面横ナデ。底部回転糸切り。	F 2 e8 区	100%
1518	須恵器	坏	12.8	3.8	7.0	長石・雲母・赤色粒子	灰黄褐	普通	底部回転ヘラ切り後、一方向のヘラ削り。	F 3 h6 区	90%、底部ヘラ記号「-」 PL119
1537	土師器	坏	-	(3.1)	6.8	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	底部回転ヘラ切り。	表土中	50%
1558	土師器	坏	11.6	3.9	-	長石・雲母	橙	普通	口縁部両面横ナデ。	E 2 c3 区	100% PL119
1559	須恵器	坏	12.9	4.5	6.6	長石・石英	灰	普通	底部外面一方向のヘラ削り。	F 2 f0 区	60% PL119
1560	須恵器	坏	13.8	5.0	5.6	長石・石英・雲母	黒	普通	底部回転ヘラ切り後、一方向のヘラ削り。	F 2 f0 区	60% PL119
1561	土師器	高台付坏	14.8	6.4	8.4	長石・雲母・赤色粒子	橙	普通	底部回転ヘラ切り。高台貼り付け後ナデ。	H 2 a9 区	60% PL119
1562	土師器	高台付坏	14.6	5.6	6.8	長石・石英・雲母	橙	普通	底部回転ヘラ切り。高台貼り付け後ナデ。	F 2 j2 区	75% PL119
1563	土師器	高台付鉢	-	(6.5)	13.5	長石・雲母・赤色粒子	橙	普通	体部高台貼り付け後、ナデ。	H 2 b0 区	20%
1564	土師器	ミニチャア器	[5.6]	3.2	3.0	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	坏部内面ヘラ削り。	G 2 a1 区	60%
1025	灰釉陶器	壺	[11.0]	(10.5)	-	長石	灰オリーブ、灰	良好	口縁部から体部上半部両面施釉。	G 2 c9 区	10%

番号	器種	計測値				材質	特徴	出土位置	備考
		長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)				
1662	土器片鉢	5.1	4.8	1.1	29.2	土器片	単節縄文が施文されている胴部片。	F 2 b2 区	PL119
1663	土器片鉢	5.4	4.3	1.1	29.0	土器片	沈線が施されている胴部片。	G 2 a3 区	PL119
1664	土器片鉢	5.4	4.8	1.4	33.7	土器片	内・外面に条痕文が施されている胴部片。	E 2 i3 区	PL119

番号	器種	計測値				材質	特徴	出土位置	備考
		径(cm)	厚さ(cm)	孔径(cm)	重量(g)				
1566	紡錘車	5.6	1.3	1.1	47.5	土製	渦巻状の刺突文。	表土中	PL115

番号	器種	計測値				材質	特徴	出土位置	備考
		長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)				
865	球状耳飾	(3.8)	2.0	0.9	7.4	土製	ナデ。	H 3 a 6 区	PL115
1567	不明土製品	6.3	4.5	3.5	47.0	土製	全面に木葉痕を残す。	F 3 e 1 区	PL115
1568	不明土製品	8.7	5.8	1.2	41.5	土製	棒状工具、繊維圧痕、指頭圧痕、布目痕。	表土中	PL115

番号	器種	計測値				材質	特徴	出土位置	備考
		長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)				
1618	尖頭器	(3.2)	(2.4)	1.0	(5.5)	頁岩	主要剥離面を一部残し、両側縁を調整。両端部欠損。	F 2 e 3 区	
1619	尖頭器	(3.5)	(2.4)	0.6	(4.7)	頁岩	縦長剥片の両側縁を調整。上部欠損。	F 3 b 9 区	
1620	尖頭器	(3.1)	(2.8)	0.8	(7.0)	黒曜石	主要剥離面を残し、両側縁は押圧剥離による調整。両端部欠損。	F 1 h 0 区	
1621	有茎石鏃	3.6	1.1	0.5	1.66	チャート	押圧剥離による調整。	G 2 g 9 区	PL116
1570	石鏃	(2.7)	1.9	0.4	(1.5)	チャート	先端一部欠損。全面押圧剥離による加工。	F 2 c 0 区	PL116
1571	石鏃	2.7	1.7	0.4	1.7	チャート	先端一部欠損。全面押圧剥離による加工。	G 2 a 3 区	PL116
1573	石鏃	1.8	2.0	0.4	1.0	メノウ	全面押圧剥離による加工。	F 2 e 8 区	PL116
1572	石鏃	1.5	1.3	0.4	0.9	チャート	全面押圧剥離による加工。	F 2 j 2 区	PL116
1622	石鏃	1.6	1.2	0.2	0.25	チャート	押圧剥離。	F 3 d 3 区	PL116
1623	石鏃	1.6	1.3	0.4	0.6	メノウ	押圧剥離。	H 2 b 8 区	PL116
1624	石鏃	1.7	1.6	0.4	0.2	チャート	主要剥離面を残す押圧剥離。	F 4 c 3 区	PL116
1625	石鏃	2.0	1.8	0.4	1.1	頁岩	押圧剥離による調整。	F 4 i 1 区	PL116
1670	石匙	6.6	4.8	1.2	27.3	安山岩	表裏に剥離面を残し、両側縁及び基部は両面から調整。	F 3 e 1 区	PL116
1579	石匙	3.6	1.3	0.7	1.8	チャート	縦長剥片を素材とし、右側縁は両面から、左側縁は表面からの急角度の調整。	表土中	PL116
31	磨製石斧	(12.5)	3.6	(2.5)	(189.0)	流紋岩	刃部欠損。刃部上面を平坦に研磨。	E 2 e 1 区	PL117
1574	磨製石斧	88.7	7.5	2.0	196.0	安山岩	刃部欠損。くびれ部は剥離加工痕を残す研磨。	F 2 b 9 区	
1575	打製石斧	10.2	7.1	2.1	155.0	流紋岩	刃部に使用による剥離多数。	F 2 c 1 区	PL116
1576	磨製石斧	(9.6)	3.9	2.7	(160.0)	蛇紋岩	刃部は破断後に再研磨。	F 2 h 3 区	PL117
1577	敲石	11.9	9.0	5.8	850.0	玢岩	上下を主要の敲打面とし、両側縁に弱い敲打痕。	G 2 f 8 区	PL117
1578	敲石	9.3	6.9	5.7	491.0	安山岩	上下を主要の敲打面とし、表裏面に弱い敲打痕。	F 2 j 6 区	PL117
1626	磨製石斧	(8.0)	6.0	3.4	(198.0)	蛇紋岩	基部欠損。刃部は両面を研磨。	E 2 b 2 区	PL117
1627	敲石	8.6	5.3	3.6	200.0	凝灰岩	表裏両面に敲打痕。	G 3 a 1 区	
192	剥片	4.0	3.0	0.8	8.7	黒曜石	二次加工のある剥片。	F 3 e 1 区	
193	剥片	4.7	2.9	0.8	8.5	黒曜石	微細剥離のある剥片。	F 3 e 1 区	
1569	剥片	5.5	2.6	1.4	15.9	頁岩	縦長剥片。背面は方向の異なる剥離。	D 3 d 5 区	PL116
1585	剥片	7.3	2.2	9.0	14.0	頁岩	左側縁に礫面を残す縦長剥片。	G 3 a 8 区	PL116
1583	双孔円盤	2.8	3.3	0.3	5.2	滑石	外面多方向の研磨痕。	F 2 c 2 区	PL117
1584	双孔円盤	2.7	2.9	0.5	6.3	滑石	外面多方向の研磨痕。	G 3 a 4 区	PL117
1628	敲石	7.3	4.2	3.3	173.0	砂岩	上下を主要の敲打面とし、表裏に弱い敲打痕。	F 2 c 0 区	
1588	敲石	10.4	5.3	3.6	26.2	石英斑岩	表裏を主要の敲打面とし、上下に弱い敲打痕。	G 2 e 3 区	PL117
1580	凹石	17.5	10.7	4.5	1890.0	砂質片岩	表面の平坦部は滑らかな石皿状。	D 3 d 5 区	PL117
1581	凹石	10.0	7.9	5.2	540.0	砂質片岩	一部欠損。表裏とも凹部をもつ。	E 2 b 4 区	PL117
1582	砥石	9.4	3.0	1.7	88.4	凝灰岩	孔径は0.6cmで両面からの穿孔。	F 2 i 7 区	PL117

番号	器種	計測値				材質	特徴	出土位置	備考
		長さ(cm)	幅(cm)	径(cm)	重量(g)				
1586	煙管	4.6	1.1	0.5	4.1	鉄	吸口部。	F 2 a 9 区	PL118

番号	器種	計測値				材質	特徴	出土位置	備考
		長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)				
1587	不明鉄製品	7.9	2.8	3.1	581	鉄	下面は敲打されている。鍍か。	G 2 c 9 区	PL118

表2 住居跡一覧表

住居跡番号	位置	主軸方向(長軸)	平面形	規模(m) (長軸×短軸)	壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設					覆土	出土遺物	時代	備考 新旧関係 (古→新)
								主柱穴	出入口 ピット	ピット	炉・竈	貯蔵穴				
2	D 3 i 5	N-14°-W	[長方形]	[4.06]×[3.60]	12	平坦	-	-	-	-	竈	-	自然	土師器(坏・高台付坏・甕・甌), 瓦	7 C 後半	本跡→SK95-97
3	D 3 j 2	N-38°-W	[方形]	[6.56]×[6.24]	10~20	平坦	一部	3	-	-	-	-	一部人為	土師器(坏・甕・甌), 須恵器(坏), 土製品(支脚), 縄文土器, 弥生土器, 磁器, 瓦	6 C 後葉~7 C 前葉	SK289→SK198-206-357-SD20-21
4	E 2 b 9	N-18°-W	方形	6.56×6.24	20~26	平坦	[全周]	4	1	-	-	-	一部人為	土師器(坏・甕), 土製品(支脚・不明), 縄文土器, 須恵器	6 C 後半	本跡→SK81-82-SD12
6	E 2 e 4	N-25°-E	方形	2.94×2.80	24~26	平坦	一部	-	-	1	竈	-	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(甕), 鉄製品(斧), 鉄滓, 縄文土器, 弥生土器, 瓦, 石器(剥片)	9 C 中葉~後葉	SI30→本跡
7	E 2 c 8	N-2°-W	方形	[4.27]×[3.88]	6~14	平坦	-	-	-	-	竈	-	一部人為	土師器(坏・皿・甕), 須恵器(甕), 縄文土器, 磁器, 瓦	9 C 後葉	SI40→本跡→SK196-227
8	E 2 a 5	N-25°-W	方形	5.30×5.16	38~52	平坦	全周	4	1	-	竈	-	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕・甌), 土製品(支脚・管状土器・不明), 銅製品(耳環), 縄文土器, 石器(礫石), 陶器, 瓦	8 C 前葉	SI10→本跡
9	F 3 e 1	N-6°-W	[扇形]	5.82×(4.50)	44~48	平坦	全周	2	1	-	竈	-	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕・甌), 土製品(支脚), 縄文土器, 弥生土器	8 C 前葉	
10	E 2 b 5	N-16°-E	長方形	6.18×4.77	6~8	平坦	-	1	-	6	炉	-	一部人為	弥生土器, 縄文土器, 石器(磨石・剥片), 土師器, 須恵器	弥生時代後期後半	本跡→SI8-SI11
11	E 2 b 4	N-34°-W	方形	6.20×5.74	42~66	平坦	全周	4	1	-	[竈]	-	一部人為	土師器(坏・器台・甕・手捏土器), 須恵器(坏・甕), 土製品(不明), 鉄滓, 縄文土器, 弥生土器	7 C 前葉	SI10-13→本跡→SI2-SK226
12	E 2 a 3	N-19°-W	長方形	4.28×3.36	13	平坦	-	-	1	-	[竈]	-	人為	土師器(坏・高台付坏・甕), 須恵器(坏), 土製品(不明), 縄文土器, 石器(礫石)	9 C 後葉~10 C 前葉	SI11-SK272→本跡→SK270-271-273
13	E 2 c 3	N-82°-W	長方形	3.50×3.00	26~32	平坦	一部	1	1	2	竈	-	自然	土師器(坏・高台付坏・甕・甌), 須恵器(坏・甕), 灰軸陶器, 土製品(紡錘車), 石器(支脚), 縄文土器	9 C 後葉	SI11→本跡
14	D 2 j 4	N-5°-E	方形	3.18×3.10	8~16	平坦	一部	-	-	4	竈	-	一部人為	土師器(坏・高台付坏・甕), 須恵器(坏・甕), 土製品(不明), 縄文土器, 石器(凹石・石皿), 陶器	10 C 中葉~後葉	本跡→SK437
16	E 2 a 1	N-20°-W	方形	4.40×4.11	47~56	平坦	全周	4	1	1	竈	-	一部人為	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕・甌), 土製品(支脚・不明), 縄文土器	6 C 後半	SI17→本跡
17	E 1 a 0	N-19°-W	長方形	4.60×4.10	36~52	平坦	全周	4	2	1	竈	-	人為	土師器(坏・甕・甌), 須恵器(坏・甕), 土製品(支脚), 縄文土器	6 C 後半	本跡→SI16
18	E 1 c 0	N-39°-W	方形	6.50×6.50	50~61	平坦	全周	4	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕), 土製品(支脚・土玉・不明), 縄文土器, 弥生土器, 灰軸陶器	6 C 後半	SK228-489-490→本跡→SI23
21	E 1 h 9	N-13°-W	[扇形]	(6.10×2.20)	48~77	平坦	全周	-	-	1	-	-	人為	土師器(坏・甕・甌), 須恵器(坏・甕), 鉄製品(不明), 縄文土器	6 C 後葉~7 C 前葉	
23	E 1 e 0	N-79°-E	[長方形]	4.45×3.70	32~41	平坦	一部	3	1	1	竈	-	一部人為	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕), 土製品(不明), 鉄製品(鉸具), 縄文土器, 磁器	10 C	SK369-489-490→SI18→本跡→SK488
24	E 2 g 2	N-77°-E	[長方形]	4.20×(2.40)	32~41	平坦	-	-	-	-	-	-	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕), 灰軸陶器(不明), 土製品(支脚), 縄文土器	7 C 前葉~9 C 前葉	SI25→本跡→SI29
25	E 2 f 2	N-24°-W	方形	7.00×6.84	58	平坦	全周	4	2	-	竈	-	自然	土師器(坏・甕・甌・高坏), 須恵器(坏・甕・甌・長頸瓶), 土製品(不明), 縄文土器	7 C 前半	本跡→SI24-29
26	E 2 i 3	N-2°-W	長方形	3.94×3.10	15~20	平坦	全周	-	-	-	竈	-	自然	土師器(坏・甕・高坏・甕), 須恵器(坏・甕), 縄文土器, 弥生土器, 土製品(不明)	10 C 前葉	SI27-SK475→本跡→SK410
27	E 2 i 3	N-89°-E	長方形	3.93×3.14	6~20	平坦	全周	2	-	-	竈	-	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(甕), 灰軸陶器(不明), 縄文土器, 弥生土器	8 C 前半	SK284→本跡→SI26-SK283
28	E 2 h 5	N-25°-W	長方形	5.20×3.60	27~30	平坦	-	-	-	1	竈	-	人為	土師器(坏・甕・甌・高坏), 須恵器(坏・甕・甌), 縄文土器, 弥生土器, 剥片	6 C 後半	
29	E 2 g 3	N-77°-E	長方形	3.75×3.24	28	平坦	-	-	-	-	竈	-	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏), 縄文土器	9 C 前半	SI24-25→本跡
30	E 2 f 4	N-20°-E	方形	2.73×2.57	12	平坦	-	-	-	-	竈	-	自然	土師器(坏・高台付坏・甕), 須恵器(坏・甕), 縄文土器, 弥生土器, 石器(石鏃・剥片), 陶器, 古銭	9 C 後葉~10 C 前葉	SI32→本跡→SI36
31	E 2 d 5	N-5°-W	方形	4.50×4.11	35	平坦	一部	-	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕・甌), 土製品(支脚・不明), 石器(礫石), 縄文土器, 瓦, 剥片, 腕状鉄滓	7 C 中葉	SI32→本跡

住居跡 番号	位置	主軸方向 (長軸)	平面形	規模(m) (長軸×短軸)	壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設					覆土	出土遺物	時代	備考 新旧関係 (古→新)
								主柱穴	出入口 ピット	ピット	如・竈	貯蔵穴				
32	E 2 e 4	N-27°-W	方形	4.10×3.85	36~40	平坦	一部	-	-	-	竈	-	人為	土師器(坏・甕), 須惠器(甕), 土製品(支脚・不明), 縄文土器, 石器(石斧・剥片)	6 C 後葉~ 7 C 前葉	SI30・31・33 →本跡
33	E 2 e 4	N-120°-E	方形	2.86×2.60	20~30	平坦	一部	-	-	1	竈	-	人為	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・甕), 灰釉陶器, 土製品(支脚・不明), 縄文土器, 石器(礫石)	9 C 後葉	SI32→本跡
34	E 2 g 5	N-49°-W	長方形	3.60×2.53	6~8	平坦	-	3	-	4	炉	-	一部 人為	縄文土器, 剥片, 土師器, 須惠器	縄文時代前 期前葉	
35	E 2 j 5	N-76°-E	長方形	3.90×(1.50)	22	平坦	一部	-	-	3	-	-	一部 人為	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・甕), 鉄製品(紡錘車), 縄文土器	9 C 後葉~ 10 C 前葉	
36	E 2 i 7	N-31°-W	方形	5.80×5.44	36~40	平坦	全周	4	1	1	竈	-	一部 人為	土師器(坏・高坏・器台・甕), 須惠器(坏・甕・瓶), 土製品(球状土埴土・紡錘車・不明), 縄文土器, 灰釉陶器	6 C 後半	
37	E 2 f 8	N-34°-W	方形	6.50×6.47	25~38	平坦	一部	4	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・高坏・甕・壺), 須惠器(坏・甕・長頸壺), 土製品(支脚・不明), 縄文土器, 弥生土器, 剥片, 陶器	6 C 後半	本跡→ SD19
38	E 2 d 7	N-34°-W	長方形	6.81×5.24	8~16	平坦	-	4	1	16	炉	-	人為	弥生土器, 土製品(紡錘車), 縄文土器, 土師器, 須惠器, 剥片	弥生時代後 期後半	
39	F 2 f 0	N-26°-W	方形	6.09×5.96	30~58	平坦	全周	4	2	1	竈	-	人為	土師器(坏・高坏・甕), 須惠器(坏・甕・甕), 土製品(支脚・不明), 縄文土器, 弥生土器, 剥片	7 C 前葉	SD20-SK491→ SK49-SI41-SD12
40	E 2 d 0	N-13°-E	[長方形]	7.00×(4.40)	8~10	平坦	-	2	-	3	炉	-	一部 人為	弥生土器, 縄文土器, 土師器, 須惠器, 陶器, 瓦, 石器(礫石・剥片)	弥生時代後 期後半	本跡→SI7- SK397-SD12
41	F 2 h 9	N-1°-W	[長方形]	(3.29)×2.80	10	平坦	[全周]	-	1	4	-	-	自然	土師器(坏・高台付坏・甕・甕), 須惠器(坏・甕), 鉄製品(刀子), 縄文土器, 弥生土器	9 C 後葉	SI39→本跡→ SK299-300
42	F 2 d 5	N-15°-W	方形	3.46×3.20	35	平坦	一部	-	-	-	-	-	人為	縄文土器, 弥生土器, 剥片	時期不明	本跡→ SK301
43	E 3 c 1	N-36°-E	方形	3.98×3.77	10	平坦	-	2	-	-	-	-	人為	土師器(坏・甕), 須惠器(坏), 縄文土器, 瓦	6 C 後半	
46	E 3 e 2	N-8°-W	長方形	4.72×3.54	13~20	平坦	全周	4	1	-	竈	-	自然	土師器(坏・椀・甕), 須惠器(坏・蓋・甕), 土製品(不明), 縄文土器, 陶器, 剥片	7 C 後半	本跡→ SK104
47	E 3 h 4	N-12°-W	[方形]	(4.66×4.30)	15~25	平坦	一部	4	1	-	-	-	自然	土師器(坏・甕), 土製品(支脚), 縄文土器, 陶器	6 C 後半	本跡→SK472- 473-SD22
48	E 3 j 5	N-2°-W	方形	4.39×4.16	25~49	平坦	[全周]	4	-	1	竈	-	一部 人為	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・蓋・甕), 石器(礫石), 土製品(不明), 縄文土器	6 C 前半	
49	F 3 b 4	N-42°-W	方形	6.84×6.80	32~43	平坦	[全周]	4	1	2	竈	-	自然	土師器(坏・甕・壺), 須惠器(甕), 土製品(不明), 縄文土器, 弥生土器, 陶器	6 C 後半	本跡→SI50- SK73
50	F 3 a 3	N-48°-W	[長方形]	(4.55×2.68)	42~44	平坦	一部	-	1	-	-	-	自然	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・蓋・鉢), 縄文土器	8 C 前葉	SI49→本跡→ SK55-72
51	E 3 j 8	N-35°-W	[方形]	(5.68)×5.65	15~27	平坦	一部	4	2	-	竈	-	一部 人為	土師器(坏・甕), 鉄製品(不明), 縄文土器	6 C 後半	本跡→ SD8
52	E 4 i 1	N-9°-W	方形	5.24×5.20	13~31	平坦	一部	4	2	2	竈	-	自然	土師器(坏・甕・鉢), 須惠器(甕), 土製品(支脚・不明)	6 C 後半	本跡→ SD8
53	F 3 b 9	N-8°-W	方形	7.14×7.13	7~35	平坦	[全周]	4	2	10	竈	-	一部 人為	土師器(坏・椀・甕), 須惠器(坏・蓋・甕), 土製品(管玉・支脚), 縄文土器, 弥生土器, 灰釉陶器, 剥片, 鉄滓	6 C 後半	本跡→ SD7・8
54	F 3 e 0	N-2°-W	長方形	3.65×3.10	13~30	平坦	一部	2	-	1	-	-	自然	土師器(坏・甕), 縄文土器	6 C 後半	SI57→本跡→ SK58-92-SD7
56	F 3 e 8	N-7°-W	方形	4.00×3.71	10~43	平坦	全周	6	1	1	竈	-	自然	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・椀), 土製品(不明), 石製品(紡錘車), 縄文土器, 灰釉陶器	8 C 前葉	SI57→本跡
57	F 3 d 8	N-28°-W	[方形]	(7.10)×7.00	2~34	平坦	一部	4	-	6	竈	1	自然	土師器(坏・甕), 須惠器(坏), 土製品(支脚・不明), 縄文土器, 弥生土器, 剥片	6 C 後半	本跡→SI54-56- SK59-116-117-SD6
58	F 3 f 8	N-90°-E	[長方形]	2.87×[2.38]	4~8	平坦	-	-	-	-	[竈]	-	不明	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・甕), 縄文土器	6 C 後半	
59	F 3 d 6	N-10°-W	方形	7.60×7.12	36~47	平坦	一部	4	2	1	竈	-	人為	土師器(坏・椀・甕), 須惠器(坏), 土製品(球状土埴土・支脚・不明), 縄文土器, 弥生土器, 石器(礫石・剥片)	6 C 後半	本跡→SK1- 2・3-SD6
60	F 3 c 3	N-2°-W	方形	4.00×3.95	34~36	平坦	全周	4	1	3	竈	-	人為	土師器(坏・甕・高坏・蓋), 須惠器(坏・蓋・甕), 縄文土器, 弥生土器	6 C 後葉	SI61→本跡
61	F 3 d 3	N-31°-W	[長方形]	8.01×(7.95)	26~30	平坦	[全周]	3	1	3	竈	-	人為	土師器(坏・高坏・甕), 鉄製品(鎌), 土製品(土埴土・不明), 縄文土器, 弥生土器, 石器(鎌・磨石)	6 C 後葉~ 7 C 後葉	本跡→ SI60-SB1
62	F 3 g 3	N-29°-W	[長方形]	(4.30)×3.83	38~48	平坦	[全周]	-	1	-	-	-	人為	土師器(坏・椀・甕), 須惠器(坏・甕)	7 C 中葉	SI65→本跡→ SK34
63	F 3 f 5	N-90°-E	[長方形]	(3.39)×2.81	14~30	平坦	[全周]	-	-	-	-	-	自然	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・蓋・甕), 土製品(不明), 縄文土器, 剥片	10 C 中葉~ 後葉	SI64→本跡→ SK28-29
64	F 3 f 5	N-6°-W	方形	4.06×4.05	30~48	平坦	全周	4	-	-	竈	-	自然	土師器(坏・椀・鉢・甕), 須惠器(坏・蓋・長頸壺・甕), 土製品(支脚・不明), 縄文土器, 剥片	7 C 後葉	本跡→SI63
65	F 3 h 3	N-40°-E	[長方形]	(3.22)×(1.61)	30	平坦	[全周]	1	1	1	-	-	自然	土師器(坏・甕), 土製品(不明), 縄文土器, 弥生土器	6 C 後葉	本跡→SI62
67	F 3 i 4	N-2°-E	方形	4.29×4.06	20~30	平坦	全周	4	1	1	竈	-	自然	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・甕), 鉄製品(錐), 縄文土器, 石器(鎌)	9 C 前葉	SI69→本跡

住居跡 番号	位置	主軸方向 (長軸)	平面形	規模(m) (長軸×短軸)	壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設					覆土	出土遺物	時代	備考 新旧関係 (古→新)
								主柱穴	出入口 ピット	ピット	竈	貯蔵穴				
68	F 3 h6	N-2°-W	方形	4.08×3.92	30~54	平坦	全周	4	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・甕・長頸瓶), 灰釉陶器, 土製品(支脚・不明), 縄文土器・弥生土器・石製品(石楯)	9 C 中葉	SI69・70→ 本跡
69	F 3 h5	N-15°-W	方形	5.68×5.54	14~40	平坦	全周	4	1	1	竈	-	人為	土師器(坏・甕・甗), 須惠器(坏・甕・甗), 土製品(支脚・不明), 鉄滓, 縄文土器, 弥生土器, 灰釉陶器	7 C 後半	SI70→本跡 →SI67・68
70	F 3 h5	N-67°-E	[長方形]	5.93×(2.58)	24~26	平坦	-	-	-	2	竈	-	自然	土師器(坏・甕・甗), 須惠器(坏・甕), 石製品(紡錘車)	5 C 後葉~ 6 C 前葉	本跡→ SI68・69
71	G 3 a2	N-5°-E	[長方形]	3.25×(2.44)	19~24	平坦	[全周]	-	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・甕), 土製品(支脚), 石製品(双孔円板), 縄文土器, 弥生土器, 灰釉陶器	9 C 中葉	SI86・SK94 →本跡
72	G 3 a4	N-5°-E	方形	5.17×5.09	38~48	平坦	全周	4	1	1	竈	-	自然	土師器(坏・甕・高坏・甕・甗), 須惠器(坏・高台付坏・甕・長頸甕・短頸甕・甗・握鉢), 灰釉陶器(甗), 縄文土器, 弥生土器, 陶器, 土製品(支脚), 鉄製品(刀子), 石器(磁石・磨石・剥片)	9 C 中葉	
74	F 3 g9	N-14°-W	[方形]	4.86×[4.80]	40	平坦	一部	3	2	1	竈	-	自然	土師器(坏・甕・鉢・甗), 須惠器(坏・甕・甗), 土製品(支脚・不明), 縄文土器	7 C 後葉	本跡→ SD7
75	F 3 h8	N-18°-W	[長方形]	[6.73]×[4.12]	15~20	平坦	-	4	-	-	竈	-	自然	土師器(坏・甕・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 土製品(不明), 縄文土器	7 C 前葉	SI78→SI78・ SK60・SD6・7
76	F 8 j8	N-26°-W	方形	5.52×5.40	26~70	平坦	全周	4	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・甕・甗), 須惠器(坏・甕・甗), 土製品(管状土楯・支脚・不明), 縄文土器, 弥生土器, 灰釉陶器(甗)	7 C 後葉	SK63→本跡 →SI184・SD6
77	F 4 i1	N-9°-W	方形	4.37×4.20	20~64	平坦	一部	4	1	-	竈	-	自然	土師器(坏・甕・甗・甗), 須惠器(坏・短頸甕・不明), 手捏土器, 土製品(支脚・不明), 縄文土器, 石器, 陶器	6 C 後葉~ 7 C 前葉	
78	F 3 i9	N-0°	[方形]	(3.90)×(3.65)	20	平坦	一部	4	1	1	竈力	-	自然	土師器(坏・甕), 須惠器(坏), 縄文土器, 灰釉陶器(甗)	7 C 後葉~ 8 C 前葉	SI75→本跡 →SD6・7
79	G 3 e1	N-1°-W	跡動形	5.48×(1.45)	5	平坦	[全周]	-	-	-	-	-	自然	土師器(坏・甕), 須惠器(甗)	時期不明	
81	G 3 b6	N-13°-E	長方形	5.24×4.84	36~38	平坦	[全周]	4	-	-	竈	-	自然	土師器(坏・高坏・甗・甗), 須惠器(坏・甗), 土製品(不明), 鉄製品(鎌・不明), 縄文土器, 弥生土器, 石器(磨製石斧・剥片), 灰釉陶器(甗)	7 C 後葉	SI83→本跡→ SI82・88・SD14
82	G 3 b5	N-5°-E	方形	4.40×4.00	26	平坦	一部	-	-	1	竈	-	人為	土師器(坏・甕・甗), 須惠器(坏・甕・甗), 灰釉陶器(甗・甗), 土製品(不明), 縄文土器, 弥生土器, 陶器, 剥片	10 C 前葉	SI81・83→ 本跡→SD14
83	G 3 c5	N-26°-W	方形	5.69×5.50	28~36	平坦	全周	3	1	2	竈	-	人為	土師器(坏・甕・甗), 須惠器(坏・甗), 土製品(不明), 縄文土器, 弥生土器, 瓦	7 C 中葉	本跡→SI81・82・ 84・88・SK45・SD14
84	G 3 d5	N-5°-W	長方形	4.53×4.24	36~38	平坦	全周	3	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・甗・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 土製品(支脚・不明), 鉄製品(不明), 縄文土器, 弥生土器, 瓦	7 C 後葉	SI83・85→ 本跡
85	G 3 e5	N-9°-W	方形	5.30×5.02	20~24	平坦	一部	3	2	3	[竈]	-	人為	土師器(坏・鉢・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 土製品(不明), 縄文土器, 弥生土器	6 C 後半	本跡→SI84
86	G 3 a2	N-22°-W	[方形]	3.51×(3.40)	28~37	平坦	全周	1	1	2	[竈]	-	人為	土師器(坏・甗), 須惠器(坏・甗), 縄文土器, 弥生土器	6 C 後葉~ 7 C 前葉	本跡→ SI71・SK94
87	G 3 e8	N-28°-W	[長方形]	[3.26×2.97]	5~13	平坦	-	-	-	-	竈	-	自然	土師器(坏・甗), 縄文土器	7 C 後葉	本跡→ SD6・15・23
88	G 3 c6	N-13°-E	[方形]	[2.34×2.10]	34	平坦	-	-	-	-	竈	-	自然	土師器(坏・鉢・甗), 須惠器(坏・甗), 縄文土器, 灰釉陶器(甗)	8 C 中葉	SI81・83→本跡 →SK45・SD14
89	G 3 f8	N-23°-E	[方形]	[4.40×4.05]	12	平坦	-	-	-	1	竈	-	自然	土師器(坏・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 土製品(支脚・不明), 鉄製品(不明), 縄文土器	7 C 中葉	本跡→SI90・ SK296・SD23
90	G 3 f7	N-14°-W	長方形	5.69×4.98	10~32	平坦	[全周]	4	1	2	竈	-	人為	土師器(坏・甗・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 土製品(支脚・不明), 椀状滓, 縄文土器, 弥生土器, 陶器	7 C 後葉	SI89→本跡 →SK43
91	G 3 f5	N-4°-E	方形	4.00×3.88	28~42	平坦	全周	4	1	-	竈	-	自然	土師器(坏・鉢・甗), 須惠器(坏・甗・高坏・甗), 土製品(不明), 石製品(紡錘車), 縄文土器, 弥生土器	7 C 前葉	本跡→ SK156・159
92	G 3 e2	N-83°-E	[長方形]	(3.44×1.39)	22~25	平坦	一部	1	1	-	-	-	人為	土師器(坏・甗), 須惠器(坏・甗), 縄文土器, 陶器, 瓦	7 C 中葉	
93	G 3 f3	N-1°-W	方形	5.72×5.65	22~25	平坦	全周	4	1	1	竈	-	人為	土師器(坏・甗・鉢・高坏・甗・甗・手捏土器), 須惠器(坏・甗・甗・甗), 土製品(不明), 鉄製品(不明), 鉄製品(刀子・不明), 縄文土器, 弥生土器, 灰釉陶器, 石器(磁石・剥片), 瓦	7 C 後葉~ 8 C 前葉	本跡→ SK83・90
94	G 3 g5	N-1°-W	長方形	4.55×3.80	14~30	平坦	全周	4	1	-	竈	-	自然	土師器(坏・甗), 須惠器(坏・甗), 土製品(不明), 縄文土器	8 C 前葉	
95	G 3 h7	N-11°-E	方形	4.71×4.16	12~18	平坦	全周	4	1	2	竈	-	自然	土師器(坏・甗), 須惠器(坏), 土製品(不明), 鉄製品(鎌), 縄文土器	6 C 後葉~ 7 C 前葉	本跡→SK148・ 149・150
96	G 3 i7	N-34°-E	方形	3.71×3.43	6~30	平坦	全周	4	1	1	竈	-	自然	土師器(坏・甗), 須惠器(坏・高台付坏・甗・鉢・甗), 土製品(不明), 鉄製品(不明), 縄文土器, 石器(磨石)	9 C 中葉	
97	G 3 i4	N-5°-W	方形	5.23×5.15	30~40	平坦	全周	4	1	1	竈	-	自然	土師器(坏・甗), 須惠器(坏・甗), 土製品(支脚), 縄文土器	6 C 後葉	SK77・79→ 本跡→SI98
98	G 3 i5	N-4°-W	方形	5.23×5.00	30~40	平坦	全周	4	1	4	竈	-	自然	土師器(坏・鉢・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 鉄製品(不明), 土製品(支脚・不明), 縄文土器	8 C 前葉	SI97→本跡
99	G 3 j3	N-18°-E	方形	3.23×3.02	8~34	平坦	全周	4	3	1	竈	-	自然	土師器(坏・甗・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 土製品(不明), 縄文土器	6 C 後半	
100	H 3 a4	N-5°-W	方形	4.35×4.26	10~24	平坦	[全周]	4	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・甗・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 灰釉陶器(甗), 鉄製品(不明), 土製品(不明), 鉄滓, 縄文土器, 瓦	8 C 前葉	
101	H 3 a6	N-1°-W	方形	3.79×3.61	14~20	平坦	一部	3	2	4	竈	-	人為	土師器(坏・甗・不明), 須惠器(坏・甗・甗), 土製品(不明), 縄文土器, 石器(磨石・剥片)	8 C 前葉	

住居跡 番号	位置	主軸方向 (長軸)	平面形	規模(m) (長軸×短軸)	壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設						覆土	出土遺物	時代	備考 新旧関係 (古→新)
								主柱穴	出入口 ピット	ピット	炉・竈	貯蔵穴					
144	F 1 h0	N-24°-W	方形	7.23×6.88	33~65	平坦	全周	4	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・高坏・甗・皿・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 土製品(支脚・紡錘車・不明), 鉄製品(不明), 縄文土器, 弥生土器, 磁器・瓦・剥片	6 C 末葉~ 7 C 前葉		
145	F 2 b2	N-8°-W	[長方形]	3.15×(2.63)	10	平坦	-	-	-	-	竈	-	人為	土師器(坏・甗), 縄文土器	9 C 後葉	本跡→ SI150	
146	G 2 f9	N-77°-W	方形	5.56×5.23	40~71	平坦	全周	4	2	3	竈	-	人為	土師器(坏・高坏・甗・鉢・甗・甗・手捏土器), 須惠器(坏・甗・甗・甗・甗・甗), 土製品(支脚・不明), 鉄製品(不明), 縄文土器, 弥生土器, 灰釉陶器, 剥片	8 C 前葉	本跡→ SI132・SB9	
147	F 2 b5	N-6°-W	方形	4.00×3.57	12~26	平坦	-	4	1	4	竈	-	人為	土師器(坏・甗), 須惠器(坏), 縄文土器	9 C 前葉~ 中葉	本跡→SI148 ・SK309	
148	F 2 b5	N-79°-E	[方形]	[3.62]×3.38	6	平坦	-	-	-	-	竈	-	人為	土師器(坏・高台付坏・皿・甗), 須惠器(坏・甗), 縄文土器	10 C 中葉	SI147→ 本跡	
150	F 2 c2	N-2°-W	方形	[4.75]×4.70	20	平坦	一部	-	-	9	-	-	人為	土師器(坏・高台付坏・甗), 須惠器(坏・甗), 石製品(不明), 縄文土器, 磁器	10 C 中葉~ 後葉	SI45・153・155・156 →SK125	
152	F 2 d3	N-10°-W	[長方形]	4.64×(3.86)	20~30	平坦	-	-	1	-	炉	1	人為	土師器(坏・甗・甗・甗・高坏・甗・手捏土器・ミニチュア土器), 縄文土器	4 C 中葉	本跡→ SI112・155・156	
153	F 2 c1	N-10°-E	方形	3.30×3.25	34~54	平坦	全周	4	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・高台付坏・甗・甗), 須惠器(坏・甗・甗・甗・甗), 縄文土器, 灰釉陶器(甗), 石器(打製石斧)	9 C 中葉	SK246→本跡 →SI150・SK125	
154	F 1 c9	N-5°-W	[長方形]	2.94×(0.87)	50	平坦	[全周]	-	-	-	-	-	人為	土師器(坏・甗), 縄文土器	6 C 末葉~ 7 C 前葉	本跡→ SK116	
155	F 2 d3	N-83°-E	[長方形]	[4.48×3.40]	6~12	平坦	-	-	-	-	竈	-	人為	土師器(坏・甗), 縄文土器	時期不明	SI32・SK20→本跡 →SI150・156・SK20	
156	F 2 c3	N-10°-W	方形	4.50×4.33	35~58	平坦	全周	4	1	4	竈	-	人為	土師器(坏・甗・甗), 須惠器(坏・甗・甗・甗・甗・甗), 土製品(不明), 縄文土器	9 C 中葉	SI152・155→ 本跡→SI150	
159	H 2 d0	N-2°-E	方形	2.90×(2.80)	20	平坦	-	1	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・高坏・甗・ミニチュア土器), 須惠器(甗), 縄文土器	時期不明		
160	F 2 h8	N-16°-W	長方形	5.60×4.00	13~18	平坦	-	4	-	2	炉	-	人為	縄文土器, 石器(磨石), 剥片, 土師器	縄文時代前 期前葉	本跡→SK426・ 427・428・432	
161	H 2 a0	N-16°-E	[長方形]	(3.98)×3.65	6~20	平坦	-	-	-	-	竈	-	自然	土師器(坏・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 縄文土器	9 C 後葉	本跡→ SI169・SB13	
162	F 2 g2	N-95°-E	長方形	3.72×3.10	37~42	平坦	一部	-	-	6	竈	-	自然	土師器(坏・甗・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 灰釉陶器(甗), 鉄製品(刀子), 土製品(不明), 縄文土器, 瓦	10 C 後葉	本跡→ SK499	
163	F 1 e0	N-7°-W	長方形	3.77×2.94	12~37	平坦	一部	-	-	1	竈	-	自然	土師器(坏・鉢・甗), 須惠器(坏・甗), 縄文土器, 剥片	10 C 中葉	SK238→ 本跡	
164	F 1 f9	N-20°-W	[方形]	(5.90×2.30)	8~14	平坦	一部	-	-	-	-	-	自然	土師器(坏・甗), 縄文土器, 剥片	時期不明		
165	F 1 g0	N-90°-E	[方形]	[2.67×2.30]	32	平坦	-	-	-	1	竈	-	人為	土師器(坏・甗・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 緑釉陶器(甗), 縄文土器, 弥生土器	10 C 後葉	SI 166・168 →本跡	
166	F 1 g0	N-85°-E	[方形]	3.00×(2.70)	39	平坦	-	-	-	-	竈	-	人為	土師器(坏・甗), 須惠器(坏・甗), 縄文土器	9 C~10 C	SI168→本跡 →SI165	
167	E 3 j1	N-27°-W	[方形]	4.66×(2.05)	21	平坦	[全周]	2	1	3	-	-	人為	土師器(坏・甗), 須惠器(坏), 縄文土器	9 C 中葉		
168	F 1 g0	N-15°-W	[方形]	4.38×(3.12)	38	平坦	-	-	-	-	-	-	不明	土師器(坏・甗), 須惠器(甗), 鉄製品(不明), 縄文土器, 瓦	7 C 中葉	本跡→SI165・ 166・SK213	
169	H 2 b0	N-38°-E	方形	3.50×3.42	20~40	平坦	-	4	1	-	竈	-	自然	土師器(坏・高台付坏・鉢・甗・不明), 須惠器(坏・甗・甗), 灰釉陶器(甗), 縄文土器, 瓦, 剥片	10 C 後葉	SI161→ 本跡	
170	F 2 h5	N-26°-W	方形	5.62×5.35	50~60	平坦	全周	4	-	2	竈	-	人為	土師器(坏・甗・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 土製品(土錘), 不明, 縄文土器, 弥生土器, 剥片, 瓦	7 C 前葉	SI110→本跡 →SB6	
172	F 2 j3	N-12°-W	[長方形]	5.78×(3.90)	30~36	平坦	-	-	-	-	竈・炉	-	人為	土師器(坏・高台付坏・高坏・鉢・甗・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 土製品(紡錘車), 縄文土器, 陶器, 剥片	6 C 後葉	SI195→本跡 →SI173・SB16	
173	F 2 j2	N-1°-E	長方形	5.60×4.32	40~54	平坦	[全周]	4	3	2	竈	-	人為	土師器(坏・高台付坏・甗), 須惠器(坏・高台付坏・甗・甗), 土製品(土錘・紡錘車・支脚・不明), 鉄製品(甗・刀子・鋤先), 縄文土器, 弥生土器, 灰釉陶器, 石器(磨石・石錘・剥片)	9 C 中葉	SI172・174→ 本跡→SB16	
174	G 2 a1	N-17°-W	方形	3.78×3.67	66~68	平坦	全周	-	-	-	竈	-	一部 人為	土師器(坏・甗・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 鉄製品(刀子), 縄文土器, 弥生土器, 石器(磨石・剥片)	7 C 後葉	本跡→SI173・ SB16・18	
175	F 2 e2	N-0°	長方形	4.87×3.91	7~15	平坦	-	4	-	3	[炉]	-	自然	縄文土器, 石器(石錘・剥片), 土師器	縄文時代前 期前半	本跡→ SK214・465・466	
176	G 2 a3	N-83°-E	方形	3.07×2.80	22~30	平坦	一部	-	-	-	竈	-	人為	土師器(坏・甗), 須惠器(坏・甗), 縄文土器	10 C 前葉	SI188・SB11→本跡 →SK286・288・290	
177	G 2 a5	N-9°-W	方形	5.45×5.10	62~74	平坦	全周	4	1	-	竈	-	自然	土師器(坏・高坏・高台付坏・甗・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 土製品(勾玉・支脚・不明), 縄文土器, 弥生土器, 陶器, 剥片	7 C 中頃	SI178→ 本跡	
178	G 2 a4	N-4°-E	[方形]	5.96×(4.35)	24~33	平坦	-	5	-	3	炉	-	一部 人為	土師器(坏・高坏・高台・甗・手捏土器), 土製品(不明), 縄文土器, 弥生土器, 須惠器, 灰釉陶器, 鉄製品(刀子・剥片)	4 C 中葉	SI195→本跡 →SI177	
182	F 2 h2	N-9°-E	方形	4.56×4.21	32~38	平坦	全周	3	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・高台付坏・甗), 須惠器(坏・甗・甗), 灰釉陶器(不明), 縄文土器, 弥生土器, 陶器	9 C 中葉	SI196→本跡 →SK371	
184	F 3 j9	N-10°-W	[長方形]	[3.72×2.85]	24	平坦	-	-	-	-	-	-	人為	土師器(坏・甗), 須惠器(坏・甗), 灰釉陶器(甗), 土製品(不明), 縄文土器	9 C 中葉	SI176→本跡 →SK24・SD6	

住居跡 番号	位置	主軸方向 (長軸)	平面形	規模(m) (長軸×短軸)	壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設						覆土	出土遺物	時代	備考 新旧関係 (古→新)
								主柱穴	出入口 ピット	ピット	炉	竈	貯蔵穴				
185	H 3 c 3	N-90°-E	[方形長形]	(2.30×1.36)	4~28	平坦	-	-	-	-	-	-	不明	土師器(坏)	平安時代	本跡→ SD5-12	
186	G 1 e 0	N-17°-W	[方形]	2.95×[2.93]	8~10	平坦	一部	2	-	7	炉	-	人為	土師器(坏), 須恵器(甕), 縄文土器	古墳時代	本跡→ SK195	
187	G 1 e 9	N-0°	(方形)	(1.40×1.30)	14~32	平坦	-	-	-	-	-	-	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	時期不明		
188	G 2 b 3	N-4°-E	方形	3.41×3.13	40~64	平坦	全周	-	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・高台付坏・甕・甗), 須恵器(坏・高台付坏・甕・甗), 鉄製品(不明), 銅製品(帯先金具), 縄文土器, 陶器	9 C 後葉	本跡→ SI176-SB11	
189	G 2 c 5	N-4°-E	方形	3.06×3.01	32	平坦	全周	-	1	-	竈	-	人為	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕・甗), 土製品(不明), 鉄製品(刀子), 石器(砥石), 縄文土器, 陶器, 剥片	9 C 中葉	SI190→ 本跡	
190	G 2 c 4	N-13°-W	方形	4.06×4.06	28~32	平坦	一部	-	-	1	-	-	人為	土師器(坏・高台付坏・甕・甗), ミニチュア土器, 須恵器(坏・甕・甗), 土製品(不明), 縄文土器, 弥生土器, 剥片	7 C 後葉	本跡→ SI189	
193	F 2 b 9	N-41°-W	方形	5.63×5.07	36~52	平坦	全周	4	-	-	竈	-	人為	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕・甗), 土製品(支脚), 石製品(紡錘車・双孔円板), 縄文土器	6 C 後葉	本跡→ SI194-SD12	
194	F 2 a 9	N-30°-W	方形	5.12×4.54	40~48	平坦	全周	4	1	19	竈	-	人為	土師器(坏・高台付坏・甕), 須恵器(坏・甕・甗), 土製品(支脚・蓋・長頸壺・甕), 土製品(支脚・不明), 鉄製品(鐵), 銅製品(不明), 縄文土器, 弥生土器, 陶器	8 C 前葉	SI193→ 本跡→SD12	
195	F 2 j 4	N-1°-W	[方形]	4.87×4.76	12~14	平坦	-	2	-	2	-	-	一部 人為	縄文土器, 剥片, 土師器	縄文時代前 期前半	SK467→本跡 →SI172-178	
196	F 2 i 3	N-30°-W	方形	4.81×4.45	16~32	平坦	-	4	-	6	炉	2	自然	縄文土器, 石器・石製品(石鏃・球状耳飾り・剥片), 土師器, 須恵器	縄文時代前 期前半	本跡→ SI182-SK371	
197	H 2 b 8	N-2°-E	方形	4.84×4.58	8~60	平坦	全周	3	1	2	竈	-	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕・甗), 土製品(支脚・不明), 縄文土器, 灰釉陶器, 陶器	7 C 前葉	SI198-203→本跡 →SI202-204	
198	H 2 b 8	N-5°-E	[長方形]	3.92×(3.00)	54	平坦	-	3	-	-	-	-	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕), 縄文土器	時期不明	本跡→SI197 →SK462	
199	G 2 j 8	N-8°-E	方形	(3.97×3.80)	16~40	平坦	-	2	-	2	竈	-	自然	土師器(坏・高台付坏・甕), 須恵器(坏・甕), 鉄製品(不明), 縄文土器, 陶器	9 C 後葉	SI200-201→本跡 →SI206-SB14-15	
200	G 2 j 8	N-1°-E	[方形長形]	4.94×(0.85)	16~24	平坦	-	-	-	-	-	-	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏), 鉄製品(不明), 縄文土器	9 C 中葉	本跡→SI199 →SB14-15	
201	G 2 j 8	N-5°-E	[方形長形]	(4.55)×(1.40)	16	平坦	-	-	-	-	-	-	自然	土師器(坏・高台付坏・甕), 須恵器(坏・甕), 鉄製品(不明), 縄文土器	9 C 中葉~ 後葉	SK467→SI200-201-206 →SB14-15	
202	H 2 a 7	N-35°-E	[方形]	4.06×[3.53]	40	平坦	一部	-	-	-	-	-	自然	土師器(坏・高台付坏・甕), 須恵器(坏・高台付坏・甕・甗), 灰釉陶器(甕), 鉄製品(鐵・刀子・不明), 縄文土器, 剥片	10 C 中葉	SI196-202-203-204 →SB14-15	
203	H 2 a 8	N-6°-E	[方形長形]	(4.67)×[4.50]	32	平坦	-	-	-	-	-	-	人為	土師器(坏・高台付坏・甕), 須恵器(坏・甕・甗), 灰釉陶器(甕), 土製品(支脚), 縄文土器, 弥生土器, 剥片	時期不明	SI197→本跡→ SI201-202-204	
204	H 2 b 8	不明	不明	不明	-	平坦	-	-	-	-	[竈]	-	自然	縄文土器, 土師器(坏・高台付坏・甕), 土製品(不明), 石器(砥石)	時期不明	SI197-202- 203→本跡	
205	G 2 j 7	N-0°	[方形長形]	(2.20×1.60)	20	平坦	-	-	-	-	炉	-	人為	縄文土器, 土師器(甕)	9 C 中葉~ 後葉	本跡→SI201- 202-SK344	
206	G 2 j 9	N-90°-E	[方形長形]	4.00×(3.80)	24	平坦	-	-	-	-	竈	-	人為	土師器(坏・高台付坏・甕), 須恵器(甕・長頸壺), 縄文土器	10 C 中葉	SI199-201 →本跡	
207	F 3 g 1	N-3°-E	[長方形]	3.83×(1.43)	24	平坦	全周	2	-	-	竈	-	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕), 土製品(不明), 縄文土器, 弥生土器	7 C 中葉	SI208→ 本跡	
208	F 3 g 1	N-20°-E	[楕円形]	(3.20×2.84)	8~16	平坦	-	6	-	4	炉	-	自然	縄文土器, 剥片	縄文時代前 期前葉	本跡→SI39- 207-SK491	

表3 上野陣場遺跡掘立柱建物跡一覧表

番号	位置	桁行方向	柱 穴 (長さの単位はすべてcm)					柱	柱穴	平 面 形	長径(軸)	短軸(軸)	深 さ	主 な 遺 物	備考 新旧関係 (古→新)
			桁×梁	規 模 (m)	桁行柱間(m)	梁行柱間(m)	面積(m ²)								
1	F 3 d 4~ F 3 e 6	N-79°-E	(3×2)	5.75×3.60	0.85~2.05	1.60~1.99	20.70	側柱	8	円形・楕円形	37~54	31~54	23~46	縄文土器, 土師器	SI 61→ 本跡
2	G 3 a 6~ G 3 b 7	N-3°-W	3×1	4.90×3.24	0.60~2.95	3.24	15.88	側柱	7	円形・不整形楕円形・ 隅丸長方形・不定形	54~111	52~76	14~60	土師器, 須恵器, 縄 文土器, 土製品	
3	F 3 i 6~ F 3 j 7	N-87°-W	2×2	4.12×4.10	2.00~4.12	1.96~2.16	16.89	側柱	7	円形・楕円形 ・不定形	62~167	58~99	21~56	縄文土器, 弥生土器, 土師器, 須恵器	本跡→ SD 6
4	G 3 b 7~ G 3 c 8	N-82°-W	2×2	3.92×3.38	1.86~2.02	1.52~1.90	13.25	側柱	9	円形・楕円形 ・不定形	28~57	24~33	13~30	縄文土器, 土師器, 須恵器, 陶器, 瓦	本跡→ SD 14
5	E 2 g 0~ E 3 g 1	N-79°-E	(3×2)	5.47×3.64	1.78~2.04	1.65~1.88	20.89	側柱	9	円形・楕円形	39~61	33~50	12~82	土師器, 土製品	
6	F 2 g 4~ F 2 h 5	N-88°-E	3×2	4.96×4.34	1.50~1.80	1.94~2.34	21.53	側柱	10	円形・不定形	44~130	34~102	24~71	縄文土器, 土師器	SI110・118・ SI170→本跡

番号	位置	桁行方向	柱 穴 (長さの単位はすべてcm)					主な遺物	備考 新旧関係 (古→新)						
			桁×梁	規模 (m)	桁行柱間(m)	梁行柱間(m)	面積(m ²)			構造	柱穴	平面形	長径(軸)	短軸(軸)	深さ
7	G 2 b0~ G 2 b1	N-88°-E	2×2	3.60×3.14	1.40~1.88	1.28~1.86	11.30	総柱	9	円形・楕円形	41~58	38~55	7~30	縄文土器, 土師器, 須恵器, 鉄滓	本跡→ SB 8
8	G 2 c9~ G 3 d1	N-2°-E	3×2	6.16×4.18	1.60~2.32	1.66~2.28	25.75	側柱	10	隅丸方形・隅丸 長方形・不定形	73~141	62~81	21~66	土師器, 須恵器, 縄 文土器, 瓦	SI107-SK107-SB 7-榎-SI28
9	G 2 e9~ G 2 h0	N-11°-W	(5×3)	8.96×4.57	1.40~1.88	1.60~1.80	40.95	側柱	14	円形・楕円形	27~55	26~52	5~66	縄文土器, 土師器, 剥片	本跡→SI132 →SI146
11	G 2 a2~ G 2 b3	N-1°-E	(3×2)	5.33×3.55	1.73~1.91	1.71~1.84	18.92	側柱	7	楕円形・ 隅丸長方形	85~101	72~88	27~48	土師器, 須恵器, 縄 文土器	SI188→本 跡→SI176
12	F 2 h6~ F 2 i7	N-9°-W	2×2	4.45×3.75	2.05~2.25	1.43~1.94	16.69	総柱	9	円形・楕円形	27~49	22~45	10~43		SI125→ 本跡
13	G 2 i0~ H 3 b1	N-7°-E	5×2	10.40×4.37	2.03~2.24	2.00~2.48	45.45	側柱	14	楕円形・方形・ 隅丸長方形	34~126	18~111	13~51	縄文土器, 土師器, 剥片	SI161→ 本跡
14	G 2 i7~ F 2 j9	N-85°-W	(3×3)	6.73×5.21	2.10~2.50	1.30~2.41	35.06	側柱	11	楕円形・ 隅丸長方形	48~77	40~70	17~60	土師器, 須恵器, 縄 文土器	SI134-SK139- 20-SB15-榎
15	G 2 i7~ G 2 j0	N-85°-W	4×2	10.22×4.86	2.22~2.86	2.06~2.48	49.67	側柱	12	円形・楕円形・方形・ 長方形・隅丸方形	33~68	28~60	22~67	縄文土器, 土師器, 須恵器, 灰釉陶器	SI134-SK139- 20-SB15-榎
16	F 2 i1~ F 2 j2	N-90°-E	(3×2)	6.95×3.87	2.07~2.48	1.85~2.18	26.90	側柱	9	楕円形・隅丸長 方形・不定形	56~116	45~90	6~65	縄文土器, 土師器, 須恵器	SI144・I72・ I73-I74-榎
17	G 2 b1~ G 2 c2	N-88°-W	(2×1)	3.31×2.57	1.40~1.80	2.54~2.57	8.51	側柱	5	円形・楕円形	57~83	56~69	18~34	土師器, 須恵器, 縄 文土器, 陶器	本跡→ SI140
18	F 1 j0~ G 2 b1	N-0°	2×1	4.45×2.15	1.85~2.40	2.08~2.15	9.57	側柱	6	円形・方形・ 隅丸方形	74~95	70~81	13~64	土師器, 須恵器, 縄 文土器, 陶器, 土製品	SI174-SK255 -256-榎
19	G 2 d2~ G 2 e3	N-75°-W	2×2	3.37×3.24	1.53~1.84	1.25~1.78	10.92	側柱	8	円形・楕円形	74~107	65~86	50~66	土師器, 須恵器, 縄 文土器, 土製品	SI139-SK207-SB 20-榎-SK324
20	G 2 d2~ G 2 e3	N-82°-W	(3×2)	4.20×3.12	1.45~1.75	1.53~1.62	13.10	総柱	10	円形・楕円形	31~84	28~58	28~60	土師器, 縄文土器, 石製品	SI139-榎→ SB19-SK324
21	G 2 d4~ G 2 e4	N-61°-E	(2×2)	3.14×2.82	1.52~1.62	1.39~1.44	8.85	総柱	8	楕円形	38~71	31~50	50~76	土師器, 縄文土器	SI139-SK243・ 245-榎
22	G 1 a9~ G 1 b0	N-7°-E	(3×1)	6.44×3.60	2.12~2.40	2.08~2.20	23.20	側柱	6	楕円形・円形・ 方形	38~71	31~50	30~54	土師器, 須恵器, 縄 文土器	SK175→ 本跡

表4 上野陣場遺跡土坑一覽表

土坑 番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	出土遺物	備考 遺構番号・新旧関係 (古→新)
				長径(軸)×短径(軸)(m)	深さ(cm)					
1	F 3 d 6	N-0°	楕円形	1.07×0.77	25	緩斜	平坦	自然		SI59→本跡
2	F 3 d 5	N-11°-W	(楕円形)	0.44×(0.30)	18	外傾	平坦	人為		SI59→本跡→SK 3
3	F 3 d 5	N-0°	楕円形	0.55×0.42	29	外傾	皿状	人為	土師器(坏), 縄文土器	SI59→SK 2→本跡
5	G 4 c 1	N-0°	円形	3.74×3.67	193	外傾	平坦	一部人為	縄文土器, 弥生土器, 土師器, 須恵器, 灰釉 陶器, 緑釉陶器, 土製品, 石器・石製品, 鉄 製品, 銅製品, 馬骨	水室遺構 8世紀中葉
6	F 3 e 5	N-42°-E	円形	0.43×0.42	25	外傾	皿状	不明		
7	D 3 f 5	N-25°-E	不定形	1.55×1.05	15	緩斜	平坦	人為		
8	F 3 f 4	N-74°-W	不定形	1.13×0.9	21	外傾	皿状	人為	縄文土器	
9	F 3 g 4	N-26°-W	不定形	1.50×1.25	49	緩斜	皿状	人為	土師器(坏), 縄文土器	
10	F 3 d 5	N-43°-W	円形	0.33×0.30	26	外傾	皿状	人為	土師器(甕)	
11	F 3 d 5	N-70°-E	楕円形	0.43×0.35	25	外傾	皿状	自然	縄文土器	
22	F 3 f 4	N-51°-E	円形	0.72×0.68	15	緩斜	皿状	人為		
24	F 3 j 9	N-73°-E	楕円形	0.98×0.65	27	外傾	平坦	不明		SI184→本跡
25	D 3 g 4	N-23°-W	円形	1.34×1.23	18	外傾	平坦	人為		
26	D 3 h 3	N-43°-W	円形	0.70×0.66	22	垂直	平坦	自然		
27	D 3 h 4	N-0°	円形	0.74×0.72	19	緩斜	皿状	自然		
28	F 3 f 5	N-62°-W	(楕円形)	1.05×[0.73]	12	外傾	平坦	自然		SI63→本跡
29	F 3 f 4	N-0°	(楕円形)	1.60×(1.22)	19	垂直	平坦	自然	土師器(高台付坏・甕), 縄文土器	SI63→本跡
30	F 3 h 7	N-49°-E	円形	0.47×0.4	15	外傾	皿状	自然	土師器(高台付坏・甕), 縄文土器	
31	F 3 h 8	N-18°-E	楕円形	0.55×0.39	28	外傾	皿状	自然	土師器(坏), 須恵器(甕)	

土坑 番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	出 土 遺 物	備考 遺構番号・新旧関係 (古→新)
				長径(軸)×短径(軸)(m)	深さ(cm)					
32	F 3 g 8	N-30°-W	楕円形	0.54×0.48	31	垂直	皿状	自然	須恵器(坏)	
33	F 3 g 7	N-45°-E	楕円形	0.92×0.81	12	緩斜	平坦	不明	土師器(坏・甕), 須恵器(甕)	
34	F 3 g 3	N-59°-E	[楕円形]	[1.50×1.26]	9	緩斜	平坦	自然	土師器(坏), 縄文土器	SI62→本跡
35	D 3 i 2	N-58°-E	円形	1.06×1.00	24	緩斜	皿状	自然		
38	G 3 b 3	N-43°-E	楕円形	1.44×1.17	55	外傾	皿状	自然	土師器(坏・甕), 縄文土器, 弥生土器, 剥片	SK56→本跡
39	G 3 d 6	N-31°-W	[楕円形]	0.99×(0.63)	14	緩斜	平坦	自然	土師器(甕), 縄文土器, 弥生土器	本跡→SK40→SK41
40	G 3 d 6	N-20°-E	[楕円形]	0.85×(0.65)	34	緩斜	皿状	自然	土師器(坏・甕・高坏), 須恵器(坏・甕・蓋), 縄文土器, 弥生土器	SK39→本跡→SK41
41	G 3 d 6	N-50°-E	楕円形	0.74×0.62	35	外傾	皿状	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(甕・甌), 縄文土器	SK39→SK40→本跡
42	G 3 i 3	N-85°-W	長方形	0.72×0.48	40	外傾	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	
43	G 3 g 7	N-17°-E	鼎丸長方形	1.80×1.30	32	緩斜	平坦	不明	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・蓋)	SI90→本跡 平安時代
45	G 3 c 6	N-90°-W	不整楕円形	1.40×0.75	15	緩斜	皿状	自然		SI88→本跡
47	G 3 c 6	N-17°-E	鼎丸長方形	1.80×1.30	28	緩斜	平坦	不明	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・蓋)	SI90→本跡 平安時代
48	G 3 c 6	N-27°-W	円形	0.67×0.61	45	緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏), 縄文土器	
55	F 3 a 3	N-71°-W	楕円形	0.83×0.71	50	外傾	皿状	不明	土師器(坏・甕), 縄文土器	SI50→本跡
56	G 3 b 3	N-47°-E	楕円形	1.50×0.98	56	外傾・緩斜	皿状	自然	縄文土器	本跡→SK38
57	F 3 h 4	N-58°-E	円形	0.66×0.61	27	緩斜	皿状	人為		
58	F 3 d 0	N-57°-W	不定形	1.39×1.00	20	緩斜	平坦	自然		SI54→本跡
59	F 3 d 8	N-0°	楕円形	1.26×0.79	24	緩斜	皿状	自然	土師器(坏)	SI57→本跡
60	F 3 i 8	N-19°-W	円形	0.47×0.47	19	緩斜	皿状	自然	須恵器(不明), 縄文土器	SI75→本跡
61	F 3 j 8	N-0°	円形	1.10×1.01	40	外傾・緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕)	
62	F 3 j 8	N-24°-W	円形	0.96×0.95	10	外傾・緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(甕), 灰釉陶器(不明)	
63	F 3 j 8	N-77°-W	[楕円形]	(0.90)×0.71	15	緩斜	皿状	自然	土師器(甕)	本跡→SI76
64	F 3 h 3	N-30°-W	楕円形	0.45×0.37	19	緩斜	皿状	人為		
65	F 3 h 3	N-17°-W	楕円形	0.42×0.35	72	垂直	平坦	人為		
67	F 3 j 8	N-36°-W	不定形	0.74×0.69	26	外傾	平坦	自然	灰釉陶器(不明)	
68	G 3 a 5	N-58°-W	楕円形	0.75×0.52	52	外傾	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	
70	F 3 i 7	N-66°-E	楕円形	0.71×0.60	32	外傾	平坦	人為	土師器(甕), 縄文土器	
71	F 3 i 7	N-7°-E	円形	0.41×0.41	14	緩斜	皿状	人為	土師器(甕)	
72	F 3 b 3	N-21°-W	円形	0.59×0.57	26	緩斜	皿状	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	SI50→本跡
73	F 3 a 4	N-68°-E	円形	0.34×0.32	17	緩斜	皿状	人為	土師器(甕)	SI49→本跡
74	G 3 a 6	N-44°-E	円形	0.56×0.51	46	外傾	皿状	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	
76	G 3 j 4	N-0°	円形	0.48×0.43	32	外傾	平坦	人為		
77	G 3 i 4	N-4°-W	不定形	0.83×(0.62)	10	垂直・緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕)	本跡→SI97
78	G 3 i 3	N-0°	円形	0.35×0.35	22	外傾	平坦	自然	土師器(坏・甕), 縄文土器	
79	G 3 i 4	N-77°-E	不定形	(0.81)×0.66	8	緩斜	平坦	自然		本跡→SI97
80	G 3 j 3	N-50°-E	円形	0.35×0.32	20	外傾	皿状	自然		
81	E 2 b 0	N-25°-W	円形	0.83×0.75	18	外傾	平坦	不明		
82	E 2 b 0	N-46°-W	円形	1.00×0.91	19	緩斜	平坦	不明		SI 4 →本跡
83	G 3 g 3	N-90°-W	楕円形	[1.12]×[0.60]	32	外傾	皿状	自然	土師器(坏・甕), 縄文土器	SI93→本跡
84	G 3 j 3	N-64°-E	円形	0.35×0.30	27	外傾	平坦	自然		
85	G 3 i 3	N-86°-E	[楕円形]	[0.53×0.40]	28	外傾	皿状	自然	土師器(坏・甕), 縄文土器	SK86→本跡
86	G 3 i 3	N-56°-W	楕円形	0.60×0.45	36	外傾	皿状	自然		本跡→SK85
87	G 3 i 3	N-62°-E	円形	0.35×0.30	14	垂直	平坦	自然	土師器(甕)	
88	G 3 h 3	N-40°-W	円形	0.73×0.71	17	外傾	平坦	自然		
89	G 3 g 4	N-30°-W	楕円形	0.61×0.54	56	外傾	平坦	自然		
90	G 3 g 3	N-0°	楕円形	[1.16]×1.12	44	外傾	平坦	人為	土師器(坏)	SI93→本跡

土坑 番号	位 置	長 径 方 向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	出 土 遺 物	備 考 遺構番号・新旧関係 (古→新)
				長径(軸)×短径(軸)(m)	深さ(cm)					
92	F 3 d 0	N-28°-W	円形	0.40×0.38	53	外傾	皿状	自然		SI54→本跡
94	G 3 a 2	N-44°-E	楕円形	0.79×0.63	20	緩斜	平坦	人為		SI86→本跡→SI71
95	D 3 i 4	N-41°-E	不定形	2.05×1.80	21	緩斜	皿状	不明	土師器(坏), 須恵器(蓋), 縄文土器	SI 2→本跡
96	G 3 j 3	N-31°-E	円形	0.37×0.33	21	垂直	平坦	人為		
97	D 3 j 4	N-33°-E	不定形	1.65×1.28	25	緩斜	皿状	不明		SI 2→本跡
98	F 3 j 6	N-30°-E	隅丸長方形	0.77×0.69	8	緩斜	平坦	人為		
104	E 3 e 3	N-40°-E	楕円形	0.73×0.61	10	外傾	平坦	人為		SI46→本跡
105	E 3 e 1	N-0°	円形	0.40×0.40	28	外傾	皿状	人為		
106	E 2 f 0	N-33°-W	円形	0.46×0.45	20	緩斜	皿状	不明		SD18→本跡
107	G 2 c 6	N-19°-E	楕円形	0.58×0.48	22	緩斜	皿状	自然	須恵器(甕), 縄文土器	SI137→本跡
108	F 3 j 5	N-50°-E	楕円形	0.97×0.71	15	外傾	平坦	自然	縄文土器	
109	G 3 a 5	N-32°-W	楕円形	0.78×0.70	22	外傾	平坦	人為		
110	G 3 a 5	N-23°-W	楕円形	0.64×0.49	36	外傾	皿状	人為		
111	F 3 j 5	N-69°-E	不定形	1.43×0.82	15	緩斜	平坦	自然		
112	F 3 j 5	N-40°-W	楕円形	0.85×0.76	13	外傾	平坦	自然		
113	G 2 d 6	N-13°-E	楕円形	1.87×1.50	222	外傾	平坦	人為	縄文土器, 土師器, 須恵器, 灰釉陶器, 土製品, 鉄製品, 数珠玉, 古銭, 人骨, 剥片, 木片	SI138-SK118→本跡-SK113 第2号墓 江戸時代
114	F 1 c 0	N-22°-W	楕円形	0.80×0.55	14	外傾	平坦	自然		
115	F 1 d 0	N-28°-E	楕円形	1.35×1.10	20	緩斜	平坦	人為	土師器(甕), 須恵器(甕), 縄文土器	
116	F 1 c 9	N-54°-W	楕円形	(1.36)×(1.19)	35	緩斜	平坦	自然		SI154→本跡
117	E 3 d 1	N-24°-W	楕円形	1.06×0.90	32	外傾	平坦	自然	剥片	
118	G 2 d 6	N-50°-E	円形	3.99×3.92	188	外傾	平坦	一部人為	土師器(坏・高坏・甕・甗), 須恵器(坏・蓋・甕), 土製品, 石器, 鉄製品, 縄文土器, 弥生土器	SI138-SK124→本跡-SK113-123 水宮状遺構 奈良時代
119	G 3 b 8	N-7°-W	円形	0.56×0.55	65	外傾	平坦	一部人為		
120	G 3 b 8	N-46°-E	円形	0.38×0.36	14	緩斜	平坦	自然		
122	F 2 b 2	N-49°-E	楕円形	0.65×0.55	19	緩斜	平坦	人為	土師器(坏), 須恵器(甕), 縄文土器	奈良・平安時代
123	G 2 d 6	N-3°-W	楕円形	(0.62×0.49)	82	垂直	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器, 古銭, 人骨	SI138-SK113-118→本跡 第2号墓 江戸時代
124	G 2 d 6	N-83°-E	楕円形	(1.71)×1.04	40	外傾	平坦	不明	土師器(甕), 土製品(不明), 縄文土器	SI138→本跡→SK118
125	F 2 c 1	N-86°-W	楕円形	(0.71)×0.68	18	外傾	平坦	自然		SI150・153→本跡
126	F 3 d 8	N-42°-E	楕円形	0.57×0.40	43	外傾	平坦	自然		SI57→本跡
127	F 3 d 8	N-0°	円形	0.54×0.47	39	外傾	平坦	自然		SI57→本跡
128	F 2 b 5	N-0°	円形	1.09×1.09	24	緩斜	平坦	人為	土師器(坏・甕)	本跡→SK401・408 古墳時代
129	D 2 j 2	N-30°-W	楕円形	0.70×(0.49)	45	緩斜	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	
130	E 2 a 3	N-66°-W	楕円形	1.26×1.11	29	緩斜	平坦	人為	縄文土器, 鉄製品(鐵)	時期不明
131	D 2 j 3	N-16°-W	楕円形	1.33×(1.04)	62	緩斜	平坦	人為	土師器(坏・高台付坏・皿・甕), 須恵器(坏), 縄文土器	奈良・平安時代
132	F 1 c 0	N-0°	長楕円形	4.95×2.77	116	緩斜	皿状	人為	土師器(高台付坏・甕), 縄文土器	SK246→本跡 時期不明
133	H 3 b 5	N-0°	円形	0.76×0.74	36	緩斜	皿状	自然		
134	H 3 a 5	N-0°	円形	0.42×0.42	37	外傾	皿状	自然		
135	H 3 a 5	N-35°-E	楕円形	0.75×0.59	20	緩斜	皿状	自然		
136	H 3 a 5	N-8°-W	楕円形	0.57×0.44	13	緩斜	平坦	自然		
137	H 3 a 6	N-41°-W	楕円形	1.35×1.03	44	外傾	平坦	自然	土師器(坏・甕)	
138	G 3 j 6	N-89°-E	隅丸長方形	0.86×0.81	30	外傾	平坦	自然		
139	G 3 j 6	N-86°-E	隅丸長方形	0.89×0.70	32	外傾	平坦	自然		
140	G 3 j 6	N-35°-W	円形	0.73×0.70	12	緩斜	平坦	自然	土師器(坏), 陶器	
141	G 3 j 6	N-64°-W	円形	0.77×0.71	16	緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕), 鉄製品(不明)	

土坑 番号	位 置	長 径 方 向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	出 土 遺 物	備考 遺構番号・新旧関係 (古→新)
				長径(軸)×短径(軸)(m)	深さ(cm)					
142	G 3 j 5	N-80°-W	楕円形	0.40×0.27	34	外傾	平坦	人為		
143	G 3 i 6	N-44°-E	円形	0.86×0.79	29	外傾	平坦	自然		
144	G 3 i 6	N-49°-E	円形	0.89×0.88	34	外傾	平坦	自然	土師器(坏・不明)	
145	G 3 i 7	N-41°-W	円形	1.20×1.14	95	外傾	平坦	自然	土師器(坏), 縄文土器	
146	G 3 i 6	N-46°-E	円形	0.90×0.84	30	外傾	平坦	自然	鉄製品(釘)	時期不明
147	G 3 i 6	N-48°-E	円形	0.88×0.83	26	緩斜	平坦	自然		
148	G 3 h 7	N-8°-E	円形	0.93×0.85	19	外傾	平坦	自然		SI95→本跡
149	G 3 h 7	N-58°-E	円形	0.90×0.75	17	外傾	平坦	自然		SI95→本跡
150	G 3 h 7	N-56°-W	円形	0.93×0.86	16	緩斜	平坦	自然		SI95→本跡
151	G 3 h 6	N-45°-W	楕円形	0.66×0.52	14	外傾	皿状	自然	土師器(甕), 縄文土器, 弥生土器	
152	G 3 h 6	N-56°-W	円形	0.65×0.62	29	外傾	平坦	自然		
153	G 3 g 6	N-54°-W	円形	0.89×0.84	37	外傾	平坦	人為		
154	G 3 g 6	N-81°-W	楕円形	0.48×0.34	23	外傾	平坦	自然		
155	G 3 g 6	N-0°	円形	0.38×0.33	26	外傾	平坦	自然		
156	G 3 f 5	N-53°-W	円形	0.75×0.73	53	外傾	平坦	人為		SI91→本跡
158	G 3 f 5	N-60°-W	楕円形	0.64×0.45	18	緩斜	皿状	自然		
159	G 3 f 4	N-45°-E	円形	[0.55×0.48]	24	外傾	平坦	自然		SI91→本跡
160	G 3 f 4	N-14°-W	不定形	0.43×0.26	35	外傾	平坦	人為		
161	G 3 f 3	N-68°-E	円形	0.28×0.26	19	外傾	平坦	自然		
164	G 3 f 4	N-55°-W	円形	0.88×0.82	24	緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(甕)	
165	G 3 f 4	N-75°-W	楕円形	0.65×0.53	11	緩斜	平坦	自然		
166	G 3 f 4	N-0°	不定形	0.90×0.79	23	外傾	平坦	自然		SK167→本跡
167	G 3 f 3	N-44°-W	不定形	0.74×0.68	17	垂直	皿状	自然		本跡→SK166
168	G 3 e 4	N-62°-W	不定形	0.86×0.81	12	緩斜	皿状	自然		
169	G 3 f 4	N-55°-W	圓丸方形	0.39×0.33	51	垂直	皿状	人為		
170	G 3 e 3	N-51°-W	円形	0.81×0.79	25	緩斜	平坦	人為		
171	G 3 e 4	N-71°-W	楕円形	0.99×0.66	30	外傾	平坦	自然		
172	G 3 e 3	N-67°-W	楕円形	1.08×0.81	15	緩斜	皿状	自然		
173	G 3 e 3	N-71°-W	楕円形	0.82×0.57	18	緩斜	平坦	自然		
175	G 1 b 9	N-0°	楕円形	1.20×0.60	17	緩斜	平坦	人為	土師器(坏), 須恵器(坏), 縄文土器	本跡→SB22
177	F 3 a 6	N-47°-E	円形	0.65×0.62	34	緩斜	皿状	自然		
178	F 3 a 6	N-27°-W	円形	0.42×0.40	41	緩斜	皿状	自然	土師器(甕)	
179	G 1 d 0	[N-18°-W]	圓形	[0.80×0.68]	22	緩斜	平坦	自然		SK180→本跡
180	G 1 d 0	N-24°-W	円形	1.32×1.23	33	緩斜	平坦	自然		SK181→本跡→SK179
181	G 1 d 0	N-30°-E	楕円形	0.49×0.37	57	外傾	平坦	自然	縄文土器	本跡→SK180
182	G 2 d 1	N-6°-E	長方形	1.45×0.67	78	垂直	皿状	不明	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕), 縄文土器	SI140・SK200→本跡
183	F 1 d 0	N-34°-E	楕円形	1.38×1.17	20	緩斜	皿状	人為	縄文土器	
184	F 1 e 0	N-45°-W	楕円形	0.76×0.67	15	緩斜	皿状	自然		
185	G 2 d 1	N-90°-E	長方形	0.64×0.27	17	外傾	平坦	不明	土師器(甕), 須恵器(甕), 縄文土器	SI140→本跡
186	G 2 d 1	N-0°	長方形	1.01×0.57	30	外傾	平坦	不明	土師器(坏), 縄文土器	SI140→本跡
190	G 2 e 3	N-53°-W	楕円形	0.47×0.38	55	外傾	平坦	自然	土師器(甕), 縄文土器	SI139→本跡
191	G 2 e 3	N-0°	円形	0.42×0.39	36	外傾	平坦	自然	土師器(坏), 縄文土器	SI139→本跡
192	G 2 e 4	N-42°-W	円形	0.75×0.68	24	外傾	平坦	人為	土師器(甕), 縄文土器	SI139→本跡
195	G 1 d 0	N-50°-W	不定形	0.42×0.37	15	外傾	平坦	不明		SI186→本跡

土坑 番号	位 置	長 径 方 向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	出 土 遺 物	備 考 遺構番号・新旧関係 (古→新)
				長径(軸)×短径(軸)(m)	深さ(cm)					
196	E 2 c 8	N-51°-E	円形	1.10×1.05	52	緩斜	平坦	人為	土師器(坏・甕), 須惠器(坏), 縄文土器	SI 7→本跡 奈良・平安時代
197	E 3 a 2	N-16°-W	楕円形	0.92×0.82	27	緩斜	平坦	人為		
198	E 3 a 2	N-31°-W	楕円形	0.82×0.70	25	緩斜	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器, 鉄製品(不明)	SI 3→本跡
199	E 3 a 1	N-77°-W	円形	0.53×0.51	10	外傾	平坦	自然	須惠器(甕)	
200	E 3 a 1	N-50°-W	楕円形	0.87×0.77	28	外傾	平坦	自然		
201	F 3 j 7	N-81°-W	隅丸長方形	1.98×0.68	14	緩斜	平坦	自然		本跡→SK202
202	F 3 j 7	N-0°	円形	0.67×0.63	26	外傾	平坦	自然		SK201→本跡
203	G 1 e 0	N-63°-W	楕円形	0.68×0.52	26	外傾	皿状	自然	土師器(甕), 縄文土器	本跡→SK204
204	G 1 e 0	N-82°-W	円形	0.37×0.30	35	外傾	平坦	自然		SK203→本跡
205	G 2 e 1	N-78°-E	楕円形	1.02×0.80	22	緩斜	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	本跡→SK206
206	G 2 e 1	N-55°-W	円形	0.48×0.43	36	外傾	皿状	不明	縄文土器	SK205→本跡
207	G 2 e 1	N-10°-W	楕円形	0.67×0.57	43	外傾	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	
208	G 2 e 1	N-0°	円形	0.60×0.60	12	外傾	平坦	自然	土師器(坏)	本跡→SK209
209	G 2 e 1	N-25°-W	円形	0.35×0.32	15	外傾	平坦	自然		SK208→本跡
210	G 2 e 1	N-0°	隅丸方形	0.90×0.90	13	緩斜	皿状	自然	土師器(坏・甕)	
211	G 2 e 2	N-37°-E	円形	0.45×0.40	41	外傾	平坦	自然	縄文土器	
213	F 1 h 9	N-13°-W	不整形	0.72×0.64	20	外傾	皿状	自然		SI168→本跡
214	F 2 e 2	N-30°-W	円形	1.66×1.61	62	外傾	平坦	人為	縄文土器	SI175→本跡
215	F 2 d 2	N-0°	楕円形	1.67×1.57	68	緩斜	平坦	人為		
217	F 2 d 1	N-65°-E	不定形	1.73×[1.33]	65	垂直	平坦	人為		SK235→本跡
218	G 2 e 1	N-0°	円形	0.45×0.44	29	外傾	皿状	自然	土師器(坏), 縄文土器	縄文時代
220	G 2 d 1	N-0°	[楕円形]	0.82×(0.34)	57	外傾	平坦	不明	土師器(坏・甕)	SI140→本跡→SK182
221	G 2 e 4	N-90°-E	円形	0.71×0.65	33	外傾	皿状	自然		SI139→本跡
225	E 2 b 2	N-22°-W	楕円形	1.65×1.40	17	緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕), 縄文土器, 石器(石斧)	
226	E 2 a 4	N-24°-W	楕円形	1.89×1.59	60	外傾・緩斜	平坦	人為	土師器(坏・甕), 須惠器(甕・蓋), 陶器	SI11→本跡
227	E 2 c 9	N-40°-W	楕円形	1.17×1.03	40	緩斜	平坦	自然		SI 7→本跡
228	E 2 c 1	N-27°-W	楕円形	2.52×(1.48)	56	外傾	平坦	人為	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・甕), 灰釉陶器, 縄文土器, 鉄製品	SK229→本跡→SI18 奈良・平安時代
229	E 2 c 1	N-0°	隅丸長方形	2.45×1.57	37	外傾	平坦	人為	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・甕), 縄文土器, 灰釉陶器	本跡→SK228 奈良・平安時代
230	E 2 b 2	N-21°-W	楕円形	0.83×0.76	47	外傾	皿状	人為	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・甕)	
231	E 2 c 2	N-64°-E	隅丸長方形	1.25×0.78	18	緩斜	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	
232	E 2 d 2	N-42°-E	楕円形	1.38×1.07	19	緩斜	平坦	自然	土師器(坏), 縄文土器	
233	E 2 c 2	N-50°-E	円形	0.78×0.78	12	緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕), 縄文土器	
234	E 2 d 4	N-20°-E	楕円形	1.85×1.50	18	緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕), 須惠器(坏・甕), 石製品(紡錘車), 縄文土器	
235	F 2 d 1	N-9°-W	[楕円形]	0.80×0.69	178	垂直	皿状	人為	鉄製品(不明)	本跡→SK217
236	F 2 d 1	N-13°-W	楕円形	0.65×0.58	14	外傾	平坦	自然		
238	F 1 f 0	[N-32°-W]	[楕円形]	(1.04×0.90)	63	外傾	平坦	不明		本跡→SI163
240	F 2 d 3	N-0°	楕円形	1.29×0.90	20	緩斜	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	SI155→本跡
241	F 2 d 2	N-11°-E	楕円形	0.88×0.69	14	緩斜	皿状	人為		本跡→SI155
242	G 2 e 3	N-27°-W	楕円形	0.74×0.60	36	緩斜	平坦	人為		SI139・SK243→本跡
243	G 2 e 3	N-25°-W	不定形	1.16×1.16	18	垂直	皿状	自然		SI139→本跡→SK242・SB21
244	G 2 e 3	N-47°-E	円形	0.38×0.36	84	外傾	皿状	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	
245	G 2 e 3	N-13°-W	楕円形	0.84×0.45	36	外傾	皿状	自然	土師器(甕), 縄文土器	本跡→SB21
246	F 1 c 0	[N-82°-W]	不定形	1.08×(1.00)	35	外傾	平坦	不明		本跡→SI153・SK132
247	G 1 e 0	N-0°	円形	0.35×0.35	15	緩斜	平坦	自然		
248	G 1 e 0	N-12°-W	不定形	0.60×0.45	11	緩斜	平坦	自然	土師器(坏・高台付坏)	

土坑 番号	位 置	長 径 方 向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	出 土 遺 物	備考 遺構番号・新旧関係 (古→新)
				長径(軸)×短径(軸)(m)	深さ(cm)					
249	G 1 e 0	N - 63° - E	円 形	0.40×0.38	24	外傾	平坦	自然		
250	D 3 d 5	N - 37° - E	不定形	3.52×3.32	237	外傾	平坦	人為	土師器(坏・蓋・高坏・甕・甗)、須恵器(坏・高 台付坏・高盤・高坏・長頸甗・甕・甗)、土製品(支 脚)、石器(敲石・門石・磨石)、鉄滓、木片	水室状遺構 奈良時代
251	G 2 d 1	N - 40° - W	円 形	0.56×0.50	22	緩斜	平坦	自然	土師器(甕)、縄文土器	
254	F 1 j 0	N - 41° - W	円 形	1.10×1.06	64	外傾	皿状	自然	土師器(坏・甕)、須恵器(坏・甕)、縄文土器	
255	G 1 a 0	N - 26° - W	楕円形	0.82×0.55	18	緩斜	平坦	自然	縄文土器	本跡→SB18
256	G 1 b 0	N - 60° - E	隅丸長方形	2.01×0.95	44	垂直・外傾	平坦	人為	土師器(坏・甕)、縄文土器	本跡→SB18
257	G 1 b 0	N - 0°	楕円形	1.05×0.97	37	垂直・緩斜	皿状	自然	縄文土器	
258	G 2 b 1	N - 39° - W	楕円形	1.36×0.97	162	緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕)、縄文土器	
259	G 1 e 0	N - 28° - W	円 形	0.47×0.45	19	外傾	平坦	人為		
260	G 2 d 1	N - 59° - W	円 形	0.44×0.40	27	緩斜	皿状	人為		
261	G 2 d 1	N - 43° - W	楕円形	0.44×0.35	40	緩斜	平坦	人為		
262	G 2 d 1	N - 76° - W	楕円形	0.42×0.34	25	外傾	皿状	自然		
263	G 1 d 0	N - 33° - W	円 形	0.45×0.43	25	外傾	皿状	自然	礫	
264	G 1 d 9	N - 47° - W	円 形	0.60×0.54	24	外傾	平坦	自然	土師器(坏)、須恵器(坏)、弥生土器	
266	D 3 i 3	N - 48° - E	楕円形	0.95×0.83	25	緩斜	皿状	不明		SI 3 →本跡
267	D 3 i 4	N - 60° - E	楕円形	1.28×0.97	27	緩斜	平坦	不明		
269	D 3 j 2	N - 41° - E	楕円形	1.10×1.01	20	緩斜	皿状	自然		本跡→SI 3
270	E 2 a 3	N - 31° - W	楕円形	1.07×0.90	40	外傾	皿状	自然		SI12→本跡
271	E 2 a 3	N - 65° - W	楕円形	1.25×1.10	45	外傾	平坦	人為	土師器(坏・甕)、弥生土器	SI12→本跡
272	E 2 b 3	N - 7° - E	楕円形	0.83×0.75	12	外傾	皿状	自然	土師器(坏・甕)	本跡→SI12
273	E 2 b 3	N - 78° - W	楕円形	0.77×0.68	19	外傾	皿状	自然	土師器(坏・甕)	SI12→本跡
275	F 2 g 6	N - 38° - W	楕円形	1.80×0.83	24	緩斜	平坦	自然		
276	F 2 f 6	N - 84° - W	楕円形	1.31×0.76	12	外傾	平坦	人為	縄文土器	
277	F 2 g 6	N - 22° - W	楕円形	1.84×1.48	8	外傾	平坦	人為	縄文土器	
278	F 2 f 6	N - 13° - E	楕円形	2.09×1.67	47	緩斜	平坦	人為	縄文土器	
279	F 2 c 7	N - 81° - E	方 形	2.75×2.58	16	外傾	平坦	人為	縄文土器、土師器(坏・甕)、須恵器(坏)	SK496→本跡
281	F 2 c 6	N - 41° - E	楕円形	2.40×2.02	86	緩斜	平坦	不明		SI108→本跡
282	F 2 f 6	N - 85° - W	長方形	1.63×0.89	84	外傾	平坦	人為	土師器(坏)、須恵器(坏)、縄文土器	SI118・120→本跡
283	E 2 i 3	N - 0°	[円形]	0.98×[0.88]	18	緩斜	平坦	不明	土師器(坏)、縄文土器	SI27→本跡
284	E 2 h 3	N - 15° - W	楕円形	1.40×1.20	12	緩斜	平坦	不明	土師器(坏)、須恵器(坏)、縄文土器	本跡→SI27
286	G 2 b 2	N - 0°	円 形	0.54×0.53	29	外傾	平坦	自然	縄文土器	本跡→SI176
288	G 2 a 2	N - 40° - E	楕円形	0.69×0.54	30	外傾	平坦	自然	土師器(坏・甕)、縄文土器	本跡→SI176
290	G 2 a 3	N - 16° - E	楕円形	0.89×0.80	19	緩斜	皿状	自然		本跡→SI176
293	F 2 g 8	N - 17° - E	楕円形	0.70×0.55	21	緩斜	平坦	人為	土師器(坏)、縄文土器	
294	F 2 g 8	N - 66° - E	楕円形	0.93×0.82	20	外傾	平坦	人為	縄文土器	
295	F 2 f 8	N - 33° - W	[楕円形]	[1.97]×0.71	21~47	外傾	平坦	人為	土師器(甕)、縄文土器	縄文時代
296	G 3 g 8	N - 39° - W	円 形	0.70×0.64	23	外傾	平坦	人為	土師器(坏)	SI89→本跡→SD23
297	F 2 i 9	N - 0°	円 形	0.72×0.72	46	直立	平坦	人為	土師器(坏・甕)、縄文土器、骨粉、須恵器	SI121→本跡 墓壇 江戸時代
298	F 2 d 8	N - 40° - W	不定形	1.58×1.54	24	緩斜	平坦	人為	土師器(甕)、縄文土器	
299	F 2 h 0	N - 69° - E	円 形	0.63×0.53	18	外傾	皿状	自然		SI41→本跡
300	F 2 h 0	N - 0°	円 形	0.74×0.72	15	緩斜	皿状	自然		SI41→本跡
301	F 2 d 4	N - 56° - W	円 形	0.88×0.82	12	緩斜	平坦	人為		SI42→本跡
302	F 2 b 6	N - 30° - E	楕円形	0.98×0.90	57	垂直	皿状	自然		
304	F 2 d 9	N - 33° - W	楕円形	1.32×0.87	46	緩斜	皿状	人為		SI107→本跡

土坑 番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	出 土 遺 物	備考 遺構番号・新旧関係 (古→新)
				長径(軸)×短径(軸)(m)	深さ(cm)					
305	E 2 i 5	N - 67° - W	長方形	3.08×1.67	63	緩斜	皿状	自然	土師器(坏・甕), 縄文土器	
306	E 2 i 4	N - 47° - W	不定形	0.99×0.91	10	緩斜	皿状	人為	土師器(坏), 須恵器(甕), 縄文土器	
307	E 2 h 0	N - 42° - E	円形	1.07×1.03	18	外傾	平坦	人為		
308	F 2 d 9	N - 28° - E	楕円形	1.56×1.23	36	緩斜	皿状	自然		SI107→本跡
309	F 2 b 5	N - 58° - E	不定形	0.92×0.82	60	外傾	平坦	人為		SI147→本跡
310	F 2 b 5	N - 21° - E	楕円形	1.26×1.00	55	外傾	平坦	人為		
311	F 2 b 5	N - 49° - E	楕円形	1.70×0.93	20	垂直・緩斜	平坦	自然		
312	F 3 j 1	[N - 47° - W]	[楕円形]	[1.16×0.83]	28	外傾	平坦	不明	土師器(坏)	本跡→SI123・SD12
313	G 1 a 9	N - 0°	楕円形	0.58×0.43	20	外傾・緩斜	平坦	人為		
314	G 1 b 0	N - 90° - E	長方形	0.75×0.62	25	緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(甕)	
316	G 1 c 0	N - 24° - W	楕円形	1.14×1.00	100	外傾	平坦	人為	縄文土器	
317	G 1 c 0	N - 60° - W	[楕円形]	[0.70]×0.60	45	外傾	皿状	自然		本跡→SK318
318	G 1 c 0	N - 68° - E	楕円形	0.77×0.70	60	外傾	皿状	自然		SK317→本跡
323	G 2 e 3	N - 24° - W	楕円形	0.68×[0.48]	78	外傾	平坦	不明	土師器(坏・甕), 縄文土器	本跡→SK324
324	G 2 e 3	N - 0°	円形	1.36×1.35	102	外傾	平坦	人為	土師器(不明), 古銭, 数珠玉, 人骨	SB19-20・SK323→本跡 第3号墓 江戸時代
327	G 2 e 2	N - 90° - E	不明	[1.00×0.69]	34	外傾	平坦	不明	土師器(甕), 縄文土器	本跡→SB19
338	G 2 e 4	N - 49° - W	楕円形	0.28×0.24	34	外傾	平坦	人為		
339	G 2 e 4	N - 49° - W	楕円形	0.41×0.36	16	外傾	平坦	人為		
340	G 2 e 4	N - 23° - E	楕円形	0.44×0.38	9	緩斜	皿状	自然		
341	G 2 d 4	N - 0°	円形	0.56×0.52	21	緩斜	皿状	自然		
343	G 2 d 2	N - 44° - W	楕円形	0.59×0.45	33	外傾	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	
344	H 2 a 7	N - 53° - W	円形	1.21×1.14	63	外傾	平坦	人為		SI202・205→本跡
345	F 2 b 6	N - 47° - W	円形	0.75×0.70	76	外傾	皿状	不明		
346	F 2 b 6	N - 75° - W	楕円形	1.03×0.65	38	外傾	平坦	自然		
347	F 2 b 5	N - 48° - W	楕円形	1.12×1.02	62	外傾	皿状	自然		
348	F 2 a 6	N - 0°	円形	0.70×0.63	57	緩斜	平坦	人為		
349	F 2 a 6	N - 53° - W	不定形	1.72×1.62	74	外傾	皿状	自然		
351	F 2 e 3	N - 32° - W	円形	0.97×0.92	40	垂直	平坦	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(甕), 縄文土器, 石器(石鏃)	
352	F 2 e 4	N - 65° - E	楕円形	1.50×0.50	20	外傾	平坦	自然	土師器(甕), 縄文土器	
354	F 2 c 4	N - 48° - W	円形	0.41×0.40	24	外傾	皿状	人為		
355	F 2 c 5	N - 40° - W	楕円形	1.20×1.07	26	外傾	平坦	人為		
356	F 2 c 5	N - 27° - E	円形	1.05×0.97	18	緩斜	平坦	人為		
359	F 2 d 3	N - 43° - E	円形	0.68×0.65	23	外傾	皿状	人為		
360	F 2 b 3	N - 40° - W	楕円形	1.69×0.80	6	緩斜	平坦	人為	土師器(坏), 縄文土器, 弥生土器	SK361→本跡
361	F 2 b 3	N - 40° - W	楕円形	1.18×1.10	12	緩斜	平坦	人為		本跡→SK360
363	E 2 h 6	N - 33° - W	円形	0.56×0.51	20	外傾	平坦	自然	土師器(甕), 縄文土器	
364	E 2 i 6	N - 52° - E	楕円形	0.55×0.47	34	外傾	皿状	人為	縄文土器	
365	E 2 h 5	N - 42° - W	円形	0.27×0.25	35	外傾	平坦	人為		
366	F 2 b 3	N - 33° - W	円形	0.64×0.60	16	外傾	平坦	人為		
367	D 3 j 2	N - 0°	円形	1.51×1.50	138	外傾	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器, 古銭, 銅製品(煙管), 人骨	SI 3→本跡 第4号墓 江戸時代
368	E 3 a 4	N - 27° - W	[長方形]	2.16×[1.12]	48	垂直	平坦	自然		本跡→SD21
369	E 1 h 0	N - 35° - W	円形	2.71×2.49	69	外傾	平坦	人為	土師器(甕), 縄文土器	本跡→SI103 縄文時代
370	E 2 d 5	N - 0°	楕円形	0.93×0.63	20	緩斜	平坦	自然		
371	F 2 i 2	N - 10° - E	楕円形	1.23×0.94	110	外傾	皿状	不明		SI182・196→本跡
372	E 2 c 5	N - 0°	楕円形	2.32×1.52	16	緩斜	平坦	自然		

土坑 番号	位置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	出 土 遺 物	備考 遺構番号・新旧関係 (古→新)
				長径(軸)×短径(軸)(m)	深さ(cm)					
376	G 1 a 0	N - 0°	円 形	0.84×0.84	32	外傾	皿状	人為	人骨	
380	E 2 f 1	N - 4° - E	楕円形	3.42×1.88	83	緩斜	平坦	自然		
381	E 2 h 1	N - 0°	隅丸方形	3.00×2.94	35	緩斜	平坦	人為	土師器(甕), 縄文土器	縄文時代
382	E 2 h 1	N - 0°	楕円形	0.65×0.58	18	緩斜	皿状	人為	土師器(甕), 須恵器(甕), 縄文土器	縄文時代
383	E 2 c 6	N - 15° - W	不定形	1.77×0.98	15	緩斜	平坦	人為	土師器(坏・甕), 須恵器(甕・蓋), 縄文土器	
384	E 2 i 1	N - 0°	楕円形	0.72×0.53	20	外傾	平坦	不明		
388	G 2 e 4	N - 58° - E	楕円形	0.35×0.25	38	外傾	平坦	人為		
389	G 2 d 9	N - 29° - W	長方形	2.39×0.64	20	緩斜	平坦	人為	土師器(甕), 縄文土器, 弥生土器	SI127→本跡
390	G 2 e 4	N - 16° - W	円 形	0.39×0.36	30	外傾	平坦	不明		
393	E 1 g 0	N - 54° - E	円 形	0.45×0.44	24	外傾	平坦	自然	土師器(坏・甕), 縄文土器	
394	E 1 g 0	N - 0°	円 形	0.45×0.42	27	外傾	平坦	人為		
395	E 1 g 0	N - 73° - E	楕円形	0.48×0.38	25	外傾	平坦	自然		
396	E 1 e 0	N - 71° - E	楕円形	1.68×1.07	53	外傾	平坦	不明	土師器(坏・甕)	SK490→本跡→SI23 縄文時代
397	E 2 d 9	N - 0°	楕円形	1.13×0.95	43	外傾	平坦	不明		SI40→本跡
399	F 2 i 0	N - 2° - E	楕円形	1.08×0.70	17	緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏), 縄文土器	SI123・124→本跡 奈良・平安時代
401	F 2 b 5	N - 56° - W	円 形	1.38×1.33	75	外傾	平坦	人為		SK128→本跡→SK408
402	F 2 i 0	N - 35° - W	円 形	0.67×0.63	9	外傾	平坦	自然		SI124・SK403→本跡
403	F 2 i 0	N - 35° - W	楕円形	0.87×0.48	8	緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕), 縄文土器	SI124→本跡→SI121・SK402
404	G 2 e 2	N - 7° - W	円 形	0.24×0.22	11	外傾	皿状	不明		
406	F 2 e 9	N - 13° - W	楕円形	1.37×0.92	52	外傾	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	本跡→SI142
408	F 2 b 5	N - 21° - E	楕円形	1.05×0.85	68	外傾	平坦	不明		SK128・401→本跡
410	E 2 h 3	N - 11° - W	楕円形	0.87×0.69	35	緩斜	皿状	自然	土師器(坏・甕), 縄文土器	SI26→本跡
411	E 2 h 0	N - 30° - W	楕円形	0.83×0.64	73	外傾	平坦	人為	土師器(甕), 縄文土器, 剥片	
412	E 2 h 0	N - 73° - E	楕円形	0.82×0.73	59	外傾	平坦	自然	縄文土器, 剥片	
413	E 3 g 1	N - 79° - E	楕円形	1.43×0.90	11	緩斜	平坦	自然		
414	E 2 a 8	N - 39° - E	楕円形	1.92×1.50	25	緩斜	平坦	人為	土師器(坏・甕), 須恵器(甕), 縄文土器, 剥片	
416	F 2 j 8	N - 52° - E	不定形	1.31×0.80	48	外傾	平坦	人為		SI125→SK417→本跡
417	F 2 j 8	N - 52° - E	不定形	1.20×[0.65]	21	緩斜	平坦	自然		SI125→本跡→SK416
420	F 2 d 7	N - 28° - E	不定形	2.00×1.05	65	緩斜	皿状	自然		SK422→本跡→SK421
421	F 2 d 7	N - 28° - E	不定形	0.85×0.83	30	外傾	平坦	自然		SK420・422→本跡
422	F 2 d 7	N - 12° - E	不定形	2.27×1.38	50	外傾	平坦	自然		本跡→SK420・421
423	F 2 e 4	N - 0°	楕円形	1.47×1.16	18	緩斜	平坦	人為	土師器(坏), 縄文土器	
424	F 2 f 4	N - 56° - E	楕円形	1.21×1.02	39	外傾	平坦	人為	土師器(坏), 縄文土器	
425	F 2 g 7	N - 47° - W	不定形	2.40×1.02	32	外傾	平坦	自然		本跡→SK431
426	F 2 h 9	N - 50° - E	楕円形	0.86×0.74	60	外傾	平坦	人為	土師器(坏), 縄文土器, 剥片	SI160→本跡→SK432 縄文時代
427	F 2 g 8	N - 40° - W	長方形	1.00×0.74	45	緩斜	皿状	不明		SI160→本跡
428	F 2 h 8	N - 73° - E	不定形	1.03×0.80	81	外傾	平坦	不明	縄文土器	SI160→本跡
430	F 2 h 7	N - 0°	不定形	[2.10]×1.20	35	外傾	平坦	自然	須恵器(甕), 縄文土器	本跡→SK431, SB12:本跡の新旧不明
431	F 2 g 7	N - 47° - W	楕円形	1.61×1.30	41	緩斜	平坦	自然		SK425・430→本跡
432	F 2 h 9	N - 47° - E	(楕円形)	1.21×[0.98]	17	垂直	平坦	不明		SI160・SK426→本跡
433	H 2 b 7	N - 66° - E	円 形	0.70×0.62	36	外傾	平坦	自然	須恵器(坏), 縄文土器	SI202→本跡
434	F 2 i 4	N - 56° - W	楕円形	2.02×1.73	35	外傾・緩斜	皿状	人為	磔	
435	F 2 i 6	N - 90° - E	円 形	0.70×0.68	23	緩斜	皿状	自然		
436	F 2 j 6	N - 90° - E	隅丸長方形	1.65×1.37	20	緩斜	平坦	自然		
437	E 2 a 4	N - 2° - E	楕円形	1.19×0.85	29	外傾	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器, 土製品(支脚)	SI14→本跡

土坑 番号	位 置	長径方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	出 土 遺 物	備考 遺構番号・新旧関係 (古→新)
				長径(軸)×短径(軸)(m)	深さ(cm)					
444	G 2 j 0	N-83°-W	楕円形	0.97×0.64	53	外傾	皿状	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕), 縄文土器, 鉄製品(鎌)	時期不明
446	G 2 j 0	N-0°	円形	0.66×0.66	14	緩斜	平坦	人為	土師器(坏), 縄文土器	
447	G 2 j 0	N-0°	円形	0.35×0.33	20	外傾・緩斜	平坦	人為	縄文土器	
452	G 2 f 0	N-39°-W	楕円形	1.10×0.93	62	外傾・緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕), 縄文土器	平安時代
455	G 2 d 8	N-27°-W	不定形	2.84×1.83	49	外傾・緩斜	平坦	自然	土師器(坏・甕), 縄文土器	
456	G 2 b 9	N-57°-E	楕円形	0.95×0.84	15	緩斜	平坦	人為	土師器(坏・甕), 縄文土器	SI126→本跡
457	G 2 b 9	N-32°-W	楕円形	1.11×1.05	15	緩斜	平坦	人為	土師器(坏), 須恵器(甕), 縄文土器, 弥生土器	
458	G 2 c 0	N-31°-W	円形	1.33×1.27	75	外傾	平坦	不明	土師器(坏・甕), 縄文土器, 須恵器(坏), 縄文土器, 鉄製品(不明)	SI127→本跡
461	F 2 b 7	N-32°-E	楕円形	1.22×1.05	36	緩斜	平坦	人為		
462	H 2 c 9	N-0°	方形	1.01×0.92	30	垂直	平坦	人為	須恵器(坏・甕), 須恵器(坏・高台付坏), 縄文土器, 土製品(不明)	SI198→本跡 時期不明
463	H 2 c 0	N-37°-W	不定形	1.07×0.67	48	外傾	平坦	人為	縄文土器	
464	H 2 c 0	N-66°-W	楕円形	0.70×0.57	13	緩斜	皿状	人為	土師器(甕), 縄文土器	
465	F 2 e 2	N-49°-W	楕円形	0.83×(0.75)	23	緩斜	皿状	不明		SI175→本跡→SK466
466	F 2 e 2	N-49°-W	楕円形	1.06×0.93	38	緩斜	平坦	不明		SI175・SK465→本跡
467	F 2 j 4	N-90°-E	不定形	1.62×1.18	54	緩斜	皿状	不明		本跡→SI195
468	E 2 e 9	N-0°	楕円形	0.44×0.41	15	外傾	皿状	不明	剥片	本跡→SD12
470	G 2 d 0	N-80°-E	不定形	0.95×0.60	56	外傾	平坦	不明		SI127→本跡→SB 8
472	E 3 h 4	N-90°-E	円形	0.75×0.73	16	外傾	平坦	不明		SI47→本跡→SD22
473	E 3 i 4	N-80°-W	楕円形	0.74×0.61	12	外傾	平坦	不明		SI47→本跡
474	E 3 i 3	N-18°-E	楕円形	0.85×0.77	12	緩斜	平坦	不明		
475	E 2 i 3	N-49°-W	円形	2.71×2.57	39	緩斜	平坦	人為	土師器(坏・甕), 須恵器(坏・甕), 縄文土器	縄文時代 本跡→SI26
476	E 1 j 0	N-0°	楕円形	0.46×0.42	17	外傾	平坦	人為		
477	G 2 d 7	N-57°-W	楕円形	0.57×0.49	21	緩斜	平坦	自然		
479	G 2 d 7	N-64°-W	楕円形	0.80×0.72	53	外傾	平坦	人為	縄文土器	
480	G 2 c 7	N-90°-E	円形	0.50×0.48	10	緩斜	平坦	自然		
481	G 2 e 8	N-44°-W	楕円形	0.65×0.58	15	外傾	平坦	人為		
482	G 2 e 8	N-0°	円形	0.58×0.57	19	外傾	平坦	人為		
483	G 2 e 8	N-19°-W	楕円形	0.57×0.51	12	外傾	平坦	人為		
484	G 2 g 9	N-24°-E	円形	0.45×0.42	59	外傾	平坦	人為		
485	G 2 g 9	N-90°-E	円形	0.55×0.52	21	垂直	平坦	人為		
486	G 2 g 8	N-0°	円形	0.41×0.40	20	緩斜	皿状	人為		
487	G 2 g 8	N-0°	円形	0.54×0.50	43	外傾	皿状	自然	土師器(坏・甕), 縄文土器	古墳時代
488	E 1 e 0	N-0°	円形	0.86×0.85	35	緩斜	平坦	不明	土師器(坏・甕), 縄文土器	SI23→本跡
489	E 1 e 0	N-64°-W	楕円形	0.72×0.46	22	外傾	平坦	不明	土師器(甕), 縄文土器	SK490→本跡→SI18・23
490	E 1 e 0	N-0°	円形	2.10×1.85	56	外傾	平坦	不明	土師器(坏・甕), 縄文土器	本跡→SK396・489→SI18・23
491	F 3 g 1	N-57°-W	円形	0.80×0.76	35	緩斜	平坦	不明		SI208→本跡→S 139
492	G 1 a 0	N-84°-W	楕円形	0.79×0.56	38	外傾	平坦	人為か	土師器(坏), 須恵器(甕), 縄文土器, 弥生土器	弥生時代 埋甕
493	F 2 g 4	N-57°-W	楕円形	1.39×1.01	23	外傾	平坦	自然	土師器(甕), 縄文土器	
494	F 2 f 4	N-58°-E	円形	1.18×1.10	40	緩斜・外傾	皿状	自然		
495	G 2 d 7	N-0°	円形	0.58×0.56	14	緩斜	平坦	人為		
496	F 2 c 7	N-32°-W	楕円形	1.05×0.93	22	外傾	平坦	自然		本跡→SK279
497	H 2 a 8	N-0°	方形	0.60×.60	40	緩斜	皿状	人為		本跡→SI201・202
499	F 2 g 2	N-0°	方形	1.40×1.28	14	外傾	平坦	自然		SI162→本跡

表5 上野陣場溝一覽表

番号	位置	方向	断面形	規模				壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
				長さ(m)	上幅(m)	下幅(m)	深さ(cm)					
1	H3c5~ H3e6	N-9°-W	U字形	11.1	1.03~ 1.25	0.16~ 0.22	20	緩斜	皿状	不明	土師器, 須恵器, 土製品, 鉄滓	本跡→SD2・3・5
2	H3b6~ H3b7	N-88°-E	U字形	6.98	0.33~ 0.60	0.10~ 0.27	21	緩斜	皿状	自然		SD1→本跡→SD3・5
3	H3a8~ H3b6	N-53°-E	U字形	11.42	0.25~ 0.68	0.05~ 0.35	11	緩斜	皿状	自然	縄文土器, 土師器, 須恵器, 鉄製品	SD1・2・4→本跡→SD5
4	H3a7~ H3b6	N-53°-E	U字形	9.22	(0.16~ 0.47)	0.05~ 0.30	10	緩斜	皿状	自然		本跡→SD3
5	H3b2~ H3b7	N-92°-E	U字形	10.6	0.36~ 1.44	0.10~ 0.39	22	緩斜	皿状	自然	縄文土器, 土師器, 須恵器, 灰釉陶器, 陶器, 土製品, 鉄製品	SI102・185・SD1・2・3→本跡→SD12
6	F3b7~ G3i8	N-10°-W N-88°-E	U字形	83.55	0.47~ 1.20	0.14~ 0.43	50	緩斜	皿状	自然	縄文土器, 土師器, 須恵器, 灰釉陶器, 磁器, 瓦	SI57・59・75・76・78・87・184・SB3・SD7・14・23→本跡
7	F4b1~ F3i9	N-4°-E	U字形	30	0.51~ 0.97	0.13~ 0.45	23~ 27	緩斜	皿状	自然	縄文土器, 土師器, 須恵器, 灰釉陶器, 瓦, 鉄製品	SI53・54・74・75・78→本跡→SD6
8	E4i1~ F3b7	N-103°-W N-11°-E	U字形	27.6	0.55~ 0.78	0.15~ 0.36	33	外傾	皿状	人為	縄文土器, 土師器, 須恵器	SI51・52・53→本跡
9	D3d4~ D3f7	N-63°-W	U字形	12.6	0.25~ 0.58	0.12~ 0.27	25	外傾	皿状	自然		SD10→本跡
10	D3d4~ D3f3	N-35°-E	U字形	6.88	0.37~ 0.54	0.24~ 0.38	25	外傾	平坦	自然		本跡→SD9
11	H3a2	N-84°-E	U字形	0.48	1.42	0.35	10	外傾	皿状	自然		本跡→SD12
12	E2b0~ H3e3	N-4°-W	U字形	135.45	0.50~ 1.35	0.15~ 0.89	17~ 22	緩斜	皿状	一部人為	縄文土器, 土師器, 須恵器, 灰釉陶器, 土製品	SI4・39・40・111・122・123・124・133・142・185・193・194・SK312・468・SD5・11・13→本跡→SD17・18・19
13	G3j2~ H3a2	N-130°-E	U字形	1.7	0.4	0.3	10	緩斜	皿状	不明		本跡→SD12
14	G3c4~ G3c9	N-96°-E	U字形	18.75	0.37~ 0.67	0.13~ 0.22	18	緩斜	皿状	自然		SI81・82・83・88・SB4・SD23→本跡→SD6
15	G3e6~ G3e8	N-92°-E	U字形	7.99	0.31~ 0.50	0.10~ 0.25	10	緩斜	皿状	自然		SI87→本跡→SD23
17	E2g9	N-52°-E	U字形	3.8	0.95	0.5	10	緩斜	皿状	自然		SD12→本跡→SD19
18	E2f0~ E3f2	N-75°-E	U字形	9.05	0.86	0.43	10~ 18	緩斜	皿状	自然		SD12→本跡→SK106
19	E2g8~ E2h9	N-85°-W	U字形	6.1	0.45~ 1.10	0.21~ 0.48	14	緩斜	皿状	自然		SI37・SD12・17→本跡
20	D3i2~ E3a5	N-66°-W	U字形	15.07	0.46~ 0.96	0.16~ 0.61	19	緩斜	平坦	人為		SI3→本跡
21	D3j3~ E3a5	N-40°-W	U字形	9	0.42~ 0.81	0.24~ 0.39	10~ 15	緩斜	皿状	自然	土師器, 陶器, 鉄製品	SI3→SK368→本跡
22	E3h4~ E3i3	N-46°-E	U字形	6.5	2.92	2.72	16	緩斜	平坦	自然		SI47・SK472→本跡
23	G3c8~ G3g8	N-9°-E	U字形	17.4	0.43~ 0.92	0.22~ 0.50	8~ 12	緩斜	皿状	不明		SI87・89・SD15→本跡→SD6・14

表6 火葬施設一覽表

番号	位置	主軸方向	平面形	規模										出土遺物	備考	
				燃 燒 部				通 気 溝								
				長さ(軸)×短径(軸)(cm)	深さ(cm)	平面形	壁面	長さ(cm)	上幅	下幅	深さ(cm)	壁面	底面			覆土
1	H3c5	N-0°	T字形	136×49	40~48	隅丸方形	外傾	130	56~72	16~48	24~32	外傾	凹凸	人為	骨粉, 木炭	

表7 ピット列一覽表

ピット 列番号	位置	方向	規 模			柱 穴			出土遺物	備考 遺構番号・新旧関係 (古→新)		
			柱間数	規模(m)	柱間寸法(m)	柱数	平面形	長径(軸) (cm)			短径(軸) (cm)	深さ(cm)
1	H2a8~H2a9	N-82°-W	2	4.2	1.4~2.0	3	方形・隅丸方形	72~88	64~72	28~32	縄文土器, 土師器	本跡→SI202・203
2	H2b8~H2b9	N-85°-W	2	6.2	2.2~3.4	3	円形・隅丸方形	44~72	44~68	40~60	縄文土器, 土師器	本跡→SI203
3	H2a8~H2b9	N-8°-W	2	4.7	1.9~2.2	3	円形・方形・隅丸方形	64~72	48~72	44~72	縄文土器, 土師器, 須恵器片, 剥片	本跡→SI201・202

第4節 ま と め

今回の調査によって、旧石器から中・近世に至る遺構と遺物が確認された。ここでは、確認された遺構の主体となる古墳時代や平安時代を中心にその概要を述べて、まとめとしたい。

1 旧石器時代

後期旧石器時代の所産と考えられる石材として頁岩やガラス質黒色安山岩が出土しており、頁岩の剥片17点はいずれも縦長剥片である。また、ガラス質黒色安山岩21点、メノウは石核1点と剥片15点が出土している。しかし、石器集中地点は確認されていない。石材別の出土分布を見ると、頁岩及びガラス質黒色安山岩は調査区中央部の西寄りから南部の平坦部に多く出土し、メノウは南部の斜面部からの出土が見られ、周辺部に石器製作跡が存在すると想定できる。

2 縄文時代

遺構は、竪穴住居跡8軒（前期7，中期1），土坑8基（前期4，中期2，後期1，不明1）が確認されており、中央部と北部に前期の住居跡が分布し、同時期と考えられる第34号住居跡と第126号住居跡は規模と形状が異なり、北部と中央部で多少の時期差も想定できる。また、北西部に位置する加曽利EⅡ式期の第103号住居跡は、隣接して土坑が確認されており、調査区の西側に集落が展開している可能性がある。また、弥生時代以降の住居跡の覆土中からも縄文土器が出土する例が多いため、縄文時代の遺構は検出された以上に存在した可能性が考えられ、さらに調査区域の西側に縄文期の集落が伸びているものと想定される。遺構外出土の縄文土器の時期は、早期後葉、前期前・後葉、中期後葉、後期前葉があり、その分布は早・後期が南斜面部、前・中期が北部の平坦部から多く出土する傾向がある。また、石材はチャート、黒曜石、メノウ、頁岩、ガラス質黒色安山岩などが確認されているが、そのほとんどが剥片である。その中でもチャートについては調査区のはほぼ全域に分布し、特に中央部から南部の平坦部と前期住居跡から多く出土しているので、集落内で石器製作が行なわれた可能性が考えられる。

3 弥生時代

遺構は、竪穴住居跡5軒、土坑1基が確認されている。その分布を見ると、北縁辺部に第10・38・40号住居跡、中央部の平坦部に第107号住居跡、南縁辺部に第139号住居跡が位置し、北部の3軒は主軸方向が異なるものの規模や形状が類似し、同時期に存在して集落を構成していたものと考えられる。また、遺物では、土製紡錘車が第38号住居跡や第139号住居跡から出土し、今回調査を行なったすべての住居跡で土製紡錘車の保有が想定できる。また、第492号土坑からは胴部上位以上を欠いた広口壺が出土しているが、底部に焼成後の穿孔が見られ、日常生活に使用されていた煮沸具が土器棺に転用されたものと考えられる。弥生時代の調査事例が少ないつくば市域を研究する上で貴重な資料となると考えられる。

4 古墳時代

遺構は、竪穴住居跡80軒、掘立柱建物跡3棟、土坑2基が確認されている。ここでは、住居跡を中心に、集落の変遷について概観する。なお、Ⅰ期は4世紀代、Ⅱ期は6世紀代、Ⅲ期は7世紀代として分類して記述する。



第377図 縄文・弥生時代の遺構配置図

I 期（4 世紀代）

該期の遺構は、竪穴住居跡 4 軒、土坑 1 基であり、調査区中央部西寄り平坦部の狭い範囲内に確認されている。住居跡は第125号住居跡が38.17㎡の方形で、大形であるのに対し、第136・152・178号住居跡は16.21～25.93㎡で長方形または方形で規模が小さく、炉が明確な形で検出されたのは第125・152号住居跡であり、他は焼土の広がる範囲が確認された程度である。炉が明確な形状が確認されている第125号住居跡では 3 か所の炉が検出されている。また、ほぼ全周する壁溝は第125・138号住居跡で検出され、いずれの住居跡の床も軟質である。

遺物としては、第128号土坑から出土した土師器の大形甕が注目される。残存部分が少ないため、全体の形状は不明であるが、破片が周辺の住居跡からも多く出土していることから、破片で投棄されたものと考えられる。その胎土をみると、同様の甕が第139・191図で示した以外にも 2 個体以上あったものと考えられ、該期は遺構の分布などから、調査区の西側に集落が広がるものと考えられる。

II 期（6 世紀代）

該期の遺構は、住居跡32軒が確認され、その配置は第172・174号住居跡以外の住居跡が調査区の東部に集中し、特に 6 世紀後葉の住居跡は、平坦部から斜面にかかる肩部の標高25.5mの等高線に沿うように、地形を意識した分布となっている。また、住居跡は北西部・中央部東寄り、南部東寄りの 3 か所に集中している。北西部及び中央部東寄りでは、長軸が 7 m を超える大形住居跡を中心として、長軸 4～5 m の住居跡がそれを取り囲むように位置し、特に中央部東寄りでは大形住居跡が多く分布している。住居跡の内部施設については、標準的なものが多く、6 世紀後葉から 7 世紀前葉では、出入口施設に伴うピットが南北に 2 本並ぶ住居跡が多く見られる。また、中央部東寄りの第85・122号住居跡の 2 軒は、仕切り溝が検出され、居住空間の区割りが行なわれていたと考えられる。さらに、該期の住居跡の多くは、廃絶時または廃絶後間もない時期に火災によって、焼失したことが確認されている。

出土した土器の構成を見ると土師器坯が多く、他に椀・高坏・鉢・甕・甗と器種構成は一般的である。この中で特徴的な土器としては耳状の把手が付いた土師器小形甕や大形甕が第111号住居跡から出土している。また、土器以外では多くの住居跡から不明土製品が多数出土している。不明土製品は削りかす状のものが多く、土器を製造する過程で発生したものと想定され、出土している調査区内または調査区域外に土器を製作する遺構の存在が想定されるが、確認はされていない。さらに、削りかす状の不明土製品が焼成されていることは、今後、焼成の理由や目的について検討する必要がある。

III 期（7 世紀代）

該期の遺構は住居跡43軒であり、調査区の中央部から西部に集中し、楕円状に分布している。細分すると 7 世紀前葉の住居跡は II 期の住居跡群の西側、7 世紀中・後葉の住居跡は 7 世紀前葉の住居跡の周辺部や東部の斜面部に多く分布し、それらはほぼ標高25.5～26mの範囲に並ぶように位置している。

7 世紀前葉の住居跡群は概略的に 3 グループに分けられ、それらは北西部のさらに北西へ伸びるグループと中央部の東西に帯状に広がるグループ、さらに単独で立地する住居跡のグループである。

土器の構成は土師器坯が多く、他に椀・高坏・甕・甗があり、II 期に比べて坯と甕の出土比率が近似する傾向にある。また、須恵器の出土数が増加して、フラスコ瓶などの出土も見られる。土器以外の遺物としては土製支脚の出土が多く、II 期の特に 6 世紀後葉から出土が増加し、その傾向は当期も継続している。また、紡錘車は土製・石製を合わせて10点が住居内から出土し、土製・石製の双方は第111・143号住居跡から出土している。

ここで不明土製品とした土器の削りかす状の土製品について記述する。土製品は 6 世紀後葉から 7 世紀前葉



第378図 古墳時代の遺構配置図

の住居跡の多くから出土し、7世紀後葉では東・南部の住居跡からの出土が多い。これらの不明土製品は、土器の製作過程でできたものと考えられ、その形状は様々で、次のように4種類に大別することができる。

1 削りかす状の三日月形

両面または片面に削り面を有するものや、片面が削り面で木の葉や茎などの植物、また布などの圧痕があり、中にはそれら数片をひとまとまりにしたものなどがある。これらを見ると坏などの底部外面のヘラ削り調整時に削り取られたものと考えられ、調整を加える前に木の葉や布の上に置いた際にそれらの圧痕がついたものと考えられる。

2 平板状

削りかすを平板状に伸ばして、棒状工具で叩いた痕跡のあるものや、ナデ調整が見られるものなどがある。これらは、数的には少ない。

3 棒状

削りかすを棒状や球状に丸めたもので、穿孔の見られるものと見られないものがあり、それは棒状工具で叩いたり、ナデたりした痕跡のある平板状のものと一緒に出土することが多い。指頭圧痕や棒状工具での圧痕も見られることから、意図的な製作ではなく、棒状や球状に丸めただけのものと考えられる。

4 焼成粘土塊

形状的にはブロック状で、粘土を焼成しただけの塊で、焼成は良好でなく、表面は摩滅しており、数的には非常に少ない。

以上のように不明土製品が形状的に分類され、1は土器のヘラ削り調整による削りかすと考えられ、2・3・4は削りかす状のものにさらに手を加えたものとする。また、これらはすべてが焼成されている。単なる削りかすは、その状態であれば再び素材として利用され、焼成する必要はない。しかし、それらは前述のように焼成されている。その焼成理由として、八幡根遺跡で分類を試みた内山敏行氏¹⁾は、「1乾燥中の土器の外表面に付着していたか土器内に入っていた、2焚火や竈などの土器焼成跡に廃棄したか偶然入ったかまたは意識して入れた」と考えている。当遺跡の削りかすは3のような棒状を呈する形状のものも出土しており、土器に付着や偶然入ったのではなく、意識して焼成したものではないかと考えられる。このような不明土製品が出土する住居跡は「焼きあがったばかりの土器を持ち込んだ場所、または焼成された削りかすや未製品を廃棄した場所」であり、「建物内かその周辺で土師器生産に関わる作業をした」ものとしている。不明土製品が焼成された明確な目的、さらに土師器生産に関わる内容把握は不明な点が多いが、調査例の増加によって解明されていくものと考えられ、期待したい。

5 奈良時代（8世紀代）

遺構は、竪穴住居跡15軒、大型円形土坑3基が確認されている。住居跡は全体的に分布し、特に南斜面部に多く位置している。平面形状のほとんどは方形で、5m以上の住居跡は少なく、4m前後のものが主体となり、規模の縮小化が進む。また、竈を見ると、ほとんどが北壁に付設され、第146号住居跡だけが西壁中央部に付設される。

出土遺物を見ると、土器構成は須恵器の割合が増え、土師器は坏・鉢・甕・甗、さらに須恵器が坏・蓋・壺・甕・甗で坏と甕の比率はほぼ同じとなり、器種に多様化が見られる。特徴的な土器としては、第9号住居跡出土の第196図の180・182・183の土師器の大形坏があげられ、明赤褐色を呈して底部内面に布目痕を有するものであり、他の同時期の住居跡からの出土はなく、搬入品と考えられる。



奈良時代



第379図 奈良時代の遺構配置図

住居跡以外では、大型円形土坑3基が調査区の北端、東端、中央部南部の台地縁辺部で確認されている。形状は長径3.74～4.60m、短径3.50～3.92mの円形で、断面形は挿鉢状を呈し、深さ160～216cmである。また、底面の中央部を一段深く掘り込む特徴を持っている。第2号大型円形土坑では、底面近くの壁面から丸太状のものを差し込んだと考えられる正方形または長方形の2穴1対の掘り込みが確認されている。

当遺跡で確認された3基の大型円形土坑の形状や立地などの状況から見ると、中山晋氏²⁾が提唱する「氷室状遺構」と極めて類似し、全国的にも同様な形状のものが確認されているが、茨城県内では28遺跡46基³⁾が確認されている。出土遺物は多種多様で、時期も縄文時代から平安時代後期と幅広く、氷室としての役割を終えた後、埋没過程で混入したものも多い。このように、これらの氷室は廃棄土坑として利用され、出土遺物の大部分が投棄されたものである。第1号大型円形土坑からは、緑釉陶器輪花椀・輪花皿や猿投産の灰釉陶器長頸瓶、手付き瓶などの平安時代の高級品が上部から出土し、須恵器では坏・高台付坏などが多い。また、第3号大型円形土坑では須恵器の甕・壺類が多く出土し、坏類と甕類を意図的に区別して投棄したものと考えられる。また、双方から接合した須恵器短頸壺が出土していることから同時期にいずれも存在しており、その構築時期は出土遺物から3基は8世紀中葉と考えられる。この時期の住居跡としては第56・142号住居跡があり、大型円形土坑である氷室状遺構と何らかの関わりを持っていたと想定できる。奈良時代は確認された住居跡は少なく、集落の中心部は調査区域外に位置するものと考えられ、この調査区には氷室状遺構などに関わる集団の居住域であった可能性も考えられる。

6 平安時代

遺構は、竪穴住居跡55軒、掘立柱建物跡11棟、土坑8基が確認されている。集落の変遷について住居跡や掘立柱建物跡を中心に、Ⅰ期を9世紀代、Ⅱ期を10世紀代に区分して概観する。

Ⅰ期（9世紀代）

該期の遺構は、住居跡39軒、掘立柱建物跡5棟であり、住居跡は調査区の中央部寄りの平坦部に分布し、古墳～奈良時代よりも西部に集中している。これらは、7～8軒の集団を形成して、さらに四方に分散し、同時期と考えられる掘立柱建物跡は南部の平坦部から斜面部の肩部に位置している。住居跡は、小規模化して3～4mのものが多く、主軸方向はほとんどが真北かわずかに西に傾くものが多い。住居跡の時期と主軸方向を見ると、9世紀前葉は主軸方向が北から東西にわずかに傾くものが多い、9世紀中葉には北東方向へわずかに傾いている。また、9世紀後葉には東方向に傾いているが、その状況について現段階では説明できない。また、住居跡の内部施設では主柱穴の検出例が少なく、出入り口施設に伴うピットだけが検出されるものが多い。また竈では、雲母片岩を補強材として使用する住居跡も見られ、古墳時代や奈良時代では見られなかった構造が見られる。

出土遺物では、土師器と須恵器の比率では徐々に土師器が増加し、特に甕が多く出土する傾向が見られる。また、墨書土器は少ないが、中央部西寄りの第173・184・188号住居跡から3点が出土している。第173号住居跡出土の底部外面に「前」と記された土師器高台付坏、第188号住居跡出土の体部外面に「多」と記された土師器坏が出土している。また、第184号住居跡からは、文字というよりは記号と考えられる体部外面に「+」と記されている土師器坏が出土している。土師器坏または高台付坏の体部及び底部外面に「+」のヘラ書きのある土器も第13・30・121号住居跡から5点が出土し、さらに、第35号住居跡出土の土師器坏の底部内面には則天文字のような「兀」のヘラ書きがある。

土器以外では金属製品39点が出土し、奈良時代13点に対して出土数が著しく増加し、中央部から南部にかけ



第380図 平安時代の遺構配置図

ての住居跡の出土が多い。これらは刀子7、鍬2、斧1、紡錘車2、錐1、不明18、鉄滓2、銅製帯先金具2、鎌2、鋤先2であり、第140・173号住居跡のように特定の住居から多数出土する傾向にあり、鋤先や鎌などの耕作具、刀子や錐などの工具が多い。また、帯先金具も出土している。

住居跡以外の遺構は、掘立柱建物跡5棟が確認され、そのうち南部には第9・17・19号掘立柱建物跡が位置し、桁行・梁行の規模は異なるが、柱間は桁行・梁行とも1.80～2.40mであり、柱穴の掘り方の規模などから、軽量の物の保管倉庫的な機能を果たしていたと考えられる。

Ⅱ期（10世紀代）

該期の遺構は、竪穴住居跡16軒、掘立柱建物跡7棟であり、9世紀代よりもさらに西部の平坦部へ移り、集落の中心は調査区の西部域に展開していたと考えられる。住居跡は、3～4m前後と小さく、Ⅰ期の9世紀代とほぼ同じ規模であり、主軸方向は北から東方向へ傾きが変っていく傾向にある。住居跡の内部施設では、主柱穴が検出されないものが多い。掘立柱建物跡は7棟が確認され、南斜面部に第13～15号掘立柱建物跡が位置している。柱間は桁行・梁行とも1.80～2.40mであり、柱穴の掘り方の規模などから軽量の物の保管倉庫的な機能を果たしていたものと考えられる。掘立柱建物跡がⅠ期から南部に集中している。出土土器を見ると、土師器の高台付坏の高台部が高くなる傾向が見られ、土師器小皿も出土している。また、墨書土器は中央部西寄りの第176号住居跡出土の底部外面に「中」と記されている土師器高台付坏が出土している。調査区内で確認された集落は、10世紀後葉頃で終焉を迎え、10世紀前・中葉から後葉の住居跡が調査区の西側へ移動していることから集落の中心は西部へ移っているものと想定される。

7 中・近世

中世の遺構は、火葬施設1基が検出されている。火葬施設は、調査区最南東部の台地縁辺部に位置している。その周辺部に同時期の墓壙などが分布することを想定して、調査を進めたが、遺構は確認されず、表面採集でも中世の遺物はほとんど確認されていない。

近世の遺構は、墓壙4基が確認されている。すべて円形状の墓壙に埋葬された座棺であり、寛永通宝のほか数珠玉や煙管が出土している。これらの中の第1～3号墓壙は調査区南端に並ぶように位置し、墓域とした意識があったものと考えられる。また、第297号土坑では骨片が出土して墓壙と考えられるが、伴う出土遺物がない。規模や形状、さらに人骨の検出から近世の墓壙とすることができる。中世以前はこのように、集落として栄えた当遺跡も、墓域として、これらは土地利用され、その後現在まで居住地とはなっていない。

むすびにかえて

各時代の様相について前述したが、当遺跡では縄文時代から集落形成が開始され、6世紀後半には台地縁辺部を中心に急速な発展を見る。その後、10世紀後半まで断続的ではあるが集落が営まれていた。今回の調査区は上野陣場遺跡一部であるが、東端の台地縁辺部から多数の住居跡が確認されている。その状況から見て調査区西側にも古墳時代から平安時代にかけての集落の中心が展開されていると推定される。この調査において注目できるもののひとつに、古墳時代後期に編年される焼成された削りかす状の粘土塊がある。土器製作段階でできるものと想定されるが、それを焼成するという意味については、現段階では不鮮明であり、今後、資料の増加を待ちたいが、これまでこの時期の集落遺跡での出土例は茨城県内ではほとんど知られていないものである。今後、形状的な分類だけでなく、いろいろな面での検討を進めていきたいと考えている。他の注目されるものに大型円形土坑として報告した水室状遺構がある。県内各地で実施された発掘調査において28遺跡から46

基が検出されているものの、詳細な分析は実施されていない。今後、土壌分析など科学的な分析を進めるとともに築造から廃棄、そして埋没に至る経過についても十分に検討したい。さらに、立地場所と周辺遺跡との関係についても検討する必要があると考えられる。特に当地域では古墳時代後期から奈良・平安時代にかけて注目される遺跡の調査が実施されており、古代河内郡の中核部であることを加味した検討を今後進めていく必要がある。

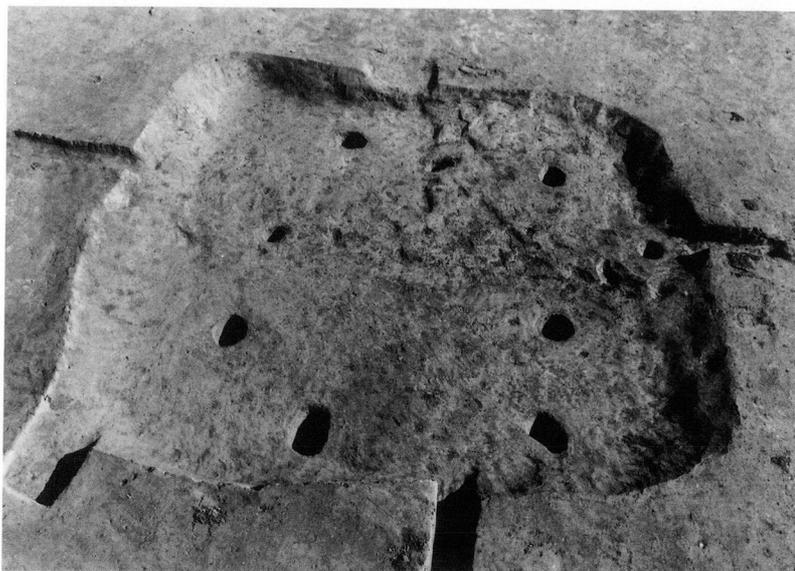
註

- 1) 内山敏行他「八幡根遺跡 一般国道4号(新4号国道)改築に伴う埋蔵文化財発掘調査」(栃木県埋蔵文化財調査報告第189集) 栃木県文化振興事業団 1997年3月
- 2) 中山晋『古代日本の「氷室」の実体－栃木県下の例を中心として－』「立正史学 第79号」1996年3月
- 3) 成島一也「茨城県の「大形竪穴状遺構」について」『研究ノート』6号 茨城県教育財団 1998年6月

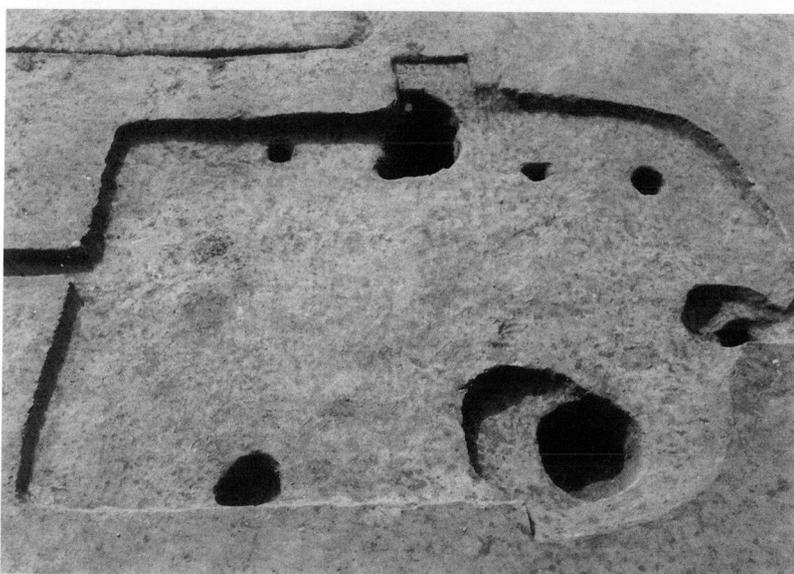
参考文献

- ・浅井哲也 「東国の古代の集落」『茨城県史研究』72集 茨城県立歴史館 1994年3月
- ・小笠原好彦「古墳時代の竪穴住居集落にみる単位集団の移動」『国立歴史民俗博物館研究報告』第22集 1989年3月
- ・平川南『墨書土器の研究』吉川弘文館 2000年11月
- ・櫻村宣行「茨城県南部における鬼高式土器について」『研究ノート』2号 茨城県教育財団 1993年7月

写真図版



第126号住居跡完掘状況



第160号住居跡完掘状況



第175号住居跡完掘状況

PL 2



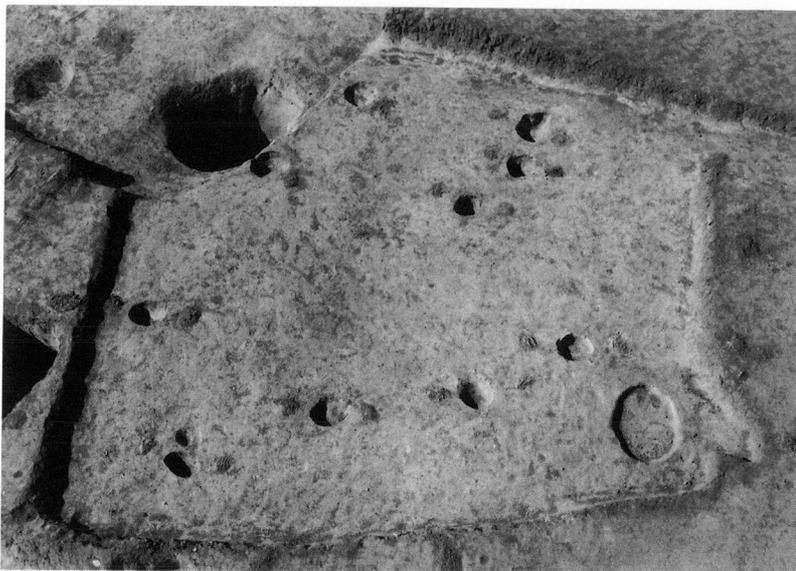
第175号住居跡遺物出土状況



第195号住居跡完掘状況



第195号住居跡遺物出土状況



第196号住居跡完掘状況



第196号住居跡遺物出土状況

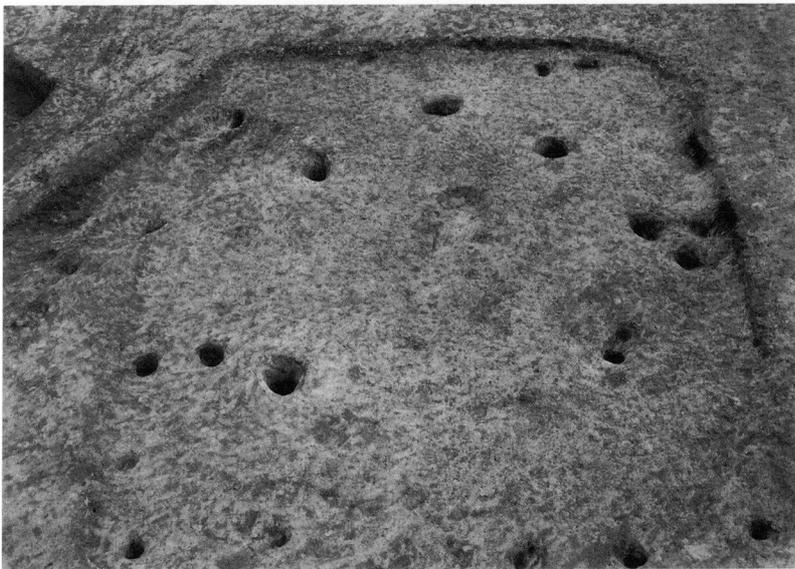


第207・208号住居跡完掘状況

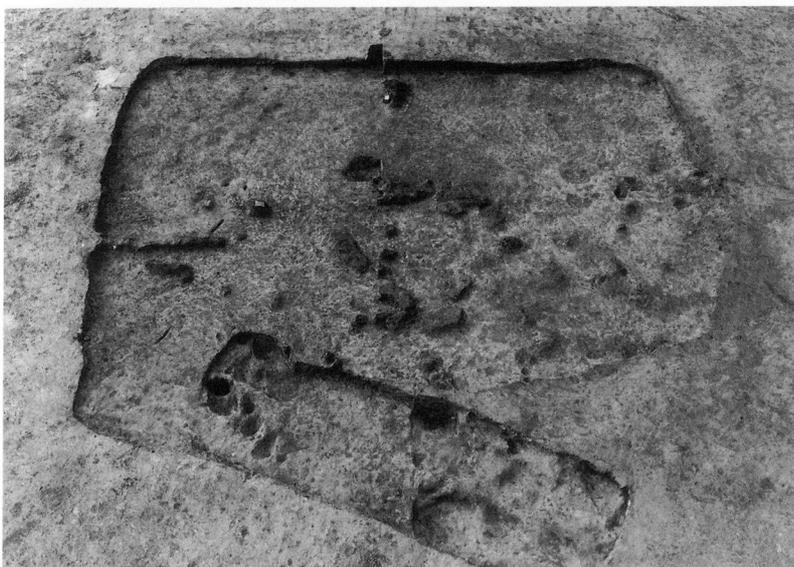
PL 4



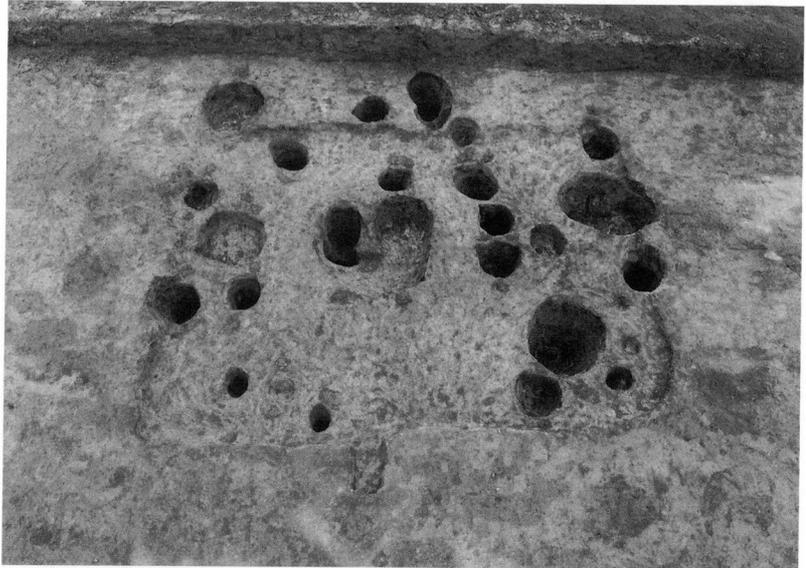
第208号住居跡遺物出土状況



第38号住居跡完掘状況



第38号住居跡遺物出土状況



第139号住居跡完掘状況

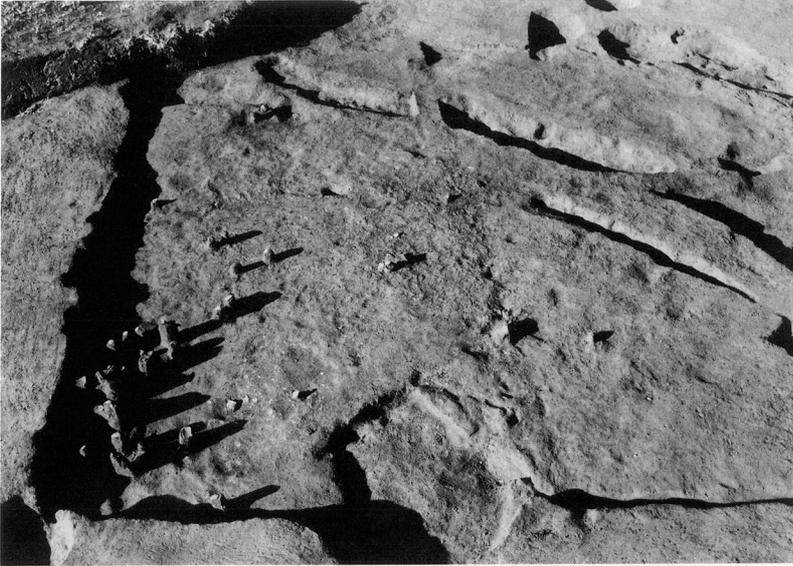


第139号住居跡遺物出土状況



第3号住居跡完掘状況

PL 6



第 3 号住居跡遺物出土状況



第 4 号住居跡完掘状況



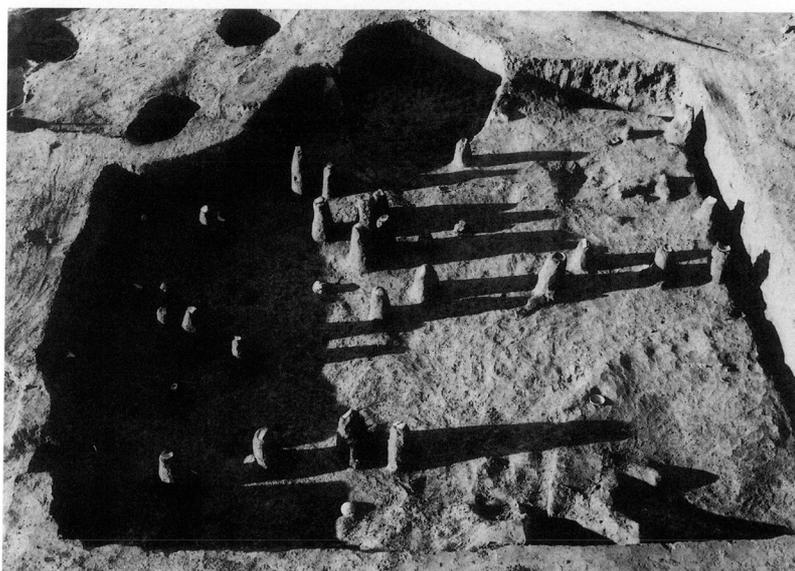
第 4 号住居跡遺物出土状況



第4号住居跡遺物出土状況

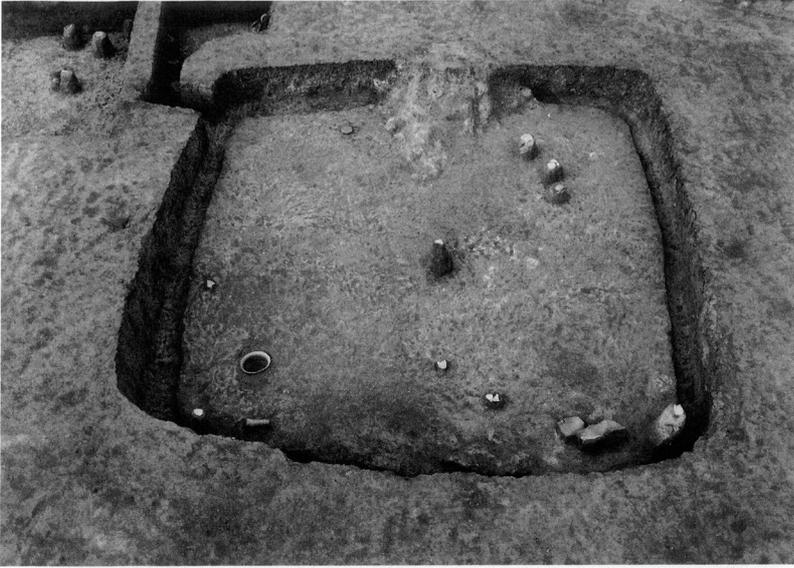


第11号住居跡完掘状況



第11号住居跡遺物出土状況

PL 8



第16号住居跡遺物出土状況



第16号住居跡P3遺物出土状況



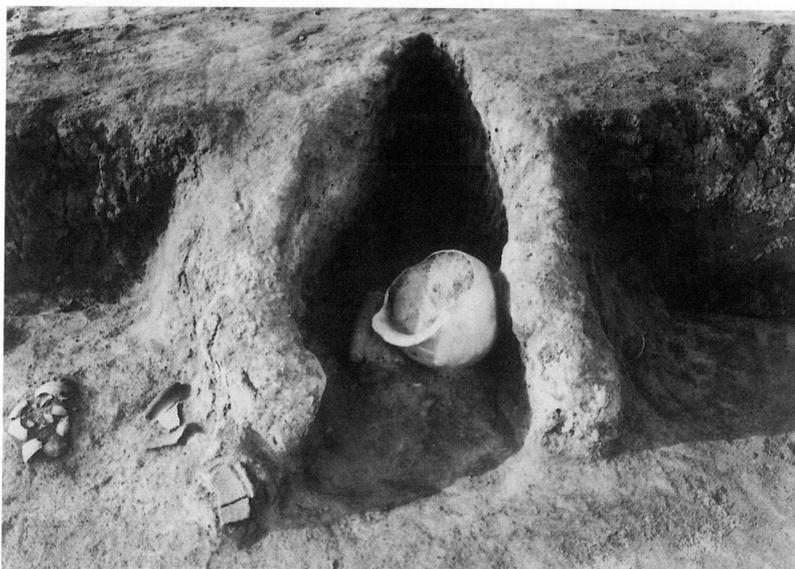
第17号住居跡遺物出土状況



第18号住居跡遺物出土状況



第21号住居跡完掘状況

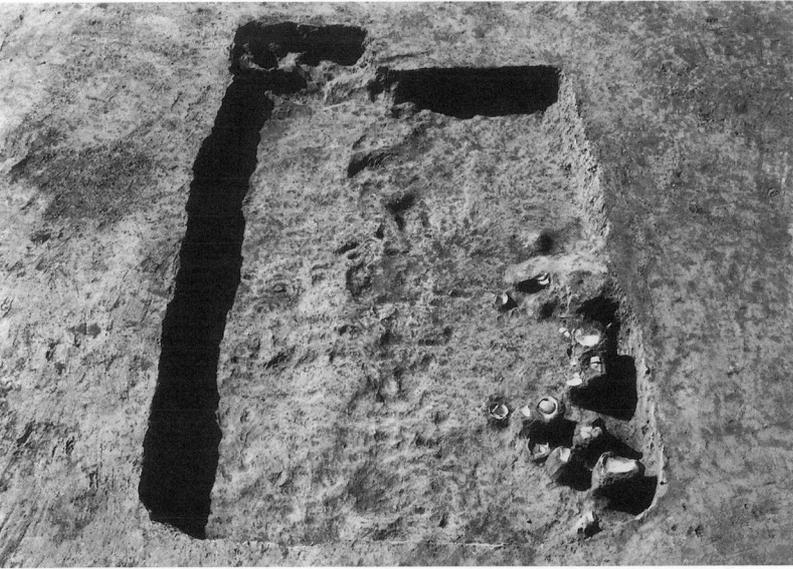


第25号住居跡竈遺物出土状況

PL10



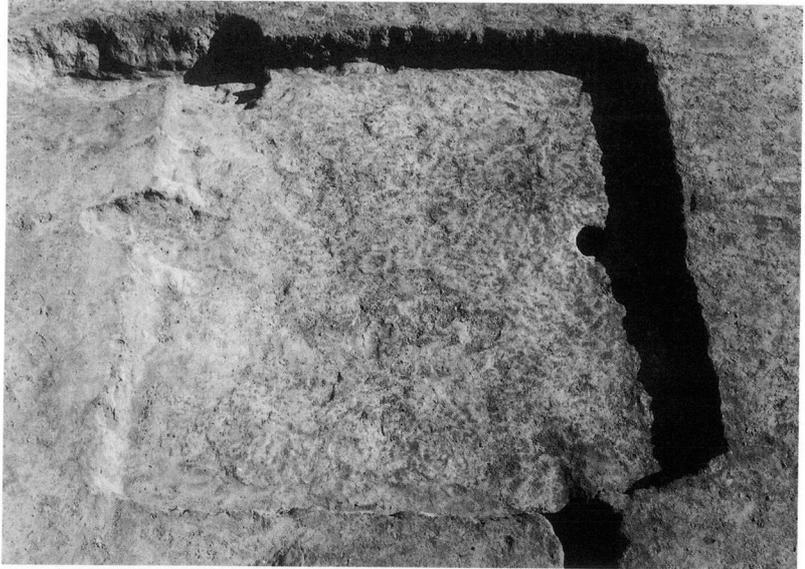
第28号住居跡完掘状況



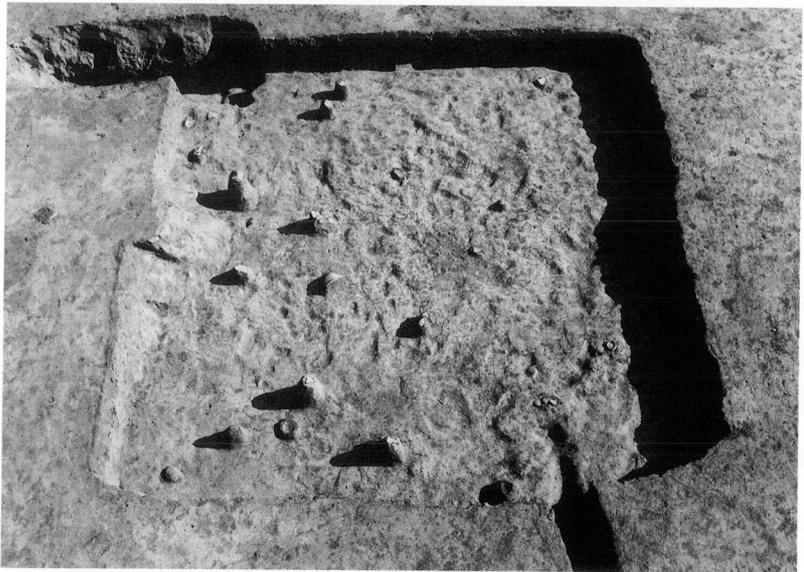
第28号住居跡遺物出土状況



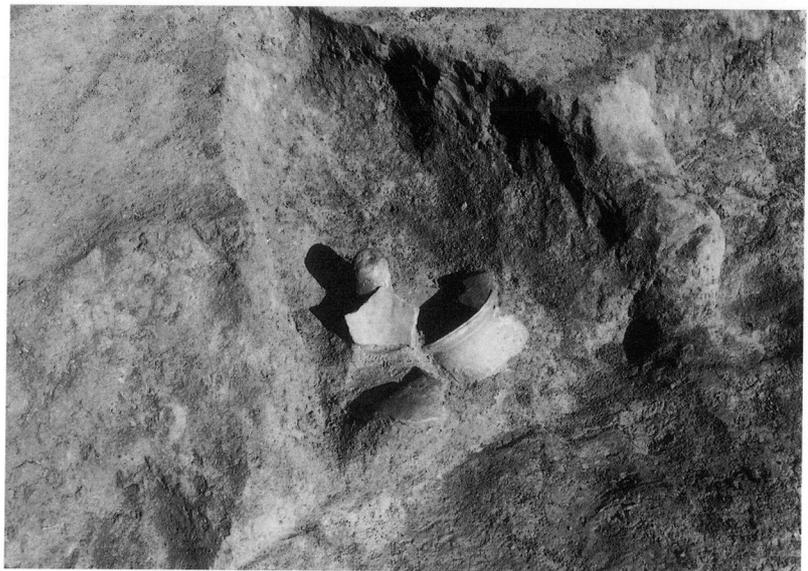
第28号住居跡遺物出土状況



第31号住居跡完掘状況



第31号住居跡遺物出土状況



第31号住居跡竈遺物出土状況

PL12



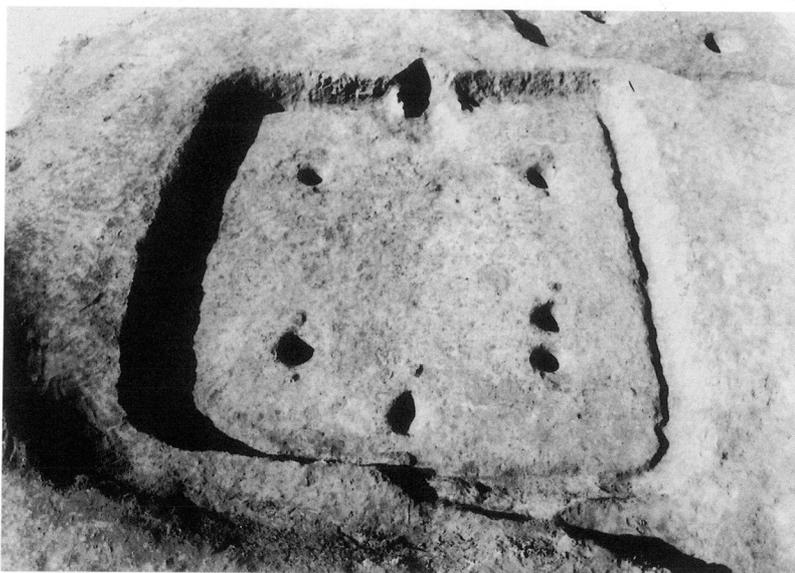
第32・33号住居跡完掘状況



第32号住居跡遺物出土状況



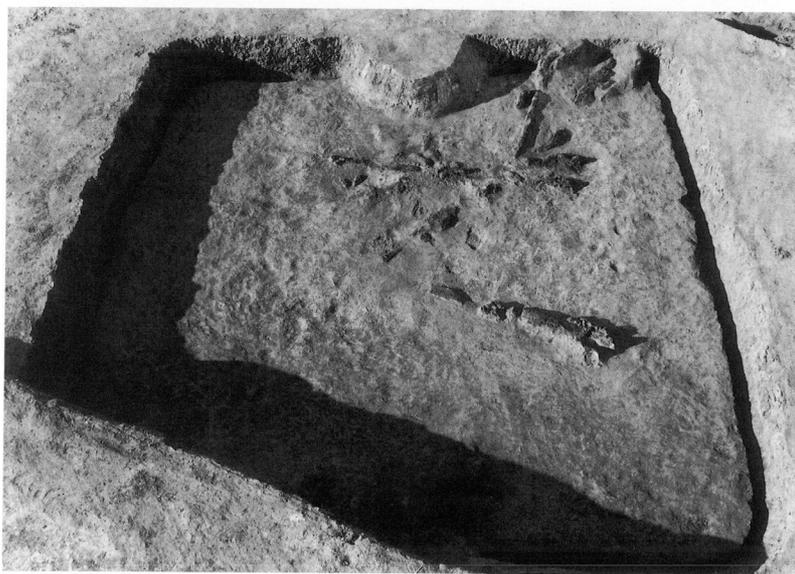
第32号住居跡竈遺物出土状況



第36号住居跡完掘状況



第36号住居跡遺物出土状況

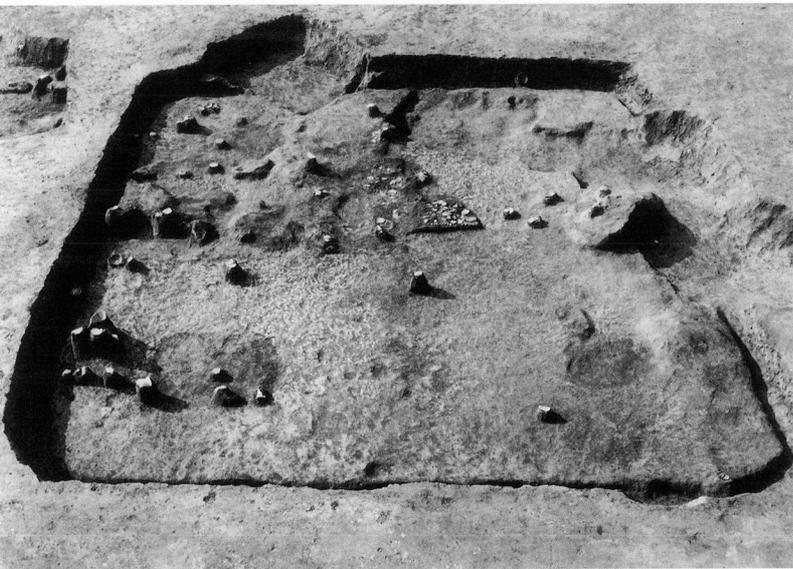


第36号住居跡炭化材出土状況

PL14



第37号住居跡完掘状況



第37号住居跡遺物出土状況



第39号住居跡完掘状況



第46号住居跡完掘状況



第46号住居跡遺物出土状況

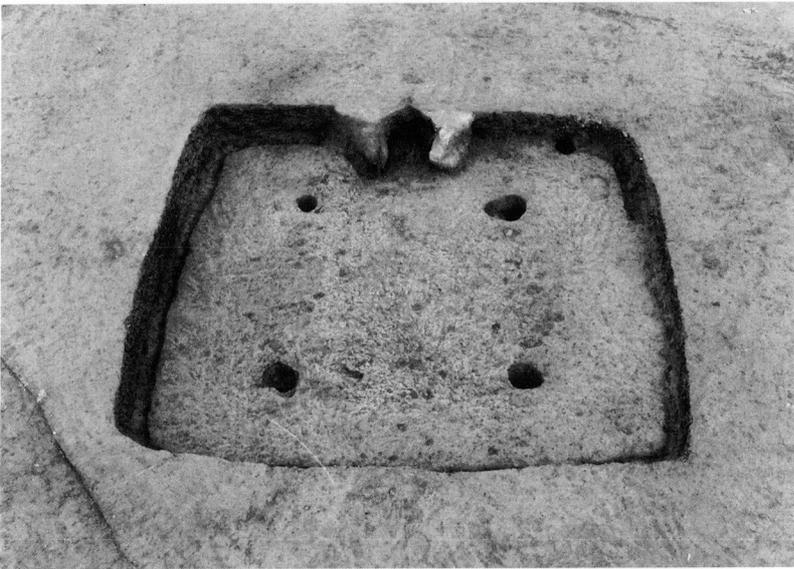


第47号住居跡完掘状況

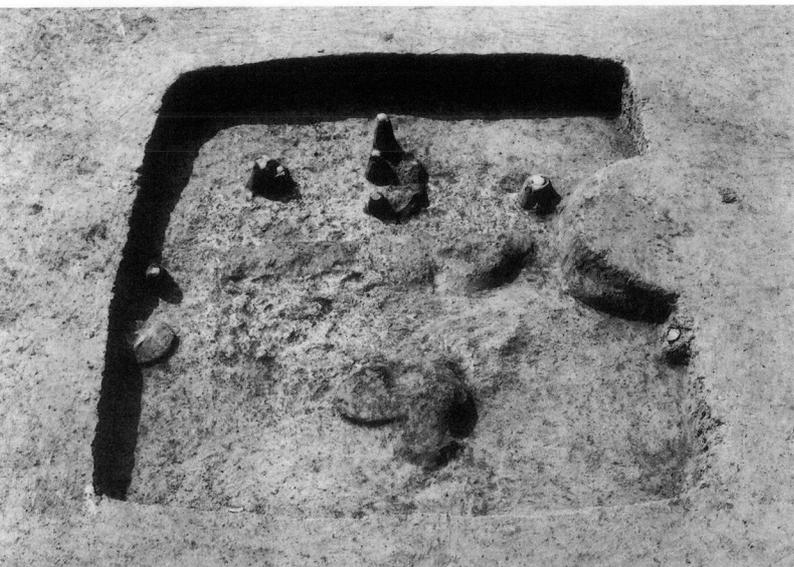
PL16



第47号住居跡遺物出土状況



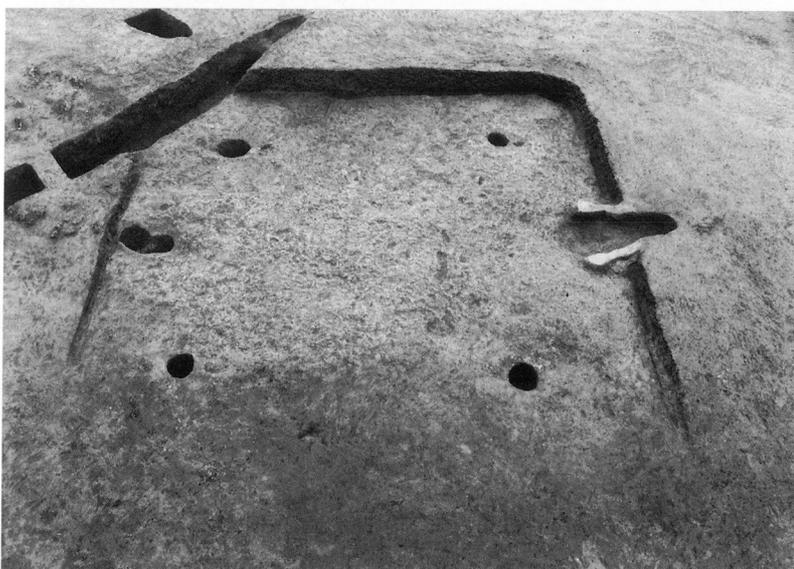
第48号住居跡完掘状況



第48号住居跡遺物出土状況



第49・50号住居跡遺物出土状況



第51号住居跡完掘状況



第51号住居跡遺物出土状況

PL18



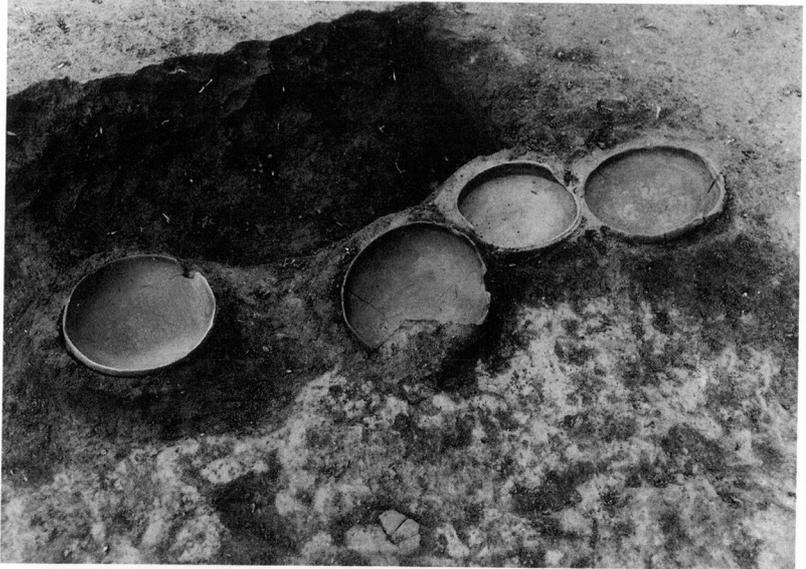
第53号住居跡完掘状況



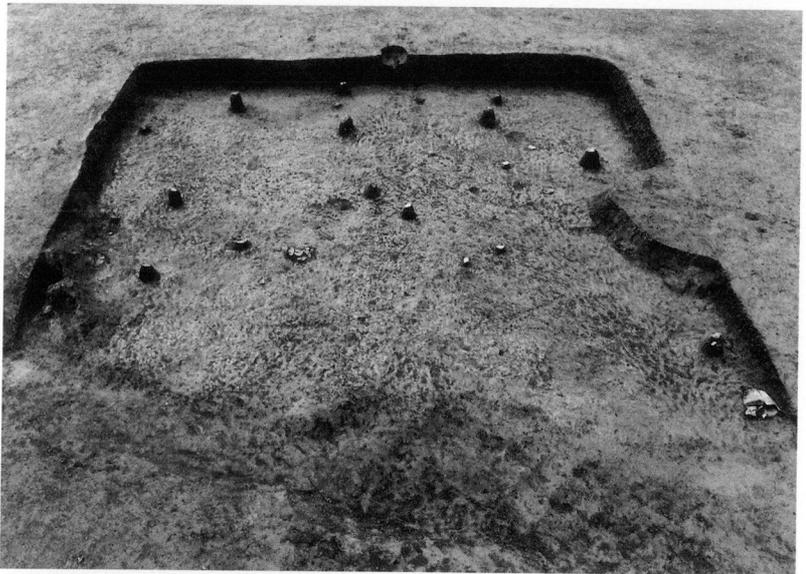
第53号住居跡竈完掘状況



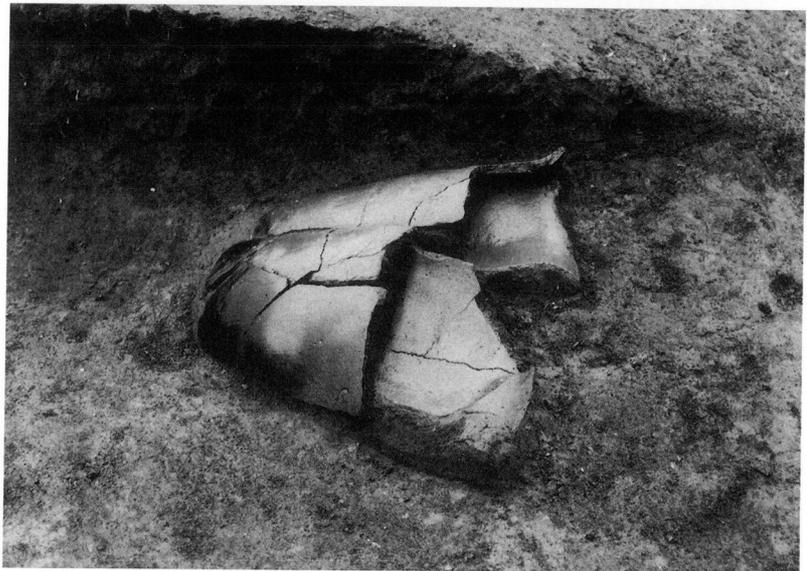
第54号住居跡遺物出土状況



第57号住居跡遺物出土状況

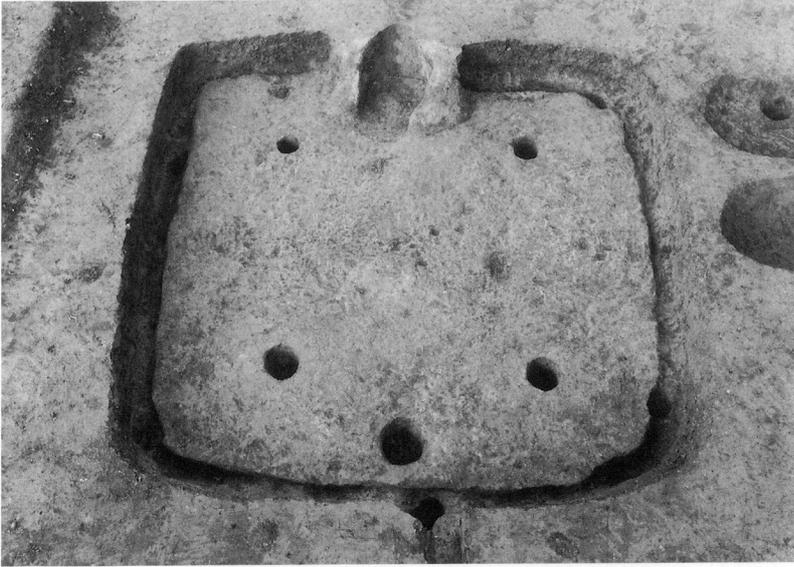


第59号住居跡遺物出土状況

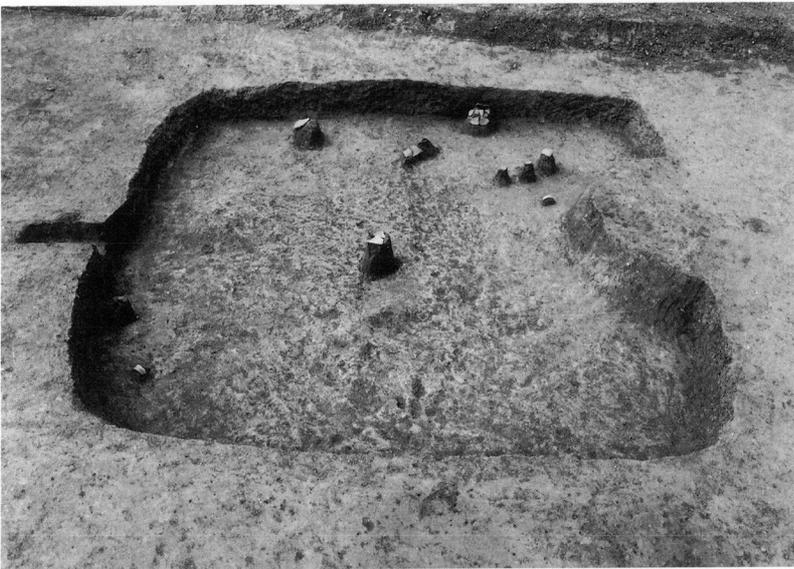


第59号住居跡遺物出土状況

PL20



第60号住居跡完掘状況



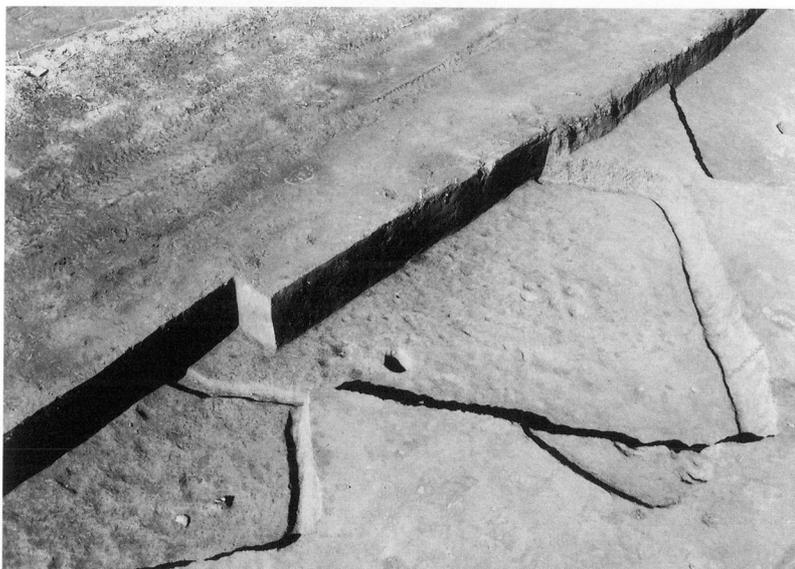
第60号住居跡遺物出土状況



第61号住居跡遺物出土状況



第61号住居跡竈遺物出土状況

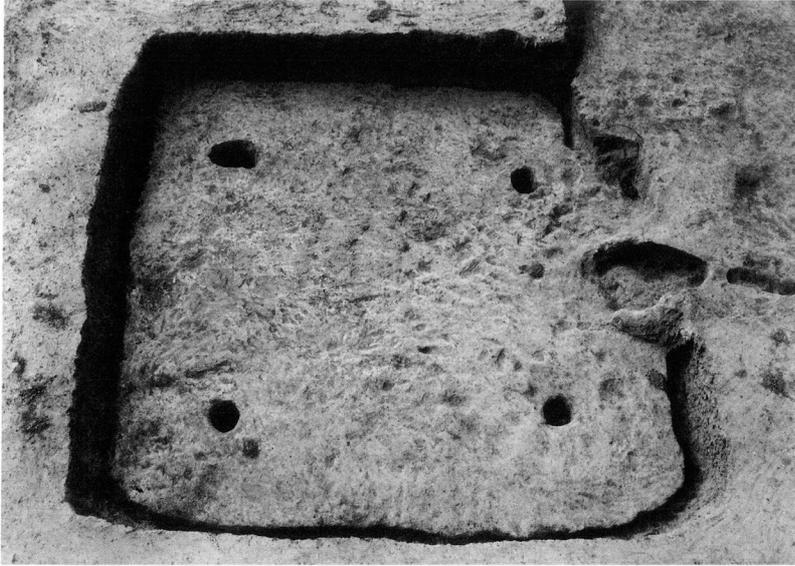


第62号住居跡完掘状況



第62号住居跡遺物出土状況

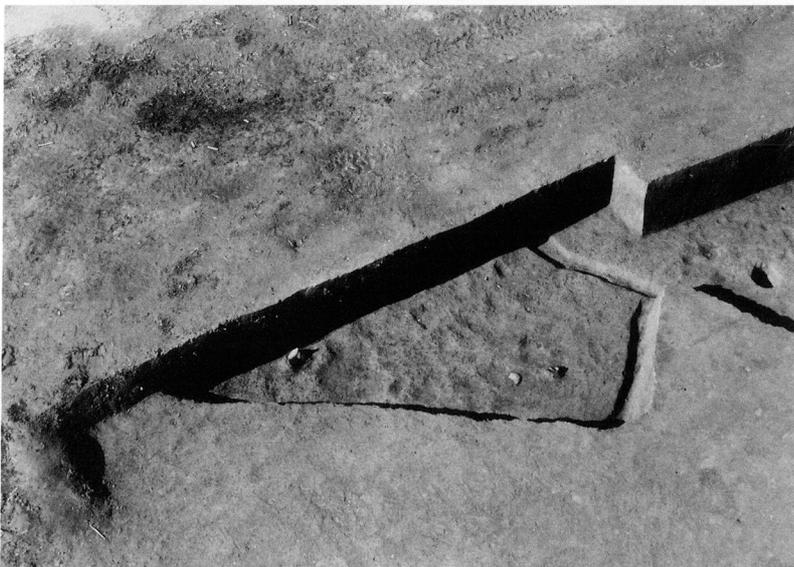
PL22



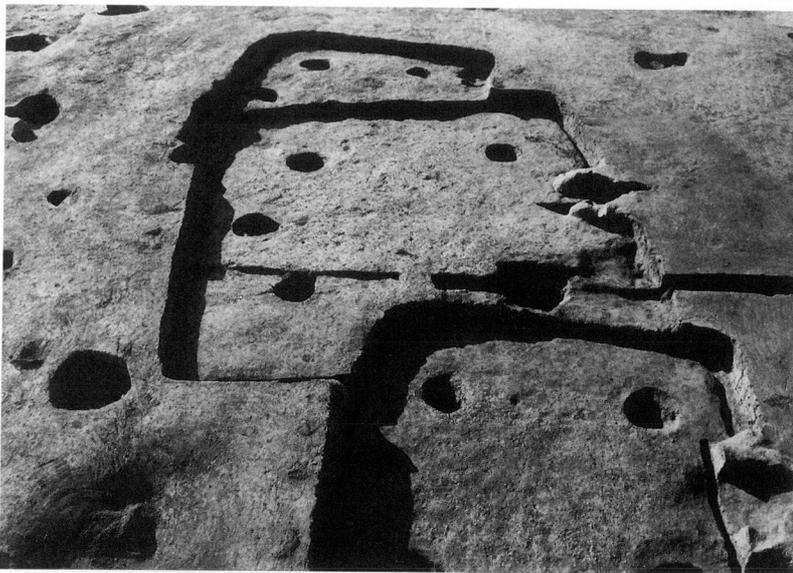
第64号住居跡完掘状況



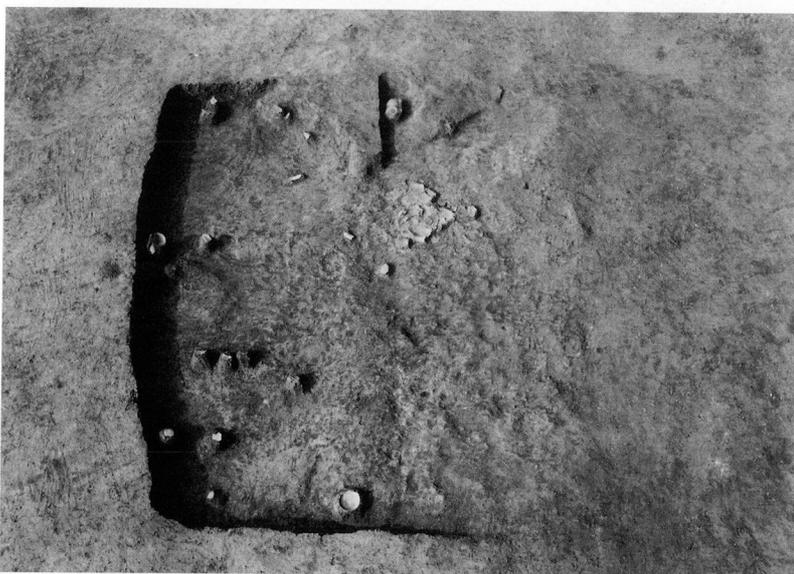
第64号住居跡遺物出土状況



第65号住居跡遺物出土状況



第69号住居跡完掘状況



第74号住居跡遺物出土状況



第76号住居跡完掘状況

PL24



第76号住居跡遺物出土状況



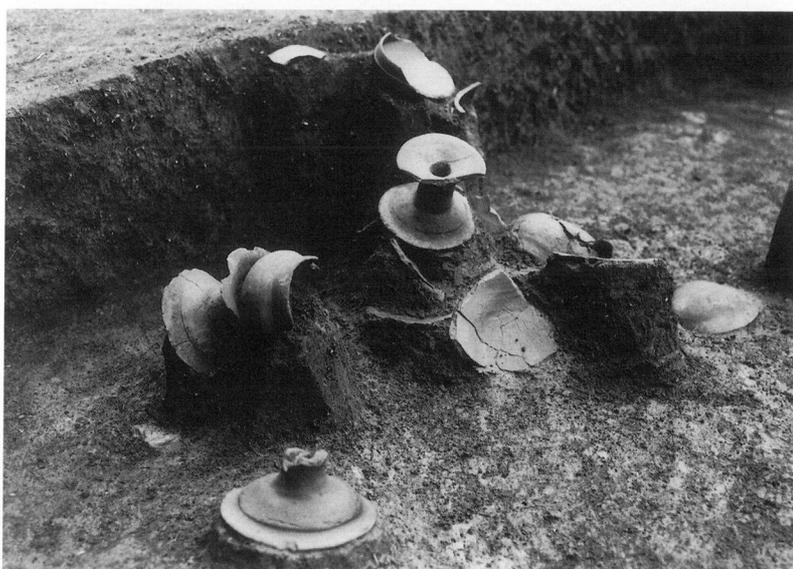
第76号住居跡遺物出土状況



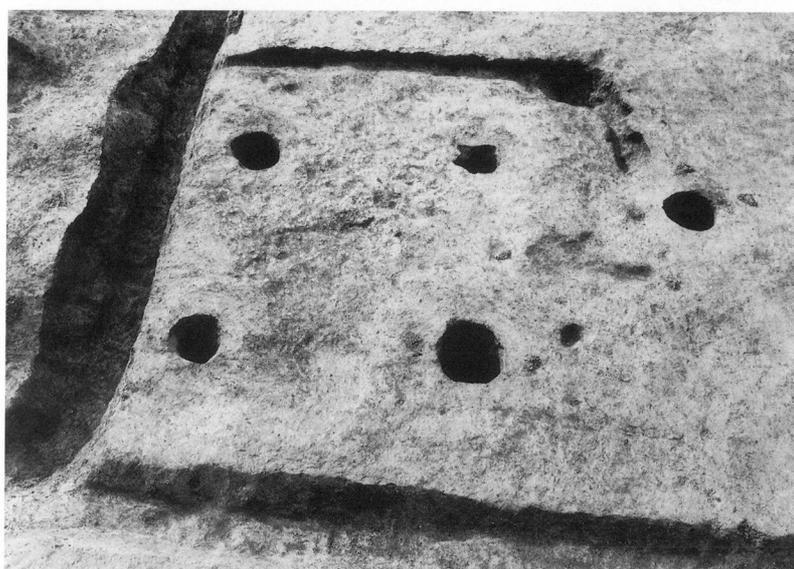
第77号住居跡完掘状況



第77号住居跡遺物出土状況



第77号住居跡遺物出土状況



第78号住居跡完掘状況



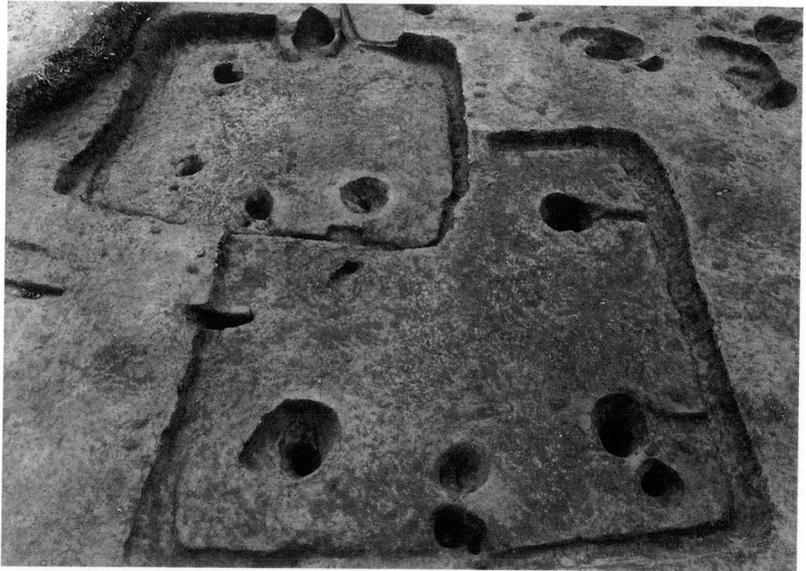
第78号住居跡遺物出土状況



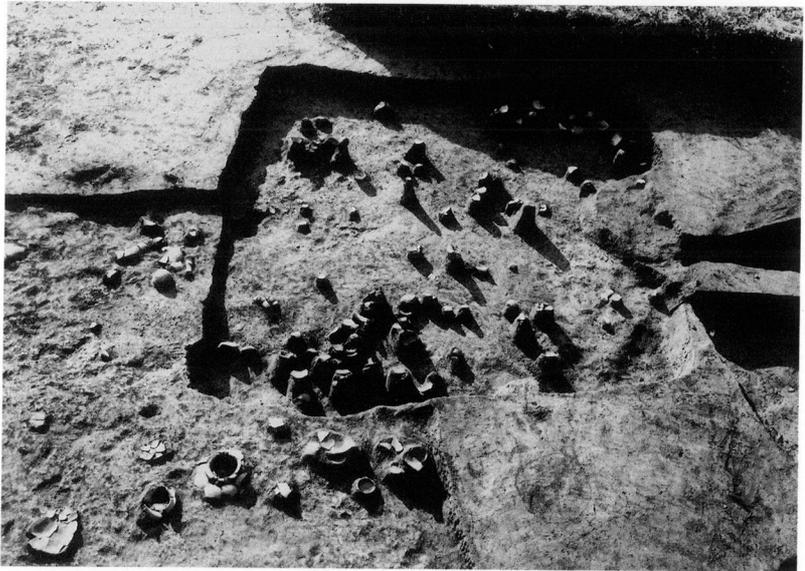
第81・82・83・88号住居跡
完掘状況



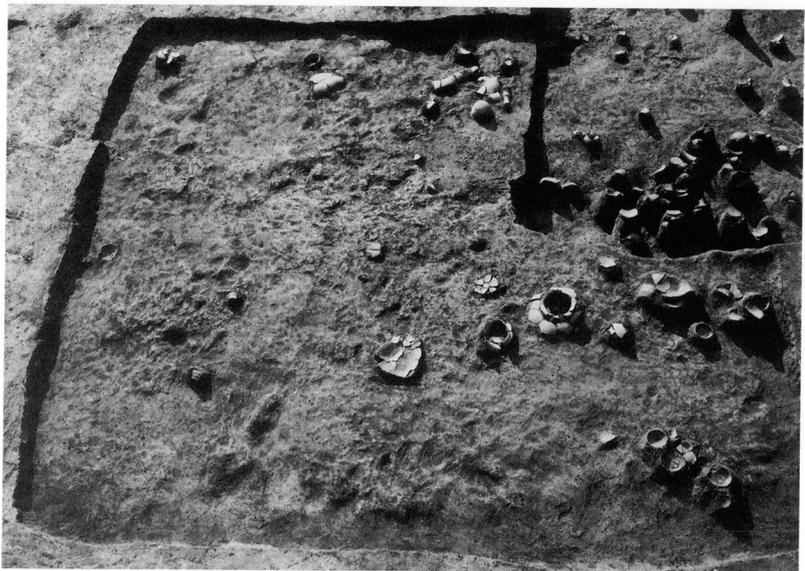
第81・82・83・88号住居跡
遺物出土状況



第84・85号住居跡完掘状況



第84号住居跡遺物出土状況



第85号住居跡遺物出土状況

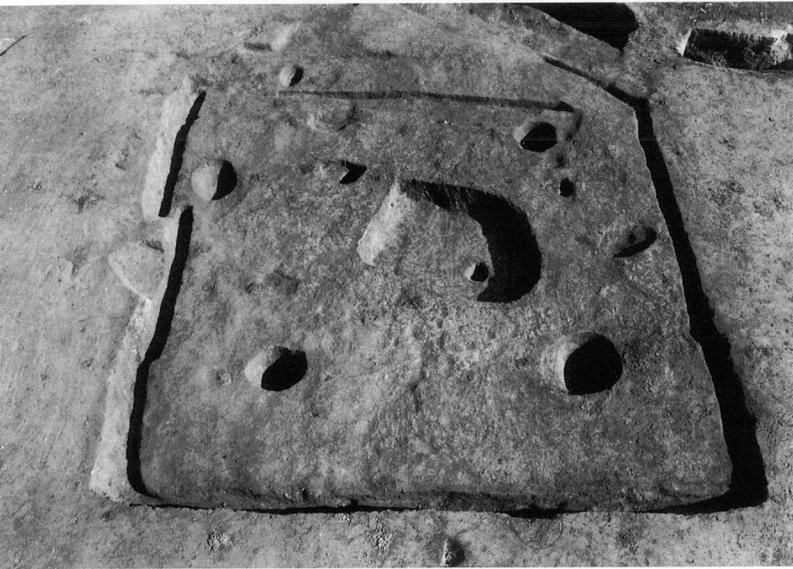
PL28



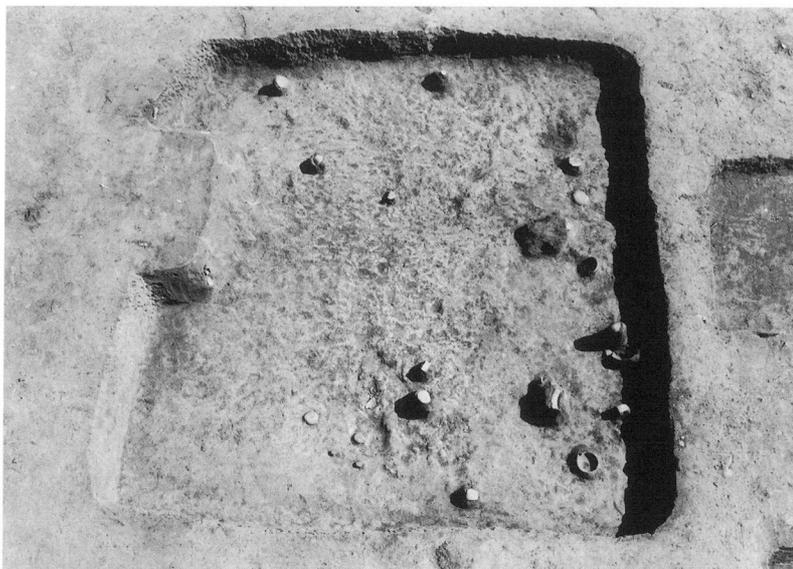
第85号住居跡遺物出土状況



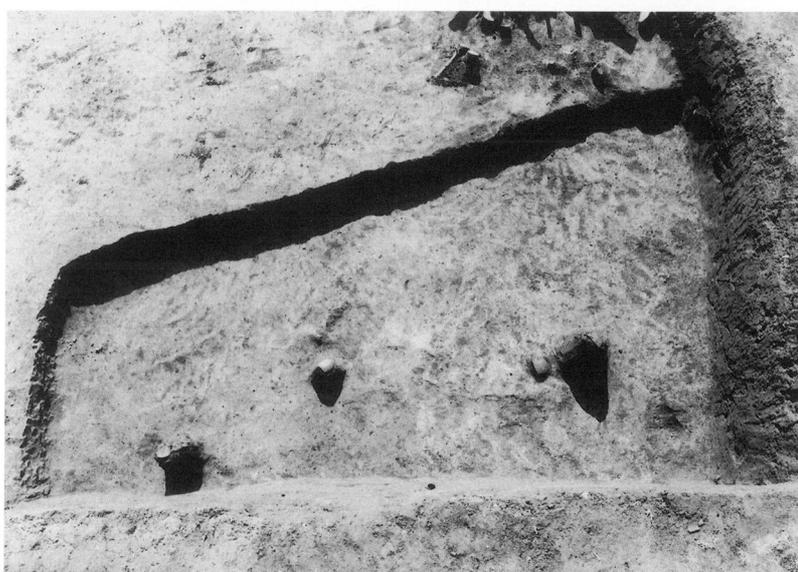
第87号住居跡完掘状況



第89・90号住居跡完掘状況



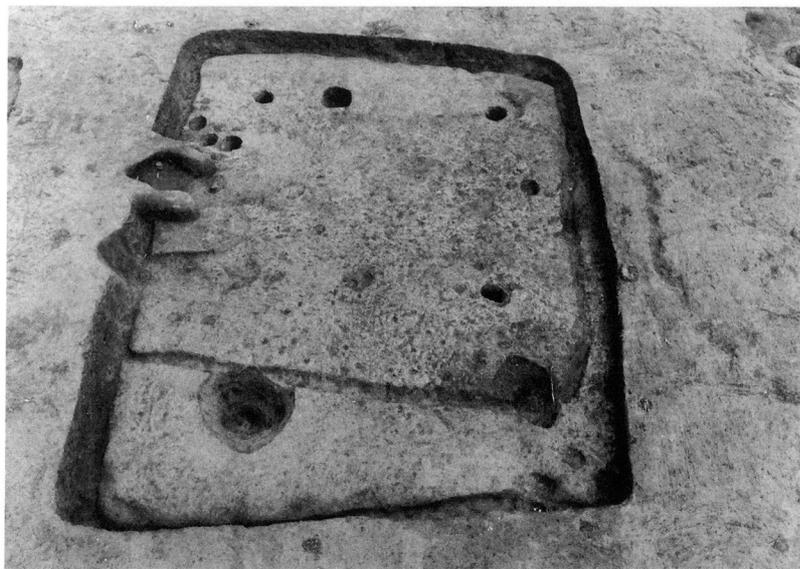
第91号住居跡遺物出土状況



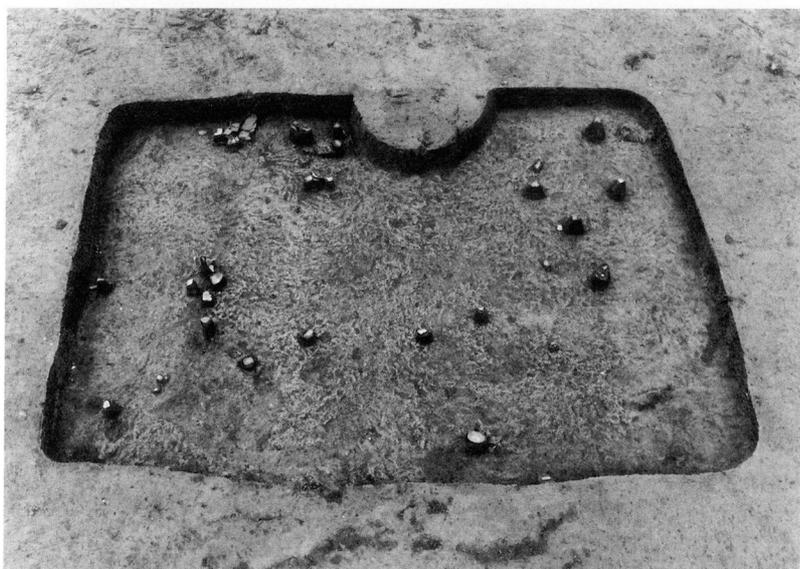
第92号住居跡遺物出土状況



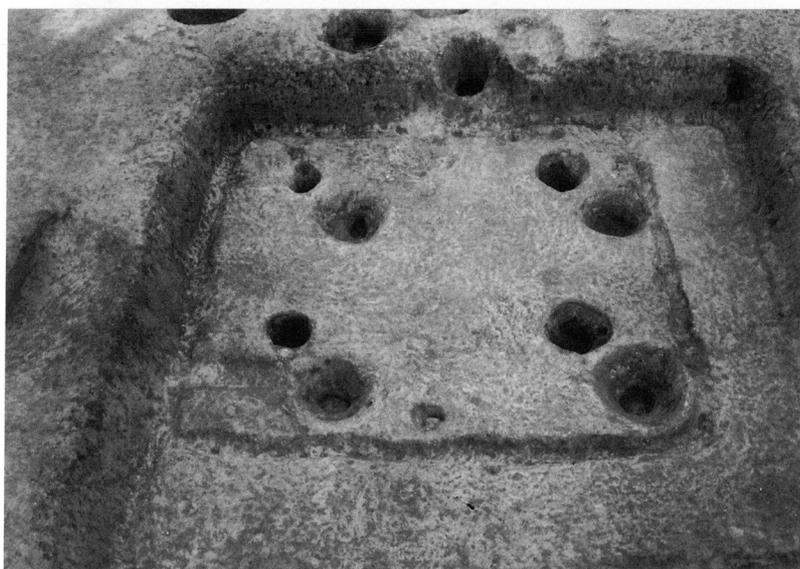
第95号住居跡遺物出土状況



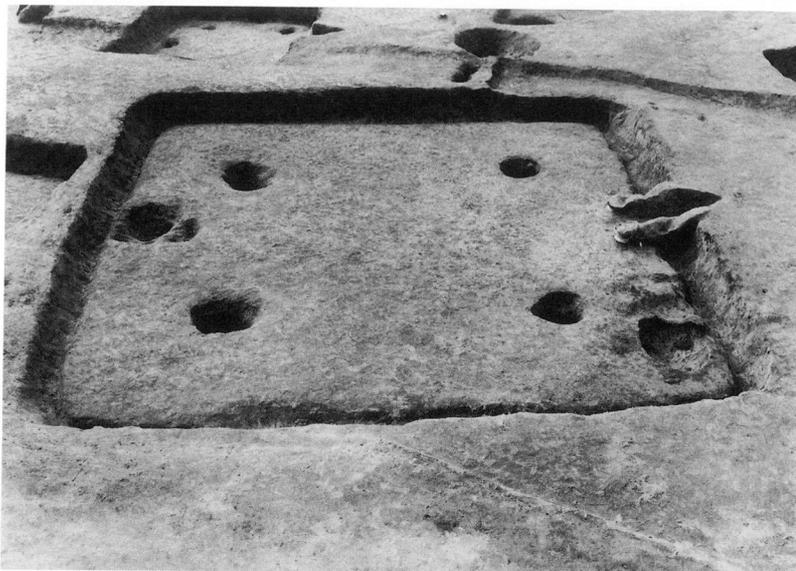
第97・98号住居跡完掘状況



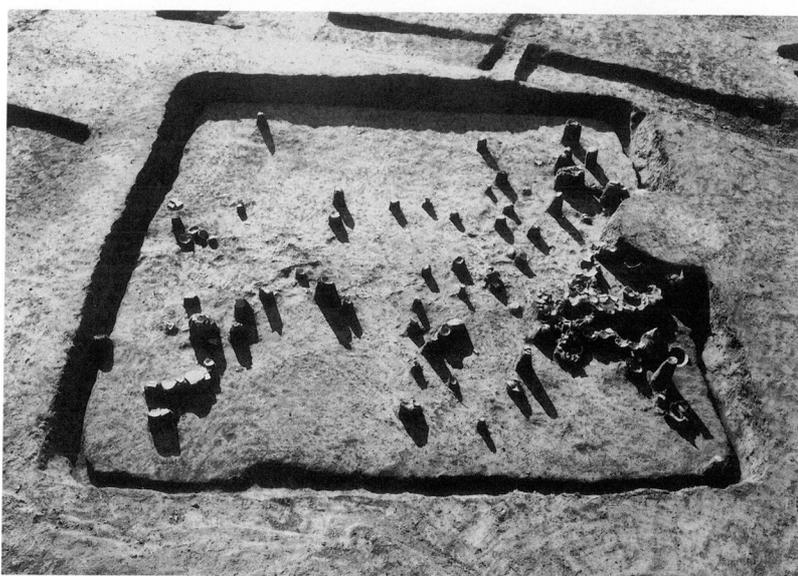
第97・98号住居跡遺物出土状況



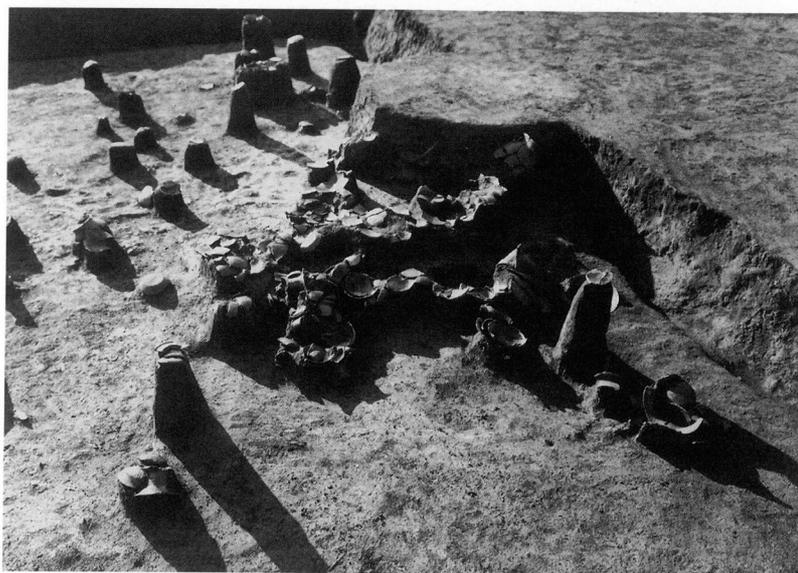
第110号住居跡完掘状況



第111号住居跡完掘状況



第111号住居跡遺物出土状況



第111号住居跡遺物出土状況

PL32



第111号住居跡竈遺物出土状況



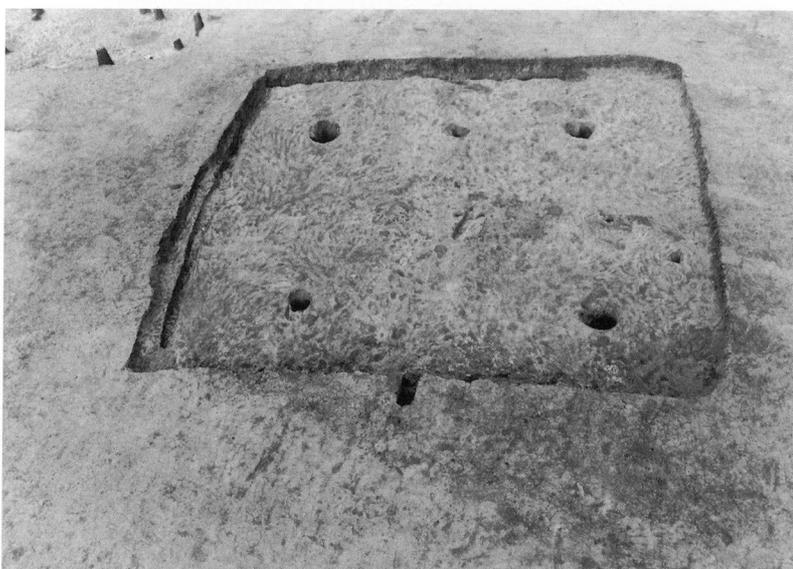
第120号住居跡完掘状況



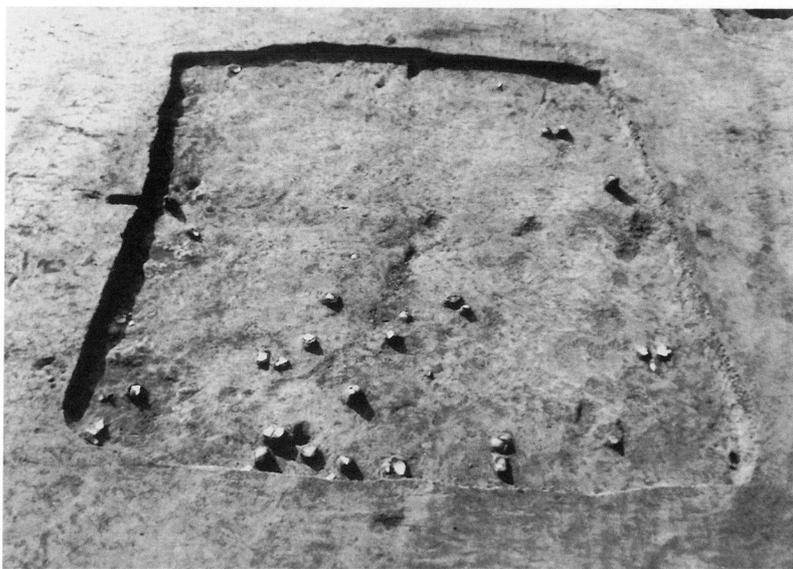
第120号住居跡竈遺物出土状況



第123号住居跡竈遺物出土状況



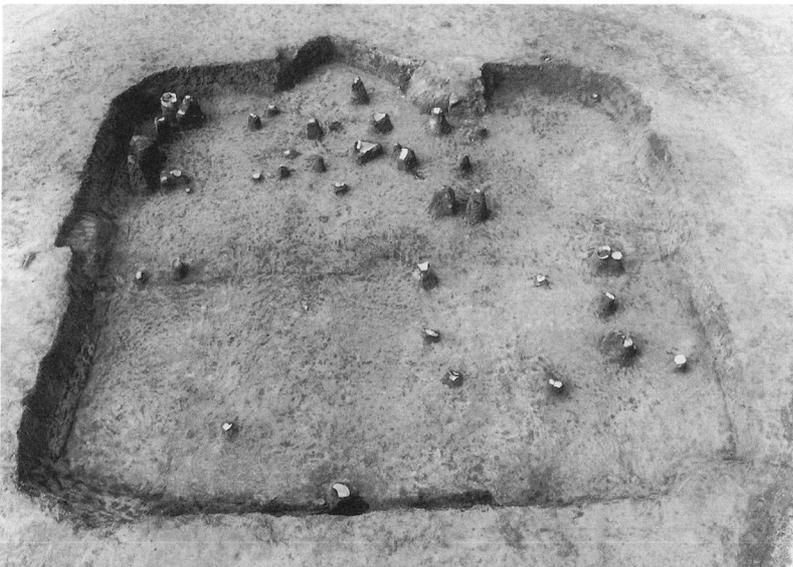
第125号住居跡完掘状況



第125号住居跡遺物出土状況



第127・128号住居跡，第8号
掘立柱建物跡完掘狀況



第127・128号住居跡
遺物出土狀況



第130号住居跡完掘狀況



第130号住居跡遺物出土状況

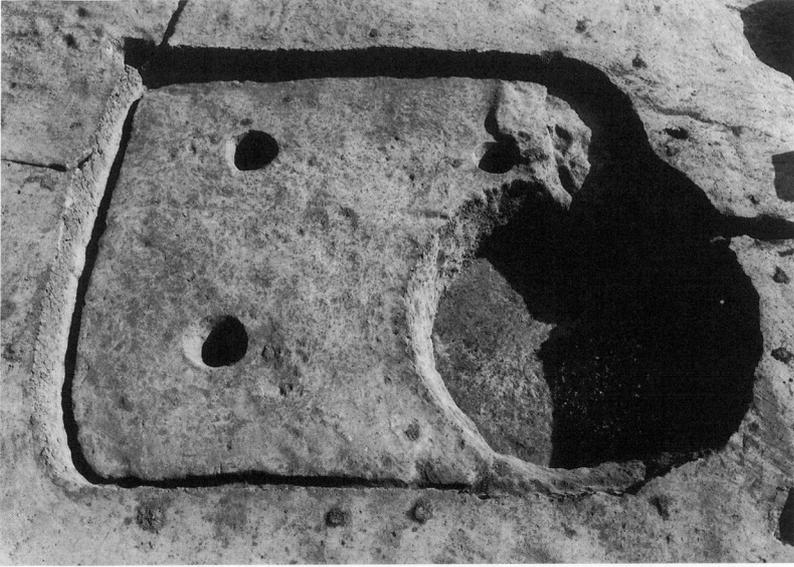


第130号住居跡竈遺物出土状況

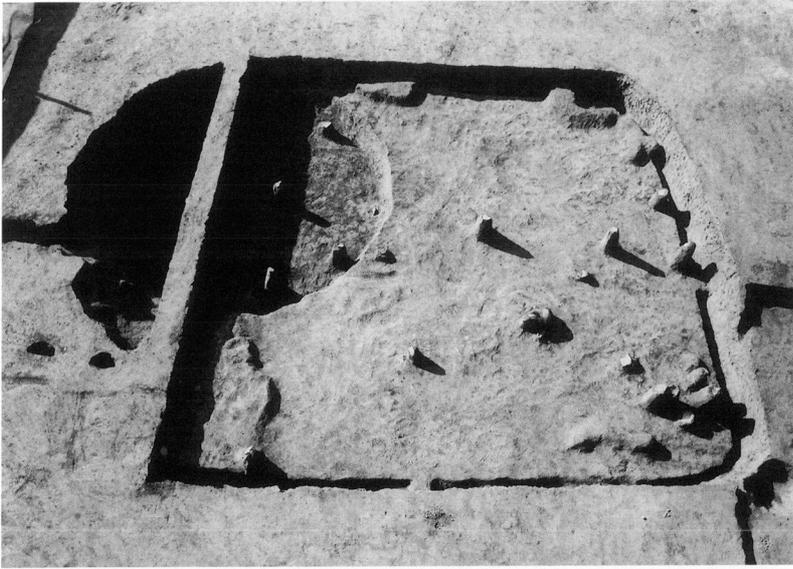


第131号住居跡完掘状況

PL36



第138号住居跡完掘状況



第138号住居跡遺物出土状況



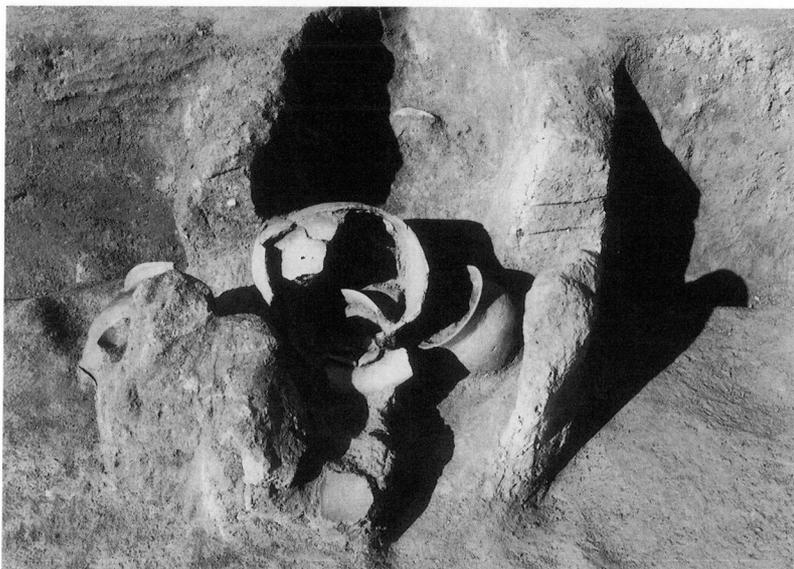
第143号住居跡完掘状況



第143号住居跡遺物出土状況



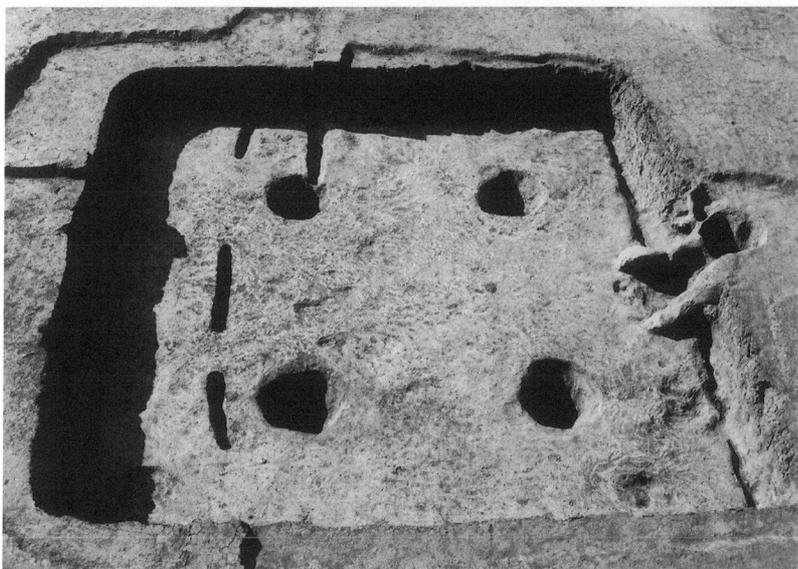
第143号住居跡竈遺物出土状況



第143号住居跡竈遺物出土状況



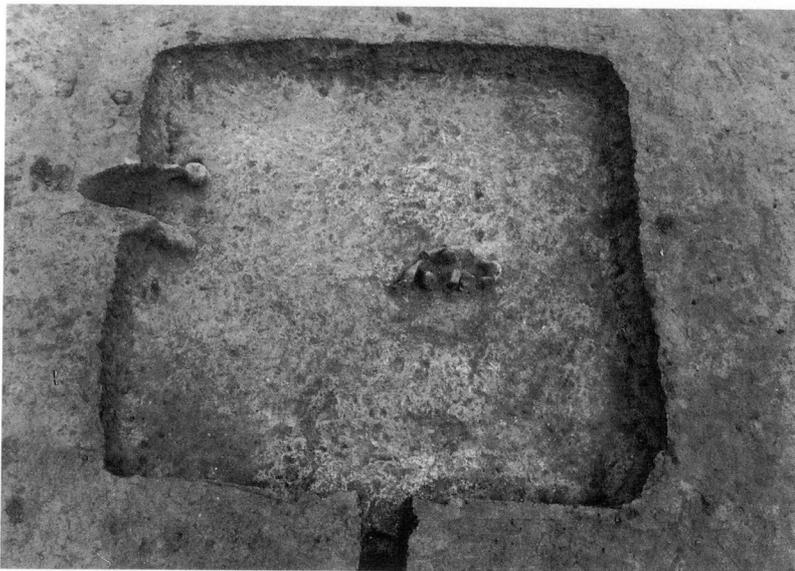
第152号住居跡遺物出土状況



第170号住居跡完掘状況



第170号住居跡竈遺物出土状況



第172号住居跡完掘状況

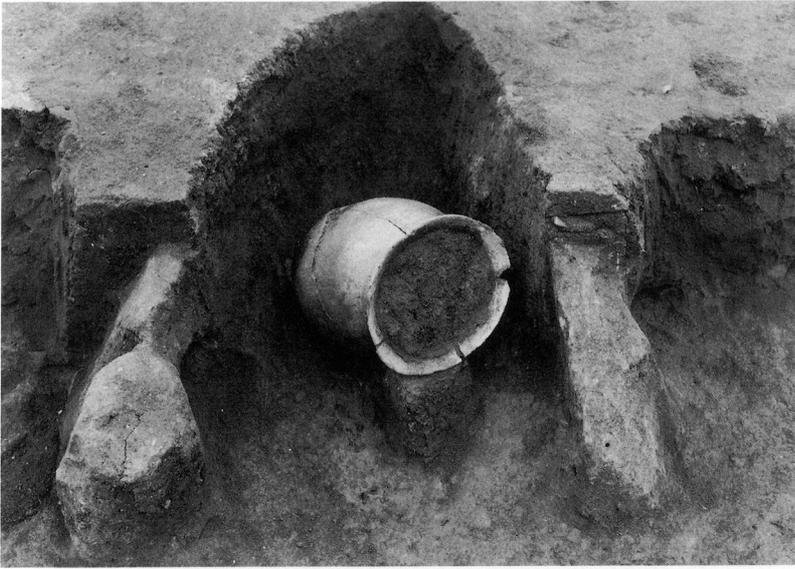


第172号住居跡遺物出土状況

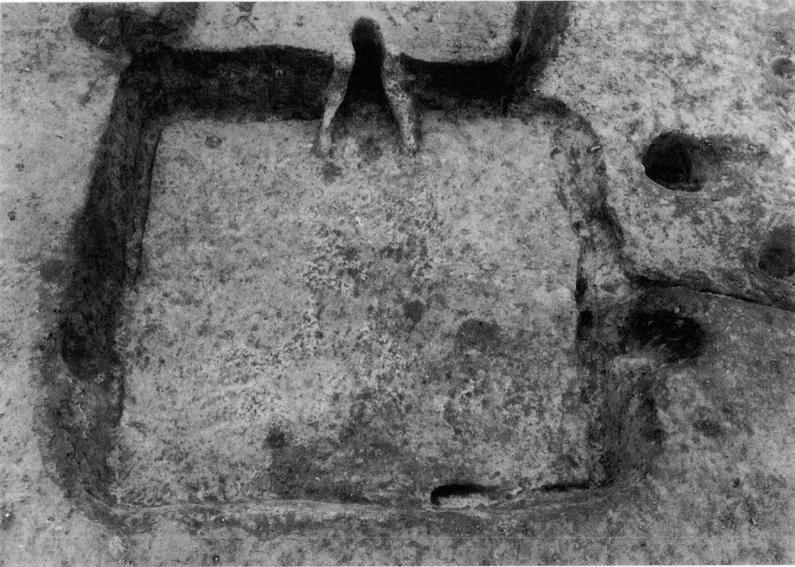


第172号住居跡遺物出土状況

PL40



第172号住居跡竈遺物出土状況



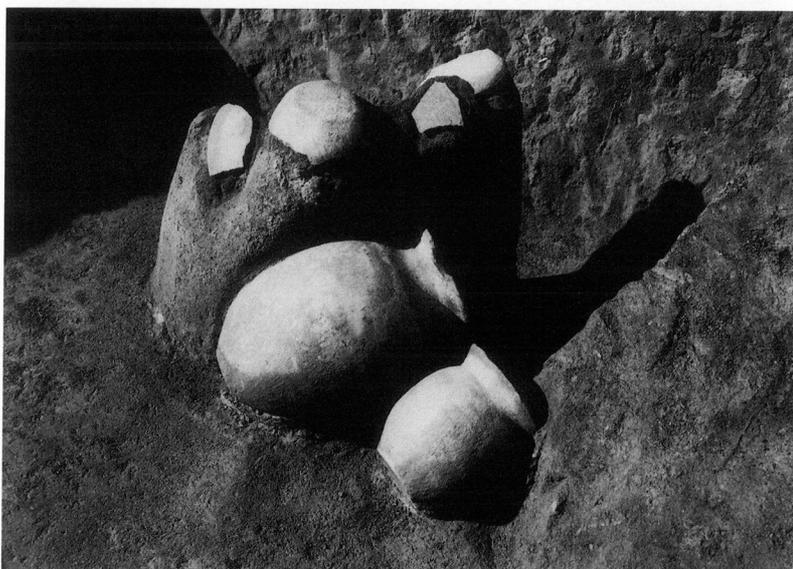
第174号住居跡完掘状況



第174号住居跡遺物出土状況



第174号住居跡遺物出土状況

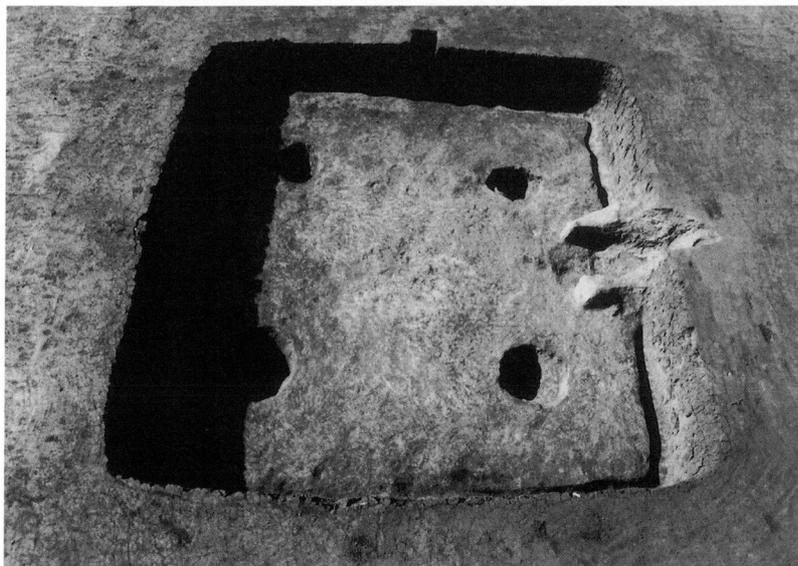


第174号住居跡遺物出土状況

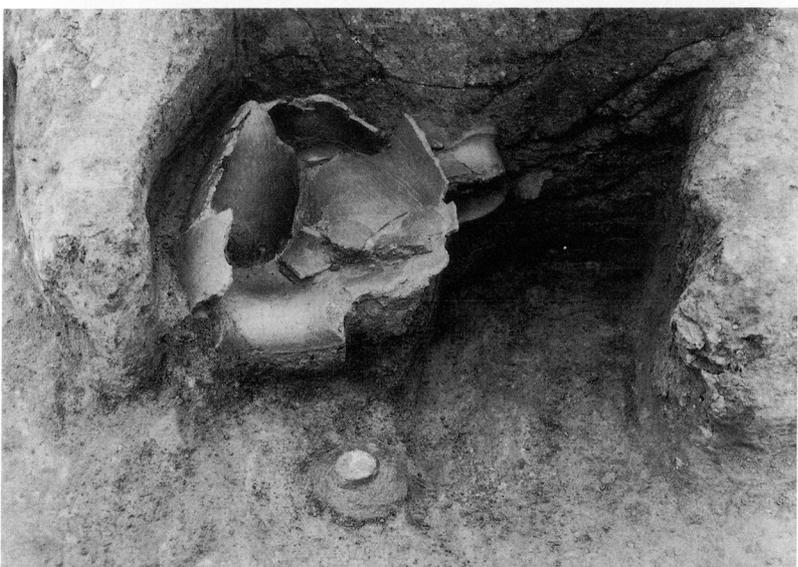


第178号住居跡完掘状況

PL42



第177号住居跡完掘状況



第177号住居跡竈遺物出土状況



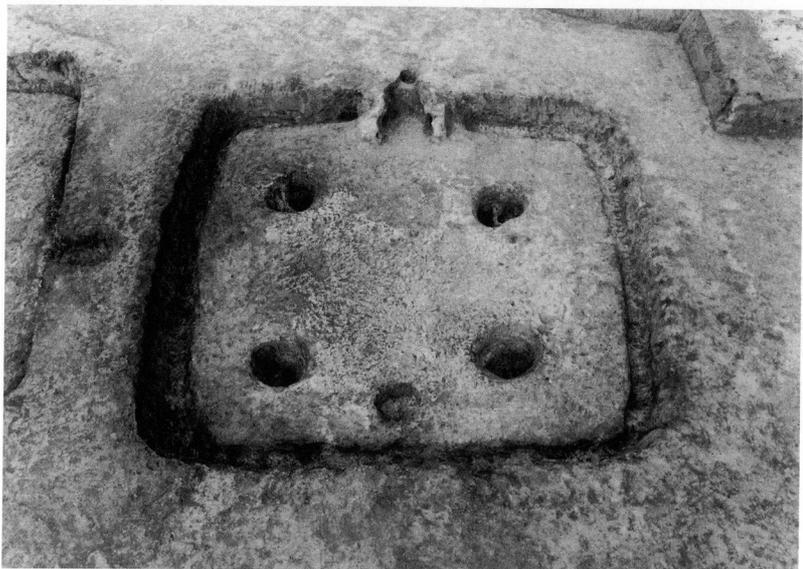
第193・194号住居跡完掘状況



第193・194号住居跡
遺物出土状況

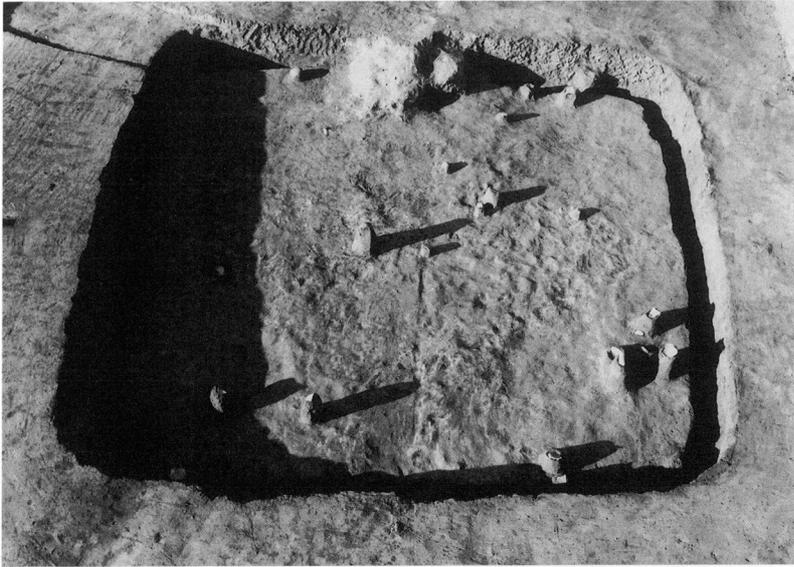


第197・198号住居跡
遺物出土状況

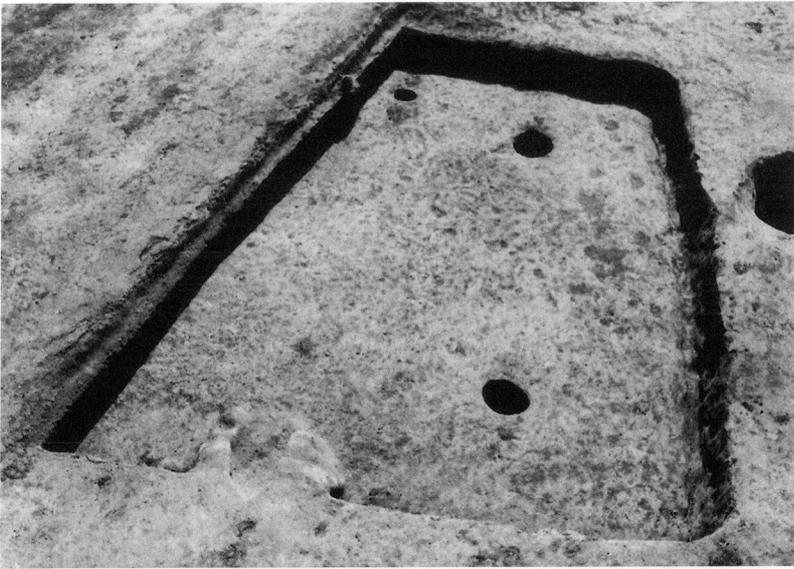


第8号住居跡完掘状況

PL44



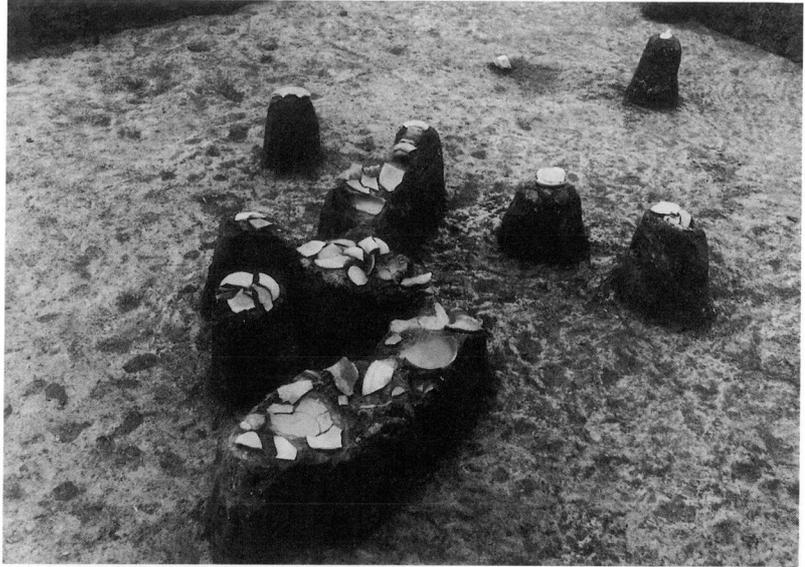
第 8 号住居跡遺物出土状況



第 9 号住居跡完掘状況



第 9 号住居跡遺物出土状況



第9号住居跡遺物出土状況



第56号住居跡竈遺物出土状況



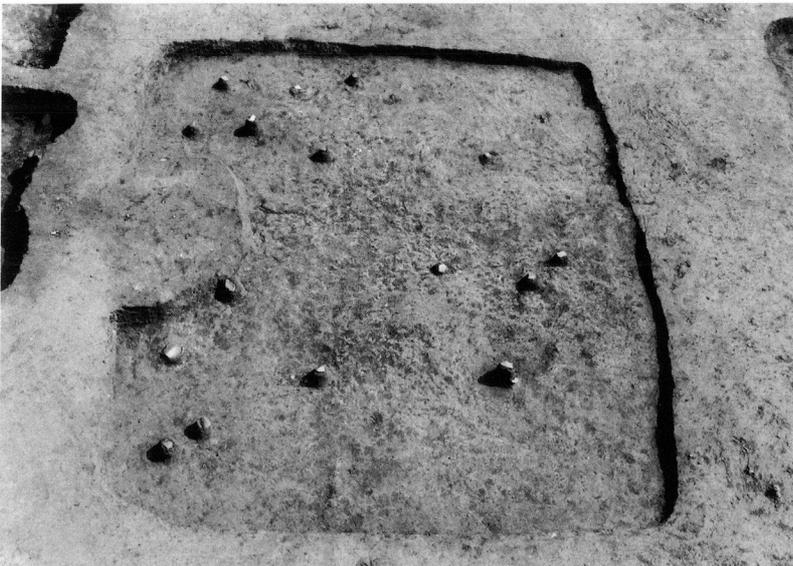
第93号住居跡遺物出土状況



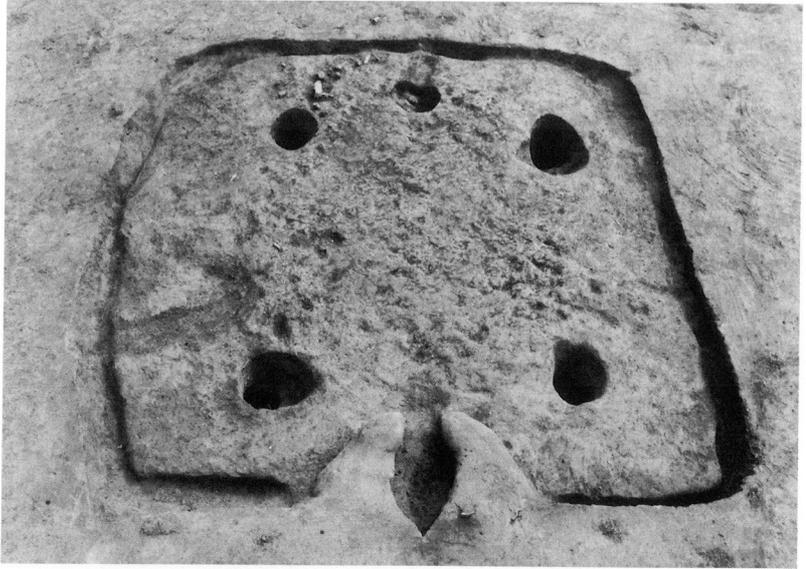
第93号住居跡遺物出土状況



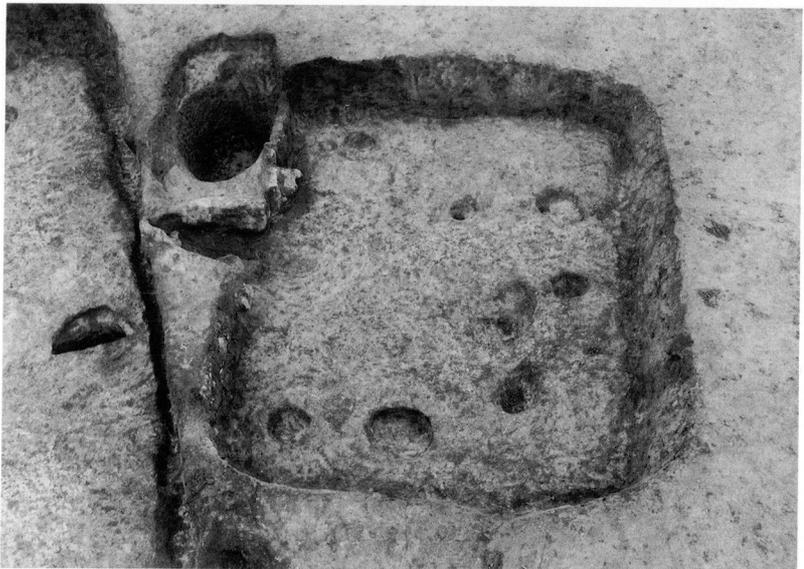
第94号住居跡完掘状況



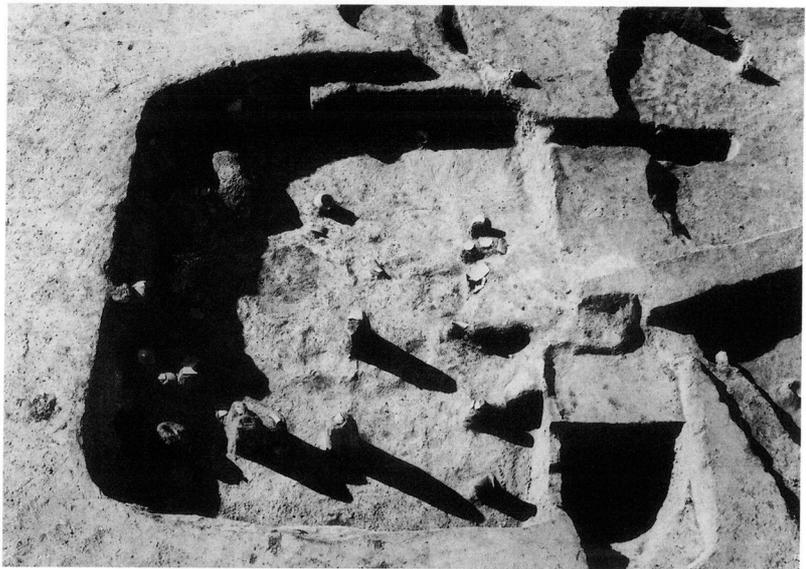
第94号住居跡遺物出土状況



第100号住居跡完掘状況

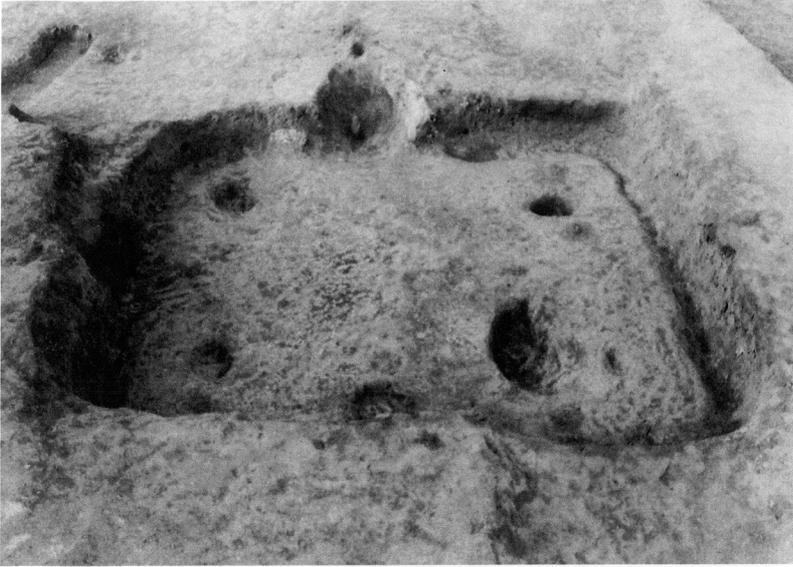


第118号住居跡完掘状況



第118号住居跡遺物出土状況

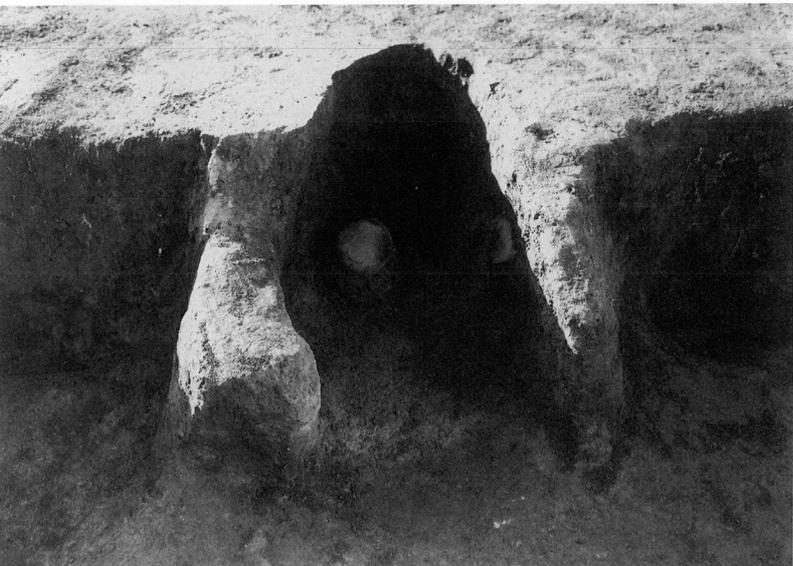
PL48



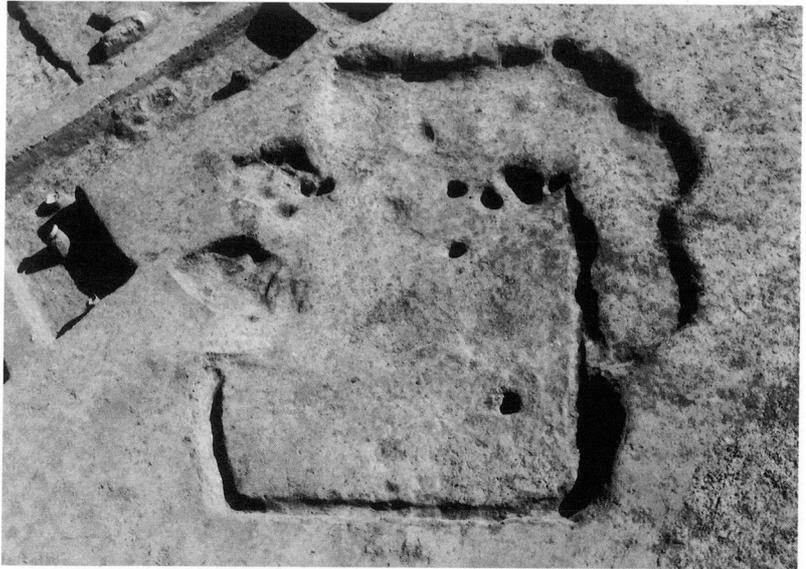
第142号住居跡完掘状況



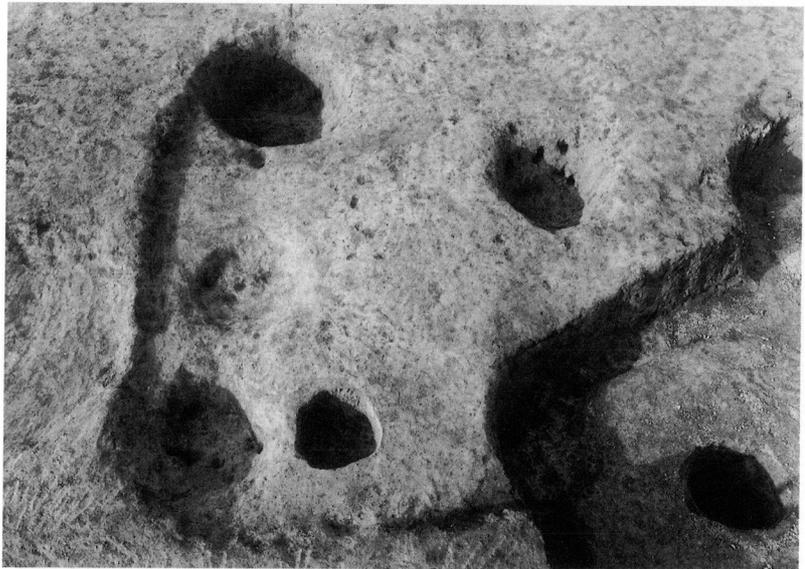
第146号住居跡遺物出土状況



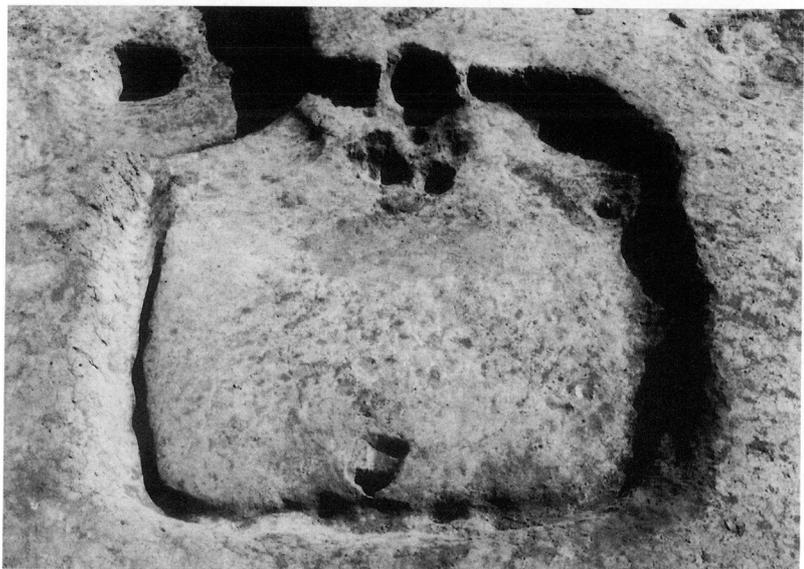
第146号住居跡竈遺物出土状況



第6号住居跡完掘状況



第12号住居跡完掘状況



第13号住居跡完掘状況

PL50



第13号住居跡遺物出土状況



第13号住居跡遺物出土状況



第13号住居跡遺物出土状況



第13号住居跡竈遺物出土状況



第14号住居跡完掘状況

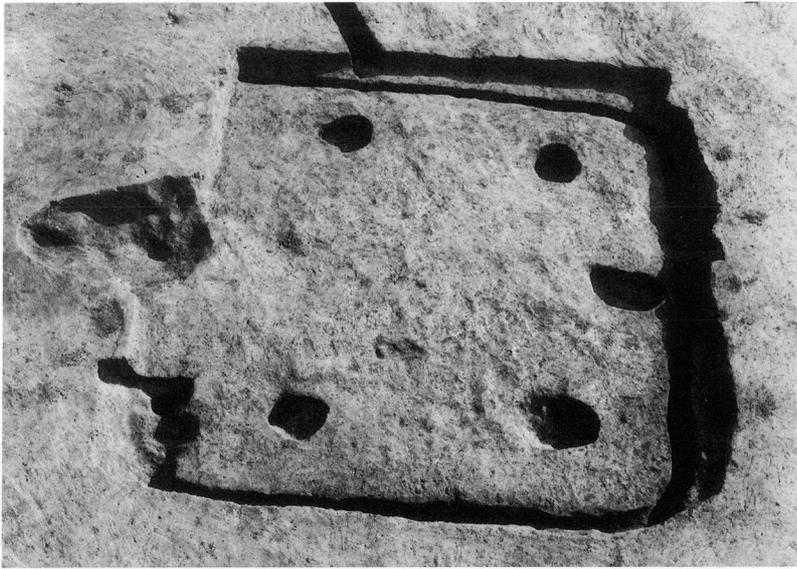


第14号住居跡遺物出土状況

PL52



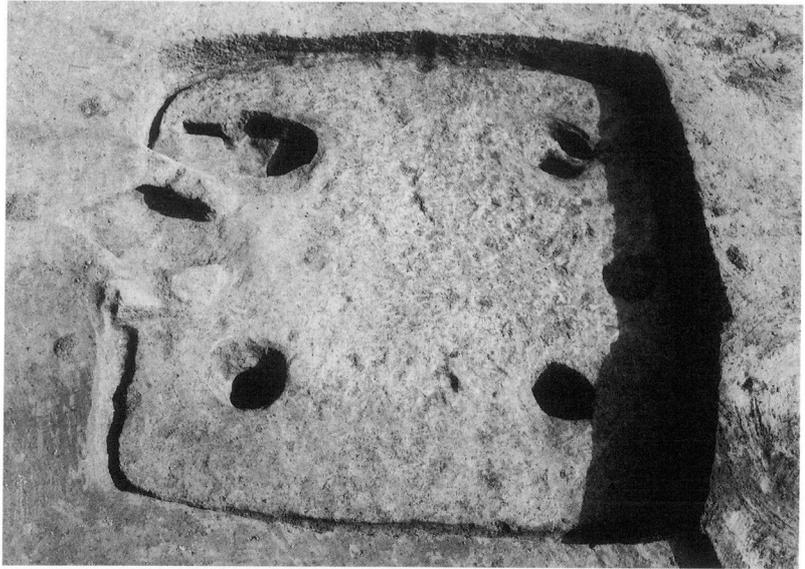
第23号住居跡完掘状況



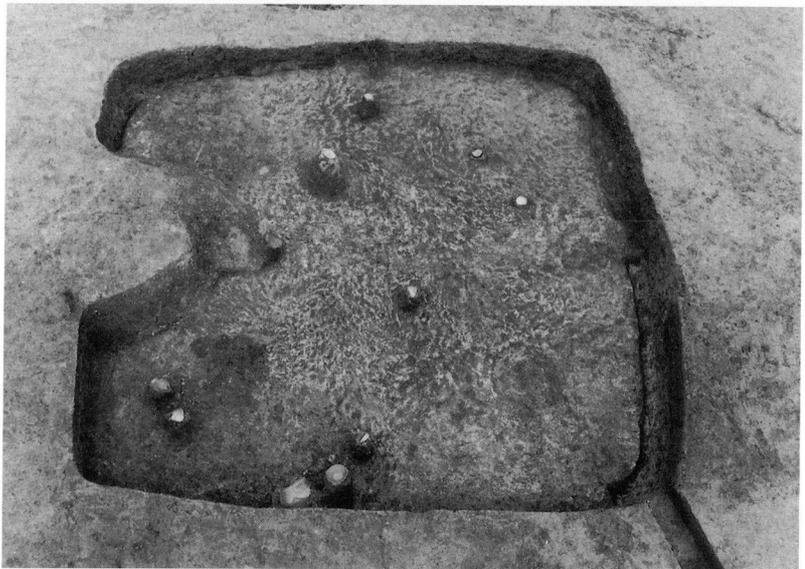
第67号住居跡完掘状況



第67号住居跡竈遺物出土状況



第68号住居跡完掘状況



第68号住居跡遺物出土状況



第68号住居跡竈完掘状況

PL54



第72号住居跡遺物出土状況



第72号住居跡竈遺物出土状況



第96号住居跡遺物出土状況



第96号住居跡竈遺物出土状況

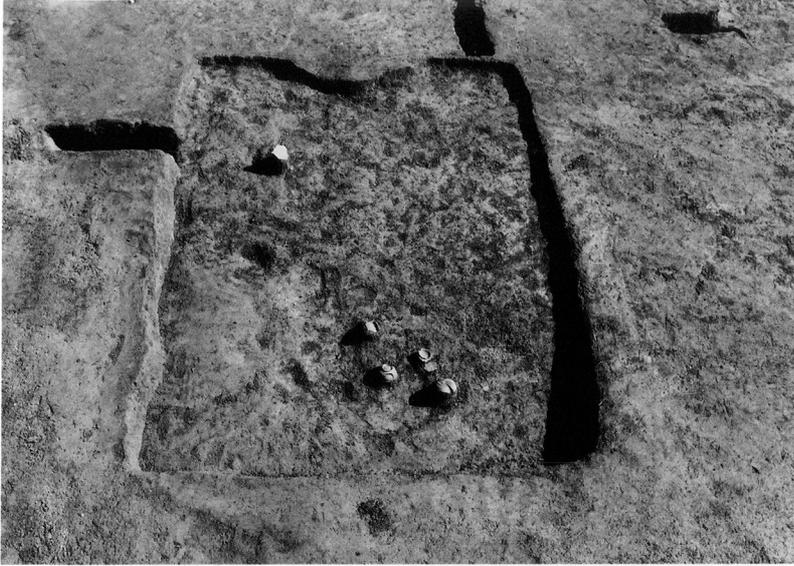


第109号住居跡竈遺物出土状況

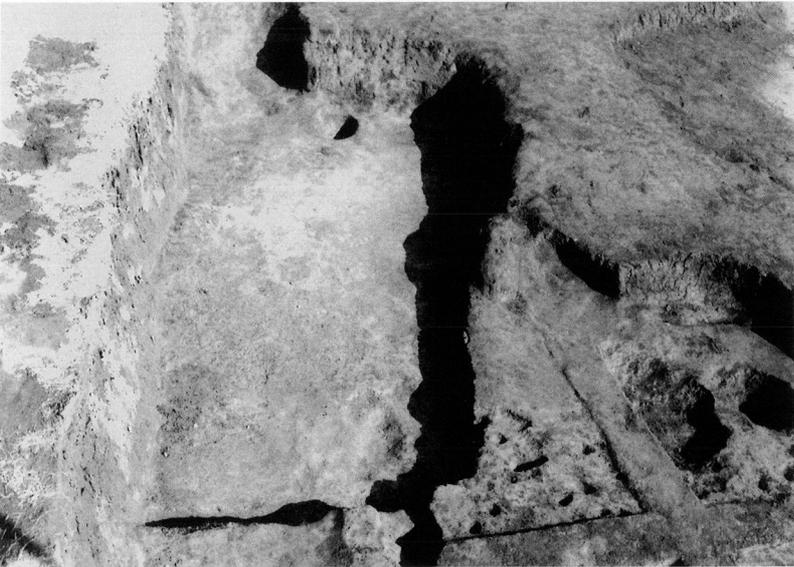


第121・122・123号住居跡
完掘状況

PL56



第121号住居跡遺物出土状況



第134号住居跡完掘状況



第135号住居跡遺物出土状況



第137号住居跡竈遺物出土状況



第140号住居跡完掘状況

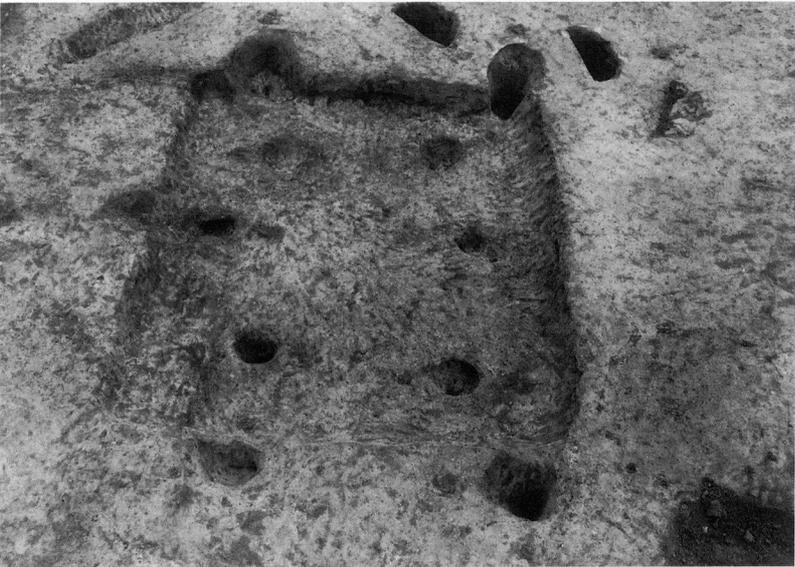


第140号住居跡遺物出土状況

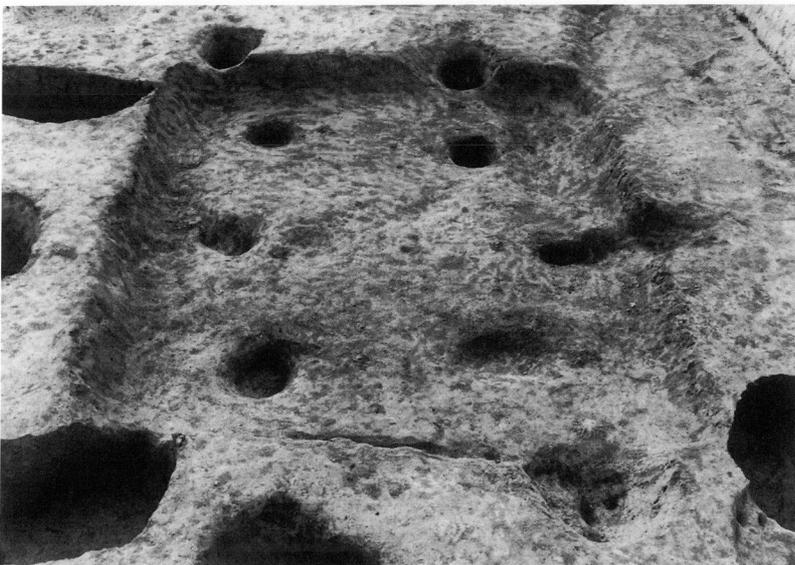
PL58



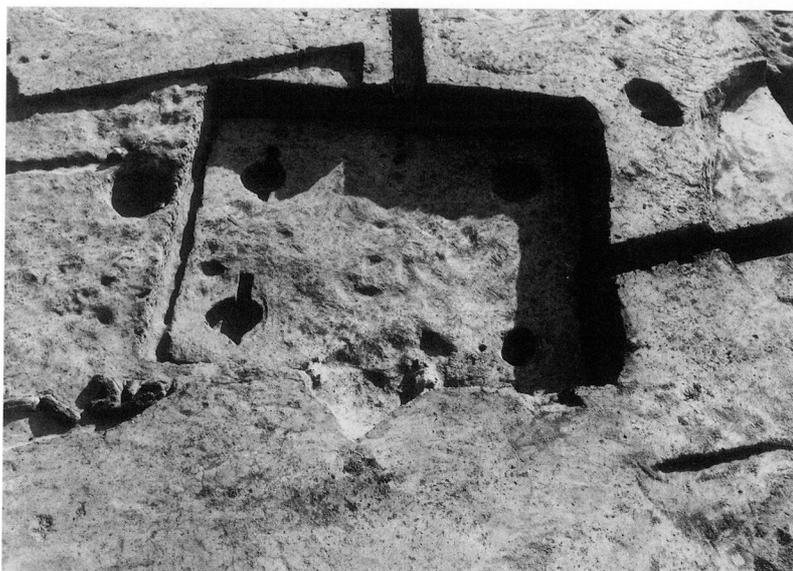
第145号住居跡竈遺物出土状況



第147号住居跡完掘状況



第148号住居跡完掘状況



第153号住居跡完掘状況



第153号住居跡遺物出土状況



第153号住居跡遺物出土状況